机上配布資料2

本資料のうち，枠囲みの内容は営業秘密
又は防護上の観点から公開できません。

敦賀発電所2号炉
「敷地の地形，地質・地質構造について」
に関する審査資料の記載の不備について
（補足説明資料2　個々の記載の不備の具体的内容・類型化）
再点検結果

令和元年10月11日

日本原子力発電株式会社

目　次

- 敷地の地形，地質・地質構造

  1．リスト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2-1～2-8

  2．個々の記載の不備の具体的内容・類型化　・・・　3～277

- 地震動評価

  1．リスト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　279

  2．個々の記載の不備の具体的内容・類型化　・・・　281～283

1．リスト

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
1	5	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 走向の差	H24-B14-2，⑧， 比較対象との走向の差	12-13	11-13	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。 なお，非表示セルの計算結果（この場合誤った計算結果）の転記も誤った。
2	5	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
3	5	本編資料 連続性評価の 具体的プロセス	表：明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2，③， 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
4	7	薄片観察資料	―	薄片作成位置の模式図	薄片の作成方向は 最新活動面に直交方向 かつ 条線方向に平行方向	薄片の作成方向は 最新活動面に直交方向 かつ 走向方向に平行方向	E	薄片作成方向を示したもの。書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。
5	9	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H20-③-1，②， 比較対象との傾斜の差	58	0	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
6	11	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 走向の差	H24-B14-2，⑧， 比較対象との走向の差	12-13	11-13	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。 なお，非表示セルの計算結果（この場合誤った計算結果）の転記も誤った。
7	11	連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
8	11	連続性評価の 具体的プロセス	表：明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2，③， 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
9	13	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H20-③-1，②， 比較対象との傾斜の差	42	16	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
10	15	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H27-B-2，③， 比較対象との傾斜の差	31	9	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
11	17	連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
12	17	連続性評価の 具体的プロセス	表：明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2，③， 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
13	19	連続性評価の 具体的プロセス	断面図：破砕部の位置	H19-No.16，⑦，⑧，破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
14	21	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H20-②-1，②， 比較対象との傾斜の差	4	34	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
15	23	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H27-B-2，③， 比較対象との傾斜の差	21	1	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
16	25	連続性評価の 具体的プロセス	断面図：破砕部の傾斜	H19-No.12，①，破砕部記号	破砕部の傾斜の表示あり	破砕部の傾斜の表示なし	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。
17	27	連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
18	27	連続性評価の 具体的プロセス	表：明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2，③， 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
19	29	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H20-②-1，②， 比較対象との傾斜の差	9	29	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
20	31	連続性評価の 具体的プロセス	表：比較対象との 傾斜の差	H20-①-6，②， 比較対象との傾斜の差	14	15	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
21	33	連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
22	33	連続性評価の 具体的プロセス	表：明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2，③， 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
23	35	連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
24	35	連続性評価の 具体的プロセス	表：明瞭なせん断構造・ 変形構造の有無	H24-B14-2，③， 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
25	37	連続性評価の 具体的プロセス	表：断層ガウジ・断層角 礫の有無	H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	有	無	D	断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
26	37	連続性評価の具体的プロセス	表:明瞭なせん断構造・変形構造の有無	H24-B14-2, ③, 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	−	D	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
27	39	連続性評価の具体的プロセス	−	H27-Br-4, ①, 起点	No.14	No.36	D	起点破砕部を破砕幅の大きい順に表にしたもの。破砕幅の修正に伴い検討の順番が変わった。
28	39	連続性評価の具体的プロセス	−	H19-No.2, ⑪, 起点	No.65	No.72	D	起点破砕部を破砕幅の大きい順に表にしたもの。破砕幅の修正に伴い検討の順番が変わった。
29	41	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
30	43	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-①-6, ②, 比較対象との傾斜の差	2	1	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
31	45	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	46	12	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
32	47	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.4, ⑧, 比較対象との走向の差	94	86	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
33	49	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-①-6, ②, 比較対象との傾斜の差	1	0	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
34	51	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の傾斜	H19-No.12, ①, 破砕部記号	破砕部の傾斜の表示あり	破砕部の傾斜の表示なし	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。
35	53	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
36	55	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	7	31	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
37	57	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	44	14	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
38	59	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	59	1	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
39	61	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	10	28	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
40	63	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.4, ④, 破砕帯名:f-12-4	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
41	63	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.4, ⑥, 破砕帯名:f-4-3	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
42	63	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.4, ⑦, 破砕帯名:D-4	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
43	63	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.4, ⑮, 破砕帯名:D-7	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
44	63	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.4, ⑮, 連続性検討結果に関する備考	※2	（空欄）	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
45	63	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.6, ①, 破砕帯名:D-38	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
46	63	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.6, ①, 連続性評価結果に関する備考	※3	（空欄）	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
47	65	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
48	67	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
49	69	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-4, ①, 破砕帯名:非モデル化	グレー	色なし	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
50	69	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	18	4	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
51	71	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	49	9	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
52	73	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.4, ⑧, 比較対象との走向の差	86	19	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。
53	75	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	49	9	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
54	77	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-4, ①, 破砕帯名:非モデル化	グレー	色なし	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
55	79	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	18	40	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
56	81	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H19-No.2, ⑧, 比較対象との走向の差	31	33	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
57	81	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H19-No.4, ⑧, 比較対象との走向の差	86	39	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。
58	81	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	6	32	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
59	83	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	51	7	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
60	85	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	76	70	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。
61	85	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H19-No.3, ②, 比較対象との傾斜の差	59	5	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
62	85	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	13	51	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
63	87	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
64	89	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討範囲	H19-No.16, ⑦, 連続性検討範囲	範囲外	範囲内	D	断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，連続性検討範囲外であったものが，連続性検討範囲内に変わったもの。
65	89	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討範囲	H19-No.16, ⑦, 連続性検討範囲	表の色の修正		D	断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
66	89	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.16, ⑦, 断面図上の番号～変位センス	表の色の修正		D	断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，連続性検討範囲内の破砕部となったため，表の該当箇所の着色が変わったもの。
67	89	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H19-No.16, ⑦, 連続性検討結果	（空欄）	×	D	断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
68	89	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H19-No.16, ⑦, 連続性評価結果に関する備考	（空欄）	※4	D	断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
69	91	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	51	7	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
70	93	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H27-Br-4, ①, 破砕帯名:非モデル化	グレー	色なし	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
71	95	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H19-No.2, ⑨, 比較対象との走向の差	76	78	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。
72	95	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-②-1, ①, 比較対象との走向の差	36	78	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
73	95	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	6	44	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
74	97	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	57	1	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
75	99	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	44	14	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
76	101	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	9	29	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
77	103	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
78	105	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
79	107	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	12	26	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
80	109	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-④-6, ③, 比較対象との傾斜の差	23	19	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
81	111	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	24	46	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
82	113	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の色	H20-①-3, ④, 破砕部記号	破砕部の色の修正		D	破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。
83	115	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	1	23	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
84	115	連続性評価の 具体的プロセス	表:セルの着色	H20-①-3, ④, 走向～性状	表の色の修正		D	当該破砕部の走向の差の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，表の該当箇所の着色が変わったもの。
85	115	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果	H20-①-3, ④, 連続性評価結果	×	（空欄）	D	当該破砕部の走向の差の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
86	115	連続性評価の 具体的プロセス	表:連続性検討結果に 関する備考	H20-①-3, ④, 連続性評価結果に関する備考	※1	（空欄）	D	当該破砕部の走向の差の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。
87	117	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	34	24	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
88	119	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	20	2	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
89	121	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	15	37	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
90	123	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	26	48	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
91	125	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	8	14	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
92	127	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	17	5	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
93	129	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H27-Br-1, ①, 比較対象との走向の差	5	15	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
94	131	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	37	21	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
95	133	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	5	17	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
96	135	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の傾斜	H19-No.12, ①, 破砕部記号	破砕部の傾斜の表示あり	破砕部の傾斜の表示なし	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。
97	137	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-①-6, ②, 比較対象との傾斜の差	43	44	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
98	139	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	41	17	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
99	141	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	55	3	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
100	143	連続性評価の 具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
101	145	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	40	2	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
102	145	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-④-3, ①, 比較対象との傾斜の差	60	35	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
103	145	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-④-3, ②, 比較対象との走向の差	78	32	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
104	145	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-④-3, ②, 比較対象との傾斜の差	72	47	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
105	147	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-①-6, ②, 比較対象との傾斜の差	7	8	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
106	149	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	46	12	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
107	151	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	55	3	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
108	153	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	42	16	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
109	155	連続性評価の 具体的プロセス	表:比較対象との 走向の差	H20-①-3, ②, 比較対象との走向の差	43	21	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
110	155	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	21	43	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
111	157	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-③-1, ②, 比較対象との傾斜の差	25	33	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
112	159	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	10	48	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
113	161	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.4, ⑧, 比較対象との走向の差	86	77	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
114	161	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	8	30	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
115	163	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-①-3, ④, 比較対象との走向の差	6	28	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
116	165	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の位置	H19-No.16, ⑦, ⑧, 破砕部記号	破砕部の位置の修正		B	破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。
117	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ①, 比較対象との走向の差	39	29	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
118	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ②, 比較対象との走向の差	40	30	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
119	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ③, 比較対象との走向の差	44	34	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
120	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ④, 比較対象との走向の差	33	23	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
121	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑤, 比較対象との走向の差	15	5	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
122	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑥, 比較対象との走向の差	23	13	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
123	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑦, 比較対象との走向の差	19	9	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
124	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑧, 比較対象との走向の差	14	24	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
125	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑨, 比較対象との走向の差	3	13	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
126	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑩, 比較対象との走向の差	6	16	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
127	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑪, 比較対象との走向の差	16	6	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
128	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑫, 比較対象との走向の差	19	9	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
129	167	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.17, ⑬, 比較対象との走向の差	15	5	D	起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより, 起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。
130	169	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	6	32	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
131	171	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-②-1, ②, 比較対象との傾斜の差	2	36	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
132	171	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-④-3, ①, 比較対象との傾斜の差	32	3	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
133	171	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H20-④-3, ②, 比較対象との傾斜の差	20	9	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
134	173	連続性評価の具体的プロセス	ー	H19-No.12, ⑩, 起点	No.22	No.29	D	起点破砕部を破砕幅の大きい順に表にしたもの。破砕幅の修正に伴い検討の順番が変わった。
135	173	連続性評価の具体的プロセス	ー	H27-Br-4, ①, 起点	No.16	No.34	D	起点破砕部を破砕幅の大きい順に表にしたもの。破砕幅の修正に伴い検討の順番が変わった。
136	175	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
137	177	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-1, ②, 破砕帯名:D-39	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより, 表の着色を修正したもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
138	177	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H24-B11-1, ②, 連続性評価結果に関する備考	※4	(空欄)	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより, 起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため, 連続性検討結果を削除したもの。
139	177	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H24-B11-2, ①, 破砕帯名:D-7	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより, 表の着色を修正したもの。
140	177	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H24-B11-2, ①, 連続性評価結果に関する備考	※2	(空欄)	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより, 起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため, 連続性検討結果を削除したもの。
141	177	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.6, ①, 破砕帯名:D-38	色なし	グレー	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより, 表の着色を修正したもの。
142	177	連続性評価の具体的プロセス	表:連続性検討結果に関する備考	H19-No.6, ①, 連続性評価結果に関する備考	※2	(空欄)	D	破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより, 起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため, 連続性検討結果を削除したもの。
143	179	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の傾斜	H19-No.12, ①, 破砕部記号	破砕部の傾斜の表示あり	破砕部の傾斜の表示なし	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。
144	181	連続性評価の具体的プロセス	表:セルの着色	H19-No.12③, 走向, 比較対象の走向の差, 傾斜, 比較対象の傾斜の差	表の色の修正		E	当該破砕部の走向・傾斜の誤りの修正に伴う着色をし忘れた。
145	181	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H20-①-5, ②, 比較対象との走向の差	97	83	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
146	181	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との傾斜の差	H19-No.10, ③, 比較対象との傾斜の差	18	16	A	作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
147	183	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
148	185	連続性評価の具体的プロセス	―	凡例	凡例の誤りの修正		E	他のページで使用している凡例を転用したものであるが, 色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。
149	187	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
150	189	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H19-No.6, ②, 比較対象との走向の差	92	88	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
151	191	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H27-Br-12, ①, 比較対象との走向の差	96	84	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
152	191	連続性評価の具体的プロセス	表:比較対象との走向の差	H27-Br-12, ③, 比較対象との走向の差	120	60	C	走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
153	193	連続性評価の具体的プロセス	―	凡例	凡例の誤りの修正		E	他のページで使用している凡例を転用したものであるが, 色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。
154	195	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
155	197	連続性評価の具体的プロセス	―	凡例	凡例の誤りの修正		E	他のページで使用している凡例を転用したものであるが, 色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。
156	199	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
157	201	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
158	203	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
159	205	連続性評価の具体的プロセス	断面図:ボーリング投影位置	H27-Br-2, ボーリング投影位置	ボーリング投影位置の修正		B	ボーリング投影位置を誤った。
160	207	連続性評価の具体的プロセス	―	凡例	凡例の誤りの修正		E	他のページで使用している凡例を転用したものであるが, 色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。
161	209	連続性評価の具体的プロセス	表:破砕帯範囲	H19-No.18, ⑥, 下端深度	169.63m	169.65m	D	破砕帯範囲の下端深度について, 転記元の性状一覧表から転記したが, 転記元の記載が誤っていたため, 正しい記載に修正したもの。
162	211	連続性評価の具体的プロセス	断面図:破砕部の傾斜	H19-No.12, ①, 破砕部記号	破砕部の傾斜の表示あり	破砕部の傾斜の表示なし	A	H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。
163	213	性状一覧表	コア写真	K断層, 2ー1ピット, 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について, 細分化カタログから転記したが, 転記を誤ったもの。
164	215	性状一覧表	コア写真	K断層, H24-B'-2, 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について, 細分化カタログから転記したが, 転記を誤ったもの。

(直接的な記載の誤り)
分類A:転記の誤り
分類B:作図の誤り
分類C:表記基準の周知不足

(二次的な記載の誤り)
分類D:転記元の記載の誤り

(表現の適正化未反映)
分類E:誤字・脱字・記載漏れ
分類F:表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
165	215	性状一覧表	コア写真	K断層，H24-H-2， 破砕幅の矢印	矢印の位置の修正		A	破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
166	217	性状一覧表	コア写真	K断層，H27-G-2， 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
167	219	性状一覧表	コア写真	K断層，H27-G-5， 破砕幅の矢印	矢印の位置の修正		A	破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
168	221	性状一覧表	コア写真	D-6破砕帯，H27-D-6西側， 1号炉原子炉建屋南側斜面剥ぎ取り部， 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
169	223	性状一覧表	破砕幅	D-5破砕帯，H19-No.12，破砕幅	22.0cm	16.0cm	A	破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
170	225	性状一覧表	断層ガウジ・断層角礫の幅	H-3a破砕帯，追加ピット， 断層ガウジ，断層角礫の幅	7.5cm	5.0cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。
171	227	性状一覧表	コア写真	D-3破砕帯，H19-No.2， 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
172	229	性状一覧表	コア写真	D-4破砕帯，H20-①-8， 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
173	231	性状一覧表	コア写真	D-15破砕帯，H24-B14-1， 破砕幅の矢印	矢印の位置の修正		A	破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
174	233	性状一覧表	コア写真	D-17破砕帯，H19-No.17， 破砕幅の矢印，断層ガウジの幅	矢印及びカラーバーの位置の修正		A	破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
175	235	性状一覧表	コア写真	D-22破砕帯，H20-⑥-4， 破砕幅の矢印	矢印の位置の修正		A	破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
176	237	性状一覧表	破砕帯範囲	D-34破砕帯，H24-B15-3，下端深度	69.00cm	68.95cm	A	破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
177	239	性状一覧表	コア写真	D-43破砕帯，H20-①-6， 破砕幅の矢印	矢印の位置の修正		A	破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
178	241	性状一覧表	破砕幅	f-2-8破砕帯，H19-No.2，破砕幅	4.0cm	2.5cm	A	破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
179	241	性状一覧表	断層ガウジ・断層角礫の幅	f-2-8破砕帯，H19-No.2， 断層ガウジ・断層角礫の幅	4.0cm	2.5cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。
180	243	性状一覧表	コア写真	f-4-12破砕帯，H19-No.4， 破砕幅の矢印，断層ガウジの幅	矢印及びカラーバーの位置の修正		A	破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
181	243	性状一覧表	コア写真	f-6-2破砕帯，H19-No.6， 破砕幅の矢印，断層ガウジの幅	矢印及びカラーバーの位置の修正		A	破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
182	245	性状一覧表	破砕帯範囲	f-①-9-3破砕帯，H20-①-9，下端深度	51.53cm	51.52cm	A	破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
183	245	性状一覧表	破砕幅	f-①-9-3破砕帯，H20-①-9，破砕幅	2.8cm	2.1cm	A	破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
184	245	性状一覧表	断層ガウジ・断層角礫の幅	f-①-9-3破砕帯，H20-①-9， 断層ガウジ・断層角礫の幅	2.8cm	2.1cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。
185	247	性状一覧表	コア写真	f-⑥-2-4破砕帯，H20-⑥-2， 断層ガウジの幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
186	249	性状一覧表	断層ガウジ・断層角礫の幅	H-3e破砕帯，試掘坑， 断層ガウジ・断層角礫の幅	フィルム状	0.2cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。
187	251	性状一覧表	破砕幅	H-4'破砕帯，H27-B-3，破砕幅	8.5cm	3.0cm	A	破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
188	251	性状一覧表	断層ガウジ・断層角礫の幅	H-4'破砕帯，試掘坑， 断層ガウジ・断層角礫の幅	2.0cm	フィルム状	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。
189	253	性状一覧表	コア写真	非モデル化破砕帯，H19-No.10，②，破砕幅	矢印の位置の修正		A	破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
190	255	性状一覧表	コア写真	非モデル化破砕帯，H19-No.10，③， 破砕幅の矢印，断層ガウジの幅	矢印及びカラーバーの位置の修正		A	破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
191	257	性状一覧表	破砕帯範囲	非モデル化破砕帯，H19-No.18，⑥， 下端深度	169.63m	169.65m	A	破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
192	259	性状一覧表	断層ガウジ・断層角礫の幅	非モデル化破砕帯，H24-B14-2，③， 断層ガウジ・断層角礫の有無	1.0cm	－	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
193	259	性状一覧表	コア写真	非モデル化破砕帯，H24-B14-2，③，断層ガウジ幅	カラーバーの位置の修正		A	断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
194	259	性状一覧表	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	非モデル化破砕帯，H24-B14-2，③，明瞭なせん断構造・変形構造の有無	無	－	A	明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
195	261	性状一覧表	破砕幅	非モデル化破砕帯，H27-Br-4，①，破砕幅	33.0cm	12.4cm	A	破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
196	263	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事52.97～53.46m，断層岩の色調及び断層岩の区分	主に灰白色の固結礫状部からなる。褐灰色の未固結粘土状部：累計幅：0.3cm	灰白色の固結礫状部からなる。	A	断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
197	265	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事191.10～191.14m，断層岩の色調及び断層岩の区分	にぶい橙色の固結礫状部からなる。	（削除）	A	断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
198	265	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事202.81～202.85m，浅黄色の未固結礫状部：累計幅	1.8cm	1.1cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
199	265	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事202.81～202.85m，浅黄色の未固結粘土状部：累計幅	2.2cm	1.4cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
200	265	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事207.94～208.69m，断層岩の色調及び断層岩の区分	主ににぶい橙色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。	主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。	A	断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
201	267	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事47.37～47.40m，断層岩の色調及び断層岩の区分	主に褐色の固結礫状部からなる。灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm	褐色の固結礫状部からなる。	A	断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
202	269	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事51.50～51.52m，下端深度	51.53m	51.52m	A	破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
203	269	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事51.50～51.52m，灰白色の未固結粘土状部：累計幅	2.8cm	2.1cm	A	断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
204	271	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事24.96～26.15m，断層岩の色調及び断層岩の区分	主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。	主に浅黄色の固結礫状部からなる。	A	断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
205	271	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事24.96～26.15m，断層岩の色調	暗褐色の未固結粘土状部	暗褐～黄白色の未固結粘土状部	A	断層岩の色調について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
206	273	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事32.97～34.58m，断層岩の区分	固結粘土状部	固結礫状部	A	断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
207	275	ボーリング柱状図・コア写真	コア写真	コア写真（18.00～36.00m）	コア写真の掲載間違いの修正		E	深度18.00m～深度36.00mのコア写真を掲載すべきところ，誤って36.00m～54.00mのコア写真を掲載してしまった。
208	277	ボーリング柱状図・コア写真	記事（破砕部）	記事169.62～169.65m，下端深度	169.63m	169.65m	A	破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

2. 個々の記載の不備の具体的内容・類型化

資料名			該当ページ（資料の右下）	正誤比較ページ（資料の右上）
平成30年11月30日 第657回 審査会合資料	本編資料	連続性評価の 具体的プロセス	31	4～5
平成29年12月22日 第536回 審査会合資料	参考資料1	薄片観察試料	参考1-334	6～7
平成30年11月30日 第657回 審査会合資料	参考資料1	連続性評価の 具体的プロセス	参考1- 13,17,21,25,29,32,33,37,40,45,49,53,57,61,65,85,88,93,97,101,105,108,112,117,129,133,137,141,148,160,165,173,177,181,185,189,193,197,205,212,213,217,221,229,237,241,245,248,256,265,277,293,296,297,301,309,313,317,321,329,333,341,349,352,353,357,365,372,373,377,381,385,389,393,397,401,405,413,420,421,429,437,441,461,517,532,533,549,556,561,581,585,620,625,680,685,697,721,728,732,737,748	8～211
	参考資料2	性状一覧表	参考2-44,45,51,52,57,70,79,88,89,92,98,102,113,118,125,127,140,146,170,171,184,185,187,192,193	212～261
	参考資料3	ボーリング柱状図・コア写真	参考3-22,78,126,284,553,569,587,683	262～277

：修正箇所
：修正箇所（追加分）

破砕帯の連続性評価について

②－2－1－1　具体的プロセスの例示（連続性評価結果）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有					D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有					D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有					D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	有	有	18L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	有	18L	-		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	有	18L	-		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	有	18L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)
N14W	14 w	70W	70 w
N12W	12 w	89W	89 w
N13W	13 w	78W	78 w
N12W~14W		70W~89W	
N1W	0 w	12-13	76W	76 w	2-13

非表示セル　非表示セル

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

破砕帯の連続性評価について

②－2－1－1　具体的プロセスの例示（連続性評価結果）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W～14W		70W～89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面	該当破砕帯なし															
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L（不明瞭）	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	② 有	③ 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	無	-	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	① 28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

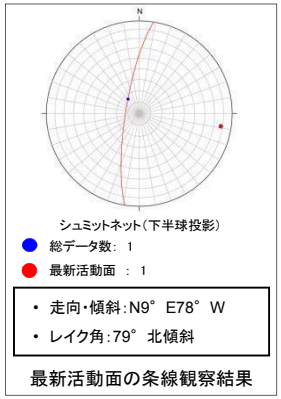
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

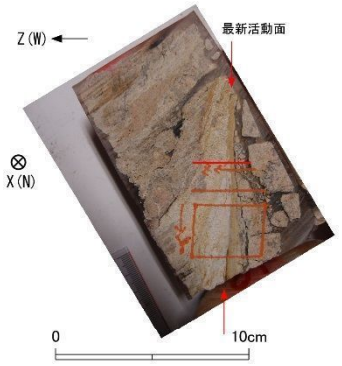
1（分類A）①
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。なお，非表示セルの計算結果（この場合誤った計算結果）の転記も誤った。
2（分類D）②
　断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
3（分類D）③
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

2.2 (3)D－6破砕帯

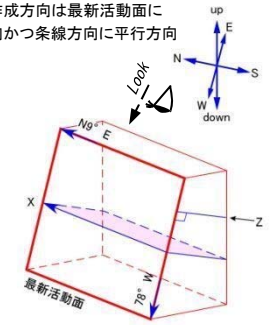
薄片試料観察結果（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その2）

H19-No.4のボーリングコア（深度171.70m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

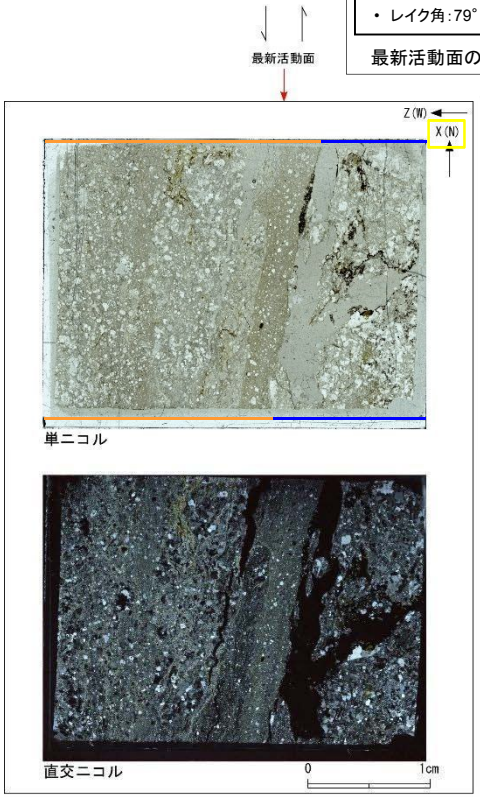


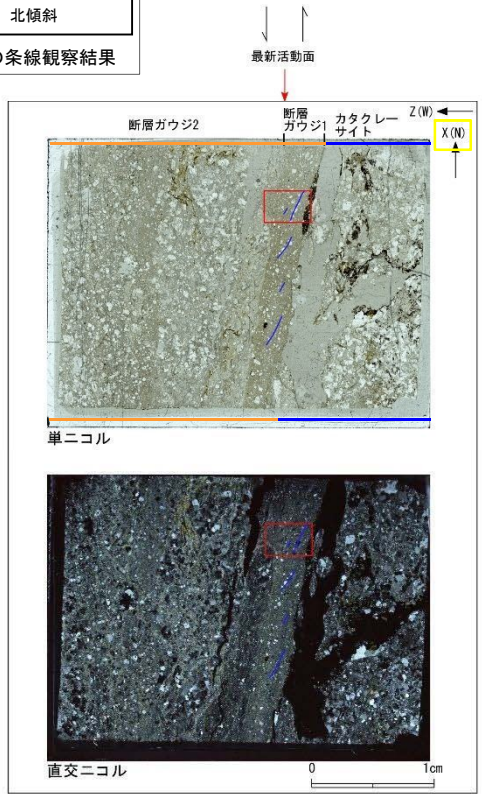


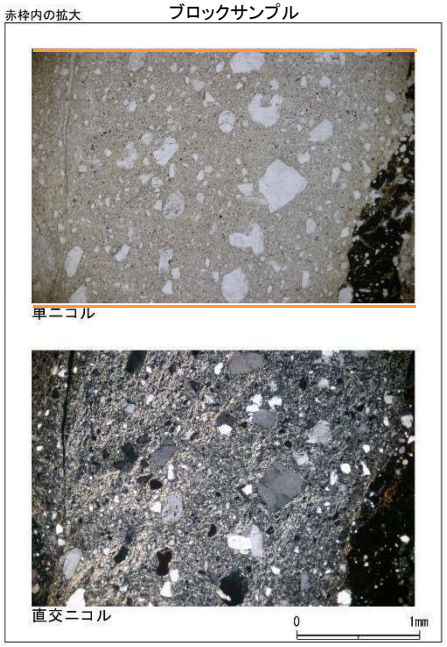
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

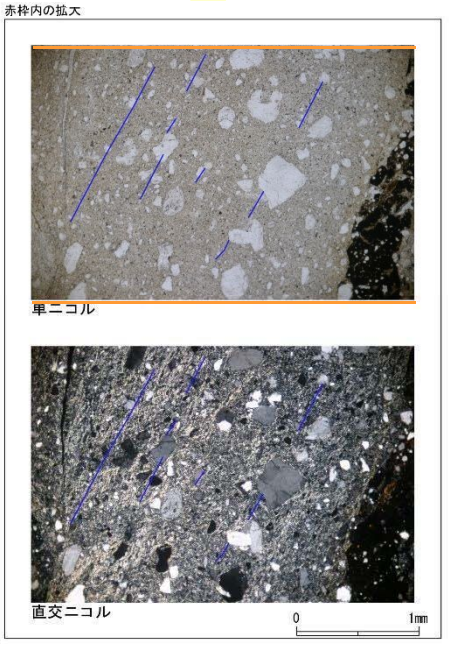


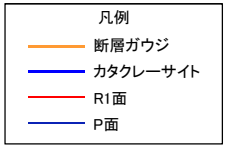
走向・傾斜 N9° E78° W
X：走向方向（北向きを正とする）
Z：断層面の法線方向（上盤側を正とする）









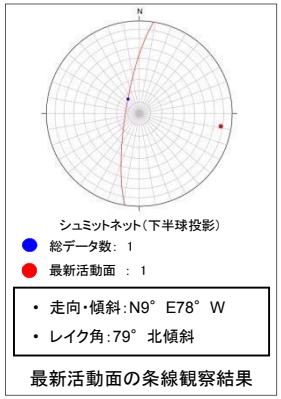


水平断面：最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

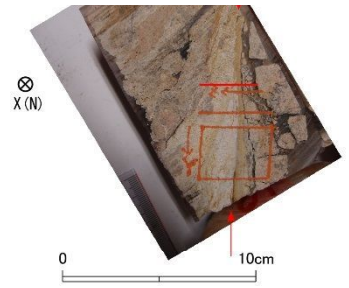
2.2 (3)D－6破砕帯

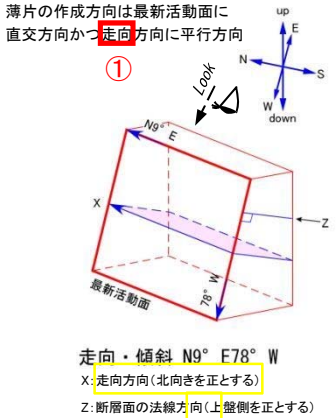
薄片試料観察結果（1号炉原子炉建屋付近）（H19-No.4孔）（その2）

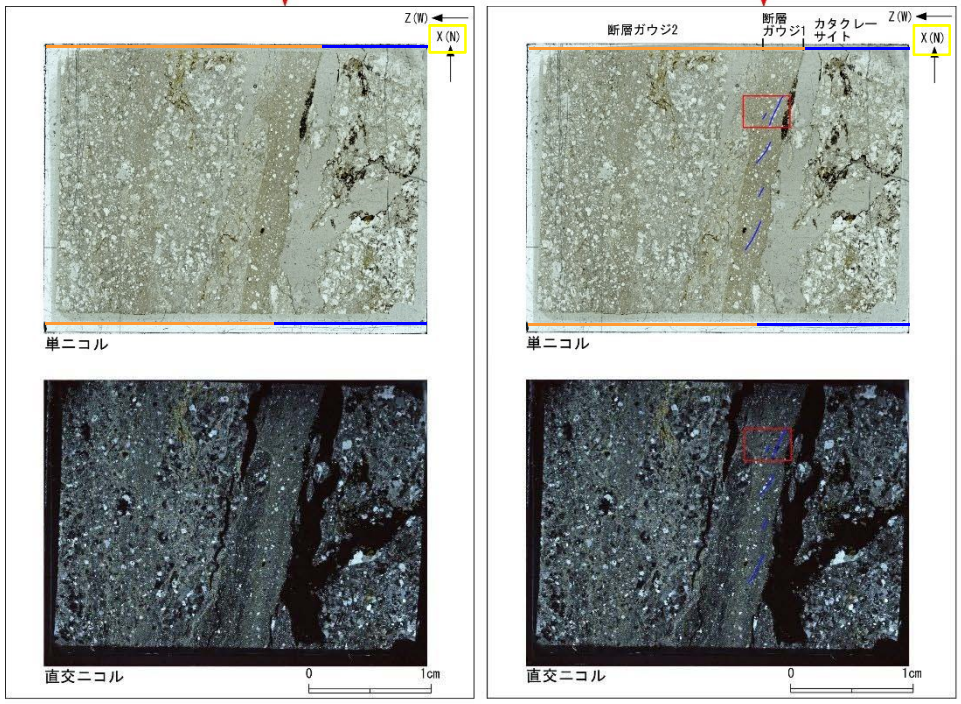
H19-No.4のボーリングコア（深度171.70m）から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは，正断層成分が卓越する。

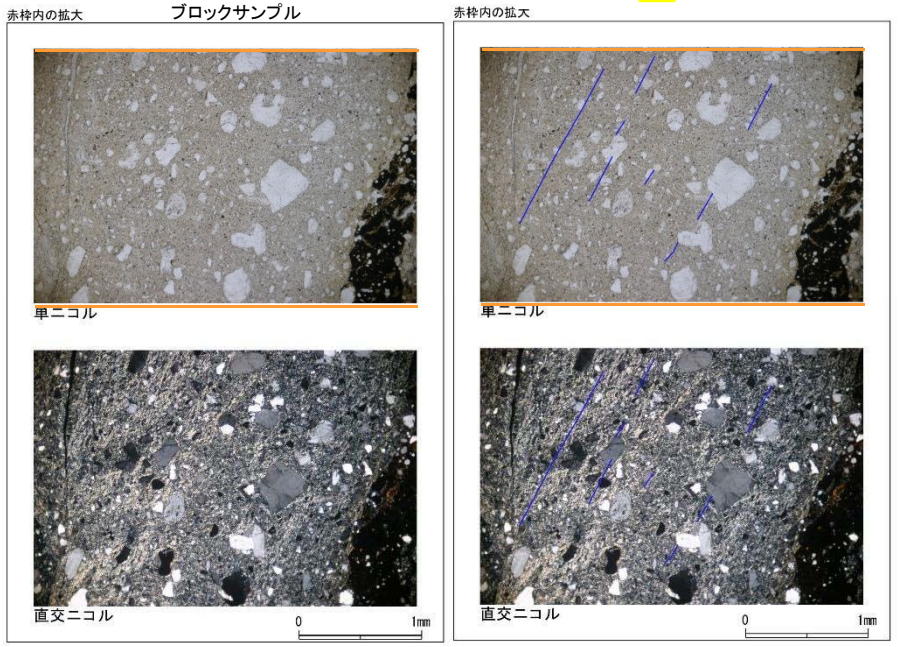


4(分類E)①
薄片作成方向を示したもの。
書式を転用した際に正しい方向への修正を失念した。









凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

水平断面：最新活動面の変位センスは，左ずれ成分が卓越する。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11.2m)		N21E		61W		有					D-1		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	20	有					D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	21	84W	23	有					D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	11	73W	12	有					f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	17	有					f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	10	77W	16	有					f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	3	83W	22	有					f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	11	79W	18	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	38	61N	58	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	20	80W	19	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	比較対象との走向の差 (°)			傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)		
	非表示セル				非表示セル		
N21E	21	e		61W	61	w	
N59E	59	e	38	61N	61	e	58

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，①）

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	①	(T.P.11.2m)		N21E		61W		有	有	68L	N		D-1		
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	20	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	21	84W	23	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	11	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	17	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	10	77W	16	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	3	83W	22	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	32	78W	17	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	53	77W	16	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	20	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	11	79W	18	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	28	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	15	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	13	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	4	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	80	73S	①12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	38	61N	0	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	20	80W	19	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

5(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-2，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有					D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有					D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有					D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面																
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	有					D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有					D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有					14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	有	無	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	12-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N14W	14	w		70W	70	w	
N12W	12	w		89W	89	w	
N13W	13	w		78W	78	w	
N12W~14W				70W~89W			
N1W	0	w	12-13	76W	76	w	2-13

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-2，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-2	-	-	①	12.38	12.97	N14W		70W		有	有	80R	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-3	-	-	③	34.23	34.52	N12W		89W		有	有	75L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-4	-	-	①	10.91	10.93	N13W		78W		有	有	80L	N		D-1	参考2-34	
H24-D1-2~D1-4	-	-	-	-	-	N12W~14W		70W~89W									
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲内	①	21.63	22.57	N25E	37-39	67W	3-22	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	49-51	88NW	1-18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	34-36	81W	3-11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	55-57	77SE	14-33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	40-42	84W	5-14	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	31-33	85W	4-15	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	19-21	74E	17-36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	37-39	85W	4-15	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	50-52	74SE	17-36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	47-49	77NW	1-12	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
		範囲内	②	38.10	38.27	N58E	70-72	88S	3-22	② 有	③ 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	50-52	85NW	4-15	無	-	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	56-58	80E	11-30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	13-15	83E	8-27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	15-17	65E	26-45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	① 28-30	84E	7-26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11-13	76W	2-13	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

6(分類A)①
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。なお，非表示セルの計算結果（この場合誤った計算結果）の転記も誤った。
7(分類D)②
　断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
8(分類D)③
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，②）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E		77W		有						参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有						参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	7	有						参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	4	有						参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	1	有						参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	0	有						参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有						参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有						参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	2	有	無	70L（不明瞭）	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	54	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

非表示セル

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
N5E	5	e		77W	77	w	
N59E	59	e	54	61N	61	e	42

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側斜面，②）

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側斜面	-	-	②	(T.P.11.2m)		N5E		77W		有	有	6L	LL		H-7	参考2-174	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	0	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
			②	45.63	45.70	N18E	13	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	14	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	3	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	① 4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	54	61N	16	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

9(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 セ	性状 走向	性状 非表示セル	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 非表示セル	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-									
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有								参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	24	有		N15E	15	E		70W	70	W		参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	31	有		N69E	69	E	54	79N	79	E	31	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有									参考2-194
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL				非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL				非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL				非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	R,RL				非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N				D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	-	-				非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N				非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	N,RL				非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL				D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL				f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	無	30R	R,RL				非モデル化	参考2-195	
		範囲内	⑯	120.63	120.65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	R,LL	×			非モデル化	参考2-195	※3
			⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL				D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	13	81E	29	有	無	20R	RL				D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-				非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N				f-b-2-20	参考2-178	
			㉑	152.10	152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL				f-b-2-21	参考2-178	
			㉒	154.53	154.71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N				f-b-2-22	参考2-178	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-				f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N				D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-				非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL				浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-				f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-				f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×			非モデル化	参考2-187	※2

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－7破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N15E		70W		-	-	-	-		H-7		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	8	78W	8	有	無	80L	N		非モデル化	参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	3	46W	①24	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	54	79N	9	有	無	10R	RL		非モデル化	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	22	52W	18	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	11	86E	24	無	-	50L	R,LL		非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	53	15NE	95	有	無	0	RL		非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	23	79W	9	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	3	77W	7	無	-	60R	R,RL		非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	7	89W	19	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	62	24E	86	無	-	-	-		非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	8	74W	4	有	無	90	N		非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	0	82W	12	有	無	60L	N,RL		非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	11	84E	26	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	20	72W	2	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	20	82W	12	有	無	30R	R,RL		非モデル化	参考2-195	
		範囲内	⑯	120.63	120.65	N34E	19	77NW	7	有	無	30L	R,LL	×	非モデル化	参考2-195	※3
			⑰	127.41	127.48	N18E	3	82E	28	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	13	81E	29	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	14	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	1	67E	43	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
			㉑	152.10	152.15	N28E	13	84E	26	有	無	30L	N,RL		f-b-2-21	参考2-178	
			㉒	154.53	154.71	N42E	27	75E	35	有	有	75R	N		f-b-2-22	参考2-178	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	57	63E	47	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	51	65E	45	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	49	72E	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	56	87NE	23	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	35	82W	12	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	2	68E	42	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※2

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

10(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	×	M	参考2-175	※4
			⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑦	76.94	77.03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	48	88S	22	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	有	無	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N10E		70W		-	-	-	-		H-3c		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	15	67W	3	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	27	88NW	18	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	12	81W	11	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	33	77SE	33	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	18	84W	14	有	無	18L	-	×	M	参考2-175	※4
			⑥	70.54	71.41	N19E	9	85W	15	無	-	40R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑦	76.94	77.03	N7E	3	74E	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	15	85W	15	無	-	60R	N,LL	×	非モデル化	参考2-192	※3
			⑨	133.38	134.77	N38E	28	74SE	36	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	25	77NW	7	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	48	88S	22	① 有	② 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	28	85NW	15	無	-	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	34	80E	30	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	9	83E	27	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	7	65E	45	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	6	84E	26	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	11	76W	6	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

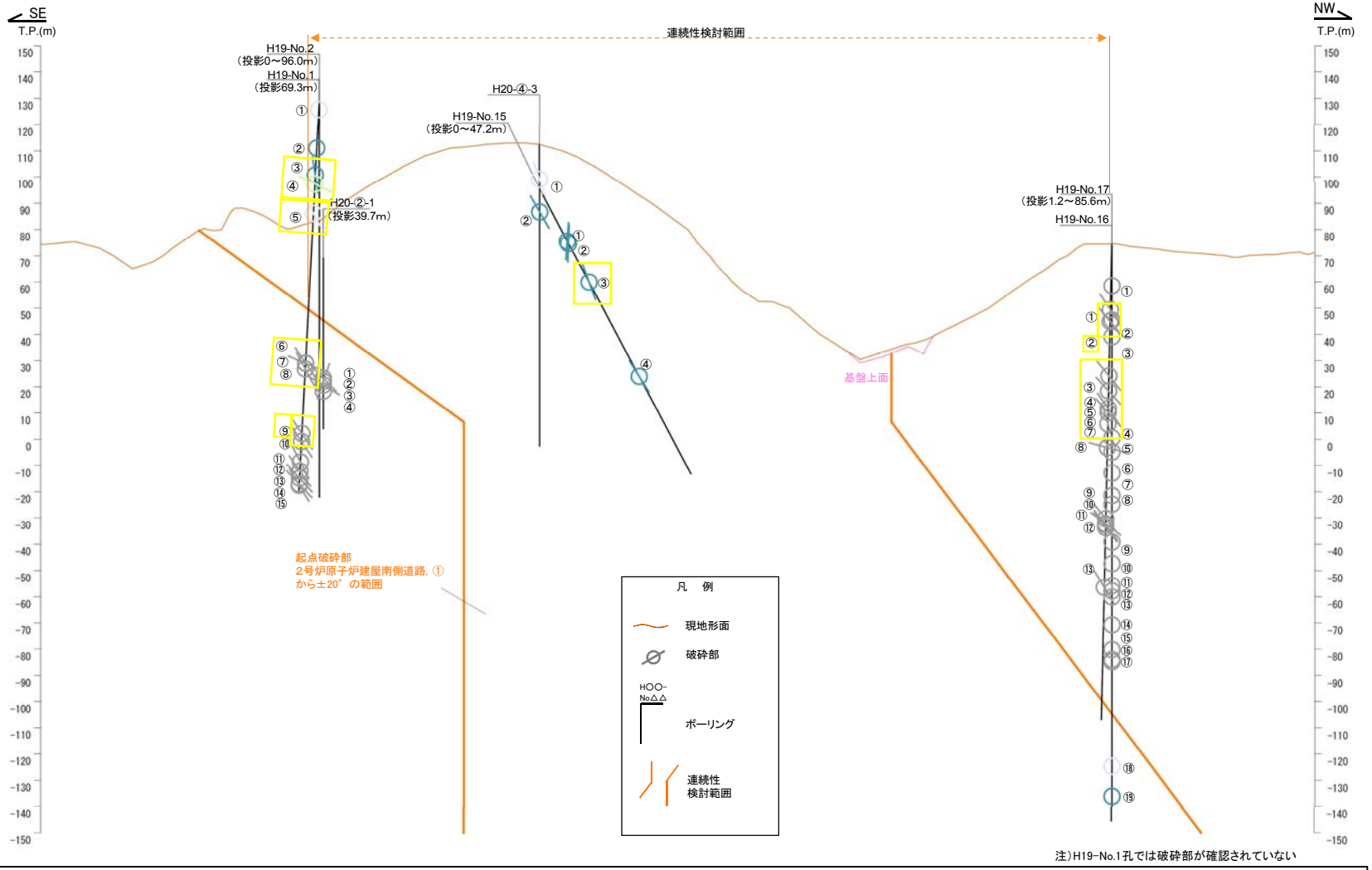
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

11（分類D）①
断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
12（分類D）②
明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

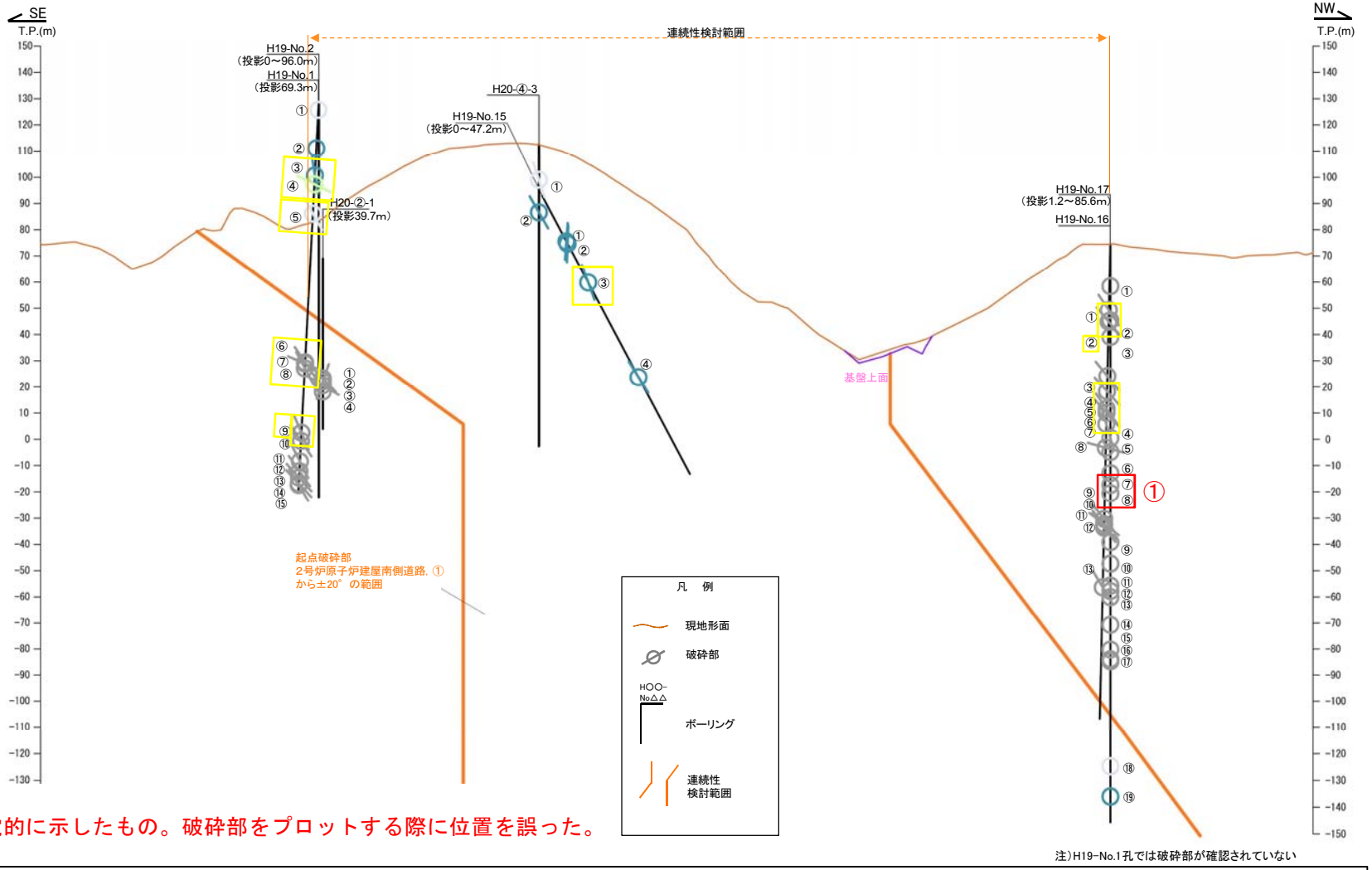


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後



注）H19-No.1孔では破砕部が確認されていない

13（分類B）①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

破砕部着色凡例

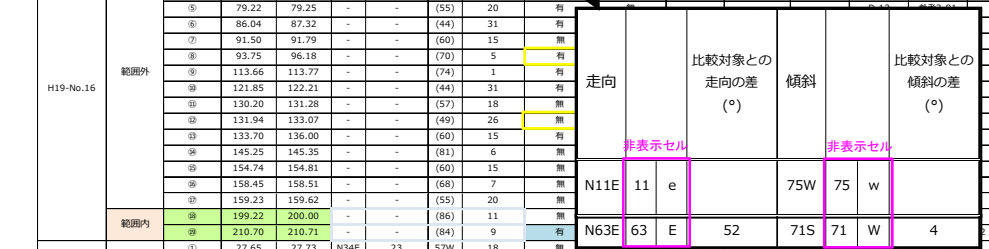
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	①	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有							
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有							
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無							
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	有							
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有							
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有							
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無							
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	無							
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有							
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無							
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無							
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無							
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無							
		範囲内	⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無							
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有							
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無							
			②	32.54	32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	30	36W	39	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	19	67W	8	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	有	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※2
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	49	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	3	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	5	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	12	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	11	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	4	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5E	6	76W	1	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	×	f-④-3-1	参考2-143	※2

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値



：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及び性状断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及び性状断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，①）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	①	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	12	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	34	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	20	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	31	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	5	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	18	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	26	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	7	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	20	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
		範囲内	⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	9	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※2
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	23	57W	18	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	24	51W	24	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	28	52W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	17	50W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	1	62W	13	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	7	53W	22	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	3	77W	2	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	30	36W	39	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	19	67W	8	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	22	57W	18	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	0	59W	16	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	3	57W	18	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	1	65W	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※2
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	7	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	49	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	11	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	3	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	5	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	9	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	11	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	9	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	12	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	11	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	14	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
			①	45.13	46.34	N3W	14	60W	15	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	34	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	4	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	10	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5E	6	76W	1	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	12	64W	11	有	無	50L	N,RL	×	f-④-3-1	参考2-143	※2

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

14(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 走向	性状 非表示セル	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 非表示セル	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-							6c		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	N30E	30 e		80W	80 w		非モデル化	参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	12	46W	34	有							非モデル化	参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	39	79N	21	有	N69E	69 E	39	79N	79 E	21	非モデル化	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無		70R	N			非モデル化	参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-		50L	R,LL			非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無		0	RL			非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無		0	LL			非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-		60R	R,RL			非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有		90	N			D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-		-	-			非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無		90	N			非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無		60L	N,RL			非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無		30L	N,RL			D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有		25L	N,RL			f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無		30R	R,RL			非モデル化	参考2-195	
			⑯	120.63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無		30L	R,LL			非モデル化	参考2-195	
			⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-		20L	RL			D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無		20R	RL			D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無		-	-			非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有		85L	N			f-b-2-20	参考2-178	
		範囲内	㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無		30L	N,RL		×	f-b-2-21	参考2-178	※3
			㉒	154.53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有		75R	N		×	f-b-2-22	参考2-178	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有		22L (不明瞭)	-			f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有		69L (不明瞭)	N			D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無		-	-			非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有		-	R,LL			浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有		4L	-			f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有		-	-			f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無		-	-		×	非モデル化	参考2-187	※1

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－6c破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	(T.P.-15m)		N30E		80W		-	-	-	-		H-6c		
-	H27-B-2	範囲外	①	31.15	31.66	N7E	23	78W	2	有	無	80L	N		非モデル化	参考2-194	
			②	34.37	34.48	N18E	12	46W	①34	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			③	35.36	35.46	N69E	39	79N	1	有	無	10R	RL		非モデル化	参考2-194	
			④	35.68	35.73	N7W	37	52W	28	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-194	
			⑤	35.92	35.95	N4E	26	86E	14	無	-	50L	R,LL		非モデル化	参考2-194	
			⑥	48.08	48.12	N38W	68	15NE	85	有	無	0	RL		非モデル化	参考2-194	
			⑦	54.72	54.77	N8W	38	79W	1	有	無	0	LL		非モデル化	参考2-194	
			⑧	60.26	60.69	N18E	12	77W	3	無	-	60R	R,RL		非モデル化	参考2-194	
			⑨	61.29	61.69	N8E	22	89W	9	有	有	90	N		D-1	参考2-34	
			⑩	63.75	63.85	N47W	77	24E	76	無	-	-	-		非モデル化	参考2-194	
			⑪	68.02	68.06	N23E	7	74W	6	有	無	90	N		非モデル化	参考2-195	
			⑫	85.58	85.76	N15E	15	82W	2	有	無	60L	N,RL		非モデル化	参考2-195	
			⑬	88.38	88.43	N26E	4	84E	16	有	無	30L	N,RL		D-41	参考2-117	
			⑭	88.88	88.94	N35E	5	72W	8	有	有	25L	N,RL		f-b-2-14	参考2-178	
			⑮	91.69	91.76	N5W	35	82W	2	有	無	30R	R,RL		非モデル化	参考2-195	
			⑯	120.63	120.65	N34E	4	77NW	3	有	無	30L	R,LL		非モデル化	参考2-195	
			⑰	127.41	127.48	N18E	12	82E	18	無	-	20L	RL		D-42	参考2-118	
			⑱	128.82	128.97	N28E	2	81E	19	有	無	20R	RL		D-44	参考2-119	
			⑲	133.75	133.92	N1E	29	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-195	
			⑳	134.15	134.23	N16E	14	67E	33	有	有	85L	N		f-b-2-20	参考2-178	
		範囲内	㉑	152.10	152.15	N28E	2	84E	16	有	無	30L	N,RL	×	f-b-2-21	参考2-178	※3
			㉒	154.53	154.71	N42E	12	75E	25	有	有	75R	N	×	f-b-2-22	参考2-178	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	72	63E	37	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	66	65E	35	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	64	72E	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	71	87NE	13	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	50	82W	2	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲内	⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	32	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑B坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

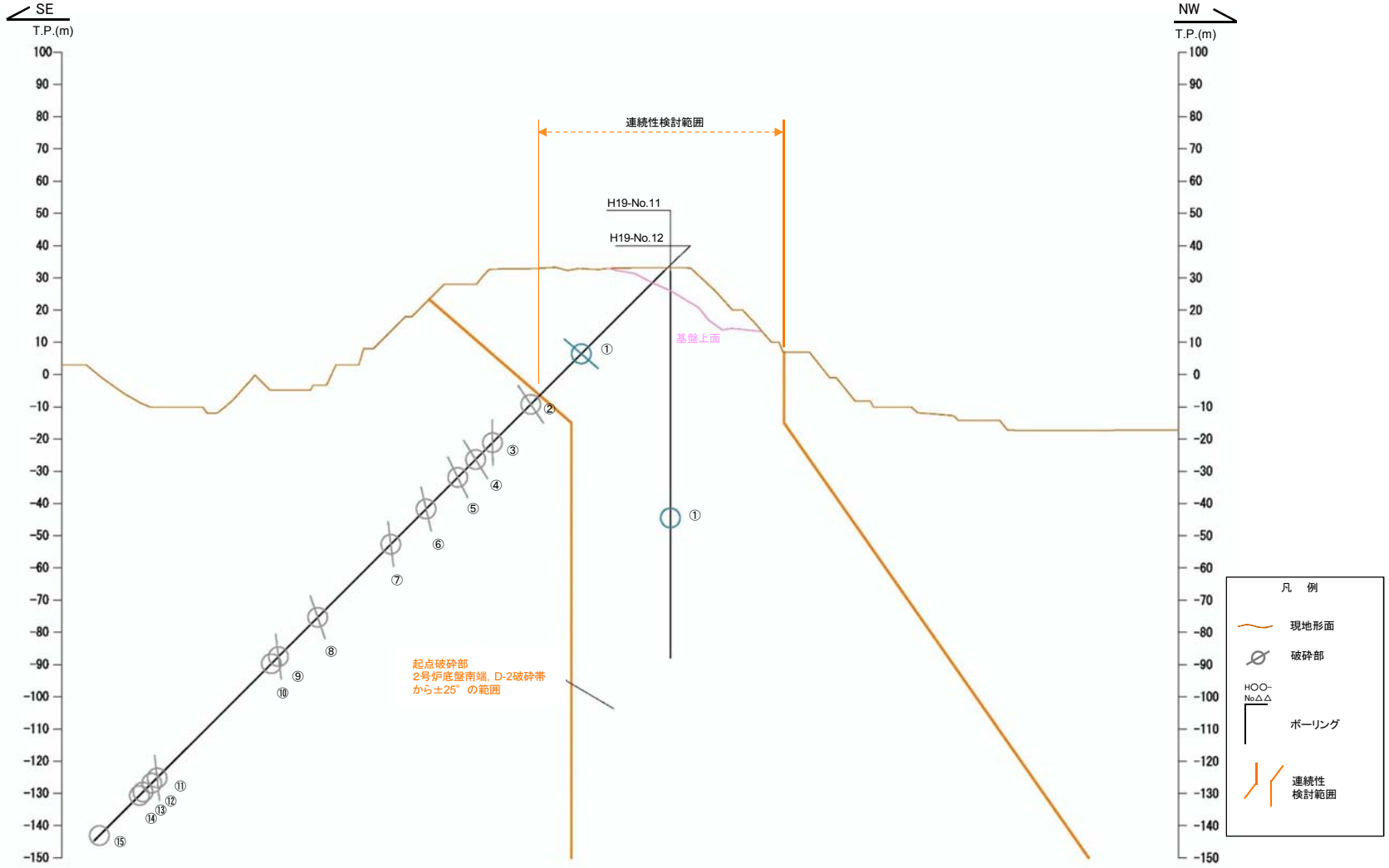
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

15(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）

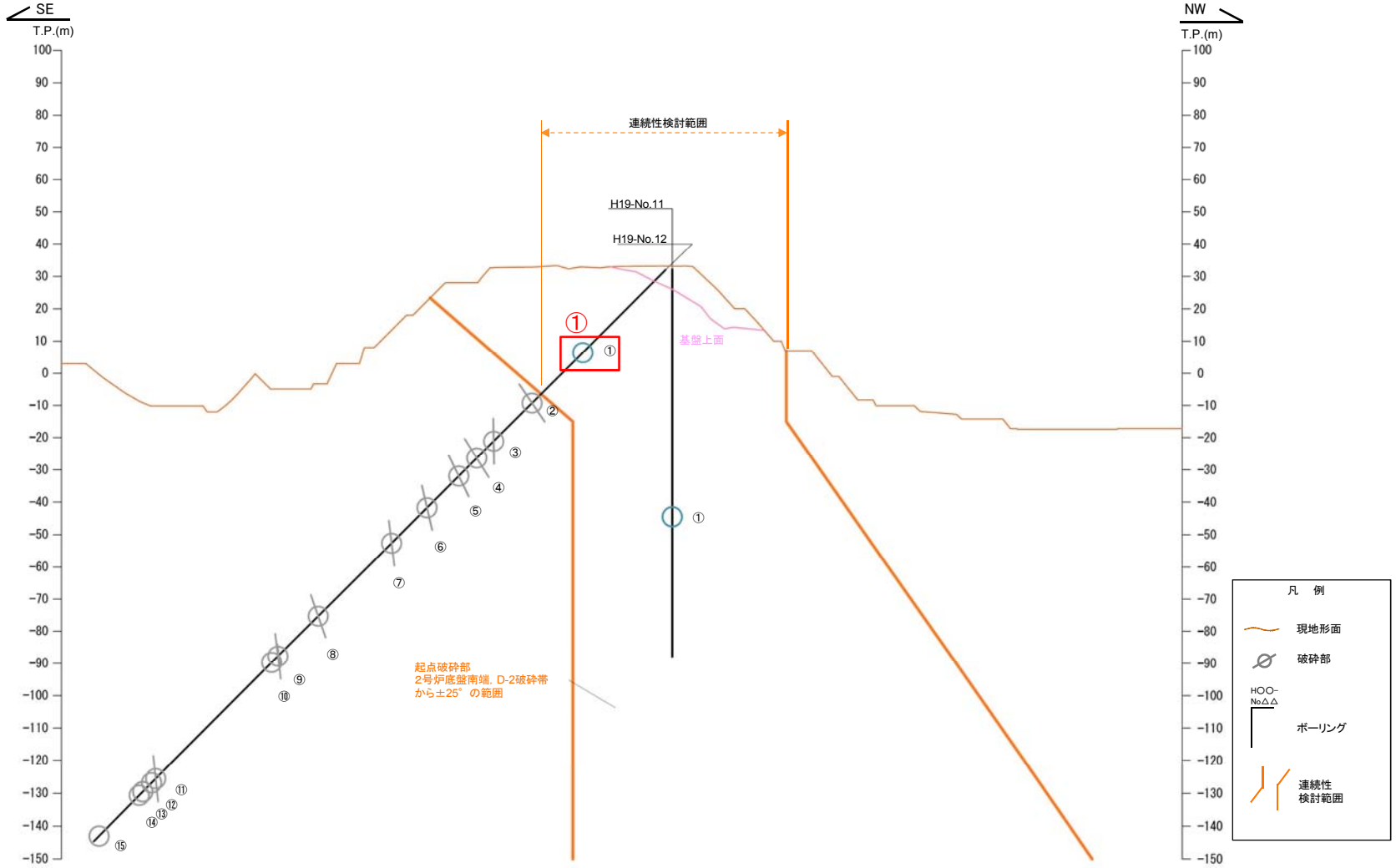


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－2破砕帯）



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

16（分類A）①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面に反映していなかった。

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-5，②）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL		H-3d	参考2-169	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	有	無	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H24-D1-5，②）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-D1-5	-	-	②	10.19	10.21	N12E		78W		有	有	20L	LL		H-3d	参考2-169	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	13	67W	11	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	25	88NW	10	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	10	81W	3	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	31	77SE	25	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	16	84W	6	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	7	85W	7	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	5	74E	28	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	13	85W	7	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	26	74SE	28	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	23	77NW	1	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	46	88S	14	① 有	② 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	26	85NW	7	無	-	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	32	80E	22	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	19	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
			⑥	101.47	101.52	N3E	9	65E	37	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	4	84E	18	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	13	76W	2	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

17（分類D）①
　断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
18（分類D）②
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-							
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無						参2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有						参2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	35	82W	2	有						参2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	50	26W	54	有						参2-184	
		範囲内	⑤	61.25	61.30	N7E	17	68W	12	無						参2-131	※1
			⑥	146.29	146.32	N7E	17	64W	16	有						参2-125	※1
			⑦	147.04	147.48	N31W	21	70W	10	有						参2-101	※1
			⑧	149.71	149.84	N1E	11	72W	8	有						参2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	31	70W	10	有						参2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	12	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※4
			⑪	202.81	202.85	N32E	42	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	10	66W	14	有	有	60L	-	○	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	4	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-	×	f-2-10	参考2-125	※4
			⑭	215.42	215.46	N9W	1	64W	16	有	無	74L	-	×	f-2-11	参考2-126	※4
			⑮	216.15	216.24	N26E	36	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	42	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-	○	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	27	77W	3	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	47	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	6	70W	10	有	有	50L	-	○	D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	45	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	13	79W	1	有	有	2L	-	×	f-2-11	参考2-126	※4
			④	24.12	24.41	N7W	3	73W	7	無	-	-	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑤	34.24	34.38	N12E	22	73W	7	無	-	-	-	×	f-2-12	参考2-126	※4
			⑥	46.13	46.38	N29E	39	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	0	89W	9	有	無	80L	-	×	D-4	参考2-89	※3
			⑧	60.32	60.36	N71W	61	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			⑩	107.54	109.94	N16E	26	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	25	87W	7	有	無	21L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	171.69	174.88	N9E	19	78W	2	有	有	79L	N	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	175.27	175.28	N29W	19	78W	2	有	無	22R	-	×	f-4-9	参考2-127	※4
			⑭	175.64	175.65	N14E	24	76W	4	有	有	64R	-	×	f-4-10	参考2-127	※4
			⑮	207.69	207.72	N13E	23	83W	3	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
			⑯	218.73	218.74	N20E	30	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	18	88W	8	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	※4
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	7	60W	20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	73	71S	9	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	42	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
N10W	10	W	-	80W	80	W	-
N63E	63	E	73	71S	71	W	9

非表示セル　非表示セル

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。
（　）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	35	82W	2	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	50	26W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑤	61.25	61.30	N7E	17	68W	12	無	-	43L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			⑥	146.29	146.32	N7E	17	64W	16	有	無	35R	-	×	f-2-3	参考2-125	※1
			⑦	147.04	147.48	N31W	21	70W	10	有	無	76R	-	×	D-20	参考2-101	※1
			⑧	149.71	149.84	N1E	11	72W	8	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	31	70W	10	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	12	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※4
			⑪	202.81	202.85	N32E	42	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	10	66W	14	有	有	60L	-	○	D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	4	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-	×	f-2-10	参考2-125	※4
			⑭	215.42	215.46	N9W	1	64W	16	有	無	74L	-	×	f-2-11	参考2-126	※4
			⑮	216.15	216.24	N26E	36	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	42	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-	○	D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	27	77W	3	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	47	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	6	70W	10	有	有	50L	-	○	D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	45	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	13	79W	1	有	有	2L	-	×	f-2-11	参考2-126	※4
			④	24.12	24.41	N7W	3	73W	7	無	-	-	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑤	34.24	34.38	N12E	22	73W	7	無	-	-	-	×	f-2-12	参考2-126	※4
			⑥	46.13	46.38	N29E	39	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	0	89W	9	有	無	80L	-	×	D-4	参考2-89	※3
			⑧	60.32	60.36	N71W	61	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			⑩	107.54	109.94	N16E	26	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	25	87W	7	有	無	21L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	171.69	174.88	N9E	19	78W	2	有	有	79L	N	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	175.27	175.28	N29W	19	78W	2	有	無	22R	-	×	f-4-9	参考2-127	※4
			⑭	175.64	175.65	N14E	24	76W	4	有	有	64R	-	×	f-4-10	参考2-127	※4
			⑮	207.69	207.72	N13E	23	83W	3	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
			⑯	218.73	218.74	N20E	30	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	18	88W	8	無	-	20R	-	×	f-6-2	参考2-127	※4
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	7	60W	① 20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	73	71S	29	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	42	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。
（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

19(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-							
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有						参考2-86	
			①	36.35	36.58	-	-	-	-	有						参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有						参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無					3	参考2-130	※4
			④	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無					3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無					4	参考2-129	※4
			⑥	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有						参考2-89	※4
			⑦	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有						参考2-129	
	H19-No.12		⑧	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	※4
			⑪	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	×	D-43	参考2-118	※3
			②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	43	60S	20	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	71	65S	14	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	7	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
非表示セル				非表示セル			
N10W	10	W	-	80W	80	W	-
N81W	81	W	71	65S	66	w	14

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。
注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。
（　）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤南端，D－3破砕帯）〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤南端	-	-	-	(T.P.-15m)		N10W	-	80W	-	-	-	-	-		D-3		
-	H19-No.11	範囲内	①	76.60	77.00	-	-	(74)	6	有	無	-	-	×	D-2	参考2-86	
	H19-No.12		①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-	×	D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	6	70W	10	有	有	75L	-	○	D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	22	89W	9	無	-	25L	-	×	f-13-3	参考2-130	※4
			④	82.48	82.50	N25E	35	61W	19	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	18	71W	9	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	※4
			⑥	104.12	104.22	N4W	6	83W	3	有	無	50L	N,RL	×	D-4	参考2-89	※4
			⑦	119.64	119.72	N37E	47	83W	3	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	50	71W	9	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	31	84W	4	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	※4
			⑪	222.85	222.88	N14E	24	85W	5	有	無	24L	-	×	f-12-10	参考2-130	※4
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	※3
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※3
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※3
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※4
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	23	75W	5	無	-	75L	-	×	D-43	参考2-118	※3
			②	34.37	34.70	N89W	79	58S	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	43	60S	① 20	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	71	65S	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	17	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	7	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	12	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

20(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	（T.P.-15m）		N10W		80W		-	-	-	-		D-3		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L（不明瞭）	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	有	無	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※3
			⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，D－3破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	（T.P.-15m）		N10W		80W		-	-	-	-		D-3		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	35	67W	13	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	47	88NW	8	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	32	81W	1	有	無	60L（不明瞭）	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	53	77SE	23	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
		範囲内	⑤	61.09	61.22	N28E	38	84W	4	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	29	85W	5	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	17	74E	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	35	85W	5	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	48	74SE	26	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	45	77NW	3	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	68	88S	12	① 有	② 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	48	85NW	5	無	-	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	54	80E	20	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	11	83E	17	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※3
			⑥	101.47	101.52	N3E	13	65E	35	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	26	84E	16	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	9	76W	4	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑C坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

21（分類D）①
　断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
22（分類D）②
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	有	無	40R	R,RL	×	非モデル化	参考2-192	※1
			④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※1
			⑥	101.47	101.52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	×	D-41	参考2-117	※1
			⑧	109.16	109.46	N1W	16	76W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：2号炉底盤北端，H－3e破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉底盤北端	-	-	-	-	-	N15E		75W		-	-	-	-		H-3e		
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	10	67W	8	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	22	88NW	13	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	7	81W	6	有	無	60L（不明瞭）	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	28	77SE	28	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	13	84W	9	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	4	85W	10	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑦	76.94	77.03	N7E	8	74E	31	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	10	85W	10	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑨	133.38	134.77	N38E	23	74SE	31	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2		①	28.50	28.66	N35E	20	77NW	2	有	有	50R	N,LL	×	f-b14-2-1	参考2-159	※1
			②	38.10	38.27	N58E	43	88S	17	① 有	② 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	23	85NW	10	無	-	40R	R,RL	×	非モデル化	参考2-192	※1
			④	49.24	49.55	N44E	29	80E	25	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	14	83E	22	無	-	72R	-	×	D-42	参考2-118	※1
			⑥	101.47	101.52	N3E	12	65E	40	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	1	84E	21	無	-	12L	-	×	D-41	参考2-117	※1
			⑧	109.16	109.46	N1W	16	76W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

注）起点の走向は，2号炉底盤における分布のトレンドを示す。

注）起点の傾斜は，敦賀発電所原子炉設置許可申請書（2号炉）に記載の試掘坑A坑での値を示す。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±25°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±25°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

23（分類D）①
　断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
24（分類D）②
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H27-B-3，④）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-B-3	-	-	④	42.85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	25	67W	4	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	有	有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	38	85NW	14	有	無	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
		範囲内	⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス（原子炉建屋等，起点破砕部：H27-B-3，④）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-B-3	-	-	④	42.85	42.91	NS		71W		有	無	0	RL		H-2	参考2-166	
-	JAEA原子炉廃止措置研究開発センター基礎掘削面		該当破砕帯なし														
	H24-B14-1	範囲外	①	21.63	22.57	N25E	25	67W	4	有	無	2L	-		D-15	参考2-92	
			②	37.86	37.91	N37E	37	88NW	17	有	無	20R	LL		D-29	参考2-111	
			③	42.62	42.88	N22E	22	81W	10	有	無	60L (不明瞭)	N,RL		f-b14-1-2	参考2-159	
			④	43.19	43.62	N43E	43	77SE	32	有	無	83L	-		D-30	参考2-111	
			⑤	61.09	61.22	N28E	28	84W	13	有	無	18L	-		M	参考2-175	
			⑥	70.54	71.41	N19E	19	85W	14	無	-	40R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
		範囲内	⑦	76.94	77.03	N7E	7	74E	35	無	-	-	-		非モデル化	参考2-192	
			⑧	82.59	83.71	N25E	25	85W	14	無	-	60R	N,LL		非モデル化	参考2-192	
			⑨	133.38	134.77	N38E	38	74SE	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-192	
	H24-B14-2	範囲外	①	28.50	28.66	N35E	35	77NW	6	有	有	50R	N,LL		f-b14-2-1	参考2-159	
			②	38.10	38.27	N58E	58	88S	21	① 有	② 有	57L	-		f-b14-2-2	参考2-159	
			③	47.37	47.40	N38E	38	85NW	14	無	-	40R	R,RL		非モデル化	参考2-192	
			④	49.24	49.55	N44E	44	80E	29	有	有	75L	N		D-44	参考2-119	
			⑤	60.85	61.12	N1E	1	83E	26	無	-	72R	-		D-42	参考2-118	
		範囲内	⑥	101.47	101.52	N3E	3	65E	44	無	-	20R	-		f-b14-2-6	参考2-159	
			⑦	105.54	105.61	N16E	16	84E	25	無	-	12L	-		D-41	参考2-117	
			⑧	109.16	109.46	N1W	1	76W	5	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-34	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

25（分類D）①
　断層ガウジ・断層角礫の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。
26（分類D）②
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス（原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等：起点破砕部リスト）

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	H-3a既往露頭	-	H-3a	参考1-87
2	H27-Br-1	③	f-br-1-3	参考1-91
3	H20-④-1	②	D-20	参考1-95
4	H27-Br-8	②	非モデル化	参考1-99
5	H27-Br-1	④	f-br-1-4	参考1-103
6	H19-No.2	④	非モデル化	参考1-107
7	H20-④-5	①	D-20	参考1-111
8	H19-No.14	③	D-20	参考1-115
9	H19-No.2	⑫	D-3	参考1-119
10	H19-No.7	①	D-24	参考1-123
11	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯	-	H-3a	参考1-127
12	H20-②-1	①	f-②-1-1	参考1-131
13	H19-No.14	⑤	D-1	参考1-135
14	H27-Br-4	①	非モデル化	参考1-139
15	H27-Br-6	①	f-br-6-1	参考1-143
16	H20-④-7	①	f-④-7-1	参考1-147
17	H27-Br-2	①	D-7	参考1-151
18	H27-D5-1	①	D-4	参考1-155
19	H20-④-6	②	f-④-6-2	参考1-159
20	H19-No.4	④	f-12-4	参考1-163
21	H20-①-9	①	D-4	参考1-167
22	H20-④-5	③	f-④-9-1	参考1-171
23	H20-②-1	③	f-②-1-3	参考1-175
24	H20-④-1	⑤	f-④-1-4	参考1-179
25	H20-①-8	①	D-4	参考1-183
26	H19-No.4	⑥	f-4-3	参考1-187
27	H19-No.14	④	f-④-5-3	参考1-191
28	H20-④-1	⑥	D-21	参考1-195
29	H27-Br-3	①	非モデル化	参考1-199
30	H20-①-5	②	非モデル化	参考1-203
31	H27-Br-5	①	f-br-5-1	参考1-207
32	H20-④-1	①	f-④-2-1	参考1-211
33	H20-④-5	④	f-④-5-3	参考1-215
34	H27-Br-12	③	f-br-12-3	参考1-219
35	H20-①-10	②	f-①-10-2	参考1-223
36	H20-①-6	②	非モデル化	参考1-227
37	H20-①-10	①	D-4	参考1-231
38	H20-④-5	②	D-21	参考1-235
39	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯	-	H-3b	参考1-239
40	H20-③-1	③	D-2	参考1-243
41	H20-④-2	①	f-④-2-1	参考1-247
42	H27-Br-8	①	D-7	参考1-251
43	H20-④-6	①	f-④-6-1	参考1-255
44	H27-D5-1	⑤	D-46	参考1-259
45	H19-No.14	②	f-14-2	参考1-263

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
46	H27-Br-12	①	f-br-12-1	参考1-267
47	H27-Br-12	②	f-br-12-2	参考1-271
48	H19-No.15	①	f-15-1	参考1-275
49	H27-Br-1	②	f-br-1-2	参考1-279
50	H27-Br-9	②	非モデル化	参考1-283
51	H19-No.15	②	f-15-2	参考1-287
52	H19-No.4	②	f-2-10	参考1-291
53	H19-No.4	⑤	f-2-12	参考1-295
54	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯	-	H-3c	参考1-299
55	H19-No.2	⑨	D-2	参考1-303
56	H19-No.2	⑭	f-2-11	参考1-307
57	H19-No.2	⑮	f-2-12	参考1-311
58	H19-No.3	④	f-2-12	参考1-315
59	H19-No.4	③	f-2-11	参考1-319
60	H20-①-5	①	D-43	参考1-323
61	H19-No.2	⑬	f-2-10	参考1-327
62	H27-D5-1	②	D-45	参考1-331
63	H27-D5-1	④	f-d5-1-4	参考1-335
64	H19-No.2	③	f-15-1	参考1-339
65	H19-No.2	⑪	f-2-8	参考1-343
66	H20-①-10	③	D-45	参考1-347
67	H20-②-1	②	f-②-1-2	参考1-351
68	H20-④-1	④	f-④-1-3	参考1-355
69	H27-Br-9	①	非モデル化	参考1-359
70	H19-No.2	⑥	f-2-3	参考1-363
71	H19-No.2	⑩	f-2-7	参考1-367
72	H20-④-6	③	f-④-6-3	参考1-371
73	H27-Br-1	⑤	f-br-1-5	参考1-375
74	H20-④-1	③	f-④-1-2	参考1-379
75	H20-④-3	②	f-④-3-1	参考1-383
76	H20-④-6	④	f-④-6-4	参考1-387
77	H19-No.3	①	f-2-8	参考1-391
78	H19-No.4	⑧	f-4-5	参考1-395
79	H20-③-1	②	f-③-1-2	参考1-399
80	H19-No.14	⑥	f-14-5	参考1-403
81	H19-No.15	④	f-15-3	参考1-407
82	H19-No.3	③	f-2-10	参考1-411
83	H20-①-6	①	D-43	参考1-415
84	H20-④-3	①	f-15-3	参考1-419
85	H20-①-10	⑤	D-46	参考1-423
86	H19-No.14	①	f-14-1	参考1-427
87	H19-No.15	③	f-④-3-1	参考1-431
88	H20-③-1	①	f-③-1-1	参考1-435

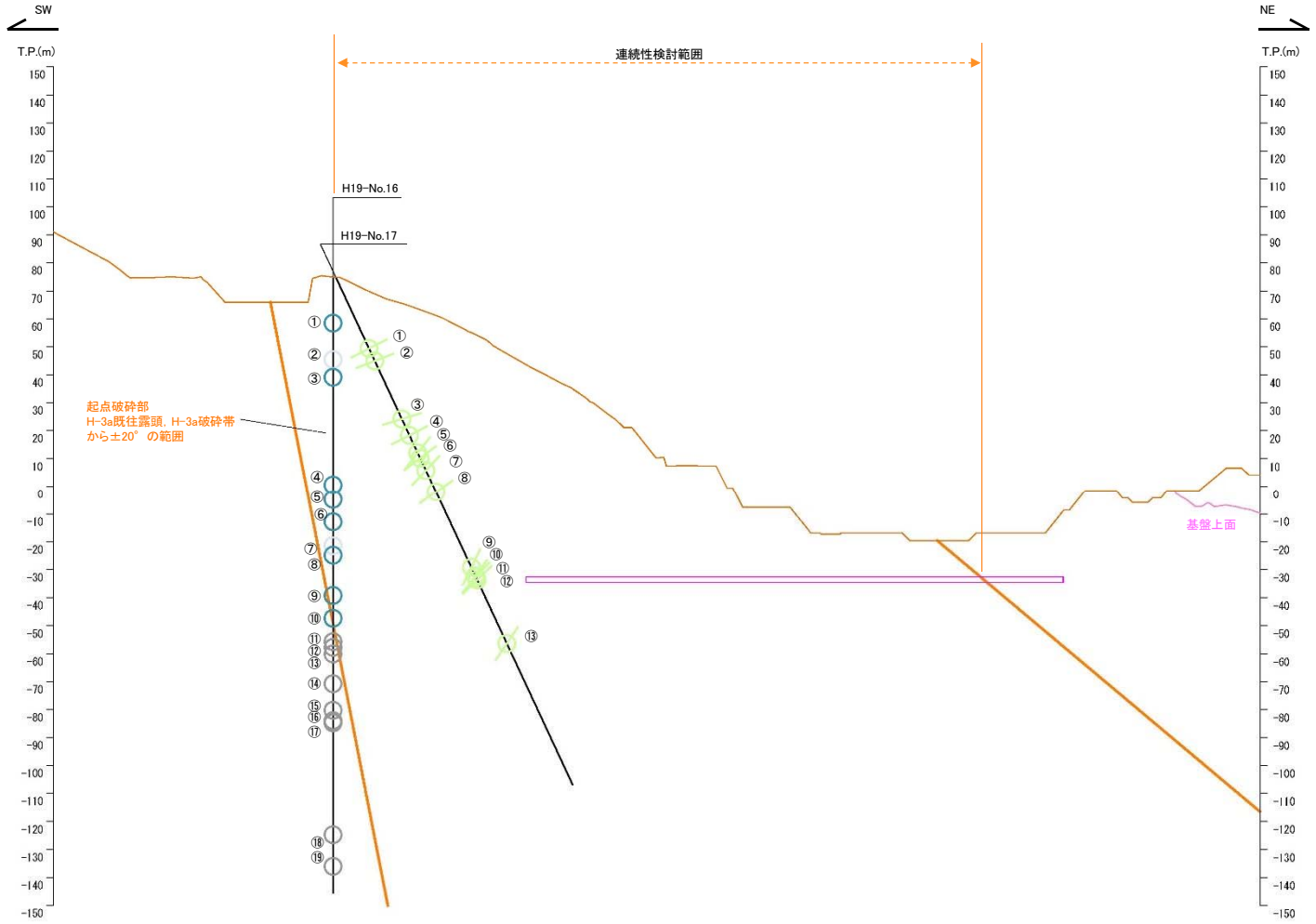
連続性評価の具体的プロセス（原子炉補機冷却海水取水路，貯留堰等：起点破砕部リスト）

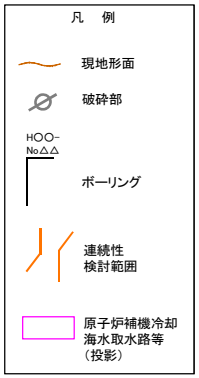
No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	H-3a既往露頭	-	H-3a	参考1-87
2	H27-Br-1	③	f-br-1-3	参考1-91
3	H20-④-1	②	D-20	参考1-95
4	H27-Br-8	②	非モデル化	参考1-99
5	H27-Br-1	④	f-br-1-4	参考1-103
6	H19-No.2	④	非モデル化	参考1-107
7	H20-④-5	①	D-20	参考1-111
8	H19-No.14	③	D-20	参考1-115
9	H19-No.2	⑫	D-3	参考1-119
10	H19-No.7	①	D-24	参考1-123
11	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯	-	H-3a	参考1-127
12	H20-②-1	①	f-②-1-1	参考1-131
13	H19-No.14	⑤	D-1	参考1-135
14	H27-Br-6	①	f-br-6-1	参考1-143
15	H20-④-7	①	f-④-7-1	参考1-147
16	H27-Br-2	①	D-7	参考1-151
17	H27-D5-1	①	D-4	参考1-155
18	H20-④-6	②	f-④-6-2	参考1-159
19	H19-No.4	④	f-12-4	参考1-163
20	H20-①-9	①	D-4	参考1-167
21	H20-④-5	③	f-④-9-1	参考1-171
22	H20-②-1	③	f-②-1-3	参考1-175
23	H20-④-1	⑤	f-④-1-4	参考1-179
24	H20-①-8	①	D-4	参考1-183
25	H19-No.4	⑥	f-4-3	参考1-187
26	H19-No.14	④	f-④-5-3	参考1-191
27	H20-④-1	⑥	D-21	参考1-195
28	H27-Br-3	①	非モデル化	参考1-199
29	H20-①-5	②	非モデル化	参考1-203
30	H27-Br-5	①	f-br-5-1	参考1-207
31	H20-④-1	①	f-④-2-1	参考1-211
32	H20-④-5	④	f-④-5-3	参考1-215
33	H27-Br-12	③	f-br-12-3	参考1-219
34	H20-①-10	②	f-①-10-2	参考1-223
35	H20-①-6	②	非モデル化	参考1-227
① 36	H27-Br-4	①	非モデル化	参考1-139
37	H20-①-10	①	D-4	参考1-231
38	H20-④-5	②	D-21	参考1-235
39	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯	-	H-3b	参考1-239
40	H20-③-1	③	D-2	参考1-243
41	H20-④-2	①	f-④-2-1	参考1-247
42	H27-Br-8	①	D-7	参考1-251
43	H20-④-6	①	f-④-6-1	参考1-255

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
46	H27-Br-12	①	f-br-12-1	参考1-267
47	H27-Br-12	②	f-br-12-2	参考1-271
48	H19-No.15	①	f-15-1	参考1-275
49	H27-Br-1	②	f-br-1-2	参考1-279
50	H27-Br-9	②	非モデル化	参考1-283
51	H19-No.15	②	f-15-2	参考1-287
52	H19-No.4	②	f-2-10	参考1-291
53	H19-No.4	⑤	f-2-12	参考1-295
54	2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯	-	H-3c	参考1-299
55	H19-No.2	⑨	D-2	参考1-303
56	H19-No.2	⑭	f-2-11	参考1-307
57	H19-No.2	⑮	f-2-12	参考1-311
58	H19-No.3	④	f-2-12	参考1-315
59	H19-No.4	③	f-2-11	参考1-319
60	H20-①-5	①	D-43	参考1-323
61	H19-No.2	⑬	f-2-10	参考1-327
62	H27-D5-1	②	D-45	参考1-331
63	H27-D5-1	④	f-d5-1-4	参考1-335
64	H19-No.2	③	f-15-1	参考1-339
65	H20-①-10	③	D-45	参考1-347
66	H20-②-1	②	f-②-1-2	参考1-351
67	H20-④-1	④	f-④-1-3	参考1-355
68	H27-Br-9	①	非モデル化	参考1-359
69	H19-No.2	⑥	f-2-3	参考1-363
70	H19-No.2	⑩	f-2-7	参考1-367
71	H20-④-6	③	f-④-6-3	参考1-371
① 72	H19-No.2	⑪	f-2-8	参考1-343
73	H27-Br-1	⑤	f-br-1-5	参考1-375
74	H20-④-1	③	f-④-1-2	参考1-379
75	H20-④-3	②	f-④-3-1	参考1-383
76	H20-④-6	④	f-④-6-4	参考1-387
77	H19-No.3	①	f-2-8	参考1-391
78	H19-No.4	⑧	f-4-5	参考1-395
79	H20-③-1	②	f-③-1-2	参考1-399
80	H19-No.14	⑥	f-14-5	参考1-403
81	H19-No.15	④	f-15-3	参考1-407
82	H19-No.3	③	f-2-10	参考1-411
83	H20-①-6	①	D-43	参考1-415
84	H20-④-3	①	f-15-3	参考1-419
85	H20-①-10	⑤	D-46	参考1-423
86	H19-No.14	①	f-14-1	参考1-427
87	H19-No.15	③	f-④-3-1	参考1-431
88	H20-③-1	①	f-③-1-1	参考1-435

27，28（分類D）①
起点破砕部を破砕幅の大きい順に表にしたもの。破砕幅の修正に伴い検討の順番が変わった。

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H-3a既往露頭，H-3a破砕帯）



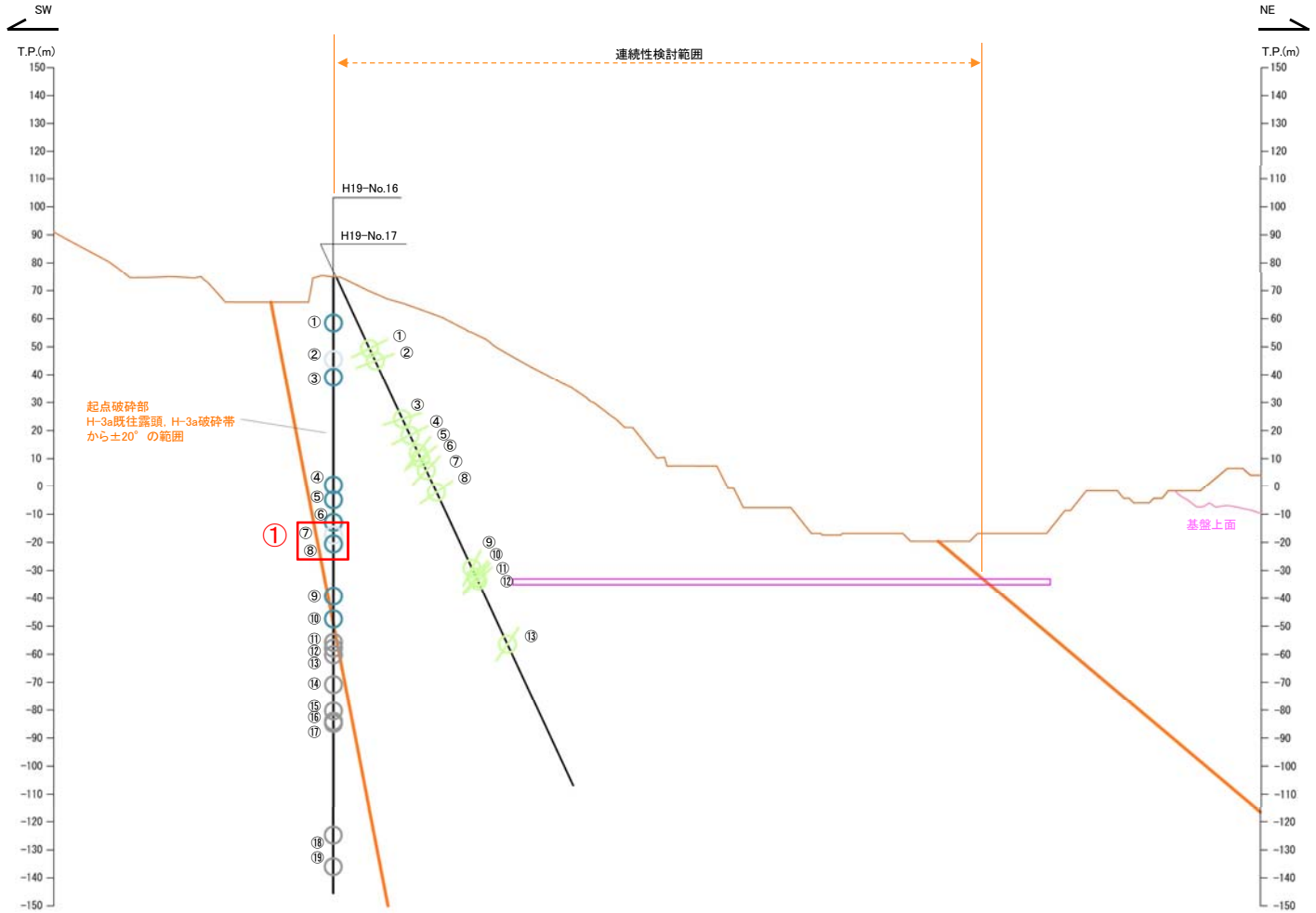


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H-3a既往露頭，H-3a破砕帯)



凡　例
- 現地形面
- 破砕部
- HOO-NoΔΔ　ボーリング
- 連続性検討範囲
- 原子炉補機冷却海水取水路等（投影）

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

29(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	③	67.63	70.76	N42E		64NW		有					-1-3	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	7	74W	10	有					-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	11	81W	17	有					45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	21	87W	23	有					-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35.55	N2W	44	73W	9	有					-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	4	72W	8	有					46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	6	無					非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	10	有					-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	17	72W	8	有					D-19	参考2-99	※1
			④	68.72	69.02	N36E	6	66W	2	有	無	30L	N,RL	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	20	33N	31	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	60	73W	9	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	38	80W	16	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	75	75W	11	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	49	58S	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	85	60S	4	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	57	65S	2	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	43	81W	17	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	16	81W	17	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48.24	N6E	36	77W	13	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	42	71W	7	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	8	83W	19	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

	走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
	N42E	42	e		64NW	64	w	
	N81W	81	W	57	65S	66	W	2

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	③	67.63	70.76	N42E		64NW		有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	7	74W	10	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	11	81W	17	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	21	87W	23	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35.55	N2W	44	73W	9	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	4	72W	8	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	10	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	17	72W	8	有	無	60L	-	×	D-19	参考2-99	※1
			④	68.72	69.02	N36E	6	66W	2	有	無	30L	N,RL	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	20	33N	31	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	60	73W	9	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	38	80W	16	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	75	75W	11	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	49	58S	6	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	85	60S	4	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	57	65S	1	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	43	81W	17	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	16	81W	17	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48.24	N6E	36	77W	13	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	42	71W	7	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	8	83W	19	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

30(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	②	18.03	21.78	N31W		73W		有					-20	参考2-100	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有					D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有					D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有					13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有					12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有					14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有					14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有					-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	不明	-	×	f-④-5-3	参考2-143	※2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	90	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)
非表示セル	非表示セル		
N31W	31 w	73W	73 w
N59E	59 e 90	61N	61 e 46

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	②	18.03	21.78	N31W		73W		有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	36	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	31	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	41	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	46	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	42	77W	4	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	49	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	5	有	無	56L	-	○	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	1	77W	4	無	-	不明	-	×	f-④-5-3	参考2-143	※2
			⑤	86.12	87.03	N20E	51	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	63	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	37	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	51	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	48	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	48	73S	①0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	90	61N	12	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	32	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

31(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-8	-	-	②	65.81	67.33	N23E		56W		無					デル化	参考2-193	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	9	80W	24	有					2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	7	有					-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	21	有					2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	14	67W	11	有					2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	27	70W	14	有					-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	12	62W	6	有					2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	20	79W	23	有					2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	30	73W	17	無					2-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	17	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	6	72W	16	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	33	89W	33	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	94	86N	38	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑩	107.54	109.94	N16E	7	87W	31	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	8	87W	31	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	14	78W	22	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	22	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	9	76W	20	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	10	83W	27	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	3	74W	18	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※2
			⑰	234.32	236.15	N28W	51	88W	32	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	4	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	26	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	64	69W	13	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	16	87W	31	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	8	86E	38	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

走向 | 非表示セル | 比較対象との走向の差 (°) | 傾斜 | 非表示セル | 比較対象との傾斜の差 (°)
N23E | 23 | E | | 56W | 56 | W |
N71W | 71 | W | 94 | 86N | 86 | E | 38

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-8，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-8	-	-	②	65.81	67.33	N23E		56W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	9	80W	24	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	7	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	21	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	14	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	27	70W	14	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	12	62W	6	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	20	79W	23	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	30	73W	17	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	17	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	6	72W	16	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	① 33	89W	33	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	38	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	⑩	107.54	109.94	N16E	7	87W	31	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	8	87W	31	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	14	78W	22	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	22	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	9	76W	20	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	10	83W	27	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	3	74W	18	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※2
			⑰	234.32	236.15	N28W	51	88W	32	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	4	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	17	82W	26	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	64	69W	13	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	16	87W	31	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	8	86E	38	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

32(分類C)①
走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	④	85.90	87.85	N34E		65W		有					br-1-4	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	1	74W	9	有					D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	3	81W	16	有					D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	13	87W	22	有					D-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35.55	N2W	36	73W	8	有					5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	4	72W	7	有					D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	5	無					非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	9	有					D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	9	72W	7	有					D-19	参考2-99	※1
			④	68.72	69.02	N36E	2	66W	1	有	無	30L	N,RL	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	28	33N	32	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	52	73W	8	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	30	80W	15	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	67	75W	10	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	57	58S	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6	範囲内	①	14.41	14.42	N53W	87	60S	5	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	65	65S	1	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	35	81W	16	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	8	81W	16	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48.24	N6E	28	77W	12	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	34	71W	6	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	0	83W	18	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N34E	34	e		65W	65	w	
N81W	81	W	65	65S	66	W	1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，④)

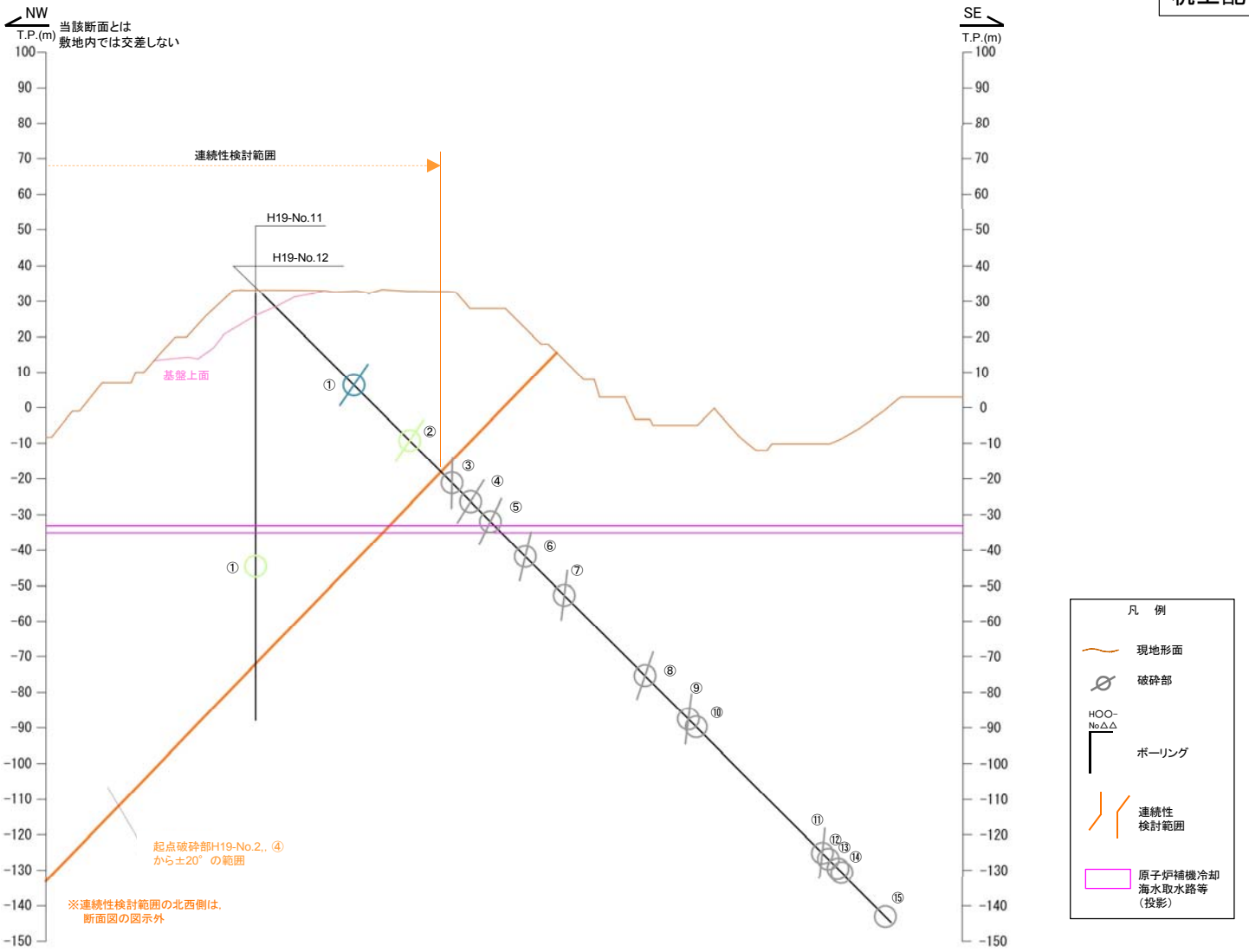
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	④	85.90	87.85	N34E		65W		有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	1	74W	9	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	3	81W	16	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	13	87W	22	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
		範囲内	④	35.41	35.55	N2W	36	73W	8	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
			⑤	45.12	45.37	N38E	4	72W	7	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	9	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	9	72W	7	有	無	60L	-	×	D-19	参考2-99	※1
			④	68.72	69.02	N36E	2	66W	1	有	無	30L	N,RL	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	28	33N	32	有	有	55L	N,RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	52	73W	8	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	30	80W	15	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	67	75W	10	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	57	58S	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6	範囲内	①	14.41	14.42	N53W	87	60S	①5	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	65	65S	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	35	81W	16	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	8	81W	16	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
		範囲内	③	48.10	48.24	N6E	28	77W	12	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	34	71W	6	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	0	83W	18	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

33(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

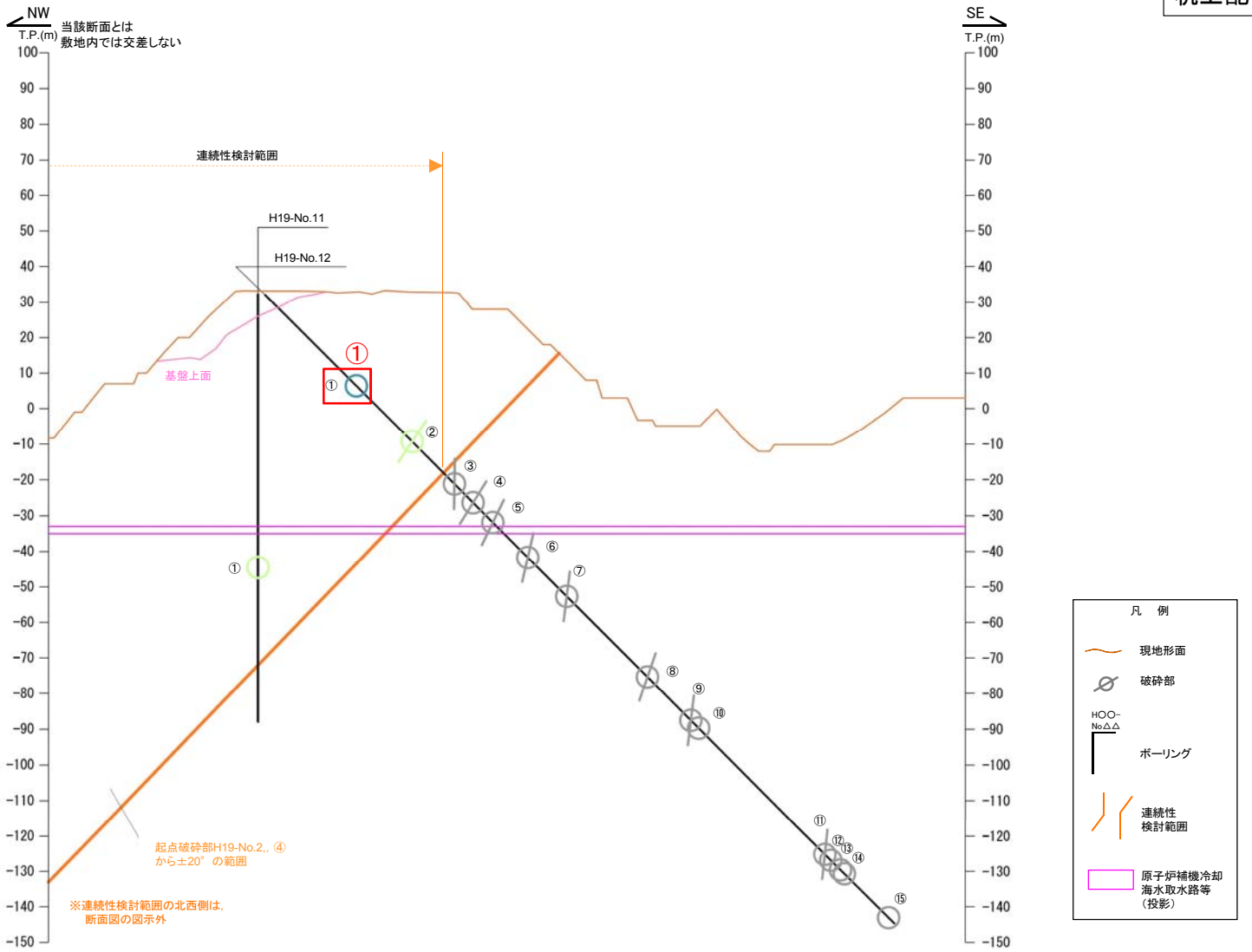
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No2，④)



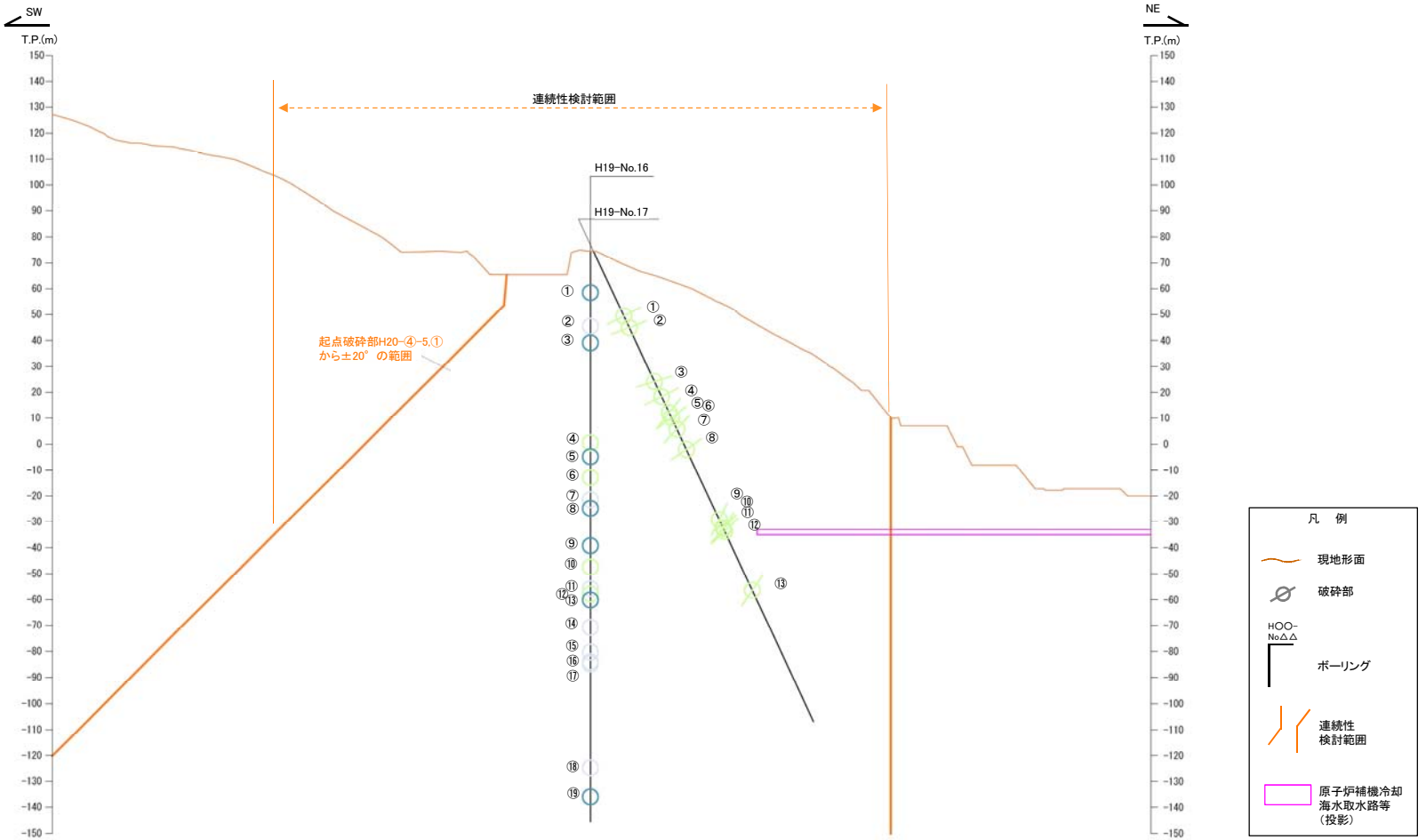
破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

34(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面に反映していなかった。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

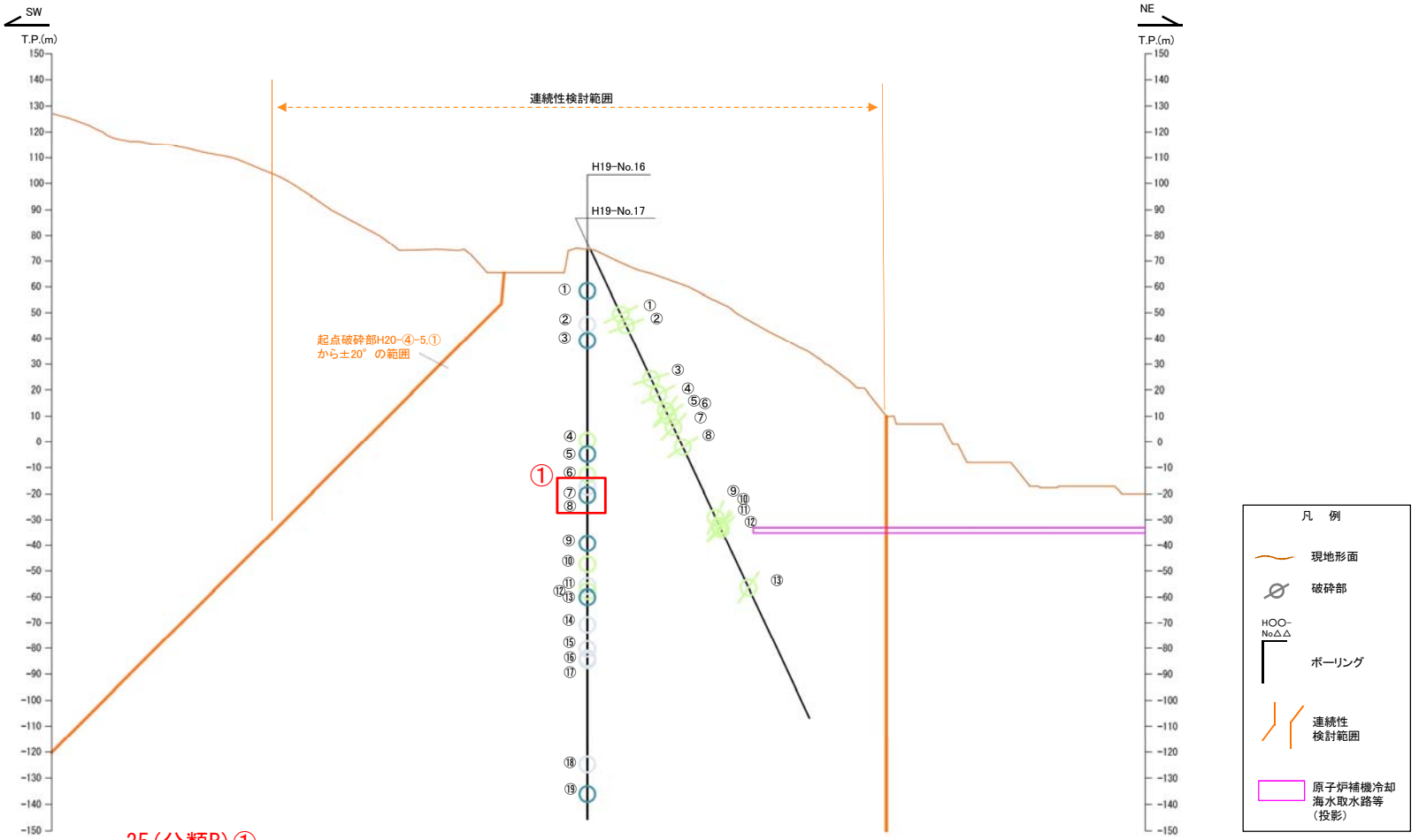
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，①)



35(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W		78W		有					-20	参考2-101	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					デル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	36	82W	4	有					15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	52	有					デル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	18	68W	10	無					14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有					2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有					-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有					D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	8	60W	18	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	74	71S	7	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	7	70W	8	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

	走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
⑥	N11W	11	W		78W	78	W	
⑦	N63E	63	E	74	71S	71	W	7

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	③	66.90	68.11	N11W		78W		有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	36	82W	4	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	52	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	18	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	18	64W	14	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	20	70W	8	有	無	76R	-	○	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	12	72W	6	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	32	70W	8	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	13	66W	12	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	43	64W	14	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	12	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	5	63W	15	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	2	64W	14	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	37	61W	17	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	8	60W	(1)18	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※3
			②	46.85	46.97	N63E	74	71S	31	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	41	71SW	7	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	13	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	43	80W	2	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	-	-	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	28	77W	1	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	48	67W	11	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	7	70W	8	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	46	62W	16	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	14	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	4	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	23	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	40	72W	6	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	1	89W	11	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	60	86N	16	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	27	87W	9	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	26	87W	9	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	20	78W	0	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	18	78W	0	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	25	76W	2	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	24	83W	5	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	31	74W	4	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	17	88W	10	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

36(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有					-3a	参考2-78	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	6	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	9	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	2	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	3	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	0	77W	2	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	8	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	22	78W	3	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	2	無					5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	6	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	4	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	90	73S	2	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	44	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	比較対象との走向の差 (°)			傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)		
	非表示セル				非表示セル		
N11E	11	e		75W	75	w	
N59E	59	e	48	61N	61	e	44

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3a破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.5m)		N11E		75W		有	有	12L	RL		H-3a	参考2-78	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	6	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	9	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	2	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	3	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	0	77W	2	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	8	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	22	78W	3	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	2	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	6	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	4	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	11	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	90	73S	①2	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	14	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

37(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	①	45.13	46.34	N3W		60W		有					-1-1	参考2-140	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	8	81W	21	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	3	84W	24	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	13	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	18	78W	18	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	17	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	21	83W	23	有					4-2	参考2-131	
		範囲内	③	66.90	68.11	N11W	8	78W	18	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	29	77W	17	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	23	81W	21	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	35	79W	19	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	4	88E	32	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	9	89E	31	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	23	74W	14	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	20	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	13	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	62	61N	59	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	20	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N3W	3	W		60W	60	W	
N59E	59	e	62	61N	61	e	59

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	①	45.13	46.34	N3W		60W		有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	8	81W	21	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	3	84W	24	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	13	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	18	78W	18	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	17	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	21	83W	23	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲内	③	66.90	68.11	N11W	8	78W	18	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	29	77W	17	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	23	81W	21	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	35	79W	19	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	4	88E	32	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	9	89E	31	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	23	74W	14	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	20	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	①13	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
		範囲外	②	18.46	18.53	N59E	62	61N	1	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	20	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

38(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E		81W		有					-1	参考2-37	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					5-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					デル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有					5-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有					デル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無					4-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有					-3	参考2-125	※3
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有					20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	1	70W	11	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	21	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	7	83W	2	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	0	74W	7	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	48	88W	7	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値



：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑤	86.12	87.03	N20E		81W		有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	5	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	20	26W	55	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	13	68W	13	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	13	64W	17	有	無	35R	-	×	f-2-3	参考2-125	※3
			⑦	147.04	147.48	N31W	51	70W	11	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	19	72W	9	有	有	70L	N	○	D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	1	70W	11	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	18	66W	15	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	12	64W	17	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	20	66W	15	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	18	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	29	64W	17	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	20	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	23	60W	①21	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	43	71S	28	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	72	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	16	有	有	-	N,RL	○	D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	12	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	18	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	3	77W	4	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	17	67W	14	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	24	70W	11	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	15	62W	19	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	17	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	27	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	8	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	9	72W	9	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	30	89W	8	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	13	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	4	87W	6	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	5	87W	6	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	11	78W	3	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	49	78W	3	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	7	83W	2	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	0	74W	7	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	48	88W	7	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

39(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	24	80W	12	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	5	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	9	77W	9	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	29	67W	1	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	12	70W	2	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	27	62W	6	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	5	79W	11	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	15	73W	5	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	4	73W	5	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	21	72W	4	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	18	89W	21	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	79	86N	26	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	8	87W	19	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	159.77	159.88	N15E	7	87W	19	有	無	21L	-	×	f-12-10	参考2-130	※1
			⑫	171.69	174.88	N9E	1	78W	10	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	37	78W	10	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	8	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	15	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	※2
			⑯	218.73	218.74	N20E	12	74W	6	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※3
			⑰	234.32	236.15	N28W	36	88W	20	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	56	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	16	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	33	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	※3
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	1	87W	19	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	7	86E	26	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	24	80W	12	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	5	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	9	77W	9	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	29	67W	1	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	12	70W	2	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	27	62W	6	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	5	79W	11	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	15	73W	5	無	-	-	-	①	f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	4	73W	5	無	-	-	-	①	f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	21	72W	4	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	18	89W	21	有	無	80L	-	①	D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	79	86N	26	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	8	87W	19	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
		範囲内	⑪	159.77	159.88	N15E	7	87W	19	有	無	21L	-	×	f-12-10	参考2-130	※1
			⑫	171.69	174.88	N9E	1	78W	10	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	37	78W	10	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	6	76W	8	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	②
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	15	有	無	-	-	① ×	D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	12	74W	6	有	無	64L	-	×	f-4-12	参考2-127	※3
			⑰	234.32	236.15	N28W	36	88W	20	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.5		①	92.63	92.65	-	-	(12)	56	無	-	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	96.46	96.49	-	-	(52)	16	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	110.93	110.95	-	-	(35)	33	無	-	-	-	①	非モデル化	参考2-184	②
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H19-No.7		①	78.22	79.56	N7E	1	87W	19	有	有	80R	-		D-24	参考2-103	
			②	151.35	151.38	N15E	7	86E	26	有	有	20L	-		f-8-11	参考2-128	

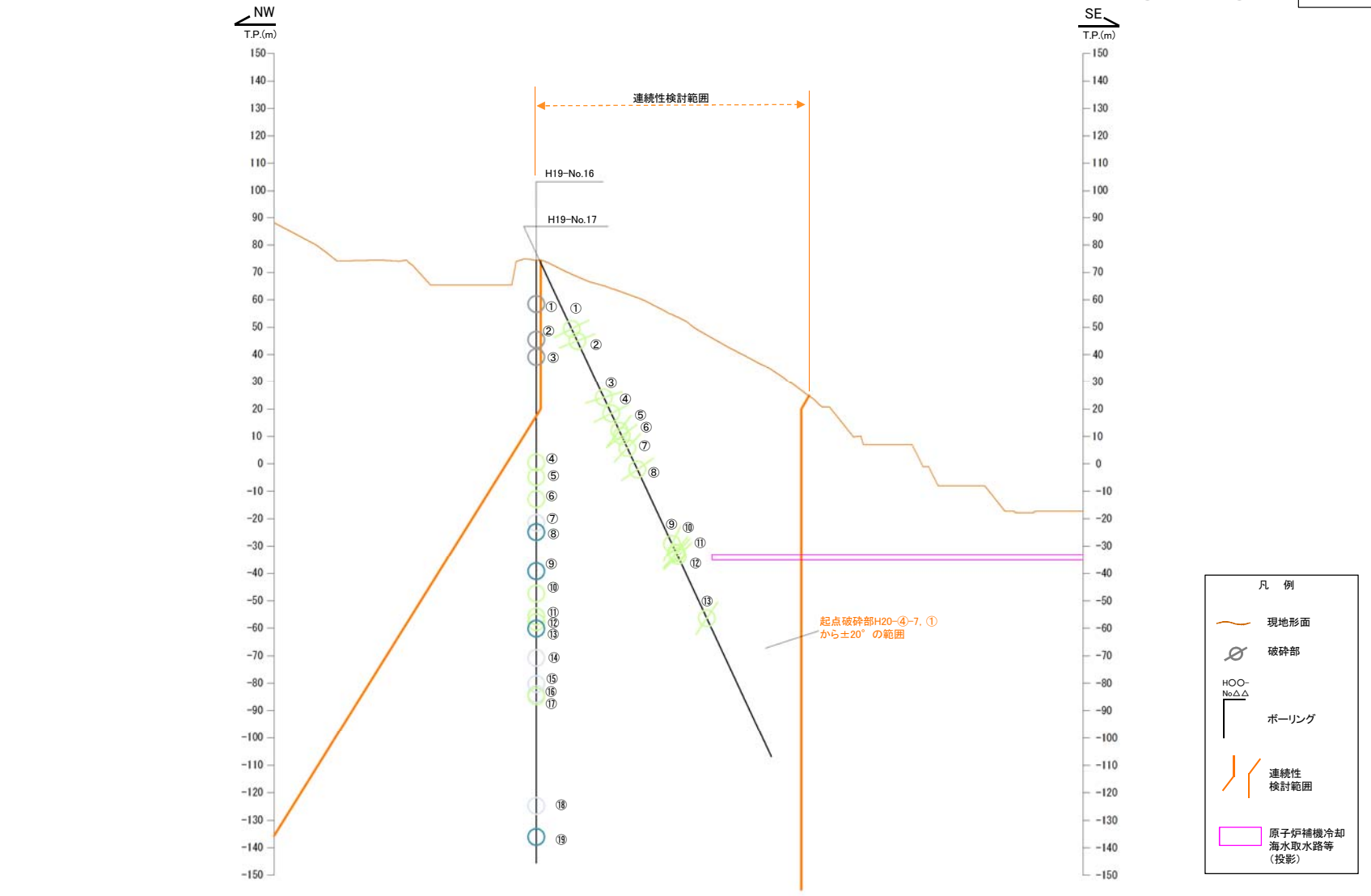
（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

40，41，42，43，45(分類D)①
破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。

44，46(分類D)②
破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，
連続性検討結果を削除したもの。

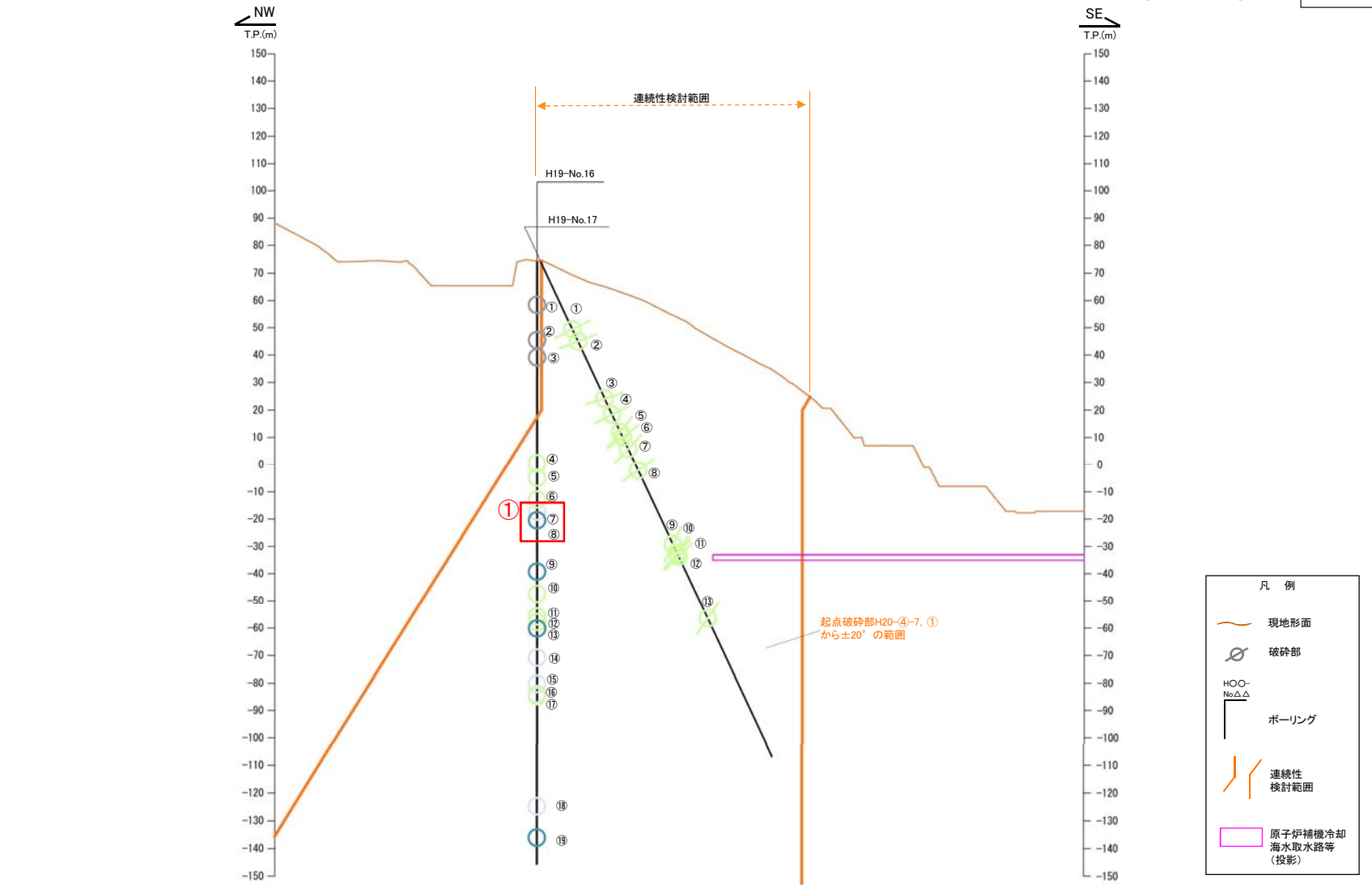
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-7，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-7，①)

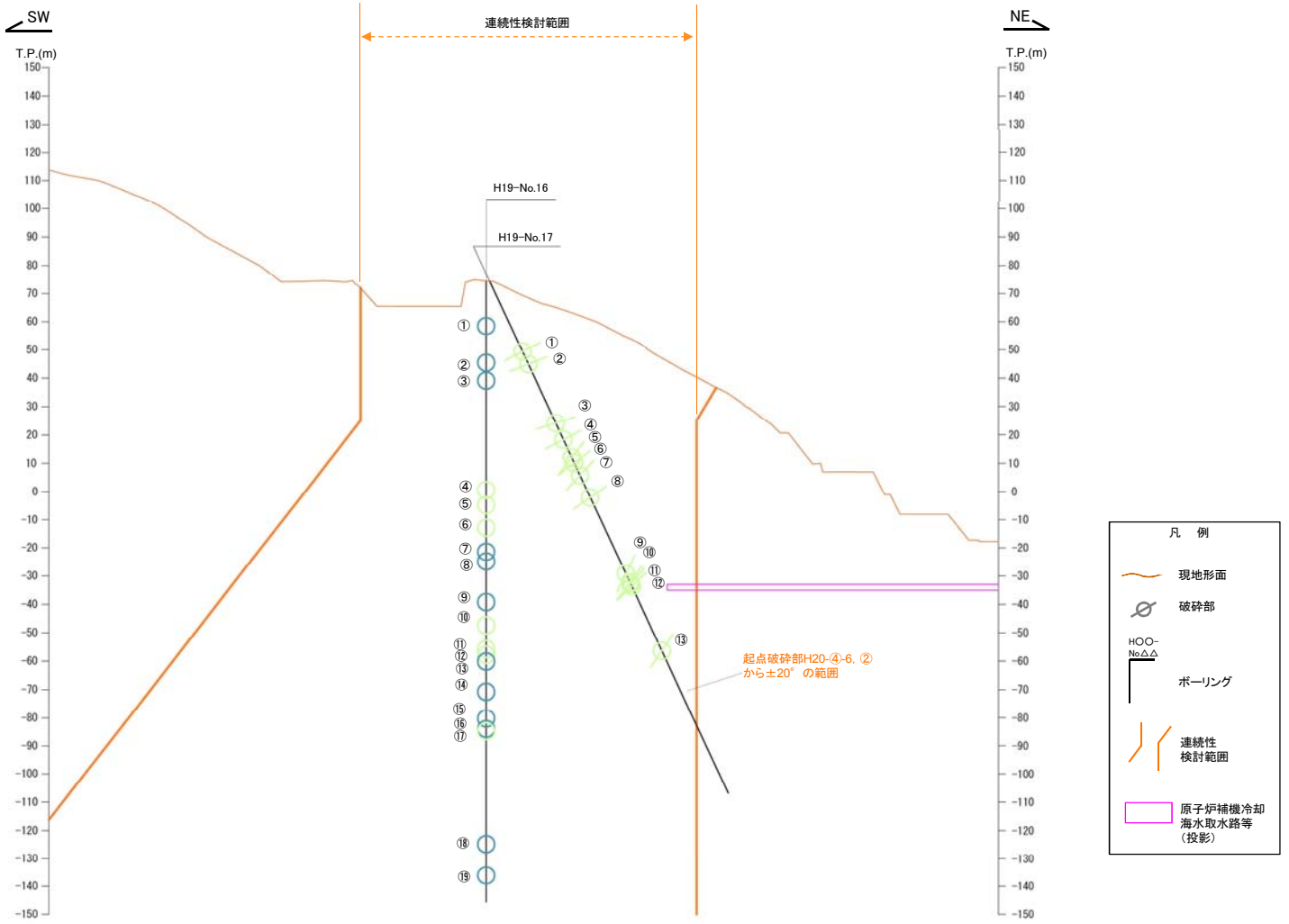


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

47(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

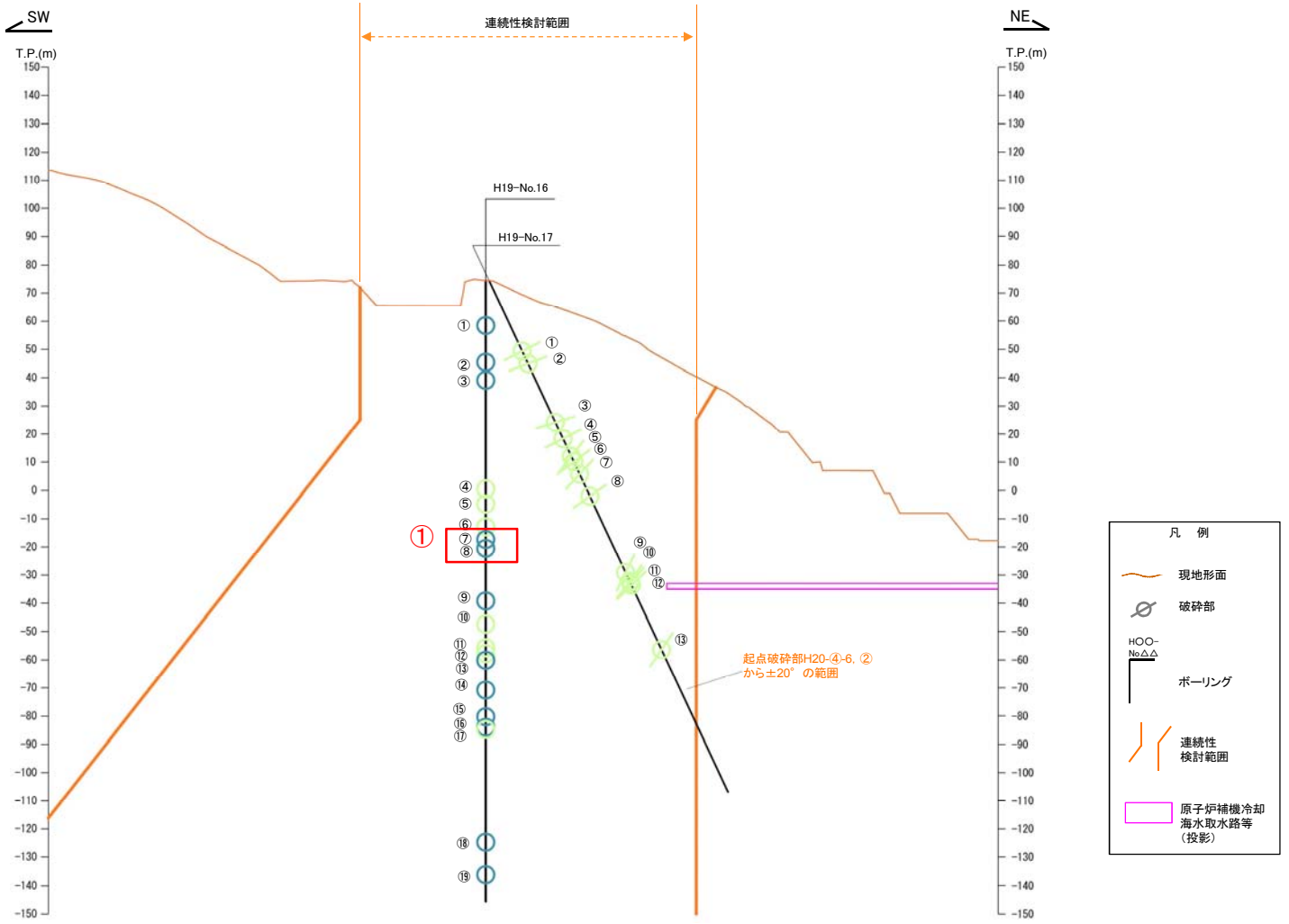
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，②)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

48(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無					2-4	参考2-129	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有					-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有					-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有					-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有					-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有					-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有					-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有					-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N7W	7	w		73W	73	w	
N11W	11	E	18	85W	85	W	12

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	④	24.12	24.41	N7W		73W		無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	23	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	38	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	49	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	41	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	53	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	7	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	58	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	31	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	15	68W	5	無	-	-	-	①	非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	90	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	4	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	19	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	42	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	45	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	56	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	47	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	39	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	26	74W	1	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	13	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	43	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

49(分類D)①
破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。

50(分類A)②
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有					-9-1	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有					4-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有					-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	88	73S	3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	49	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N9E	9	e		70W	70	w	
N59E	59	e	50	61N	61	e	49

: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，③)

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	③	38.73	38.74	N9E		70W		有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	4	81W	11	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	9	84W	14	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	3	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	6	78W	8	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	2	77W	7	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	9	83W	13	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	20	78W	8	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	41	77W	7	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	11	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	23	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	16	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	3	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	11	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	88	73S	①3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	9	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	8	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

51(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	③	48.26	48.95	N52W		71SW		有					-1-3	参考2-140	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					5-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					デル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	77	82W	11	有					5-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	88	26W	45	有					デル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	59	68W	3	無					4-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	59	64W	7	有					-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	21	70W	1	有					20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	53	72W	1	有					-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	73	70W	1	有					D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	54	66W	5	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	84	64W	7	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	52	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	46	63W	8	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	43	64W	7	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	78	61W	10	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	84	80W	9	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	8	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	69	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	89	67W	4	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	48	70W	1	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	87	62W	9	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	55	79W	8	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	45	73W	2	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	64	73W	2	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	81	72W	1	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	42	89W	18	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	23	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	68	87W	16	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	67	87W	16	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	61	78W	7	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	23	78W	7	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	66	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	65	83W	12	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	72	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	24	88W	17	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N52W	52	w		71SW	71	w	
N71W	34	e	86	86N	86	E	23

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	③	48.26	48.95	N52W		71SW		有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	77	82W	11	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	88	26W	45	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	59	68W	3	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	59	64W	7	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	21	70W	1	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	53	72W	1	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
		範囲外	⑨	186.53	186.58	N21E	73	70W	1	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	54	66W	5	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	84	64W	7	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	52	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	46	63W	8	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	43	64W	7	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	78	61W	10	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	84	80W	9	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	8	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	69	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	89	67W	4	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	48	70W	1	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	87	62W	9	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	55	79W	8	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	45	73W	2	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	64	73W	2	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	81	72W	1	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	① 42	89W	18	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	19	86N	23	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	68	87W	16	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	67	87W	16	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	61	78W	7	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	23	78W	7	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	66	76W	5	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	65	83W	12	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	72	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	24	88W	17	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

52(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	⑤	58.87	59.39	N17E		70W		有					-1-4	参考2-142	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	12	81W	11	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	17	84W	14	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	7	73W	3	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	2	78W	8	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	7	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	1	83W	13	有					4-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	28	78W	8	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	49	77W	7	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	15	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	11	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	0	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	84	73S	3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	42	61N	49	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	16	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N17E	17	e		70W	70	w	
N59E	59	e	42	61N	61	e	49

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	⑤	58.87	59.39	N17E		70W		有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	12	81W	11	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	17	84W	14	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	7	73W	3	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	2	78W	8	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	7	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	1	83W	13	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	28	78W	8	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	49	77W	7	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	11	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	15	79W	9	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	24	88E	22	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	11	89E	21	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	4	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	0	64W	6	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	84	73S	① 3	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	42	61N	9	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	16	80W	10	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

53(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-8	-	-	①	24.96	26.15	N5E		79W		有	無	80R	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-8，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-8	-	-	①	24.96	26.15	N5E		79W		有	無	80R	-		D-4	参考2-89	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	11	81W	2	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	26	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	37	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	29	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	41	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	5	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	46	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	43	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	3	68W	11	無	-	-	-	①	非モデル化	参考2-193	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	78	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	7	74W	5	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	16	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	7	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	31	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	30	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	33	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	44	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	35	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	27	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	14	74W	5	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	1	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	31	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

54(分類D)①
破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有					-3	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	9	有					-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有					-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有					-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有					-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有					-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有					-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有					43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	17	74W	2	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	18	85W	13	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
		範囲外	③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N29E	29	e		72W	72	w	
N11W	11	E	18	85W	85	W	13

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑥	46.13	46.38	N29E		72W		有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	9	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	2	45W	27	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	13	64NW	8	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	5	65W	7	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	17	73W	1	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	29	74W	2	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	22	73NW	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	67	76SW	4	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	54	40N	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	18	55W	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	① 17	74W	2	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	40	85W	13	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	17	48W	24	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	55	64W	8	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	6	69W	3	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	9	61W	11	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	20	71N	1	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	11	72W	0	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	13	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	8	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
		範囲外	③	12.70	15.25	N32E	3	80W	8	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	10	74W	2	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	23	55W	17	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	7	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	6	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

55(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	④	72.43	72.70	N32W		77W		無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	57	82W	5	有					5-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	72	26W	51	有					デル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	39	68W	9	無					4-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有					-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	1	70W	7	有					20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	5	有					1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有					2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有					-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有					-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有					3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有					-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有					-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無					-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	22	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	29	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	85	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	



( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	④	72.43	72.70	N32W		77W		無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	57	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	72	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	39	68W	9	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	39	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	① 1	70W	7	有	無	76R	-	×	D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	33	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	53	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	34	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	64	64W	13	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	26	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	23	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	58	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	64	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	49	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	69	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	28	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	67	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	35	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	44	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	61	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	② 22	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	39	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	48	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	47	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	41	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	3	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	46	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	45	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	52	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	4	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	29	60W	① 17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	85	71S	32	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	20	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

56，58(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
57(分類A)②
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	⑥	63.91	64.44	N19E		68W		有					21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	14	81W	13	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	19	84W	16	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	9	73W	5	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	10	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	8	77W	9	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	1	83W	15	有					4-2	参考2-131	※1
			③	66.90	68.11	N11W	30	78W	10	有					20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	51	77W	9	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	13	79W	11	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	26	88E	24	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	13	89E	23	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	6	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※1
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	2	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	82	73S	5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	40	61N	51	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	18	80W	12	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N19E	19	e		68W	68	w	
N59E	59	e	40	61N	61	e	51

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	⑥	63.91	64.44	N19E		68W		有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	14	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	19	84W	16	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	9	73W	5	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	10	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	8	77W	9	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	1	83W	15	有	有	80L	-	×	f-14-2	参考2-131	※1
			③	66.90	68.11	N11W	30	78W	10	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	④	72.43	72.70	N32W	51	77W	9	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	1	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	13	79W	11	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	26	88E	24	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	13	89E	23	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	1	74W	6	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※1
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	2	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	82	73S	① 5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	40	61N	7	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	18	80W	12	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

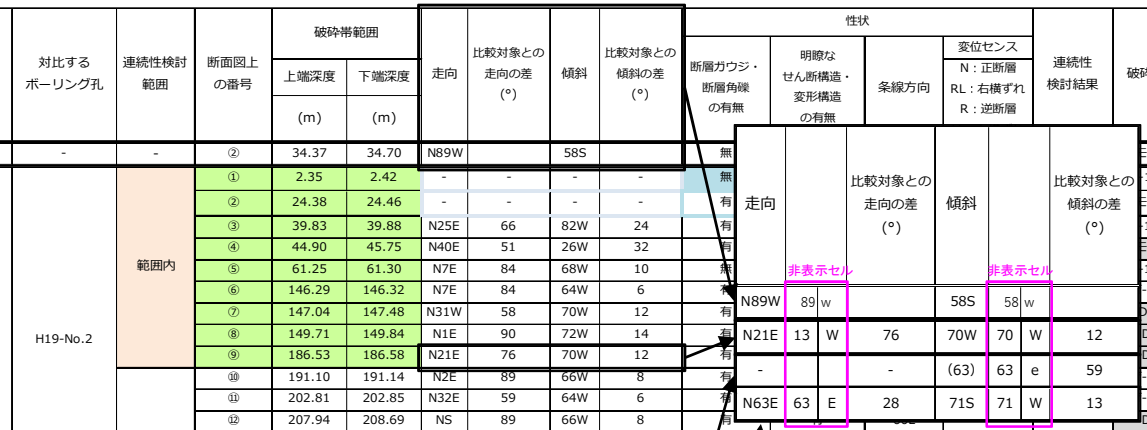
59(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無					非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					非モデル化	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	66	82W	24	有					f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有					非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	84	68W	10	無					f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	84	64W	6	有					f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	58	70W	12	有					D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	90	72W	14	有					D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	12	有					D-2	参考2-87	
		範囲外	⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有					f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	59	64W	6	有					f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	89	66W	8	有					D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	59	80W	22	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	59	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	4	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22.20	22.26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	86	60W	2	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	28	71S	13	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値



：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	66	82W	24	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	51	26W	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	84	68W	10	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	84	64W	6	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	58	70W	12	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	① 90	72W	14	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	70	70W	12	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
		範囲外	⑩	191.10	191.14	N2E	89	66W	8	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	59	64W	6	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	89	66W	8	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	83	63W	5	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	80	64W	6	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	65	61W	3	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	59	80W	② 22	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	5	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	74	77W	19	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	54	67W	9	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲内	①	10.48	11.53	N4W	85	70W	12	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	56	62W	4	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22.20	22.26	N3E	88	79W	21	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	82	73W	15	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	79	73W	15	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	62	72W	14	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	79	89W	31	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	18	86N	36	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	75	87W	29	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	76	87W	29	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	82	78W	20	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	60	78W	20	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	77	76W	18	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	78	83W	25	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	71	74W	16	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	61	88W	30	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	86	60W	② 2	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	28	71S	51	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	37	71SW	13	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	7	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

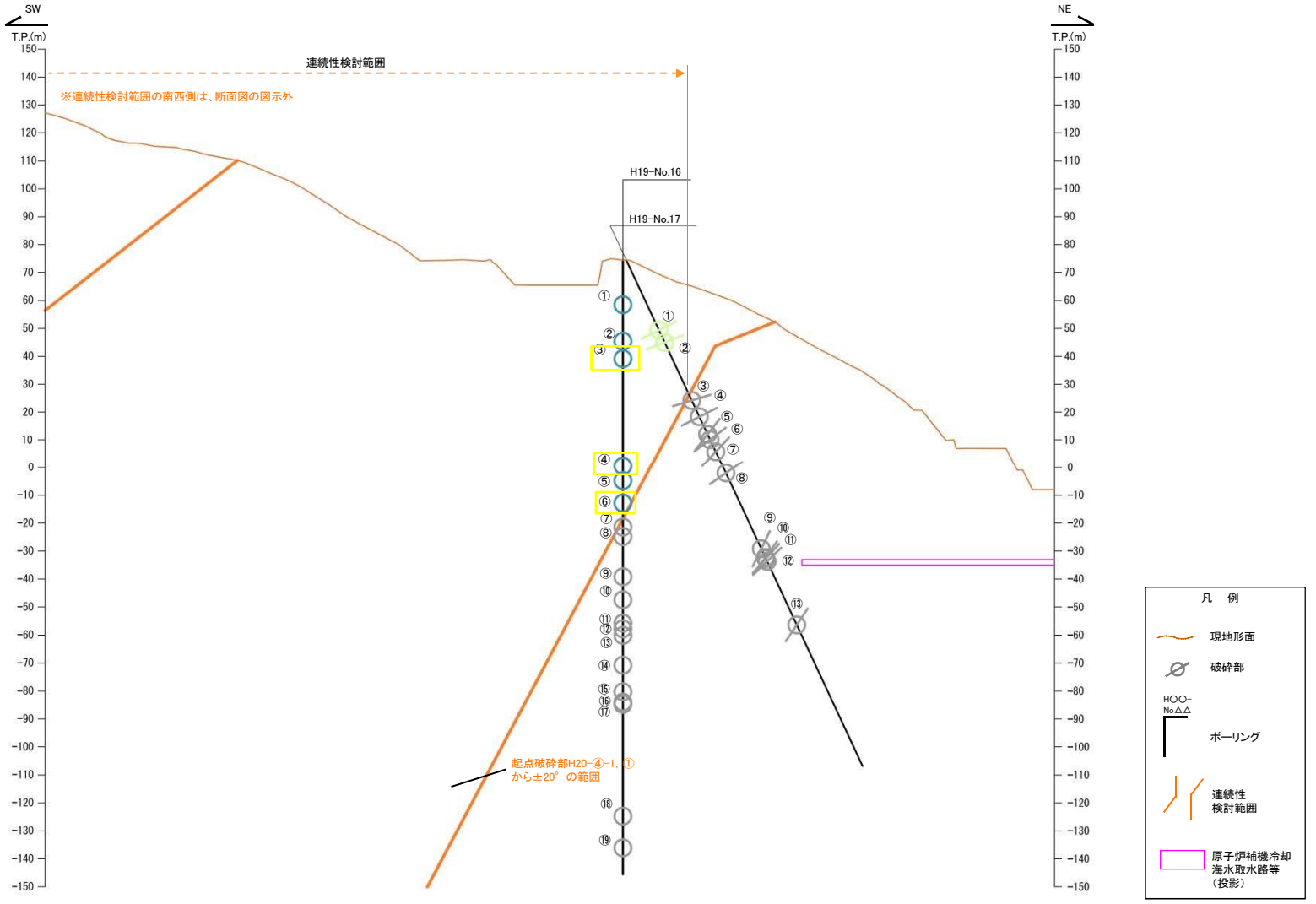
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

60(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。
61，62(分類A)②
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

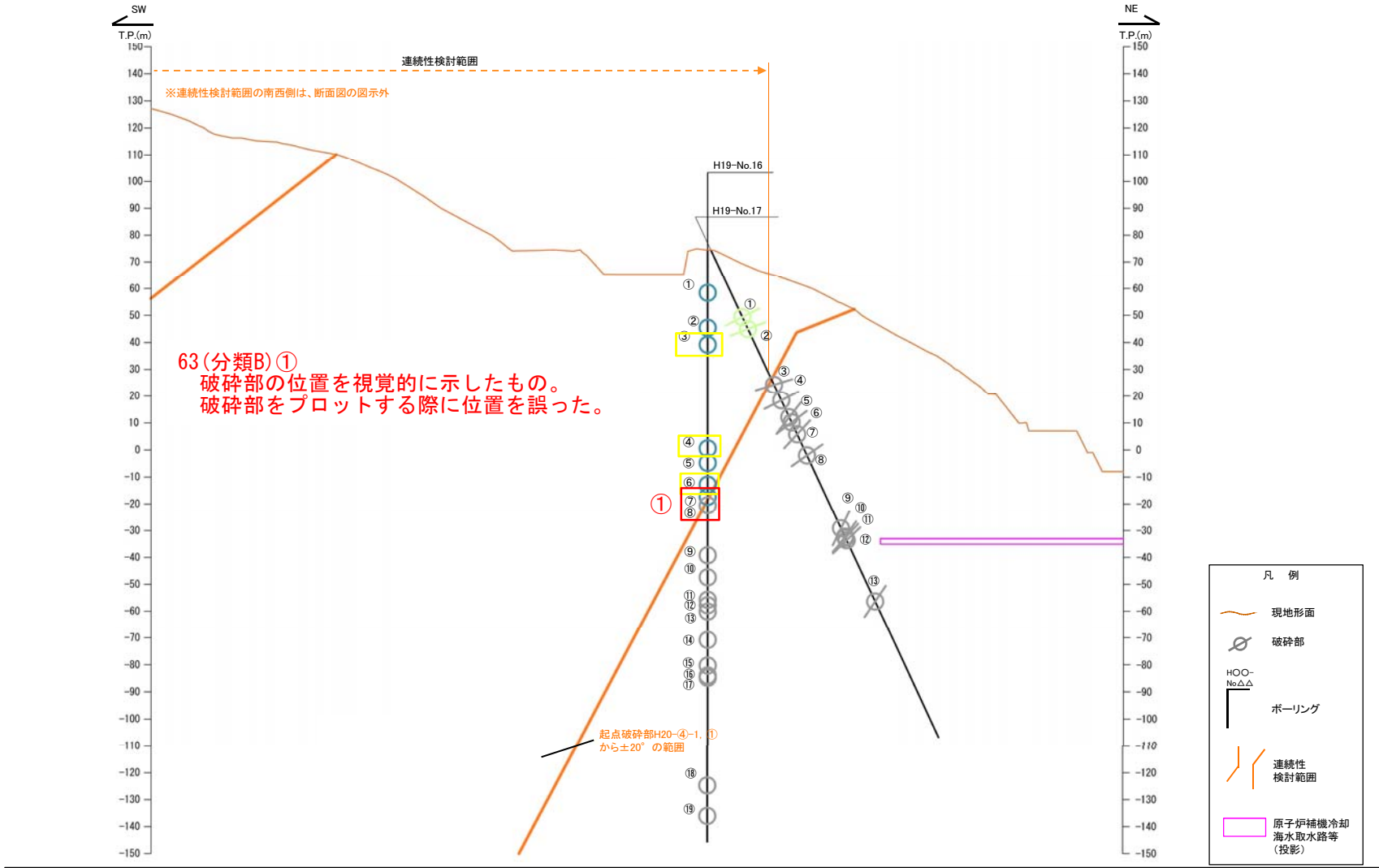
第758回審査会合
机上配付資料1　修正前



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	①	9.33	9.61	N82W		45S		有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※4
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※3
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4	有	有	-	-	×	D-11	参考2-91	※3
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	10	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※3
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	1	有	有	-	-	×	D-14	参考2-65	※3
		範囲外	⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	23	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	10	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	41	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	63	51W	6	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	①	9.33	9.61	N82W		45S		有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
-	H19-No.16	範囲内 ①②	①	16.01	17.82	-	-	(60)	15	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※2
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	18	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※4
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	15	有	有	-	-	×	f-17-2	参考2-132	※3
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	4	有	有	-	-	×	D-11	参考2-91	※3
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	10	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※3
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	1	有	有	-	-	×	D-14	参考2-65	※3
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	15	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※4
		範囲外	③⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	25	有	有	-	-	④	D-47	参考2-120	⑤
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	4	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	36	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	15	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	23	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	10	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	41	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17	範囲内	①	27.65	27.73	N34E	64	57W	12	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	63	51W	6	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲外	③	55.45	55.46	N39E	59	52W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	70	50W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	88	62W	17	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	80	53W	8	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	84	77W	32	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	63	36W	9	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	74	67W	22	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	71	57W	12	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	87	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	84	57W	12	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	88	65W	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	

64(分類D)①
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，連続性検討範囲外であったものが，連続性検討範囲内に変わったもの。
65(分類D)②
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，表の該当箇所の着色が変わったもの。
66(分類D)③
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，連続性検討範囲内の破砕部となったため，表の該当箇所の着色が変わったもの。
67(分類D)④
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。
68(分類D)⑤
断面図の破砕部のプロット位置の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補の一つとなったため，連続性を検討した結果を記載したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	④	51.86	52.16	N11W		68W		有					-5-3	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	13	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	16	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	21	73W	5	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	26	78W	10	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	22	77W	9	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	29	83W	15	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	0	78W	10	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	21	77W	9	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	31	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	43	79W	11	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	4	88E	24	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	23	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	31	74W	6	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	28	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	68	73S	5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	70	61N	51	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	12	80W	12	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N11W	11	w		68W	68	w	
N59E	59	e	70	61N	61	e	51

: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
: 起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	④	51.86	52.16	N11W		68W		有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	16	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	16	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	21	73W	5	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	26	78W	10	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	22	77W	9	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	29	83W	15	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	0	78W	10	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	21	77W	9	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	31	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
		範囲外	⑥	123.32	123.34	N32E	43	79W	11	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	4	88E	24	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	23	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	31	74W	6	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	28	64W	4	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	68	73S	① 5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	70	61N	7	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	12	80W	12	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

69(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-12	-	-	③	89.68	90.32	N31E		78NW		有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	
-	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	2	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	23	68W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	15	78NW	0	有	有	80R	N	×	f-br-5-1	参考2-177	
	H27-Br-6	範囲外	①	33.02	34.01	N49E	18	72W	6	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	7	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	30	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	14	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	9	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	17	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	7	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	14	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	2	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	12	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	23	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	2	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	12	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-12，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-12	-	-	③	89.68	90.32	N31E		78NW		有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	31	74W	4	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲内	①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	5	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	2	有	無	90	-		①D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	23	68W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	15	78NW	0	有	有	80R	N	×	f-br-5-1	参考2-177	
	H27-Br-6	範囲外	①	33.02	34.01	N49E	18	72W	6	有	有	85R	N		f-br-6-1	参考2-177	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	38	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	4	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	7	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	30	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	14	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	9	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	17	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	6	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	7	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	14	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	2	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	12	74W	4	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	23	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	2	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	12	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

70(分類D)①
破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無					モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					モデル化	参考2-184	
		範囲内	③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有					-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有					モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無					-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有					-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有					D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	82	72W	7	有					D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	76	70W	5	有					D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有					-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有					-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有					D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	64	62W	3	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	84	79W	14	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
		範囲外	④	24.12	24.41	N7W	74	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	87	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	70	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	71	89W	24	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	10	86N	29	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	84	87W	22	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	90	78W	13	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	13	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	85	76W	11	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	86	83W	18	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	79	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	53	88W	23	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	36	60W	5	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	36	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
非表示セル				非表示セル			
N81W	81	w		65S	65	w	
N21E	5	w	76	70W	70	W	5
N3W	45	w	36	60W	60	W	5
N63E	63	E	36	71S	71	W	6

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-6，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-6	-	-	②	14.78	15.13	N81W		65S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
		範囲内	③	39.83	39.88	N25E	74	82W	17	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	59	26W	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	88	68W	3	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	88	64W	1	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	50	70W	5	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	① 82	72W	7	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	78	70W	5	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	83	66W	1	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	67	64W	1	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	81	66W	1	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	75	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	72	64W	1	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	73	61W	4	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	67	80W	15	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	2	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	82	77W	12	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	62	67W	2	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	77	70W	5	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	64	62W	3	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	84	79W	14	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
		範囲外	④	24.12	24.41	N7W	74	73W	8	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	87	73W	8	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	70	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	71	89W	24	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	10	86N	29	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	83	87W	22	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	84	87W	22	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	90	78W	13	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	52	78W	13	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	85	76W	11	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	86	83W	18	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	79	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	② 53	88W	23	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	78	60W	③ 5	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	36	71S	44	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	29	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	0	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

71(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度及び方位記号を入力した。
72(分類A)②
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
73(分類A)③
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有					-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	19	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	11	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	15	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	21	有					4-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有					-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	90	73S	11	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	57	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル	非表示セル	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル	非表示セル	比較対象との傾斜の差 (°)
N11E	11	e		62W	62	w	
N59E	59	e	48	61N	61	e	57

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-5，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-5	-	-	②	24.96	25.12	N11E		62W		有	無	90	-		D-21	参考2-102	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	19	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	22	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	11	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	15	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	21	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	15	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	19	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	17	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	30	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	29	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	12	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	2	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	90	73S	①11	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	1	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	18	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

74(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N16E		75W		無					3b	参考2-167	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	11	81W	6	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	16	84W	9	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	6	73W	2	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	1	78W	3	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	5	77W	2	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	2	83W	8	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	27	78W	3	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	48	77W	2	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	4	81W	6	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	16	79W	4	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	23	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	10	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	4	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	11	有	無	23R	N,LL	×	f-15-3	参考2-132	※3
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	85	73S	2	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	43	61N	44	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	15	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	比較対象との走向の差 (°)			傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)		
	非表示セル				非表示セル		
N16E	16	e		75W	75	w	
N59E	59	e	43	61N	61	e	44

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
（原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3b破砕帯）

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N16E		75W		無	-	10L	LL		H-3b	参考2-167	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	11	81W	6	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	16	84W	9	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	6	73W	2	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	1	78W	3	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	5	77W	2	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	2	83W	8	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	27	78W	3	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	48	77W	2	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	4	81W	6	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	16	79W	4	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	23	88E	17	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	10	89E	16	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	4	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	11	有	無	23R	N,LL	×	f-15-3	参考2-132	※3
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	85	73S	① 2	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	43	61N	14	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	15	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

75(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E		80W							D-2	参考2-87	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-						f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-						非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2						f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54						非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12						f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16						f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10						D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	有	無	36L	N,RL	○	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※3
			⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	有	有	60L	-	×	D-3	参考2-88	※3
		範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※1
			②	46.85	46.97	N63E	62	71S	9	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-	×	D-3	参考2-88	※3
			③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	有	有	75L	-	×	f-2-10	参考2-125	※3
			④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	有	有	50L	-	×	D-3	参考2-88	※3
			②	16.13	16.31	N35E	34	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	72	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	15	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	14	87W	7	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	8	78W	2	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	30	78W	2	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	13	76W	4	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	12	83W	3	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	19	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	29	88W	8	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

非表示セル

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
N1E	1	E		80W	80	W	
N63E	63	E	62	71S	71	W	9

非表示セル

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，③)

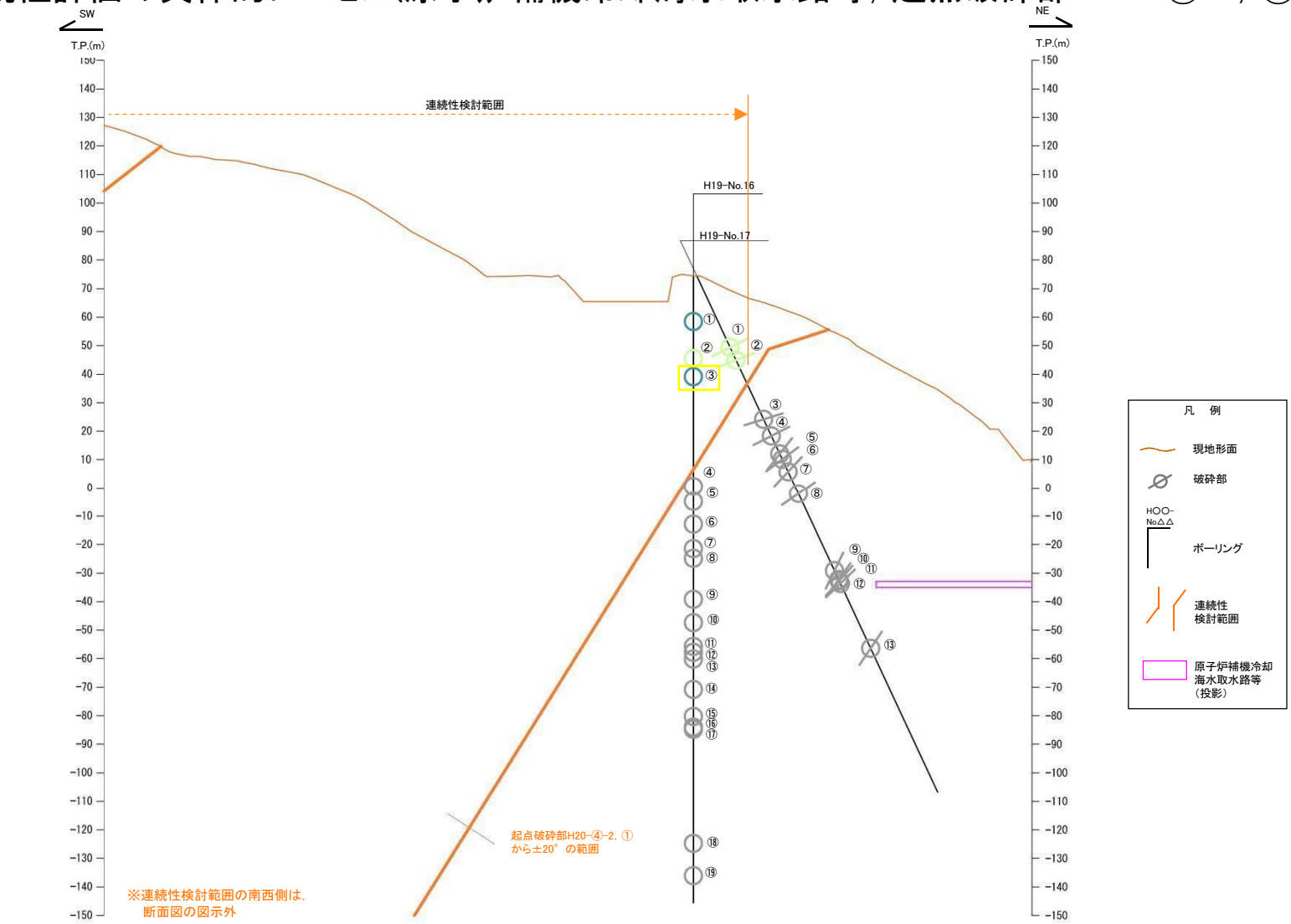
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	③	33.95	34.50	N1E		80W		有	有	85R	-		D-2	参考2-87	
-	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	24	82W	2	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	39	26W	54	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	6	68W	12	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲内	⑥	146.29	146.32	N7E	6	64W	16	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	32	70W	10	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	0	72W	8	有	有	70L	N	×	D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	20	70W	10	有	無	36L	N,RL	○	D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	1	66W	14	有	無	73L	-	×	f-2-7	参考2-125	※3
			⑪	202.81	202.85	N32E	31	64W	16	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	1	66W	14	有	有	60L	-	×	D-3	参考2-88	※3
		範囲外	⑬	212.00	212.07	N6W	7	63W	17	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	10	64W	16	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	25	61W	19	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲内	①	45.13	46.34	N3W	4	60W	①20	有	無	80L	-	×	f-②-1-1	参考2-140	※1
			②	46.85	46.97	N63E	62	71S	29	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	53	71SW	9	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	15	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	31	80W	0	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	17	有	有	-	-	×	D-3	参考2-88	※3
			③	42.75	42.81	N17E	16	77W	3	有	有	75L	-	×	f-2-10	参考2-125	※3
			④	50.35	50.48	N37E	36	67W	13	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	5	70W	10	有	有	50L	-	×	D-3	参考2-88	※3
			②	16.13	16.31	N35E	34	62W	18	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
		範囲外	③	22.20	22.26	N3E	2	79W	1	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	8	73W	7	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	11	73W	7	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	28	72W	8	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	11	89W	9	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	72	86N	14	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	15	87W	7	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	14	87W	7	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	8	78W	2	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	30	78W	2	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	13	76W	4	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	12	83W	3	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	19	74W	6	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	29	88W	8	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

76(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

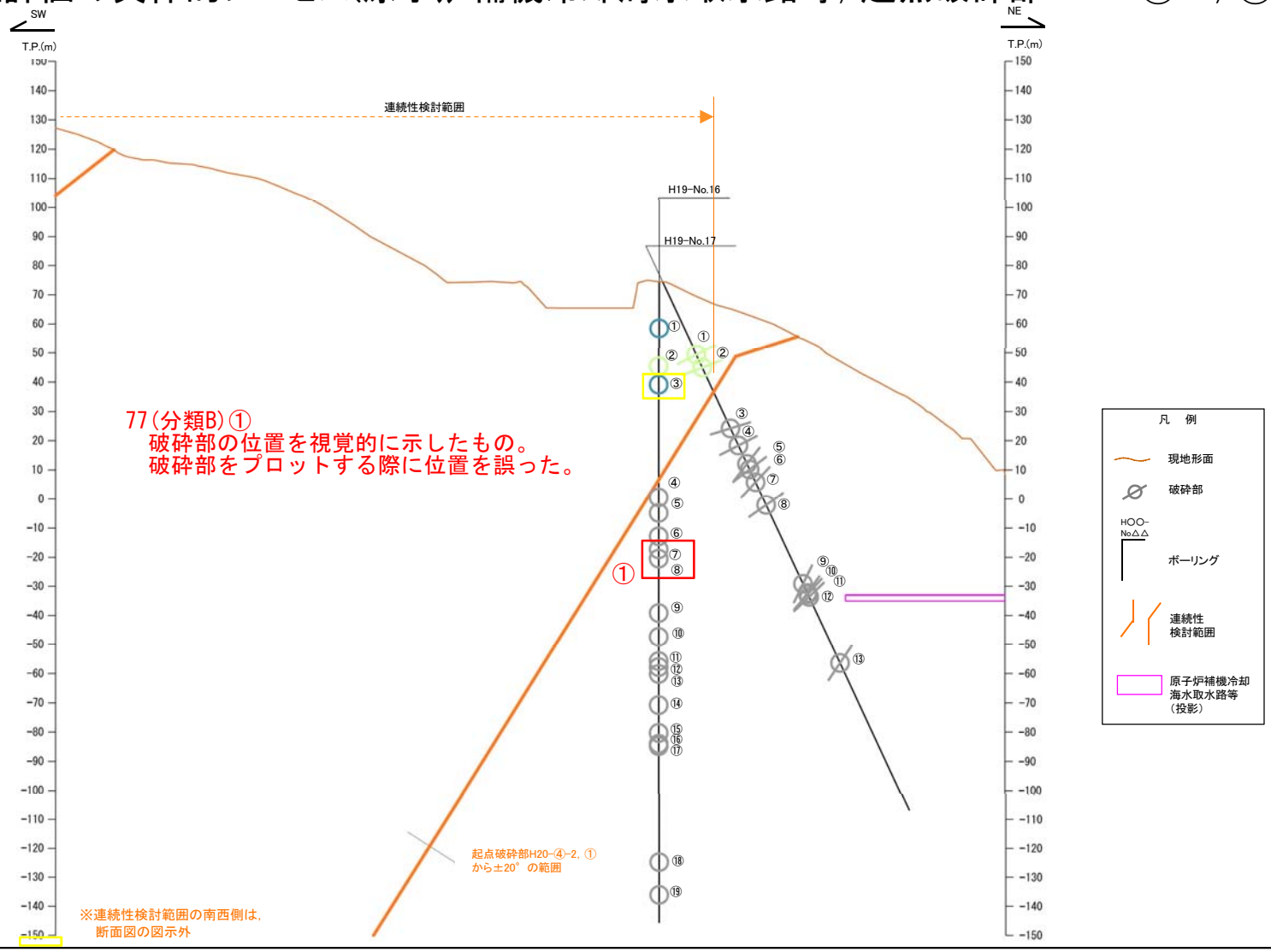
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

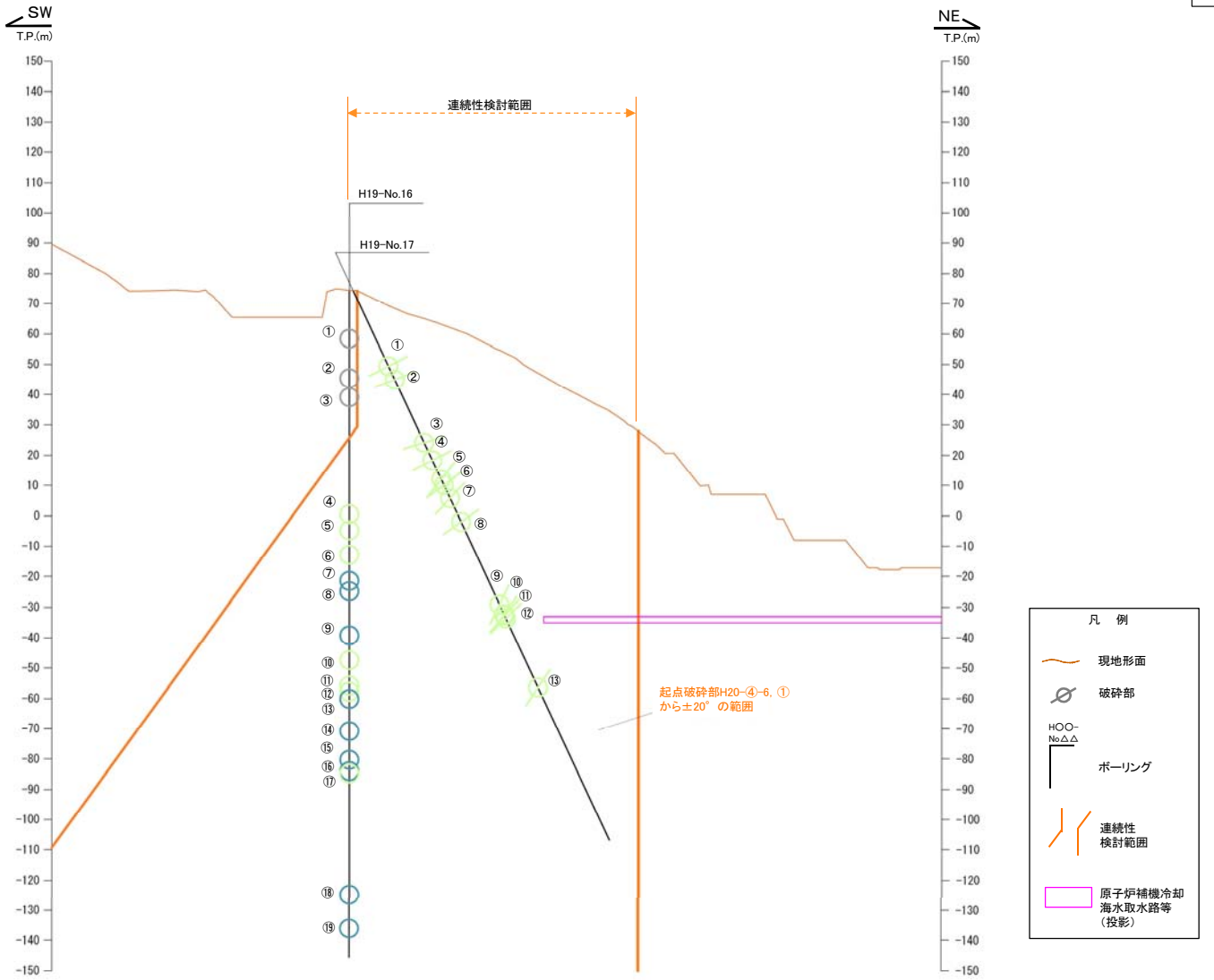
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-2，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，①)

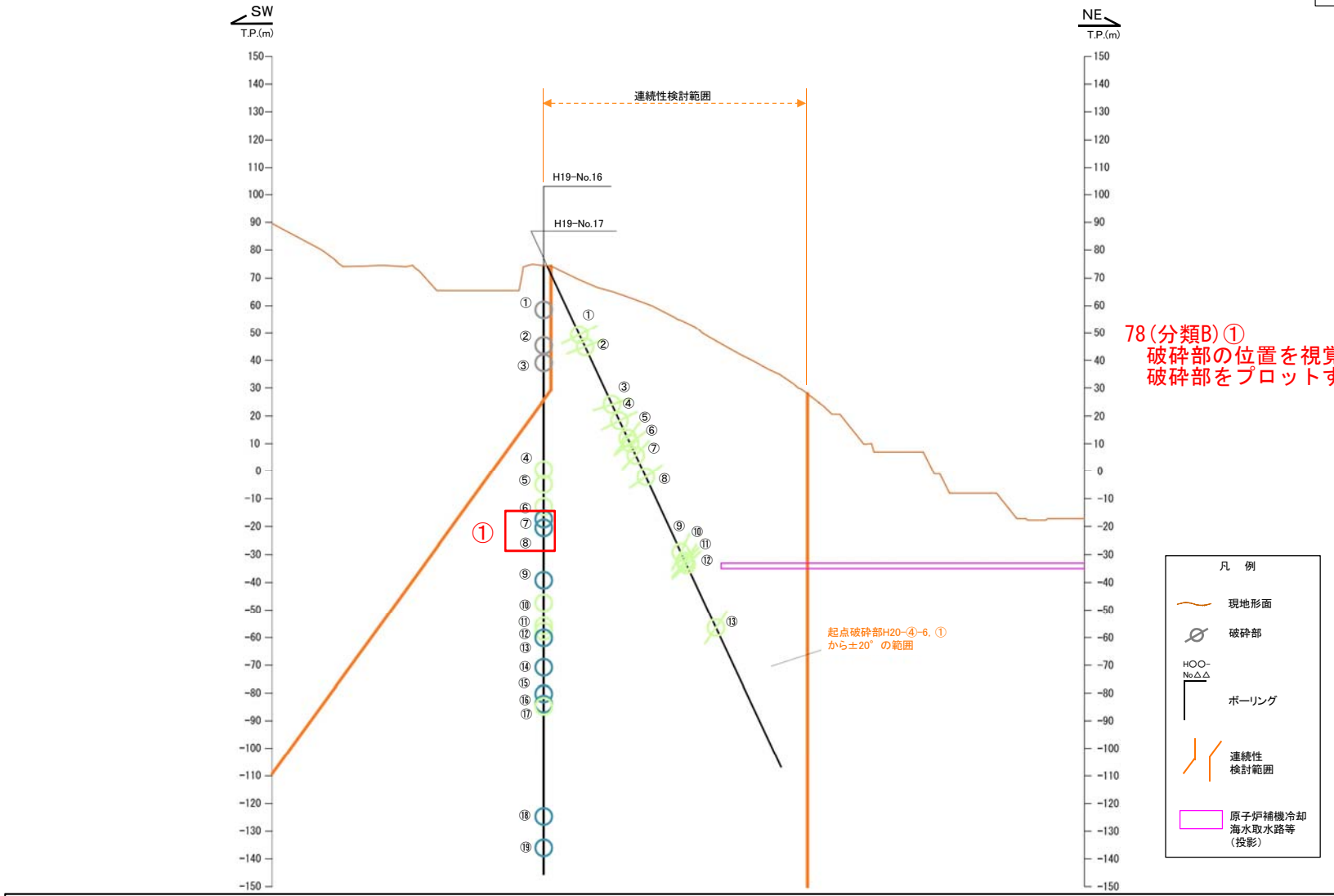


破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，①)



78(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。
破砕部をプロットする際に位置を誤った。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E		83W							f-14-2	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-						f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-						非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1						f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57						非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15						f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19						f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13						D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11						D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	21	60W	23	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	45	71S	12	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	20	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	3	87W	4	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	9	78W	5	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	47	78W	5	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	4	76W	7	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	0	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

走向		比較対象との走向の差 (°)	傾斜		比較対象との傾斜の差 (°)
	非表示セル			非表示セル	
N18E	18 E		83W	83 W	
N63E	63 E	45	71S	71 W	12

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	②	45.63	45.70	N18E		83W		有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※3
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	1	有	無	59R	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			④	44.90	45.75	N40E	22	26W	57	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	11	68W	15	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	11	64W	19	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	49	70W	13	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	17	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	3	70W	13	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	16	66W	17	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	14	64W	19	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	18	66W	17	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	24	63W	20	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	27	64W	19	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	8	61W	22	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	21	60W	①23	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	45	71S	26	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	70	71SW	12	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	18	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	14	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	20	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	1	77W	6	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	19	67W	16	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4	範囲外	①	10.48	11.53	N4W	22	70W	13	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	17	62W	21	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	15	79W	4	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	25	73W	10	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	6	73W	10	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	11	72W	11	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	28	89W	6	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	89	86N	11	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	2	87W	4	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	3	87W	4	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	9	78W	5	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	47	78W	5	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	4	76W	7	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	5	83W	0	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	2	74W	9	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	46	88W	5	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

79(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	①	24.58	24.67	N7W		88E		有					5-1	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	75	45S	47	有					-2-1	参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	24	73W	19	有					20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	1	73W	19	有					-1-2	参考2-141	※3
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無					-1-3	参考2-141	※3
			⑤	58.87	59.39	N17E	24	70W	22	有					-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有					21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有					-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有					20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5		①	7.85	9.71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲内	③	38.73	38.74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-144	
			④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	64	79S	13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	62	69S	23	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

走向 | 比較対象との走向の差 (°) | 傾斜 | 比較対象との傾斜の差 (°)
非表示セル
N7W | 7 | w | 88E | 88 | e
N55E | 55 | e | 62 | 69S | 69 | w | 23

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.15，①)

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.15	-	-	①	24.58	24.67	N7W		88E		有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
-	H20-④-1	範囲内	①	9.33	9.61	N82W	75	45S	47	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	18.03	21.78	N31W	24	73W	19	有	無	65L	N,RL		D-20	参考2-100	
			③	23.27	23.31	N8W	1	73W	19	有	有	47L	N,RL	×	f-④-1-2	参考2-141	※3
			④	39.78	39.98	N11E	18	78W	14	無	-	75L	-	×	f-④-1-3	参考2-141	※3
			⑤	58.87	59.39	N17E	24	70W	22	有	無	45R	-		f-④-1-4	参考2-142	
			⑥	63.91	64.44	N19E	26	68W	24	有	無	80L	-		D-21	参考2-102	
	H20-④-2		①	6.00	6.12	N86W	79	42S	50	有	無	-	-		f-④-2-1	参考2-142	
			②	6.90	8.90	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-20	参考2-100	
			③	14.63	14.66	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-④-1-2	参考2-141	※1
			④	74.45	74.50	N4W	3	67W	25	無	-	-	-		f-④-1-3	参考2-141	
			⑤	82.34	82.41	N4W	3	67W	25	無	-	5L	-		f-④-2-3	参考2-142	
	H20-④-4	範囲外	①	24.56	24.59	N4E	11	71W	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-④-5		①	7.85	9.71	N56W	49	70S	22	有	有	40L (不明瞭)	-		D-20	参考2-100	
			②	24.96	25.12	N11E	18	62W	30	有	無	90	-		D-21	参考2-102	
		範囲内	③	38.73	38.74	N9E	16	70W	22	有	無	10L	-		f-④-9-1	参考2-144	
			④	51.86	52.16	N11W	4	68W	24	有	有	30L	-		f-④-5-3	参考2-143	
	H20-④-6		①	3.76	4.09	N60W	53	78S	14	有	無	20R	-		f-④-6-1	参考2-143	
			②	7.94	9.00	N71W	64	79S	①13	有	無	65R	-		f-④-6-2	参考2-144	
			③	14.94	14.98	N55E	62	69S	19	有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
			④	25.70	25.80	N18E	25	77W	15	有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
	H20-④-7		①	22.75	23.53	N53W	46	80S	12	有	有	80L	-		f-④-7-1	参考2-144	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

80(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	②	16.13	16.31	N35E		62W		有					10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	19	81W	19	有					3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	4	45W	17	有					1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	7	64NW	2	有					1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	1	65W	3	有					1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	11	73W	11	有					1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	35	74W	12	有					7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	48	40N	22	有					ｹﾙ化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	24	55W	7	有					ｹﾙ化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	23	74W	12	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	24	85W	23	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	23	48W	14	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	61	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	0	69W	7	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	3	61W	1	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	14	71N	9	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	5	72W	10	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	23	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	3	80W	18	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	12	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	29	55W	7	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	14	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
	非表示セル				非表示セル		
N35E	35	e		62W	62	w	
N11W	11	E	24	85W	85	W	23

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，②)

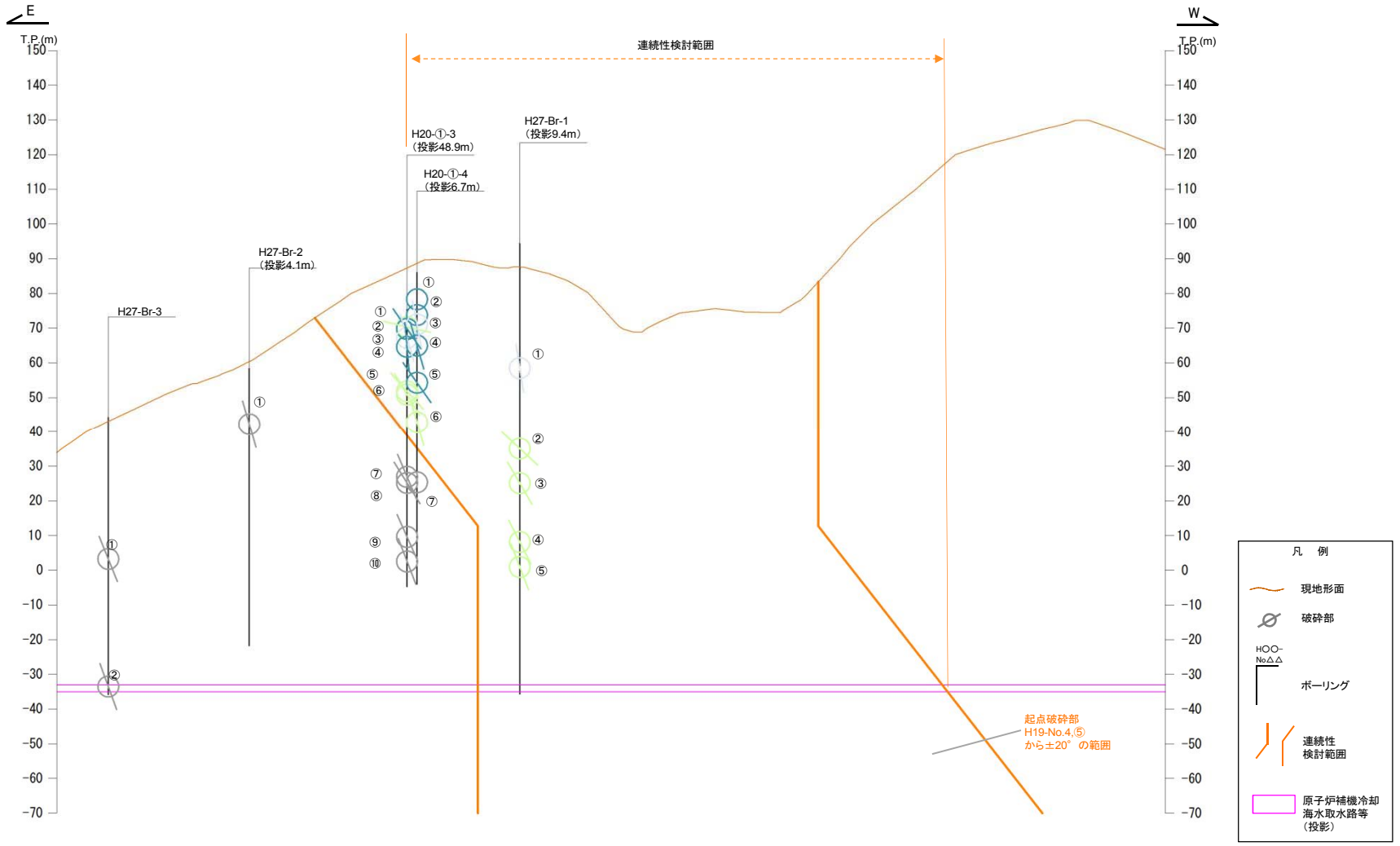
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	②	16.13	16.31	N35E		62W		有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	19	81W	19	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	4	45W	17	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	7	64NW	2	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	1	65W	3	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	11	73W	11	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	35	74W	12	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	48	40N	22	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	24	55W	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	①23	74W	12	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	46	85W	23	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	23	48W	14	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	61	64W	2	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	0	69W	7	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	3	61W	1	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	14	71N	9	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	5	72W	10	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	23	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	2	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	3	80W	18	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	12	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	29	55W	7	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	14	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	4	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

81(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

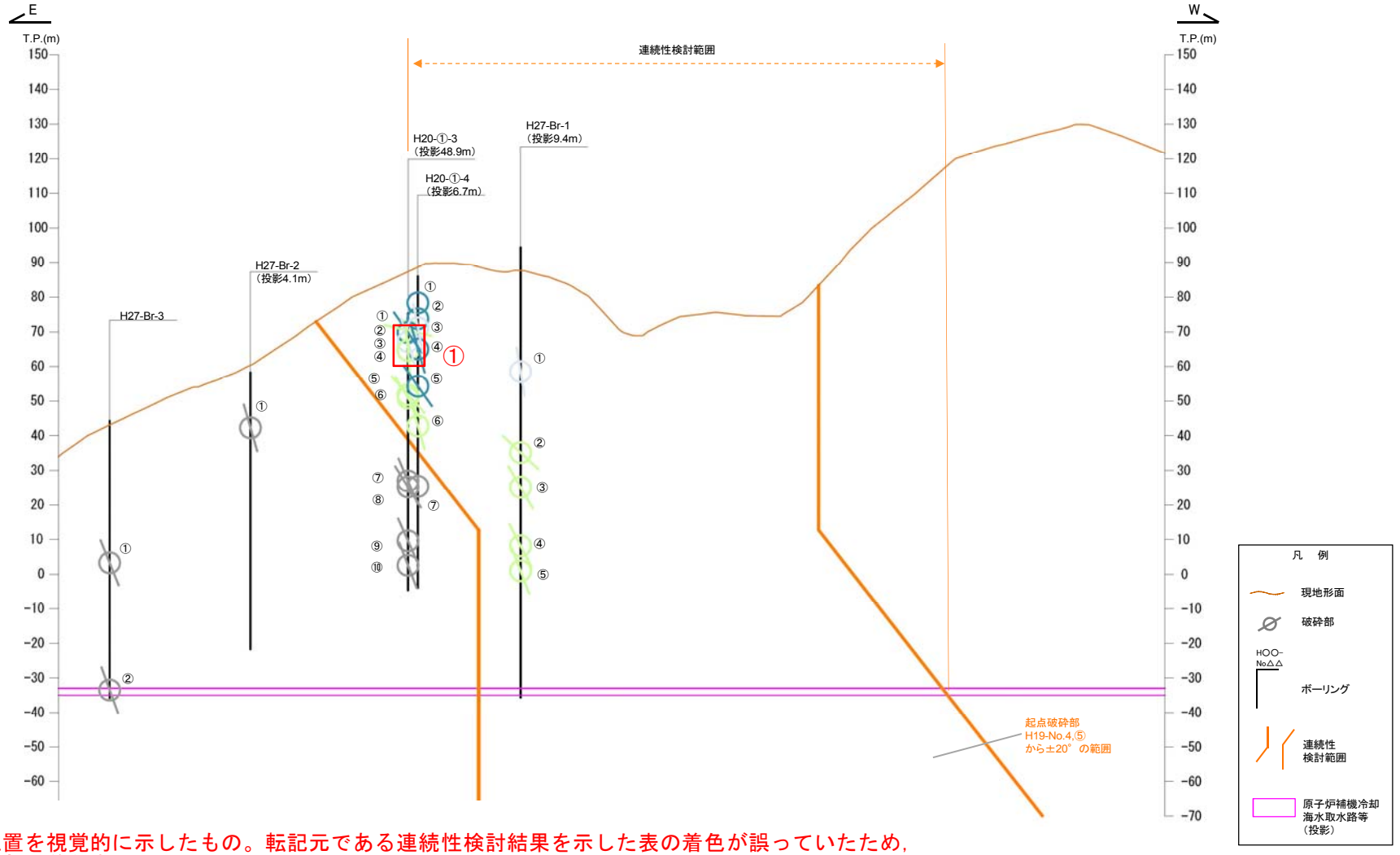
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)



82(分類D)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。転記元である連続性検討結果を示した表の着色が誤っていたため，本図の破砕部の着色も誤った。

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34.38	N12E		73W		無					-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有					-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	19	45W	28	有					-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	30	64NW	9	有					-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	22	65W	8	有					-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有					-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	有					-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	有					43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	0	74W	1	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	1	85W	12	有	無	50L	-	×	f-①-3-4	参考2-139	※1
			⑤	23.28	23.62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	1	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	24	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

	走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
	N12E	12	e		73W	73	W	
	N11W	11	E	1	85W	85	W	12

非表示セル　非表示セル

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑤	34.24	34.38	N12E		73W		無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	4	81W	8	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	19	45W	28	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	30	64NW	9	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	22	65W	8	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	34	73W	0	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	12	74W	1	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	39	73NW	0	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	50	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	71	40N	33	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	1	55W	18	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73 ②	N12E	① 0 ②	74W	1	有	有	55L	N,RL ②	③	D-6	参考2-58	③
			④	11.06	11.17	N11W	23	85W	12	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	0	48W	25	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	38	64W	9	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	23	69W	4	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	26	61W	12	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	37	71N	2	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	28	72W	1	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	12	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	9	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	20	80W	7	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	1	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	6	55W	18	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	24	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
		範囲外	⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	7	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

83(分類A)①
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
84(分類D)②
　当該破砕部の走向の差の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，表の該当箇所の着色が変わったもの。
85，86(分類D)③
　当該破砕部の走向の差の誤りを修正したことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N5E		85W		有					-3c	参考2-168	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	有					4-1	参考2-131	※3
		範囲外	②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有					-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無						参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※3
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	54	61N	34	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

非表示セル

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
N5E	5	e		85W	85	w	
N59E	59	e	54	61N	61	e	34

非表示セル

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス
(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：2号炉原子炉建屋南側道路，H-3c破砕帯)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
2号炉原子炉建屋南側道路	-	-	-	(T.P.6.6m)		N5E		85W		有	無	28L	N,RL		H-3c	参考2-168	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	0	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	5	84W	1	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	5	73W	12	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	7	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	6	77W	8	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※3
		範囲外	②	45.63	45.70	N18E	13	83W	2	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	16	78W	7	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	37	77W	8	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	15	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	27	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	12	88E	7	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※3
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	6	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※3
			③	46.92	46.93	N20E	15	74W	11	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※3
			④	97.82	97.85	N17E	12	64W	21	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	84	73S	①12	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	54	61N	24	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	4	80W	5	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

87(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑭	215.42	215.46	N9W		64W		有					11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有					3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有					1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有					1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有					1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有					1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有					7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有					ル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	21	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	20	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N9W	9	w		64W	64	w	
N11W	11	E	20	85W	85	W	21

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑭)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑭	215.42	215.46	N9W		64W		有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	25	81W	17	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	40	45W	19	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	51	64NW	0	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	43	65W	1	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	55	73W	9	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	9	74W	10	有	有	80L	N	×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	60	73NW	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	29	76SW	12	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	17	68W	4	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	55	78NW	14	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	88	40N	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	9	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	(1) 21	74W	10	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	2	85W	21	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	21	48W	16	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	17	64W	0	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	44	69W	5	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	47	61W	3	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	58	71N	7	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	49	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	21	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	0	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	41	80W	16	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	28	74W	10	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	15	55W	9	無	-	45L	-	×	f-①-3-5	参考2-139	※1
			⑥	41.41	43.24	N36E	45	76W	12	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	2	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

88(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑮)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑮	216.15	216.24	N26E		61W		無					12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	10	81W	20	有					3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	5	45W	16	有					1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	16	64NW	3	有					1-3	参考2-176	
		範囲外	④	85.90	87.85	N34E	8	65W	4	有					1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	20	73W	12	有					1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	26	74W	13	有					7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	25	73NW	12	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	64	76SW	15	有					43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	57	40N	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	15	55W	6	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	14	74W	13	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	15	85W	24	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	14	48W	13	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	52	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	9	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	12	61W	0	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	23	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	14	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	24	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	6	80W	19	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	13	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	20	55W	6	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
		範囲外	⑥	41.41	43.24	N36E	10	76W	15	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	5	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N26E	26	e		61W	61	w	
N11W	11	E	15	85W	85	W	24

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑮)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑮	216.15	216.24	N26E		61W		無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	10	81W	20	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	5	45W	16	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	16	64NW	3	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
		範囲外	④	85.90	87.85	N34E	8	65W	4	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	20	73W	12	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	26	74W	13	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	25	73NW	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	64	76SW	15	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	57	40N	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	15	55W	6	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	① 14	74W	13	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	37	85W	24	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	14	48W	13	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	52	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	9	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	12	61W	0	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	23	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	14	72W	11	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	24	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	6	80W	19	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	7	74W	13	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	20	55W	6	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
		範囲外	⑥	41.41	43.24	N36E	10	76W	15	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	5	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

89(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		有					-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有					-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有					-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有					-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有					-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有					-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有					-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有					43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	26	85W	18	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	18	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N37E	37	e		67W	67	w	
N11W	11	E	26	85W	85	W	18

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	④	50.35	50.48	N37E		67W		有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	21	81W	14	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
		範囲外	②	59.18	59.27	N31E	6	45W	22	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	5	64NW	3	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	2	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	9	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	37	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	14	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	75	76SW	9	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	46	40N	27	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	26	55W	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	25	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	48	85W	18	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	25	48W	19	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	63	64W	3	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	2	69W	2	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	1	61W	6	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	12	71N	4	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	3	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	18	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	3	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	5	80W	13	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	18	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	31	55W	12	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	1	76W	9	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	1	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

90(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		有					11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	有					3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有					1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有					1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有					1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有					1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有					7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有					ル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有					3	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	9	74W	5	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	8	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1



( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No4，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	③	22.20	22.26	N3E		79W		有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	13	81W	2	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	28	45W	34	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	39	64NW	15	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	31	65W	14	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	43	73W	6	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	3	74W	5	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	48	73NW	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	41	76SW	3	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	80	40N	39	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	8	55W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	① 9	74W	5	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	14	85W	6	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	9	48W	31	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	29	64W	15	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
		範囲外	⑦	48.20	48.24	N35E	32	69W	10	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	35	61W	18	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	46	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	37	72W	7	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	6	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	15	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	29	80W	1	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	16	74W	5	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	3	55W	24	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	33	76W	3	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	13	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

91(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑬)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑬	212.00	212.07	N6W		63W		有					10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	22	81W	18	有					3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	37	45W	18	有					1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	48	64NW	1	有					1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	40	65W	2	有					1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	52	73W	10	有					1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	6	74W	11	有					7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	57	73NW	10	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	32	76SW	13	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	14	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	52	78NW	15	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	89	40N	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	17	55W	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	18	74W	11	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	17	85W	22	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	18	48W	15	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	20	64W	1	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	41	69W	6	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	44	61W	2	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	55	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	46	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	22	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	1	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	38	80W	17	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	25	74W	11	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	12	55W	8	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	42	76W	13	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	3	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N6W	6	w		63W	63	w	
N11W	11	E	17	85W	85	W	22

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑬)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑬	212.00	212.07	N6W		63W		有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	22	81W	18	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	37	45W	18	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	48	64NW	1	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	40	65W	2	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	52	73W	10	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	6	74W	11	有	有	80L	N	×	D-7	参考2-90	
	H27-Br-3	範囲外	①	40.53	41.10	N51E	57	73NW	10	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	32	76SW	13	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H27-Br-4		①	12.91	13.24	N8E	14	68W	5	無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	52	78NW	15	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	89	40N	23	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	17	55W	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			③	6.42	8.73	N12E	①18	74W	11	有	有	55L	N,RL	×	D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	5	85W	22	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	18	48W	15	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	20	64W	1	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	41	69W	6	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	44	61W	2	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	55	71N	8	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	46	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	22	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	1	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※1
			③	12.70	15.25	N32E	38	80W	17	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	25	74W	11	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	12	55W	8	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	42	76W	13	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	3	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

92(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E		81W		有					D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	5	81W	0	有					D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有					r-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有					r-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有					r-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有					r-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有					D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有					モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有					D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
		範囲外	④	21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

走向	非表示セル	非表示セル	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル	非表示セル	比較対象との傾斜の差 (°)
N31E	31	E		81W	81	W	
N16E	26	E	5	81W	81	W	0

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-D5-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-D5-1	-	-	②	25.17	25.44	N31E	①	81W		有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	15	81W	0	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	0	45W	36	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	11	64NW	17	有	有	45L	N,RL	×	f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	3	65W	16	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	15	73W	8	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	31	74W	7	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	20	73NW	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	69	76SW	5	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	52	40N	41	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	20	55W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	19	74W	7	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	42	85W	4	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	19	48W	33	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	57	64W	17	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	4	69W	12	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	7	61W	20	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	18	71N	10	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	9	72W	9	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	4	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	17	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	1	80W	1	有	有	70L	N	×	D-6	参考2-59	
		範囲外	④	21.10	21.15	N19E	12	74W	7	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	25	55W	26	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	5	76W	5	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	15	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

93(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	③	39.83	39.88	N25E		82W		有					5-1	参考2-131	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	20	81W	1	有					2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	25	84W	2	有					3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	15	73W	9	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	4	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	5	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	1	有					4-2	参考2-131	※3
			③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	57	77W	5	無					5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	5	81W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	7	79W	3	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	34	61N	37	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N25E	25	E		82W	82	W	
N59E	59	e	34	61N	61	e	37

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲		走向	比較対象との走向の差(°)	傾斜	比較対象との傾斜の差(°)	性状				連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
				上端深度 (m)	下端深度 (m)					断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ				
H19-No.2	-	-	③	39.83	39.88	N25E		82W		有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	20	81W	1	有	無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	25	84W	2	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	15	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	10	78W	4	有	無	17R	-	×	f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	14	77W	5	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	1	有	有	80L	-	×	f-14-2	参考2-131	※3
			③	66.90	68.11	N11W	36	78W	4	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	57	77W	5	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	5	81W	1	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	7	79W	3	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	32	88E	10	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	19	89E	9	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	5	74W	8	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	8	64W	18	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	76	73S	①9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	34	61N	21	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	24	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

94(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	③	48.10	48.24	N6E		77W		無					-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	10	81W	4	有					-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	25	45W	32	有					-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	36	64NW	13	有					-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	28	65W	12	有					-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	40	73W	4	有					-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	6	74W	3	有					-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	45	73NW	4	有					デル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	44	76SW	1	有					-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	77	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	5	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	6	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	5	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	6	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	32	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	29	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	32	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
		範囲外	⑨	65.14	65.89	N49E	43	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	34	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	26	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	3	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	0	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	30	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N6E	6	E		77W	77	W	
N11W	11	E	5	85W	85	W	8

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-①-10，③)

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-10	-	-	③	48.10	48.24	N6E		77W		無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	10	81W	4	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	25	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	36	64NW	13	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	28	65W	12	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	40	73W	4	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2	範囲外	①	15.94	16.99	NS	6	74W	3	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	45	73NW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	44	76SW	1	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3	範囲内	①	4.96	5.00	N83E	77	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	5	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	① 6	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	17	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	6	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	32	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	29	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	32	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
		範囲外	⑨	65.14	65.89	N49E	43	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	34	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-	×	f-①-2-2	参考2-138	※3
			③	12.70	15.25	N32E	26	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	3	有	無	90	-	×	f-①-4-3	参考2-140	※1
			⑤	31.63	31.87	N6E	0	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	30	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

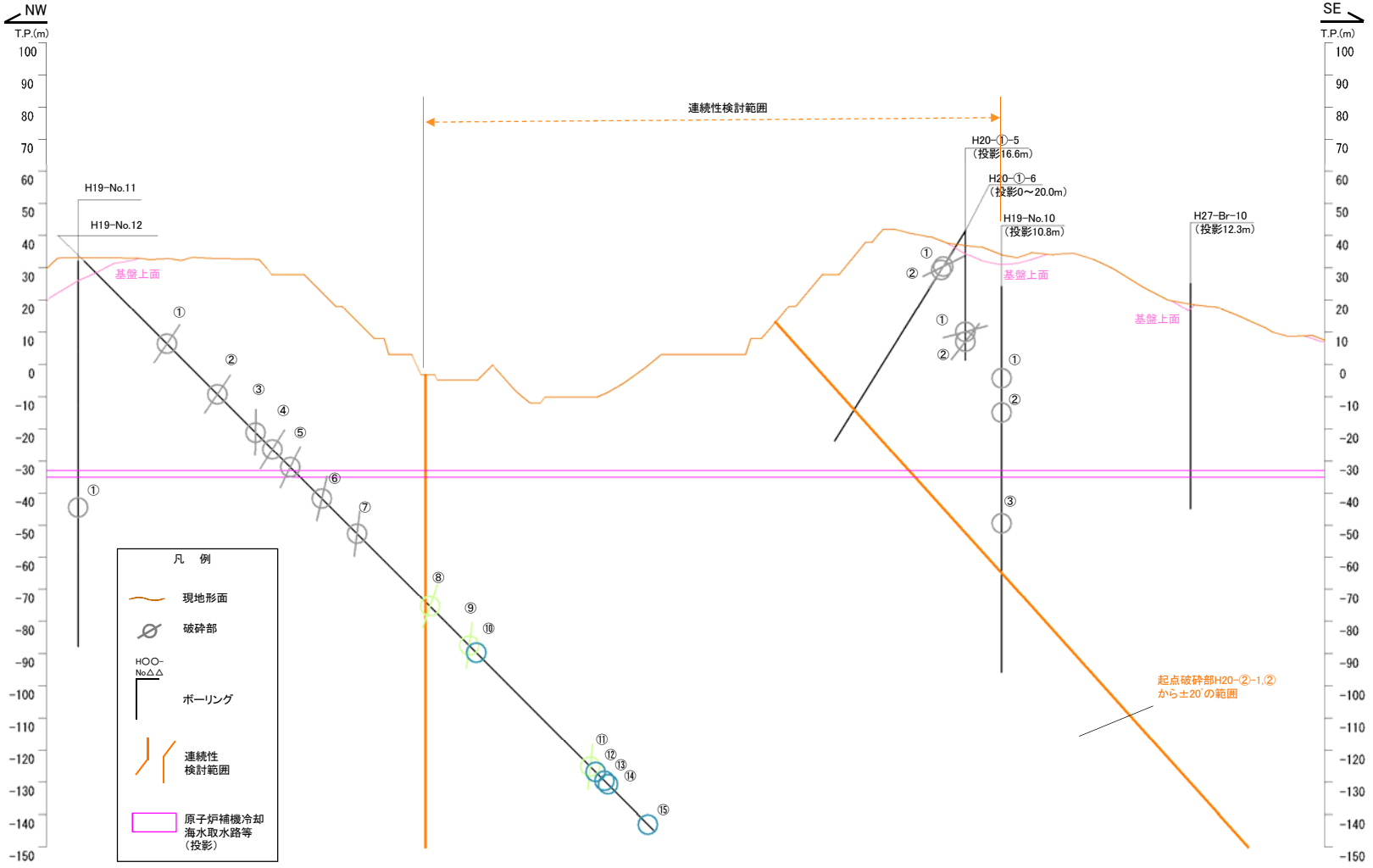
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

95(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)



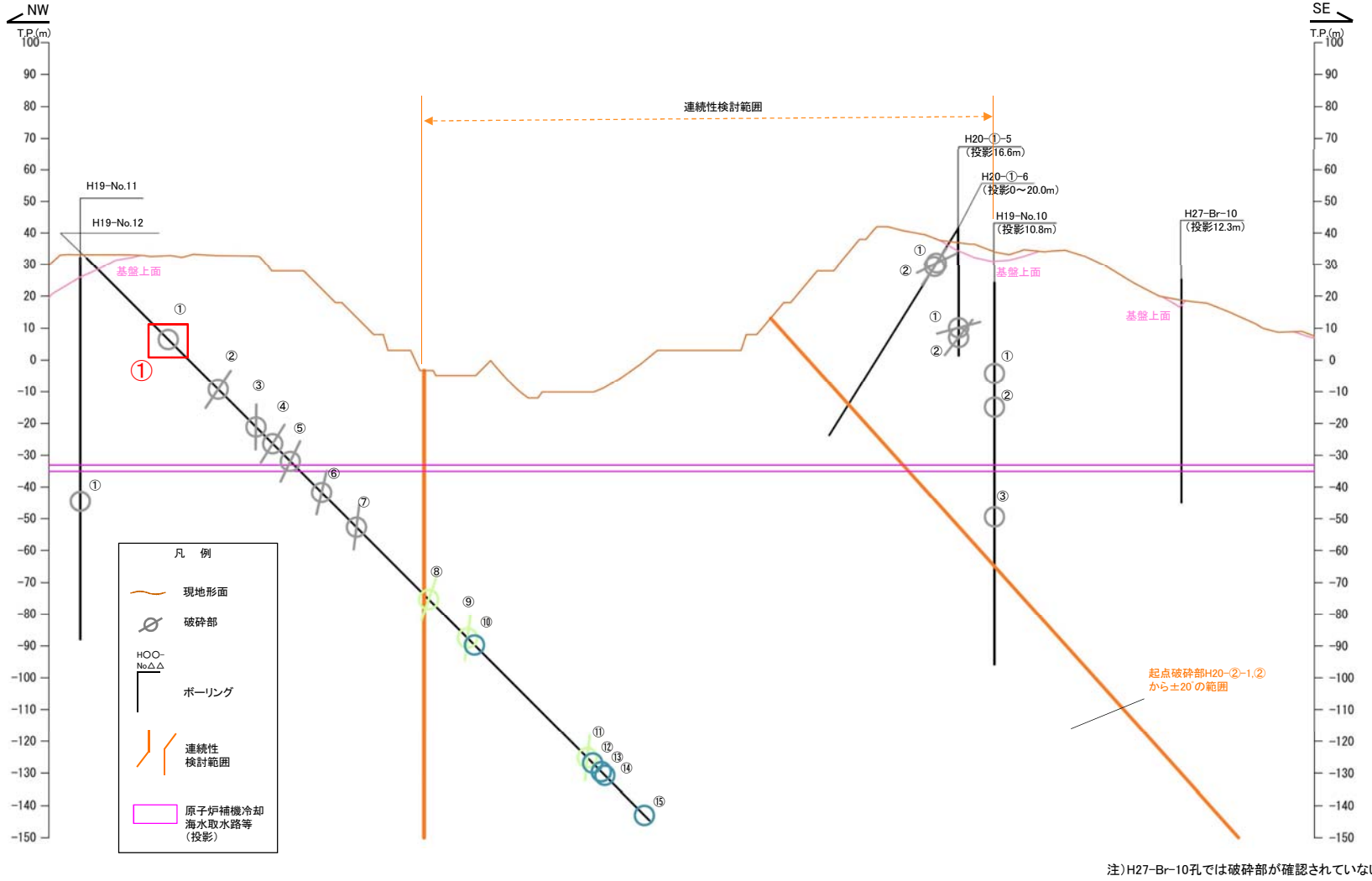
注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)



注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

96(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	②	46.85	46.97	N63E		71S		有					-1-2	参考2-140	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	3	有					-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有					-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	67	70W	39	有					-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	51	89W	20	無					3-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	38	61W	48	無					2-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	55	71W	38	無					2-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	67	83W	26	有					-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	26	83W	26	有					2-6	参考2-129	
		範囲内	⑧	152.06	152.09	N40E	23	71W	38	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	42	84W	25	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	49	85W	24	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	84	75W	34	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	28	58S	51	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	64	60S	49	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	36	65S	43	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	

	走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
	N63E	63	E		71S	71	E	
	N81W	81	W	36	65S	66	W	43

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるも

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-②-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-②-1	-	-	②	46.85	46.97	N63E		71S		有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	3	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	67	70W	39	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
			③	75.04	75.08	N12E	51	89W	20	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	38	61W	48	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	55	71W	38	無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	67	83W	26	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	26	83W	26	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
		範囲内	⑧	152.06	152.09	N40E	23	71W	38	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	42	84W	25	有	無	85R	-		f-12-8	参考2-130	
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	49	85W	24	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5	範囲外	①	31.28	31.44	N33W	84	75W	34	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	28	58S	51	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	64	60S	① 49	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	36	65S	44	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	73.62	73.63	-	-	(68)	3	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

97(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	④	39.78	39.98	N11E		78W		無					-1-3	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	3	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	6	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	5	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	0	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	1	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	5	有					4-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	0	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	1	無					5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	3	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	1	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	14	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※1
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	13	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	4	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※1
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	6	64W	14	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	90	73S	5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	41	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N11E	11	e		78W	78	w	
N59E	59	e	48	61N	61	e	41

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	④	39.78	39.98	N11E		78W		無	-	75L	-		f-④-1-3	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	6	81W	3	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	11	84W	6	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	1	73W	5	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	4	78W	0	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	0	77W	1	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	7	83W	5	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
		範囲外	③	66.90	68.11	N11W	22	78W	0	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	43	77W	1	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	9	81W	3	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	21	79W	1	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	18	88E	14	有	無	70L	-	×	f-15-1	参考2-131	※1
			②	25.83	25.93	N6E	5	89E	13	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			③	46.92	46.93	N20E	9	74W	4	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※1
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	6	64W	14	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	90	73S	① 5	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	48	61N	17	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	10	80W	2	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

98(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑥	146.29	146.32	N7E		64W		有					-2-3	参考2-125	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	2	81W	17	有					D-2	参考2-86	
		範囲外	②	62.10	62.37	NS	7	84W	20	有					D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	3	73W	9	有					13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有					12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	4	77W	13	有					14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	11	83W	19	有					14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	18	78W	14	有					D-20	参考2-101	
		範囲内	④	72.43	72.70	N32W	39	77W	13	無					④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	13	81W	17	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	25	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	14	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	13	74W	10	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	10	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	86	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	52	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	6	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N7E	7	e		64W	64	w	
N59E	59	e	52	61N	61	e	55

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.2，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.2	-	-	⑥	146.29	146.32	N7E		64W		有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
-	H19-No.13	範囲内	①	26.88	27.00	N5E	2	81W	17	有	無	72R	-	×	D-2	参考2-86	
		範囲外	②	62.10	62.37	NS	7	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	3	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	4	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	11	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	18	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
		範囲内	④	72.43	72.70	N32W	39	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	13	81W	17	有	有	-	N,RL	×	D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	25	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	14	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	1	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	13	74W	10	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	10	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲内	①	8.18	8.22	N79W	86	73S	(1) 9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	52	61N	3	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	6	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

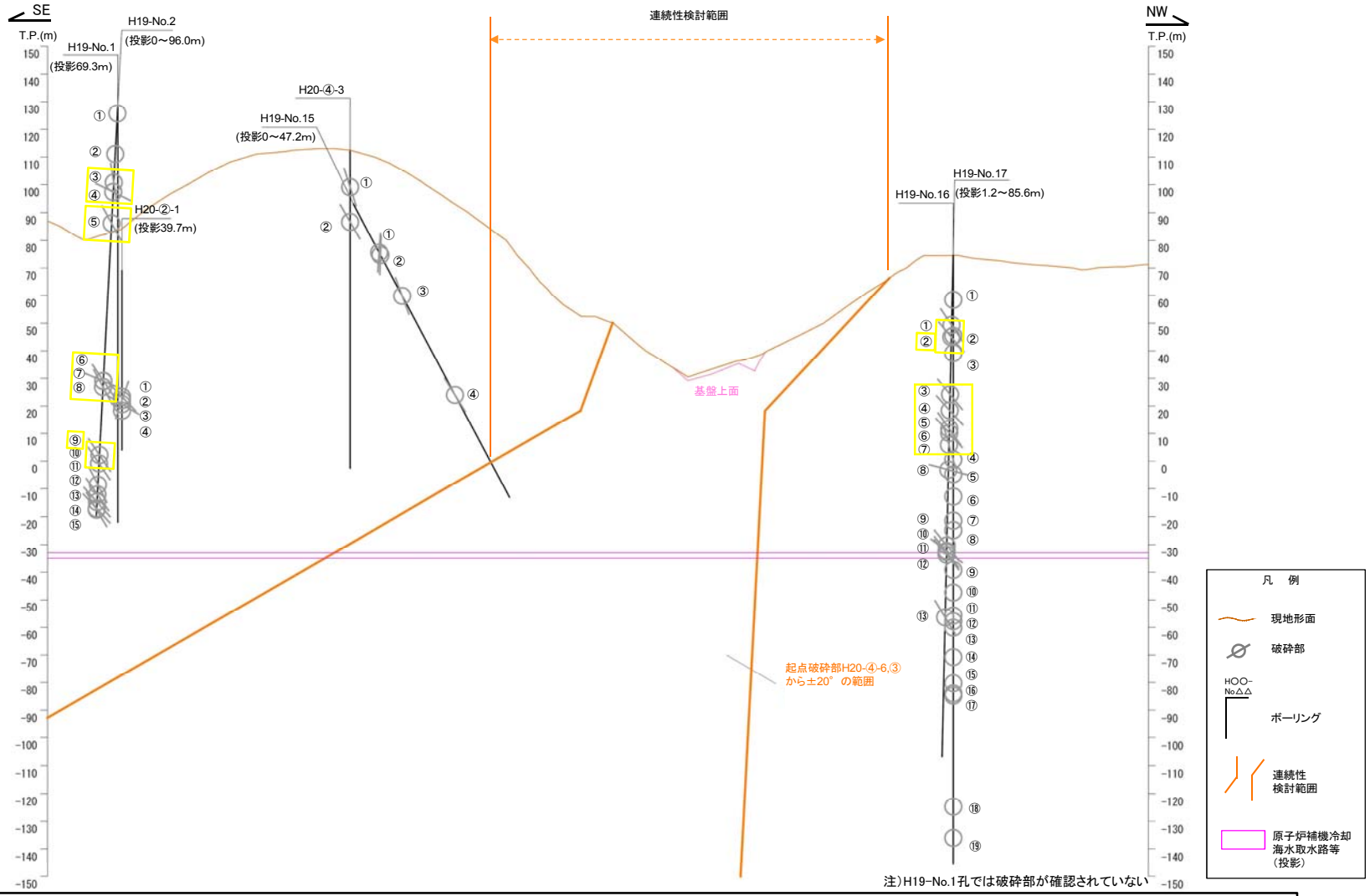
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

99(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

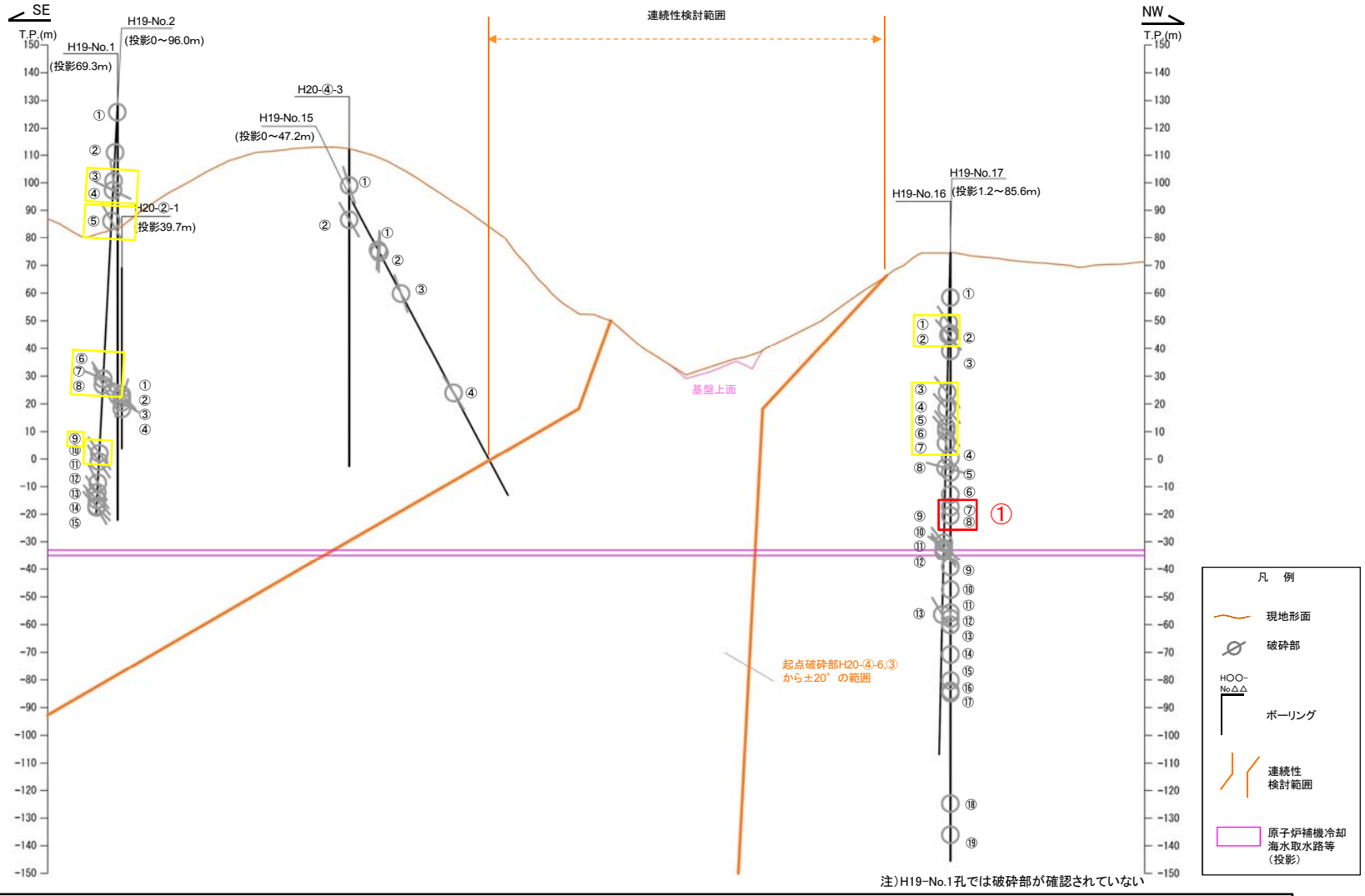
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

100(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-6	-	-	③	14.94	14.98	N55E		69S		有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	無							
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有							
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無							
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無							
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無							
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無							
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無							
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有							
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無							
			②	32.54	32.75	N35E	20	51W	60	無							
			③	55.45	55.46	N39E	16	52W	59	無							
			④	61.89	62.22	N28E	27	50W	61	無							
			⑤	68.84	69.25	N10E	45	62W	49	有							
			⑥	70.92	70.94	N18E	37	53W	58	有							
			⑦	75.60	75.90	N14E	41	77W	34	有							
			⑧	82.83	85.61	N19W	74	36W	75	有							
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	44	有							
			⑩	117.77	117.79	N11W	66	57W	54	有							
			⑪	118.22	118.25	N11E	44	59W	52	有							
			⑫	118.66	119.29	N14E	41	57W	54	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	45	65W	46	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	86	70W	51	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	54	72W	39	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	34	70W	41	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	有	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	58	60W	51	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	8	71S	40	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	-	-	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5E	50	76W	60	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	72	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N55E	55	e		69S	69	e	
N63E	63	E	8	71S	71	W	40
N5E	5	E	50	76W	51	w	60
N23E	23	w	78	64W	39	w	72

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-6	-	-	③	14.94	14.98	N55E		69S		有	有	36R	N,LL		f-④-6-3	参考2-144	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	6	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	9	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	28	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	14	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	25	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	9	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	1	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	20	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	9	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	12	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	9	無	-	-	-		D-16	参考2-93	
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	1	無	-	-	-		D-17	参考2-98	
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	14	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	17	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	15	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	21	57W	54	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	20	51W	60	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	16	52W	59	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	27	50W	61	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	45	62W	49	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	37	53W	58	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	41	77W	34	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	74	36W	75	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	63	67W	44	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	66	57W	54	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	44	59W	52	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	41	57W	54	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	45	65W	46	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	62	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	49	89E	20	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	35	74W	37	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	38	64W	47	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	30	82W	29	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	15	26W	85	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	48	68W	43	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	48	64W	47	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	86	70W	41	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	54	72W	39	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	34	70W	41	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	53	66W	45	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	23	64W	47	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	55	66W	45	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	61	63W	48	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	64	64W	47	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	29	61W	50	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	58	60W	①51	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	8	71S	2	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	73	71SW	40	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	-	② -	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5E	① 50	76W	35	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	32	64W	47	② 有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

101，103(分類A)①
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
102，104(分類A)②
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

[i]傾斜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
[i]傾斜の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
[ii]の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
[i]傾斜の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	⑤	93.36	93.45	N46E		73W		有					-1-5	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	11	74W	1	有					-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	15	81W	8	有					45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	25	87W	14	有					-5	参考2-71	
			④	35.41	35.55	N2W	48	73W	0	有					-1-4	参考2-178	
		範囲内	⑤	45.12	45.37	N38E	8	72W	1	有					46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	3	無					デル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	1	有					-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	21	72W	1	有					D-19	参考2-99	
			④	68.72	69.02	N36E	10	66W	7	有	無	30L	N, RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	16	33N	40	有	有	55L	N, RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	64	73W	0	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	42	80W	7	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	79	75W	2	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	45	58S	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	81	60S	13	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	53	65S	7	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	47	81W	8	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	20	81W	8	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48.24	N6E	40	77W	4	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	46	71W	2	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	12	83W	10	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	



( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H27-Br-1，⑤)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-1	-	-	⑤	93.36	93.45	N46E		73W		有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
-	H27-D5-1	範囲外	①	22.91	23.23	N35E	11	74W	1	有	無	90	N		D-4	参考2-89	
			②	25.17	25.44	N31E	15	81W	8	有	無	80L	N		D-45	参考2-119	
			③	25.65	25.77	N21E	25	87W	14	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-71	
			④	35.41	35.55	N2W	48	73W	0	有	無	80L	N		f-d5-1-4	参考2-178	
		範囲内	⑤	45.12	45.37	N38E	8	72W	1	有	有	85R	N		D-46	参考2-119	
	H20-①-1		①	2.66	2.95	-	-	(70)	3	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	8.64	10.63	-	-	(74)	1	有	有	-	-	×	D-6	参考2-58	
			③	23.62	24.62	N25E	21	72W	1	有	無	60L	-		D-19	参考2-99	
			④	68.72	69.02	N36E	10	66W	7	有	無	30L	N, RL		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-2		①	11.73	11.91	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1
			②	22.63	22.66	N62E	16	33N	40	有	有	55L	N, RL		f-①-2-2	参考2-138	
			③	32.90	34.91	N18W	64	73W	0	有	有	-	-		D-6	参考2-58	
			④	66.08	67.28	N4E	42	80W	7	有	無	88L	-		f-①-2-4	参考2-138	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	79	75W	2	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	45	58S	15	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	81	60S	(1)13	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	53	65S	8	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-10	範囲外	①	9.01	10.28	N1W	47	81W	8	有	無	77L	-		D-4	参考2-90	
			②	18.16	18.84	N26E	20	81W	8	無	-	90	-		f-①-10-2	参考2-140	
			③	48.10	48.24	N6E	40	77W	4	無	-	80R	-		D-45	参考2-119	
			④	50.90	52.95	NS	46	71W	2	有	有	80R	N		D-5	参考2-71	
			⑤	55.99	56.05	N34E	12	83W	10	有	無	5L	LL		D-46	参考2-119	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

105(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有					1-2	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	8	有					2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有					3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有					4-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有					20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無					5-3	参考2-143	
		範囲外	⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	71	73S	0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	67	61N	46	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル	非表示セル	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル	非表示セル	比較対象との傾斜の差 (°)
N8W	8	w		73W	73	w	
N59E	59	e	67	61N	61	e	46

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-1，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-1	-	-	③	23.27	23.31	N8W		73W		有	有	47L	N,RL		f-④-1-2	参考2-141	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	8	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	8	84W	11	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	18	73W	0	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	23	78W	5	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	19	77W	4	有	無	5L	-	×	f-14-1	参考2-131	※1
			②	45.63	45.70	N18E	26	83W	10	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	3	78W	5	有	無	56L	-	×	D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	24	77W	4	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
		範囲外	⑤	86.12	87.03	N20E	28	81W	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	40	79W	6	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	1	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	14	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	28	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	25	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	71	73S	①0	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	67	61N	12	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	9	80W	7	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

106(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-3	-	-	②	25.81	25.85	N23E		64W		有						参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	18	81W	17	有						参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有						参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	9	有						参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有						参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	12	77W	13	有						参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	5	83W	19	有						参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有						参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無						参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	9	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	36	61N	55	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	比較対象との走向の差 (°)			傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)		
	非表示セル				非表示セル		
N23E	23	E		64W	64	W	
N59E	59	e	36	61N	61	e	55

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-3	-	-	②	25.81	25.85	N23E		64W		有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	18	81W	17	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	23	84W	20	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	13	73W	9	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	8	78W	14	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	12	77W	13	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	5	83W	19	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	34	78W	14	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	55	77W	13	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	3	81W	17	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	9	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	30	88E	28	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	17	89E	27	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	3	74W	10	有	無	73L	-	○	f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	6	64W	0	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	78	73S	(1) 9	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	36	61N	3	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	22	80W	16	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

107(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	④	25.70	25.80	N18E		77W		有						参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	4	有						参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	18	84W	7	有						参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	8	73W	4	有						参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	3	78W	1	有						参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	7	77W	0	有						参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	0	83W	6	有						参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有						参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	50	77W	0	無					f-④-3-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※4
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	83	73S	4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	41	61N	42	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	17	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	比較対象との走向の差 (°)			傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)		
	非表示セル				非表示セル		
N18E	18	e		77W	77	w	
N59E	59	e	41	61N	61	e	42

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-6，④)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-④-6	-	-	④	25.70	25.80	N18E		77W		有	無	90	-		f-④-6-4	参考2-144	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	13	81W	4	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	18	84W	7	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	8	73W	4	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	3	78W	1	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14		①	40.56	40.57	N11E	7	77W	0	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	0	83W	6	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	29	78W	1	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	50	77W	0	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	2	81W	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	14	79W	2	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	25	88E	15	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	12	89E	14	有	無	71L	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			③	46.92	46.93	N20E	2	74W	3	有	無	73L	-	×	f-④-3-1	参考2-143	※4
			④	97.82	97.85	N17E	1	64W	13	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1	範囲外	①	8.18	8.22	N79W	83	73S	①4	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	41	61N	16	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	17	80W	3	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

108(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	①	28.77	28.82	N32E		80W		有						参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	1	有						参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	1	45W	35	有					-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	10	64NW	16	有					-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	15	有					-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	14	73W	7	有					-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	32	74W	6	有						参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	51	40N	40	有					化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	43	55W	25	無					化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	20	74W	6	有						参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	21	85W	5	有						参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	20	48W	32	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	16	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	3	69W	11	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	6	61W	19	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	9	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	5	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	16	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	0	80W	0	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	6	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	26	55W	25	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	14	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N32E	32	E		80W	80	W	
N11E	11	W	43	55W	55	W	25
N11W	11	E	21	85W	85	W	5

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	①	28.77	28.82	N32E		80W		有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲外	①	33.27	35.90	N16E	16	81W	1	有	有	76R	N		D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	1	45W	35	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
			③	67.63	70.76	N42E	10	64NW	16	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	2	65W	15	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	14	73W	7	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	32	74W	6	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	①51	40N	40	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	21	55W	25	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	①20	74W	6	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	43	85W	5	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	20	48W	32	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	58	64W	16	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	3	69W	11	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	6	61W	19	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	17	71N	9	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	8	72W	8	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4		①	3.93	7.70	-	-	(85)	5	有	無	-	-		D-5	参考2-72	
			②	12.25	12.26	-	-	(64)	16	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	0	80W	0	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	13	74W	6	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	26	55W	25	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	4	76W	4	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	14	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

109，110(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑧	60.32	60.36	N71W		86N		無					4-5	参考2-126	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	76	81W	13	有					-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有					-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	81	73W	21	有					3-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有					2-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	82	77W	17	有					4-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	89	83W	11	有					4-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有					-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無					-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	77	89E	3	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	8	73S	21	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	25	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N71W	71	w		86N	86	e	
N59E	59	e	50	61N	61	e	25

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.4，⑧)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑧	60.32	60.36	N71W		86N		無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
-	H19-No.13	範囲外	①	26.88	27.00	N5E	76	81W	13	有	無	72R	-		D-2	参考2-86	
			②	62.10	62.37	NS	71	84W	10	有	有	70L	-		D-3	参考2-87	
			③	74.52	74.59	N10E	81	73W	21	有	無	60L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	81.92	82.37	N15E	86	78W	16	有	無	17R	-		f-12-4	参考2-129	
	H19-No.14	範囲内	①	40.56	40.57	N11E	82	77W	17	有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
			②	45.63	45.70	N18E	89	83W	11	有	有	80L	-		f-14-2	参考2-131	
			③	66.90	68.11	N11W	60	78W	16	有	無	56L	-		D-20	参考2-101	
			④	72.43	72.70	N32W	39	77W	17	無	-	不明	-		f-④-5-3	参考2-143	
			⑤	86.12	87.03	N20E	89	81W	13	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
			⑥	123.32	123.34	N32E	77	79W	15	有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
	H19-No.15		①	24.58	24.67	N7W	64	88E	2	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	77	89E	3	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	89	74W	20	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
			④	97.82	97.85	N17E	88	64W	30	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H20-③-1		①	8.18	8.22	N79W	8	73S	(1)21	無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
			②	18.46	18.53	N59E	50	61N	33	有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
			③	33.95	34.50	N1E	72	80W	14	有	有	85R	-		D-2	参考2-87	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

111(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有					1-2	参考2-141	
-	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有					5-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有					5-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	有					3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有					5-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					5-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					ル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	有					5-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有					ル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	58	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	38	70W	9	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
		範囲内	⑫	207.94	208.69	NS	59	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	33	61W	0	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	62	60W	1	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	4	71S	10	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5E	54	76W	15	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	



( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，②)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-③-1	-	-	②	18.46	18.53	N59E		61N		有	無	90	-		f-③-1-2	参考2-141	
-	H19-No.15	範囲内	①	24.58	24.67	N7W	66	88E	31	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	53	89E	30	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	39	74W	13	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲外	④	97.82	97.85	N17E	42	64W	3	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2		①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	34	82W	21	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	19	26W	35	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	52	68W	7	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	52	64W	3	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	90	70W	9	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	58	72W	11	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	38	70W	9	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	57	66W	5	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	27	64W	3	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
		範囲内	⑫	207.94	208.69	NS	59	66W	5	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	65	63W	2	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	68	64W	3	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	33	61W	0	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1	範囲外	①	45.13	46.34	N3W	62	60W	① 1	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	4	71S	48	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	69	71SW	10	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	4	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3	範囲内	①	13.41	13.45	N5E	54	76W	15	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	36	64W	3	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

112(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑥	123.32	123.34	N32E		79W		有					4-5	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					5-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					デル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	3	有					5-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	8	26W	53	有					デル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	25	68W	11	無					4-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	25	64W	15	有					2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	63	70W	9	有					20	参考2-101	
		範囲外	⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	7	有					-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	11	70W	9	有					-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	30	66W	13	有					2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	0	64W	15	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	13	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	38	63W	16	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	41	64W	15	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	18	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	0	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	16	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	15	77W	2	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	5	67W	12	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	36	70W	9	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	3	62W	17	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	29	79W	0	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	39	73W	6	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	20	73W	6	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	3	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	42	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	86	86N	15	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	16	87W	8	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	17	87W	8	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	23	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	61	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	18	76W	3	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	19	83W	4	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	12	74W	5	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	60	88W	9	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	35	60W	19	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	31	71S	8	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	84	71SW	8	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	14	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N32E	32	e		79W	79	w	
N71W	54	w	86	86N	86	E	15
N63E	63	E	31	71S	71	W	8

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	⑥	123.32	123.34	N32E		79W		有	無	70L (不明瞭)	-		f-14-5	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※1
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
			③	39.83	39.88	N25E	7	82W	3	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	8	26W	53	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	25	68W	11	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	25	64W	15	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	63	70W	9	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
		範囲外	⑧	149.71	149.84	N1E	31	72W	7	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	11	70W	9	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	30	66W	13	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	0	64W	15	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	32	66W	13	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	38	63W	16	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	41	64W	15	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	6	61W	18	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.3		①	28.77	28.82	N32E	0	80W	1	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	16	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	15	77W	2	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	5	67W	12	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	36	70W	9	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	3	62W	17	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	29	79W	0	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	39	73W	6	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	20	73W	6	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	3	72W	7	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	① 42	89W	10	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	77	86N	15	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	16	87W	8	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	17	87W	8	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	23	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	61	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	18	76W	3	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	19	83W	4	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	12	74W	5	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	60	88W	9	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	35	60W	② 19	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	31	71S	30	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	84	71SW	8	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	14	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

113(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。
114(分類A)②
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		有					2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	有					D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32						or-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有					or-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有					or-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有					or-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有					D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有					モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有	無	-	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	5	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	6	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
		範囲外	②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	15	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	3	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	11	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	19	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
	非表示セル				非表示セル		
N17E	17	e		77W	77	w	
N11W	11	E	6	85W	85	W	8

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.3，③)

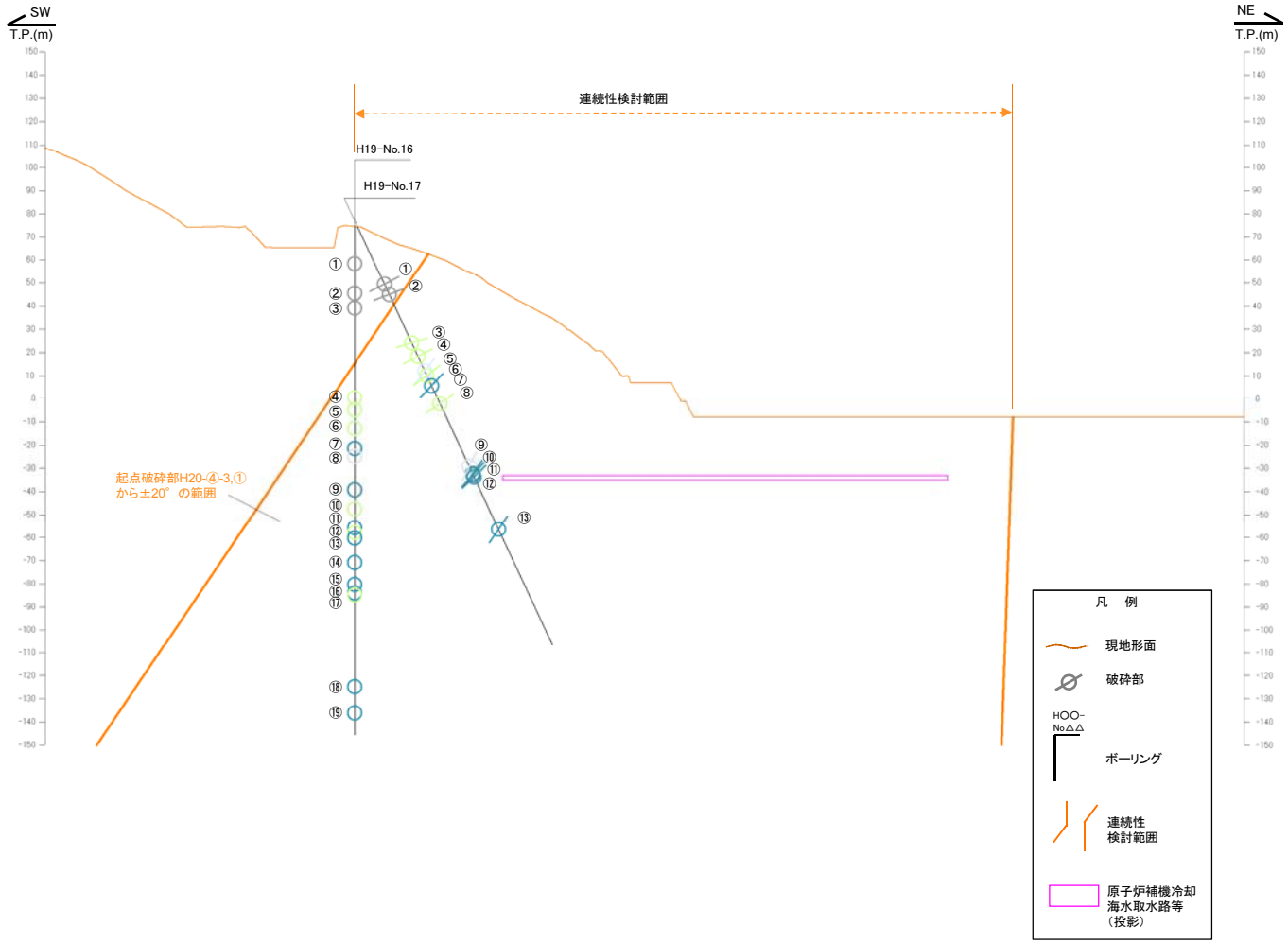
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.3	-	-	③	42.75	42.81	N17E		77W		有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
-	H27-Br-1	範囲内	①	33.27	35.90	N16E	1	81W	4	有	有	76R	N	×	D-3	参考2-88	
			②	59.18	59.27	N31E	14	45W	32	有	有	85R	N		f-br-1-2	参考2-176	
		範囲外	③	67.63	70.76	N42E	25	64NW	13	有	有	45L	N,RL		f-br-1-3	参考2-176	
			④	85.90	87.85	N34E	17	65W	12	有	有	20L	RL		f-br-1-4	参考2-176	
			⑤	93.36	93.45	N46E	29	73W	4	有	有	20R	RL		f-br-1-5	参考2-176	
	H27-Br-2		①	15.94	16.99	NS	17	74W	3	有	有	80L	N		D-7	参考2-90	
	H27-Br-3		①	40.53	41.10	N51E	34	73NW	4	有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
			②	77.72	77.90	N38W	55	76SW	1	有	無	90	-		D-43	参考2-118	
	H20-①-3		①	4.96	5.00	N83E	66	40N	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			②	5.53	5.81	N11E	6	55W	22	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			③	6.42	8.73	N12E	⑴5	74W	3	有	有	55L	N,RL		D-6	参考2-58	
			④	11.06	11.17	N11W	28	85W	8	有	無	50L	-		f-①-3-4	参考2-139	
			⑤	23.28	23.62	N12E	5	48W	29	有	無	15R	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	24.43	25.00	N26W	43	64W	13	有	有	10R	-		f-①-3-6	参考2-139	
			⑦	48.20	48.24	N35E	18	69W	8	有	無	35R	-		f-①-3-7	参考2-139	
			⑧	50.06	50.15	N38E	21	61W	16	有	無	85R	-		f-①-3-8	参考2-139	
			⑨	65.14	65.89	N49E	32	71N	6	有	有	85L	-		D-19	参考2-99	
			⑩	72.50	72.66	N40E	23	72W	5	有	無	55L	-		f-①-1-3	参考2-138	
	H20-①-4	範囲内	①	3.93	7.70	-	-	(85)	8	有	無	-	-	×	D-5	参考2-72	
		範囲外	②	12.25	12.26	-	-	(64)	13	有	無	-	-		f-①-2-2	参考2-138	
			③	12.70	15.25	N32E	15	80W	3	有	有	70L	N		D-6	参考2-59	
			④	21.10	21.15	N19E	2	74W	3	有	無	90	-		f-①-4-3	参考2-140	
			⑤	31.63	31.87	N6E	11	55W	22	無	-	45L	-		f-①-3-5	参考2-139	
			⑥	41.41	43.24	N36E	19	76W	1	有	無	70R	-		D-19	参考2-99	
			⑦	60.47	60.67	-	-	(66)	11	有	無	-	-		f-①-1-3	参考2-138	

（ ）の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

115(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

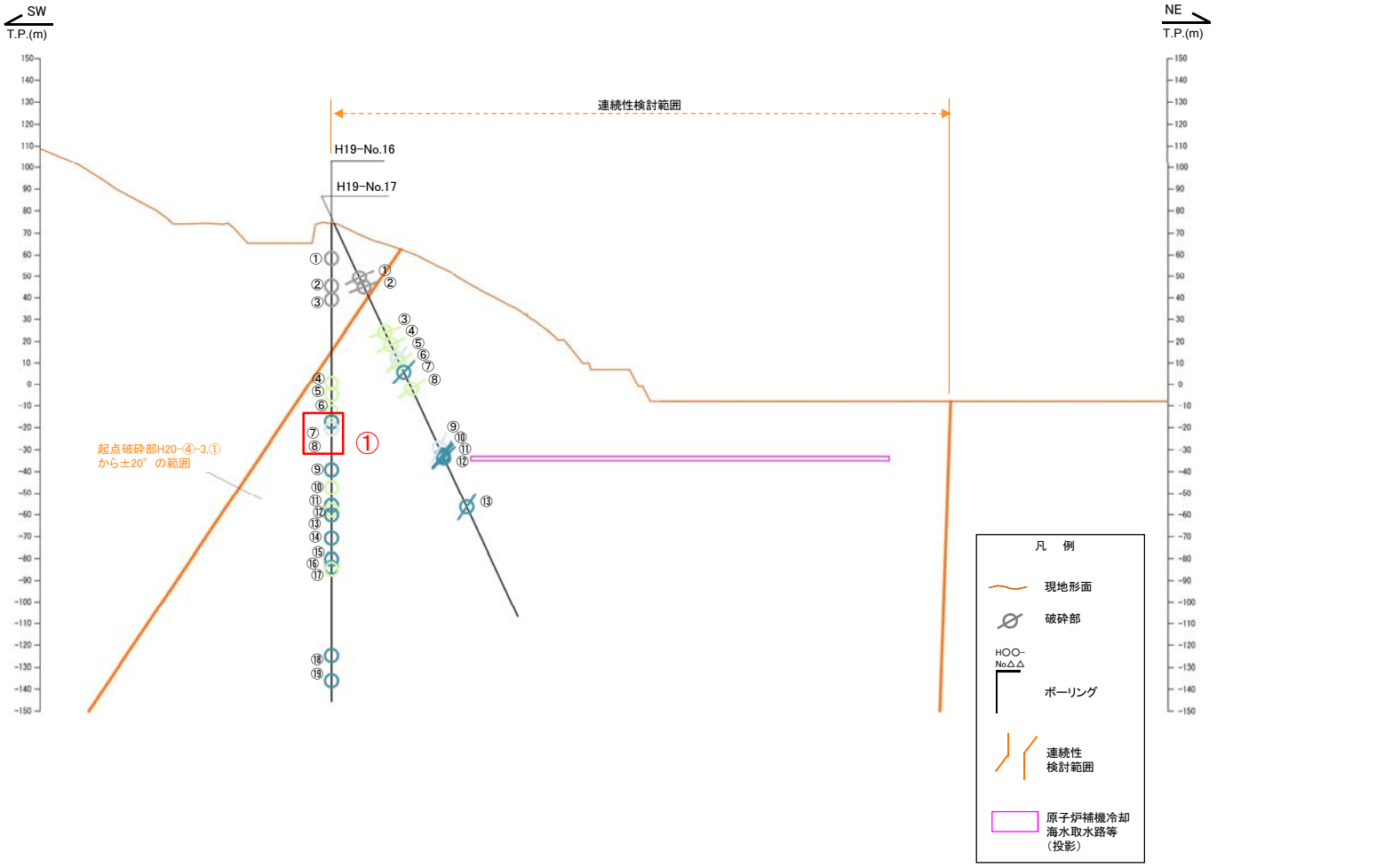
連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

116(分類B)①
破砕部の位置を視覚的に示したもの。破砕部をプロットする際に位置を誤った。

第758回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5E		76W		無						参考2-132	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	16	有					非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無					D-12	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有						参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有						参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有						参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有						参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無					非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有						参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	2	有					非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	32	有					非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	19	無					非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無						参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	16	有					非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	5	無					非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	16	無						参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無						参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	21	無						参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	10	無					非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	8	有					非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	39	57W	19	無					D-12	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	40	51W	25	無						参考2-132	
		範囲内	③	55.45	55.46	N39E	44	52W	24	無					非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	33	50W	26	無					非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	15	62W	14	有					D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	23	53W	23	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	19	77W	1	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	14	36W	40	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	3	67W	9	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	6	57W	19	有	無	81R	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑪	118.22	118.25	N11E	16	59W	17	有	無	87R	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑫	118.66	119.29	N14E	19	57W	19	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	15	65W	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N5E	5	W		76W	76	W	
N34E	34	e	39	57W	57	w	19
N35E	35	e	40	51W	51	w	25
N39E	39	e	44	52W	52	w	24
N28E	28	e	33	50W	50	w	26
N10E	10	e	15	62W	62	w	14
N18E	18	e	23	53W	53	w	23
N14E	14	e	19	77W	77	w	1
N19W	19	w	14	36W	36	w	40
N8W	8	w	3	67W	67	w	9
N11W	11	w	6	57W	57	w	19
N11E	11	e	16	59W	59	w	17
N14E	14	e	19	57W	57	w	19
N10E	10	e	15	65W	65	w	11

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-④-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	備考
H20-④-3	-	-	①	13.41	13.45	N5E		76W		無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
-	H19-No.16	範囲外	①	16.01	17.82	-	-	(60)	16	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	13	無	-	-	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	16	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	④	73.91	73.93	-	-	(41)	35	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	21	有	無	-	-		D-12	参考2-91	
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	32	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	6	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	2	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	32	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	19	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	27	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	16	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	16	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	8	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	21	無	-	-	-		D-18	参考2-98	
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	10	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	① -	(84)	8	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17	範囲外	①	27.65	27.73	N34E	29	57W	19	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	30	51W	25	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
		範囲内	③	55.45	55.46	N39E	34	52W	24	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	23	50W	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	5	62W	14	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	13	53W	23	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	9	77W	1	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	24	36W	40	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	13	67W	9	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	16	57W	19	有	無	81R	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑪	118.22	118.25	N11E	6	59W	17	有	無	87R	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑫	118.66	119.29	N14E	9	57W	19	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	5	65W	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

117～129(分類D)①
起点破砕部の非表示セルの誤りを修正したことにより，起点破砕部と対比破砕部の走向の差が変わったもの。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	性状 走向	性状 比較対象との走向の差 (°)	性状 傾斜	性状 比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E		77W		有					f-14-1	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無					f-15-2	参考2-131	※4
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有					非モデル化	参考2-184	※4
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	有					f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	有					非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	無					f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	有					f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	有					D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	6	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
	非表示セル				非表示セル		
N11E	11	E		77W	77	W	
N63E	63	E	52	71S	71	W	6

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H19-No.14，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.14	-	-	①	40.56	40.57	N11E		77W		有	無	5L	-		f-14-1	参考2-131	
-	H19-No.2	範囲内	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-	×	f-15-2	参考2-131	※4
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※4
			③	39.83	39.88	N25E	14	82W	5	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	29	26W	51	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	4	68W	9	無	-	43L	-	○	f-14-1	参考2-131	
		範囲外	⑥	146.29	146.32	N7E	4	64W	13	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	42	70W	7	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	10	72W	5	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	10	70W	7	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	9	66W	11	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	21	64W	13	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	11	66W	11	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	17	63W	14	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	20	64W	13	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	15	61W	16	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	14	60W	①17	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	52	71S	32	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	63	71SW	6	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	12	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H19-No.3	範囲外	①	28.77	28.82	N32E	21	80W	3	有	無	90	-		f-2-8	参考2-125	
			②	30.38	30.48	-	-	(63)	14	有	有	-	-		D-3	参考2-88	
			③	42.75	42.81	N17E	6	77W	0	有	有	75L	-		f-2-10	参考2-125	
			④	50.35	50.48	N37E	26	67W	10	有	無	-	-		f-2-12	参考2-126	
	H19-No.4		①	10.48	11.53	N4W	15	70W	7	有	有	50L	-		D-3	参考2-88	
			②	16.13	16.31	N35E	24	62W	15	有	有	38L	-		f-2-10	参考2-125	
			③	22.20	22.26	N3E	8	79W	2	有	有	2L	-		f-2-11	参考2-126	
			④	24.12	24.41	N7W	18	73W	4	無	-	-	-		f-12-4	参考2-129	
			⑤	34.24	34.38	N12E	1	73W	4	無	-	-	-		f-2-12	参考2-126	
			⑥	46.13	46.38	N29E	18	72W	5	有	有	47L	-		f-4-3	参考2-126	
			⑦	59.22	59.59	N10W	21	89W	12	有	無	80L	-		D-4	参考2-89	
			⑧	60.32	60.36	N71W	82	86N	17	無	-	38L	-		f-4-5	参考2-126	
			⑨	84.25	84.33	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑩	107.54	109.94	N16E	5	87W	10	有	有	-	N,RL		D-5	参考2-70	
			⑪	159.77	159.88	N15E	4	87W	10	有	無	21L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	171.69	174.88	N9E	2	78W	1	有	有	79L	N		D-6	参考2-57	
			⑬	175.27	175.28	N29W	40	78W	1	有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
			⑭	175.64	175.65	N14E	3	76W	1	有	有	64R	-		f-4-10	参考2-127	
			⑮	207.69	207.72	N13E	2	83W	6	有	無	-	-		D-7	参考2-90	
			⑯	218.73	218.74	N20E	9	74W	3	有	無	64L	-		f-4-12	参考2-127	
			⑰	234.32	236.15	N28W	39	88W	11	無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

130(分類A)①
作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W		73S		有	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	13	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※1
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	3	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	24	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無						
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-						
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-						
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-						
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-						
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-						
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無						
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-						
			②	32.54	32.75	N35E	66	51W	22	無	-						
			③	55.45	55.46	N39E	62	52W	21	無	-						
			④	61.89	62.22	N28E	73	50W	23	無	-						
			⑤	68.84	69.25	N10E	89	62W	11	有	有						
			⑥	70.92	70.94	N18E	83	53W	20	有	無						
			⑦	75.60	75.90	N14E	87	77W	4	有	有						
			⑧	82.83	85.61	N19W	60	36W	37	有	有						
			⑨	114.31	115.63	N8W	71	67W	6	有	有						
			⑩	117.77	117.79	N11W	68	57W	16	有	有						
			⑪	118.22	118.25	N11E	90	59W	14	有	無						
			⑫	118.66	119.29	N14E	87	57W	16	有	無						
			⑬	144.35	144.37	N10E	89	65W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	85	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲内	④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	有	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	無	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	80	72W		有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	80	70W	3	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	75	51W	12	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	38	71S	2	有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5E	84	76W	32	無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	20	有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向	非表示セル		比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル		比較対象との傾斜の差 (°)
N79W	79	W		73S	73	W	
N63E	63	E	38	71S	71	W	2
N5W	5	W	74	76W	41	w	32
N23E	23	e	78	64W	53	w	20

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(原子炉補機冷却海水取水路等，起点破砕部：H20-③-1，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-③-1	-	-	①	8.18	8.22	N79W		73S		無	-	50L	-		f-③-1-1	参考2-141	
-	H19-No.16	範囲内	①	16.01	17.82	-	-	(60)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			②	28.92	29.04	-	-	(63)	10	無	-	-	-	×	f-⑥-3-2	参考2-147	※1
			③	35.33	35.35	-	-	(60)	13	有	有	-	-		f-17-2	参考2-132	
			④	73.91	73.93	-	-	(41)	32	有	有	-	-		D-11	参考2-91	
			⑤	79.22	79.25	-	-	(55)	18	有	無	-	-	×	D-12	参考2-91	※1
			⑥	86.04	87.32	-	-	(44)	29	有	有	-	-		D-14	参考2-65	
			⑦	91.50	91.79	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑧	93.75	96.18	-	-	(70)	3	有	有	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	113.66	113.77	-	-	(74)	1	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑩	121.85	122.21	-	-	(44)	29	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
			⑪	130.20	131.28	-	-	(57)	16	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-185	※1
			⑫	131.94	133.07	-	-	(49)	24	無	-	32L	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑬	133.70	136.00	-	-	(60)	13	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑭	145.25	145.35	-	-	(81)	8	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑮	154.74	154.81	-	-	(60)	13	無	-	-	-	×	D-16	参考2-93	※1
			⑯	158.45	158.51	-	-	(68)	5	無	-	-	-	×	D-17	参考2-98	※1
			⑰	159.23	159.62	-	-	(55)	18	無	-	-	-	×	D-18	参考2-98	※1
			⑱	199.22	200.00	-	-	(86)	13	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
			⑲	210.70	210.71	-	-	(84)	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-186	※1
	H19-No.17		①	27.65	27.73	N34E	67	57W	16	無	-	20L	-		f-⑥-3-2	参考2-147	
			②	32.54	32.75	N35E	66	51W	22	無	-	73R	-		f-17-2	参考2-132	
			③	55.45	55.46	N39E	62	52W	21	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			④	61.89	62.22	N28E	73	50W	23	無	-	-	-		非モデル化	参考2-186	
			⑤	68.84	69.25	N10E	89	62W	11	有	有	38R	-		D-11	参考2-91	
			⑥	70.92	70.94	N18E	83	53W	20	有	無	17R	-		D-12	参考2-91	
			⑦	75.60	75.90	N14E	87	77W	4	有	無	12R	-		D-14	参考2-65	
			⑧	82.83	85.61	N19W	60	36W	37	有	無	-	-		D-47	参考2-120	
			⑨	114.31	115.63	N8W	71	67W	6	有	有	-	N,RL		D-15	参考2-93	
			⑩	117.77	117.79	N11W	68	57W	16	有	無	81R	-		D-16	参考2-93	
			⑪	118.22	118.25	N11E	90	59W	14	有	無	87R	-		D-17	参考2-98	
			⑫	118.66	119.29	N14E	87	57W	16	有	無	1R	-		D-18	参考2-98	
			⑬	144.35	144.37	N10E	89	65W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-186	
	H19-No.15	範囲外	①	24.58	24.67	N7W	72	88E	19	有	無	70L	-		f-15-1	参考2-131	
			②	25.83	25.93	N6E	85	89E	18	有	無	71L	-		f-15-2	参考2-131	
			③	46.92	46.93	N20E	81	74W	1	有	無	73L	-		f-④-3-1	参考2-143	
		範囲内	④	97.82	97.85	N17E	84	64W	9	有	無	23R	N,LL		f-15-3	参考2-132	
	H19-No.2	範囲外	①	2.35	2.42	-	-	-	-	無	-	-	-		f-15-2	参考2-131	
			②	24.38	24.46	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			③	39.83	39.88	N25E	76	82W	9	有	無	59R	-		f-15-1	参考2-131	
			④	44.90	45.75	N40E	61	26W	47	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			⑤	61.25	61.30	N7E	86	68W	5	無	-	43L	-		f-14-1	参考2-131	
			⑥	146.29	146.32	N7E	86	64W	9	有	無	35R	-		f-2-3	参考2-125	
			⑦	147.04	147.48	N31W	48	70W	3	有	無	76R	-		D-20	参考2-101	
			⑧	149.71	149.84	N1E	80	72W	1	有	有	70L	N		D-1	参考2-37	
			⑨	186.53	186.58	N21E	80	70W	3	有	無	36L	N,RL		D-2	参考2-87	
			⑩	191.10	191.14	N2E	81	66W	7	有	無	73L	-		f-2-7	参考2-125	
			⑪	202.81	202.85	N32E	69	64W	9	有	無	23L	N,RL		f-2-8	参考2-125	
			⑫	207.94	208.69	NS	79	66W	7	有	有	60L	-		D-3	参考2-88	
			⑬	212.00	212.07	N6W	73	63W	10	有	無	84R (不明瞭)	-		f-2-10	参考2-125	
			⑭	215.42	215.46	N9W	70	64W	9	有	無	74L	-		f-2-11	参考2-126	
			⑮	216.15	216.24	N26E	75	61W	12	無	-	84R	-		f-2-12	参考2-126	
	H20-②-1		①	45.13	46.34	N3W	76	60W	13	有	無	80L	-		f-②-1-1	参考2-140	
			②	46.85	46.97	N63E	38	71S	36	① 有	無	36R	-		f-②-1-2	参考2-140	
			③	48.26	48.95	N52W	27	71SW	2	有	有	65L	-		f-②-1-3	参考2-140	
			④	49.21	51.10	-	-	(65)	8	有	有	-	N,RL		D-1	参考2-37	
	H20-④-3		①	13.41	13.45	N5E	84	76W	3	② 無	-	70R	-		f-15-3	参考2-132	
			②	25.81	25.85	N23E	78	64W	9	② 有	無	50L	N,RL		f-④-3-1	参考2-143	

( ) の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
ん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

131(分類A)①
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った方位記号を入力した。
132，133(分類A)②
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

連続性評価の具体的プロセス（防潮堤（防潮扉含む）及びその周辺の重要施設：起点破砕部リスト）

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	H19-No.4	⑫	D-6	参考1-443
2	H19-No.4	⑩	D-5	参考1-447
3	H24-B11-2	③	D-6	参考1-451
4	H19-No.4	⑰	f-6-2	参考1-455
5	H19-No.6	②	f-6-2	参考1-463
6	H24-B8-15	①	非モデル化	参考1-467
7	H24-B11-1	④	非モデル化	参考1-471
8	H19-No.7	①	D-24	参考1-475
9	H24-B8-34	①	非モデル化	参考1-483
10	H24-B8-36	①	非モデル化	参考1-491
11	H24-B8-21	⑤	非モデル化	参考1-495
12	H24-B11-2	②-S	f-B11-2-2	参考1-499
13	H24-B11-2	②-N	f-B11-2-2	参考1-503
14	H24-B8-21	⑦	非モデル化	参考1-507
15	H24-B8-29	②	非モデル化	参考1-511
16	H27-Br-4	①	非モデル化	参考1-515
17	H27-Br-6	①	f-br-6-1	参考1-519
18	H24-B8-23	②	非モデル化	参考1-523
19	H24-B8-30	①	非モデル化	参考1-527
20	H24-B11-1	②-S	D-39	参考1-531
21	H24-B11-1	②-N	D-39	参考1-535
22	H19-No.12	⑩	D-5	参考1-539
23	H24-B8-27	③	非モデル化	参考1-543
24	H24-B8-22	①	D-38	参考1-551
25	H19-No.12	⑤	f-12-4	参考1-555
26	H19-No.19	⑥	f-19-6	参考1-563
27	H24-B8-21	①	f-B8-21-1	参考1-567
28	H24-B8-35	③	非モデル化	参考1-571
29	H27-Br-3	①	非モデル化	参考1-579
30	H20-①-5	②	非モデル化	参考1-583
31	H24-B8-22	②	D-7	参考1-591
32	H27-Br-12	③	f-br-12-3	参考1-595
33	H20-①-6	②	非モデル化	参考1-599
34	H24-B8-23	①	D-36	参考1-607
35	H19-No.18	②	f-18-2	参考1-611

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
36	H24-B8-21	④	非モデル化	参考1-615
37	H19-No.12	⑥	D-4	参考1-619
38	H27-Br-12	①	f-br-12-1	参考1-627
39	H19-No.18	⑤	非モデル化	参考1-631
40	H27-Br-12	②	f-br-12-2	参考1-635
41	H19-No.12	⑨	f-12-8	参考1-639
42	H19-No.4	⑪	f-12-10	参考1-643
43	H24-B11-1	⑤	非モデル化	参考1-647
44	H24-B8-34	②	f-B8-34-2	参考1-651
45	H19-No.8	⑪	f-8-11	参考1-655
46	H24-B11-1	③	D-5	参考1-663
47	H24-B8-21	⑧	D-37	参考1-667
48	H24-B8-21	②	f-B8-21-2	参考1-671
49	H19-No.12	⑧	f-12-7	参考1-675
50	H19-No.12	③	f-13-3	参考1-679
51	H24-B11-1	①-S	f-B11-1-1	参考1-687
52	H24-B11-1	①-N	f-B11-1-1	参考1-691
53	H19-No.12	④	f-12-3	参考1-699
54	H24-B8-29	③	非モデル化	参考1-703
55	H24-B8-35	②	非モデル化	参考1-707
56	H19-No.18	④	非モデル化	参考1-715
57	H19-No.18	⑥	非モデル化	参考1-719
58	H19-No.6	①	D-38	参考1-723
59	H19-No.4	⑬	f-4-9	参考1-731
60	H19-No.4	⑭	f-4-10	参考1-739
61	H19-No.4	⑯	f-4-12	参考1-743
62	H24-B11-2	①-S	D-7	参考1-747
63	H24-B11-2	①-N	D-7	参考1-751

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤(防潮扉含む)及びその周辺の重要施設:起点破砕部リスト)

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
1	H19-No.4	⑫	D-6	参考1-443
2	H19-No.4	⑩	D-5	参考1-447
3	H24-B11-2	③	D-6	参考1-451
4	H19-No.4	⑰	f-6-2	参考1-455
5	H19-No.6	②	f-6-2	参考1-463
6	H24-B8-15	①	非モデル化	参考1-467
7	H24-B11-1	④	非モデル化	参考1-471
8	H19-No.7	①	D-24	参考1-475
9	H24-B8-34	①	非モデル化	参考1-483
10	H24-B8-36	①	非モデル化	参考1-491
11	H24-B8-21	⑤	非モデル化	参考1-495
12	H24-B11-2	②-S	f-B11-2-2	参考1-499
13	H24-B11-2	②-N	f-B11-2-2	参考1-503
14	H24-B8-21	⑦	非モデル化	参考1-507
15	H24-B8-29	②	非モデル化	参考1-511
16	H27-Br-6	①	f-br-6-1	参考1-519
17	H24-B8-23	②	非モデル化	参考1-523
18	H24-B8-30	①	非モデル化	参考1-527
19	H24-B11-1	②-S	D-39	参考1-531
20	H24-B11-1	②-N	D-39	参考1-535
21	H24-B8-27	③	非モデル化	参考1-543
22	H24-B8-22	①	D-38	参考1-551
23	H19-No.12	⑤	f-12-4	参考1-555
24	H19-No.19	⑥	f-19-6	参考1-563
25	H24-B8-21	①	f-B8-21-1	参考1-567
26	H24-B8-35	③	非モデル化	参考1-571
27	H27-Br-3	①	非モデル化	参考1-579
28	H20-①-5	②	非モデル化	参考1-583
① 29	H19-No.12	⑩	D-5	参考1-539
30	H24-B8-22	②	D-7	参考1-591
31	H27-Br-12	③	f-br-12-3	参考1-595
32	H20-①-6	②	非モデル化	参考1-599
33	H24-B8-23	①	D-36	参考1-607
① 34	H27-Br-4	①	非モデル化	参考1-515
35	H19-No.18	②	f-18-2	参考1-611

No.	起点		破砕帯名	ページ
	名称	番号		
36	H24-B8-21	④	非モデル化	参考1-615
37	H19-No.12	⑥	D-4	参考1-619
38	H27-Br-12	①	f-br-12-1	参考1-627
39	H19-No.18	⑤	非モデル化	参考1-631
40	H27-Br-12	②	f-br-12-2	参考1-635
41	H19-No.12	⑨	f-12-8	参考1-639
42	H19-No.4	⑪	f-12-10	参考1-643
43	H24-B11-1	⑤	非モデル化	参考1-647
44	H24-B8-34	②	f-B8-34-2	参考1-651
45	H19-No.8	⑪	f-8-11	参考1-655
46	H24-B11-1	③	D-5	参考1-663
47	H24-B8-21	⑧	D-37	参考1-667
48	H24-B8-21	②	f-B8-21-2	参考1-671
49	H19-No.12	⑧	f-12-7	参考1-675
50	H19-No.12	③	f-13-3	参考1-679
51	H24-B11-1	①-S	f-B11-1-1	参考1-687
52	H24-B11-1	①-N	f-B11-1-1	参考1-691
53	H19-No.12	④	f-12-3	参考1-699
54	H24-B8-29	③	非モデル化	参考1-703
55	H24-B8-35	②	非モデル化	参考1-707
56	H19-No.18	④	非モデル化	参考1-715
57	H19-No.18	⑥	非モデル化	参考1-719
58	H19-No.6	①	D-38	参考1-723
59	H19-No.4	⑬	f-4-9	参考1-731
60	H19-No.4	⑭	f-4-10	参考1-739
61	H19-No.4	⑯	f-4-12	参考1-743
62	H24-B11-2	①-S	D-7	参考1-747
63	H24-B11-2	①-N	D-7	参考1-751

134，135(分類D)①
起点破砕部を破砕幅の大きい順に表にしたもの。
破砕幅の修正に伴い検討の順番が変わった。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W		88W		無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	59	84W	4	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	34	87W	1	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※1
			④	155.72	155.75	N36E	64	76W	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	37	78W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	48	89W	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	14	63E	29	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	8	65E	27	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	6	72E	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	13	87NE	5	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	8	82W	6	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	41	68E	24	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑰)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑰	234.32	236.15	N28W		88W		無	-	20R	-		f-6-2	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	59	84W	4	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	34	87W	1	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※1
			④	155.72	155.75	N36E	64	76W	12	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	37	78W	10	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.65	N20E	48	89W	1	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	14	63E	29	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	8	65E	27	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	6	72E	20	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	13	87NE	5	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	8	82W	6	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	41	68E	24	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※1

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

136(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	16	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	※4
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	N	×	非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	×	D-7	参考2-90	※2
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	N	×	D-38	参考2-116	※2
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

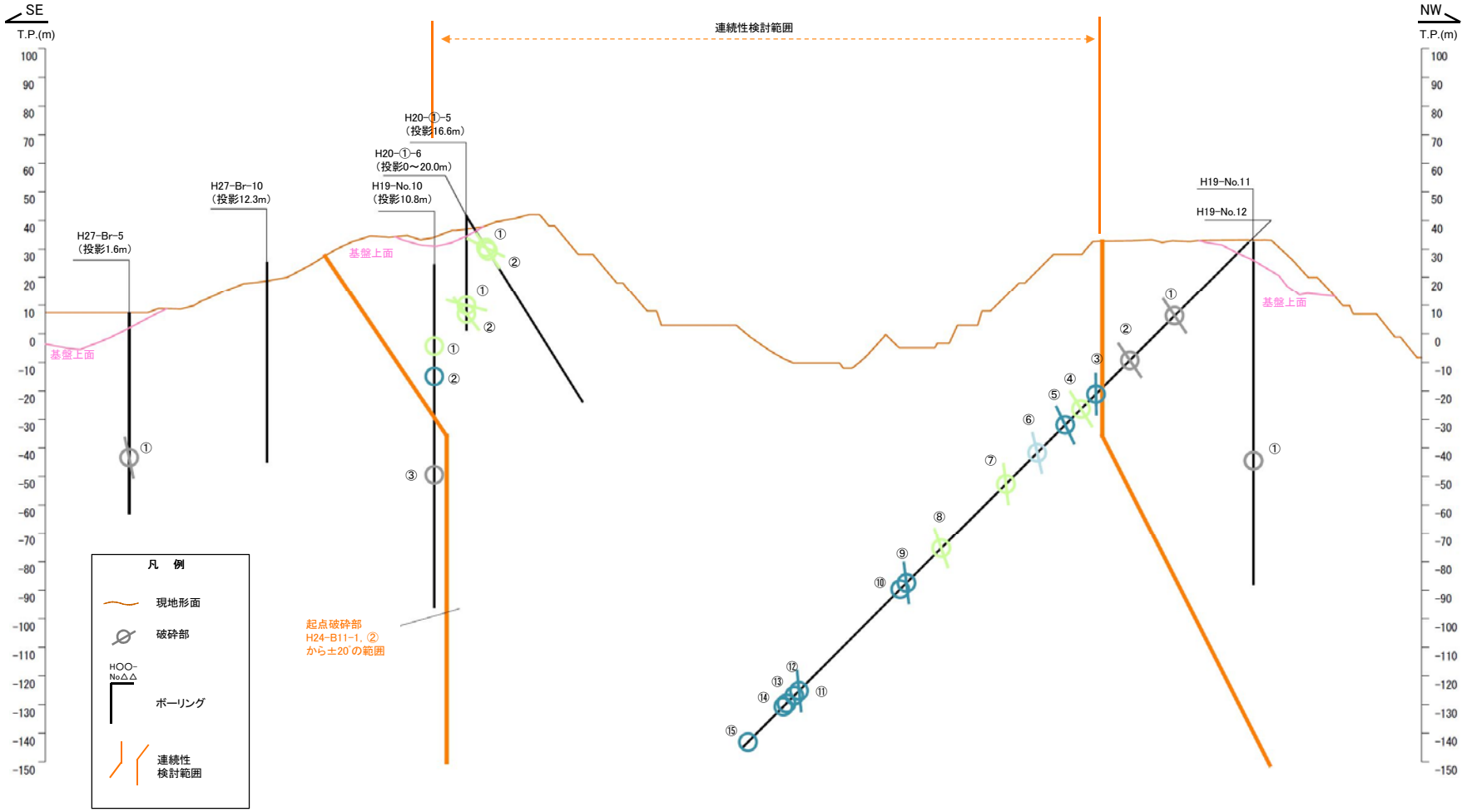
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-4，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス (N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ)	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考	
H27-Br-4	-	-	①	12.91	13.24	N8E		68W		無	-	-	-		非モデル化	参考2-193		
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	16	84W	16	有	無	15R	LL	×	f-b11-1-1	参考2-159	※1	
			②	60.36	60.60	N8E	0	84W	16	有	無	62R	N,LL	× ①	D-39	参考2-117		②
			③	88.93	88.97	N4E	4	81W	13	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70		
			④	97.87	99.00	N4E	4	72W	4	有	無	70R	N	×	非モデル化	参考2-191		
			⑤	143.67	143.77	N8E	0	87E	25	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191		
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	4	76W	8	有	無	25L	N,RL	× ①	D-7	参考2-90		②
			②	77.48	78.10	NS	8	79W	11	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159		
			③	80.50	83.93	N9E	1	80W	12	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56		
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	2	82W	14	有	無	75R	N	× ①	D-38	参考2-116		②
			②	167.53	168.54	N41W	49	69W	1	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127		

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

137，139，141(分類D)①
　破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，表の着色を修正したもの。
138，140，142(分類D)②
　破砕幅の修正に伴い連続性検討の順番が変わったことにより，起点破砕部と連続する可能性がある候補から外れたため，連続性検討結果を削除したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)



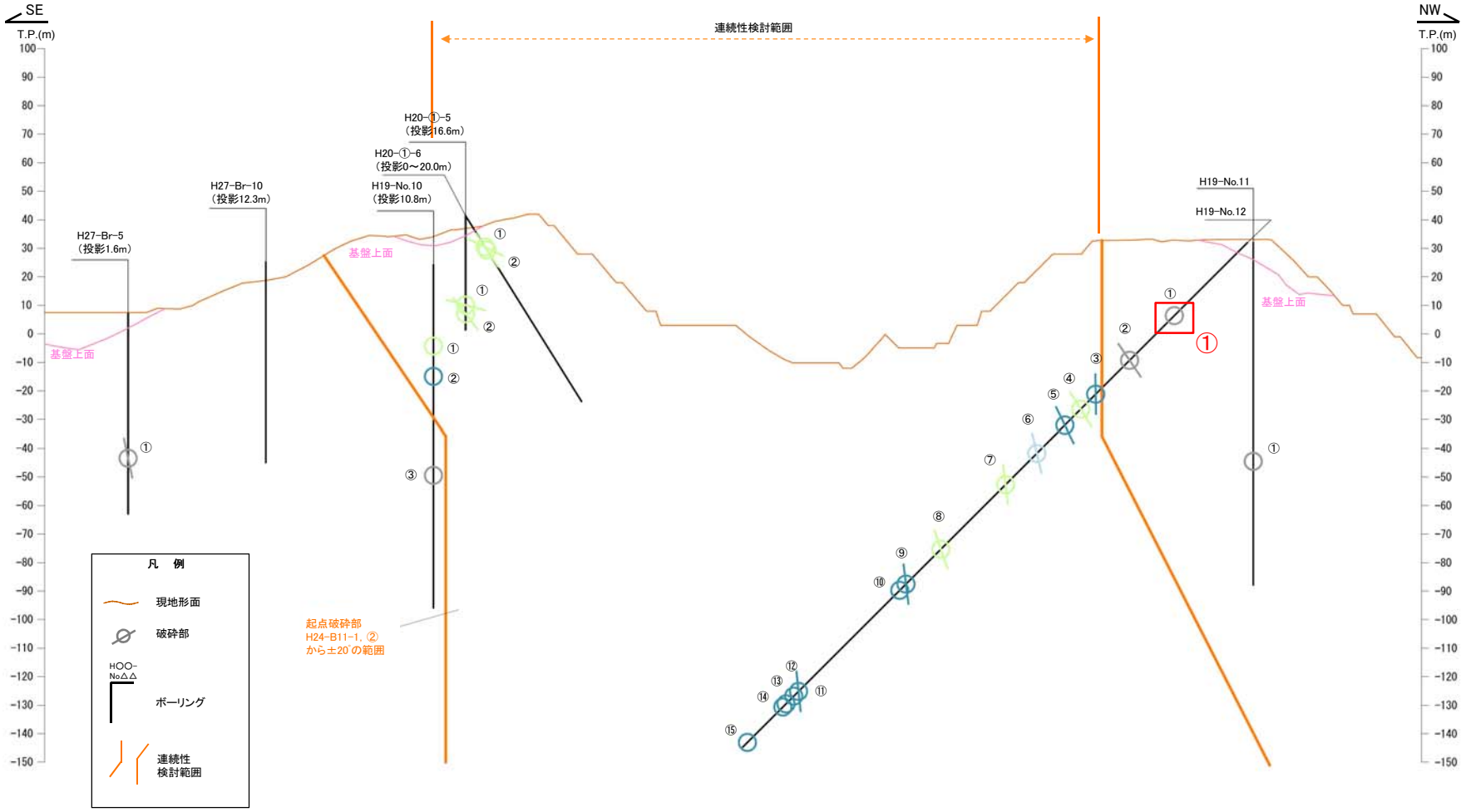
注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)



注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

143(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有					D-39	参考2-117	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有					D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有					D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	N4W	12	70W	14	有					D-3	参考2-87	
		範囲内	③	75.04	75.08	N12E	4	89W	5	無					f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無					f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無					f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	12	83W	1	有					D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	29	83W	1	有					f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	32	71W	13	有					f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	×	f-12-8	参考2-130	※1
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	41	75W	9	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	97	58S	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	61	60S	24	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	89	65S	19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
		範囲外	③	73.62	73.63	-	-	(68)	18	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
	H27-Br-5	範囲外	①	50.48	51.16	N46E	38	78NW	6	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	

( )の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

走向	非表示セル	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル	比較対象との傾斜の差 (°)
N8E	8　E		84W	84　W	
N89W	89 w	97	58S	58 w	26
-		-	(68)	66 w	18

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第758回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，② -S)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	②	60.36	60.60	N8E		84W		有	無	62R	N,LL		D-39	参考2-117	
-	H19-No.11	範囲外	①	76.60	77.00	-	-	(74)	10	有	無	-	-		D-2	参考2-86	
	H19-No.12	範囲外	①	36.35	36.58	-	-	-	-	有	無	57L	-		D-2	参考2-86	
			②	58.41	58.43	①N4W	12	70W	14	有	有	75L	-		D-3	参考2-87	
		範囲内	③	75.04	75.08	N12E	4	89W	5	無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
			④	82.48	82.50	N25E	17	61W	23	無	-	56L	-		f-12-3	参考2-129	
			⑤	90.45	90.66	N8E	0	71W	13	無	-	30R	-	×	f-12-4	参考2-129	
			⑥	104.12	104.22	N4W	12	83W	1	有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
			⑦	119.64	119.72	N37E	29	83W	1	有	無	42L	-		f-12-6	参考2-129	
			⑧	152.06	152.09	N40E	32	71W	13	有	無	3R (不明瞭)	-		f-12-7	参考2-129	
			⑨	169.38	169.46	N21E	13	84W	0	有	無	85R	-	×	f-12-8	参考2-130	※1
			⑩	172.20	172.45	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-5	参考2-70	
			⑪	222.85	222.88	N14E	6	85W	1	有	無	24L	-		f-12-10	参考2-130	
			⑫	224.67	225.08	-	-	-	-	有	有	-	-	×	D-6	参考2-57	
			⑬	228.53	228.79	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-19	参考2-99	※1
			⑭	230.00	230.07	-	-	-	-	有	無	-	-	×	f-①-1-3	参考2-138	※1
			⑮	247.57	247.64	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-7	参考2-90	
	H20-①-5		①	31.28	31.44	N33W	②41	75W	9	無	-	75L	-		D-43	参考2-118	
			②	34.37	34.70	N89W	83	58S	26	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H20-①-6		①	14.41	14.42	N53W	61	60S	24	無	-	66R	-		D-43	参考2-118	
			②	14.78	15.13	N81W	89	65S	19	無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
	H19-No.10		①	28.46	28.53	-	-	(63)	21	有	無	-	-		非モデル化	参考2-184	
			②	39.09	39.14	-	-	(73)	③11	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-184	※1
		範囲外	③	73.62	73.63	-	-	(68)	16	有	無	-	-		非モデル化	参考2-185	
	H27-Br-5		①	50.48	51.16	N46E	38	78NW	6	有	有	80R	N		f-br-5-1	参考2-177	

(　)の傾斜角：ボーリングコア観察結果による値

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

144(分類E)①
　当該破砕部の走向・傾斜の誤りの修正に伴う着色をし忘れた。
145(分類C)②
　走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。
146(分類A)③
　作業用の非表示セルに手入力する際に誤った角度を入力した。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-27	-	-	③	88.55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL		非モデル化	参考2-190	
-	H19-No.18	範囲外	①	92.14	92.18	N31E	71	84W	64	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	84	87W	67	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	66	76W	56	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	87	78W	58	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	82	89W	69	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	36	63E	97	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	42	65E	95	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	44	72E	88	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	37	87NE	73	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	58	82W	62	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲外	⑥	147.93	148.12	N13E	89	68E	92	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

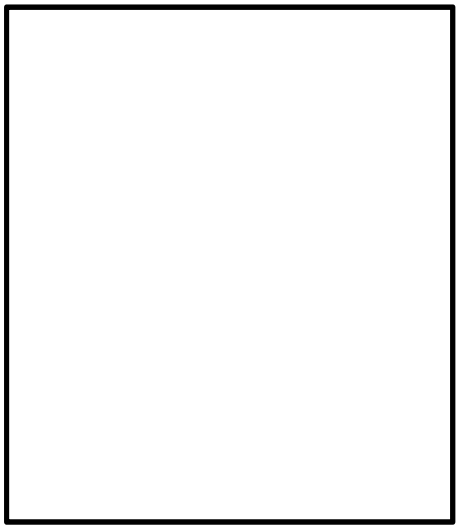
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B8-27，③)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B8-27	-	-	③	88.55	89.17	N78W		20S		有	無	15L	RL		非モデル化	参考2-190	
-	H19-No.18	範囲外	①	92.14	92.18	N31E	71	84W	64	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	84	87W	67	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	66	76W	56	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	①64.25	N9E	87	78W	58	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.65	N20E	82	89W	69	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	36	63E	97	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	42	65E	95	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	44	72E	88	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	37	87NE	73	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	58	82W	62	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
		範囲外	⑥	147.93	148.12	N13E	89	68E	92	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

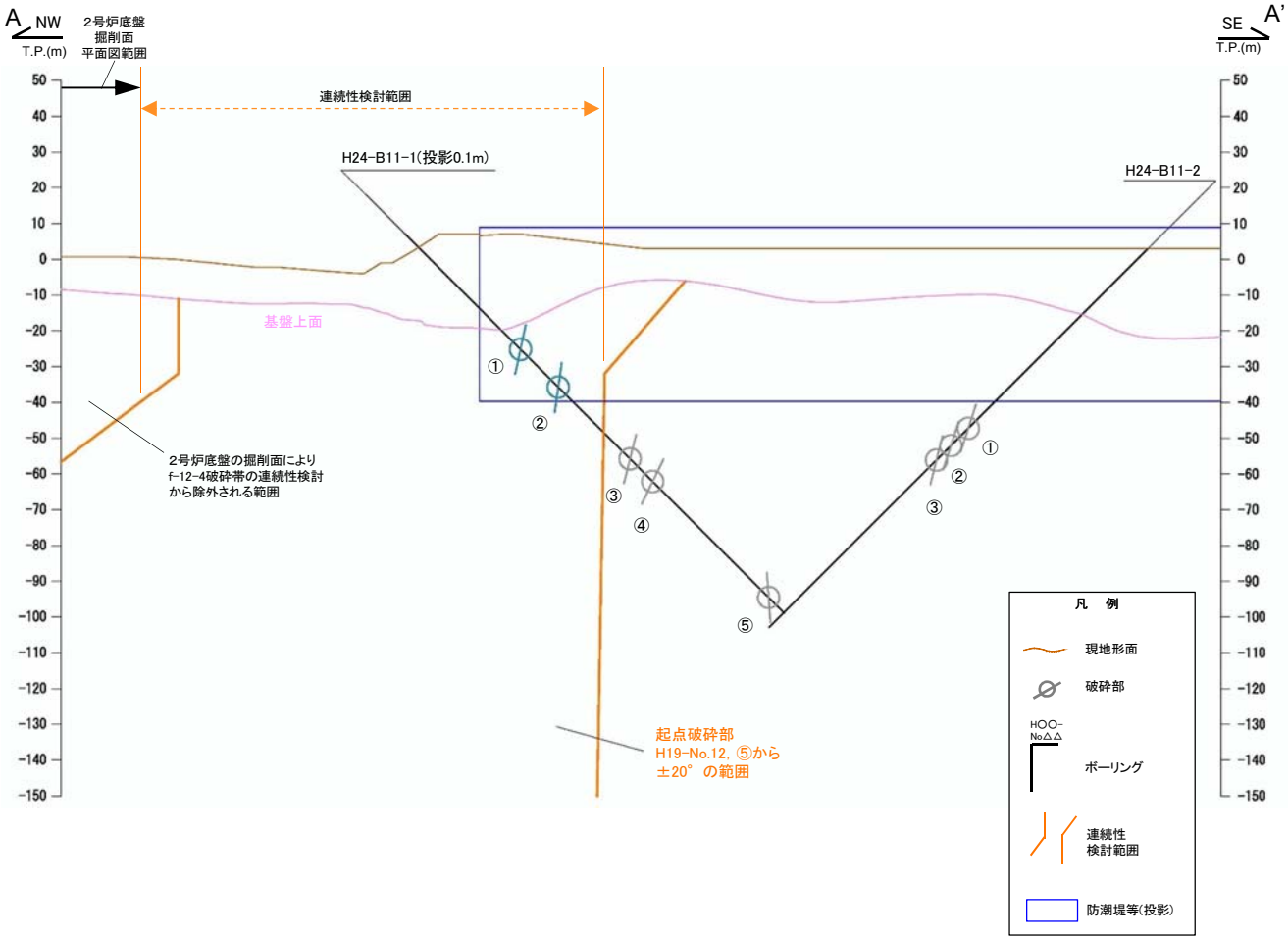
147(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔A-A’断面〕

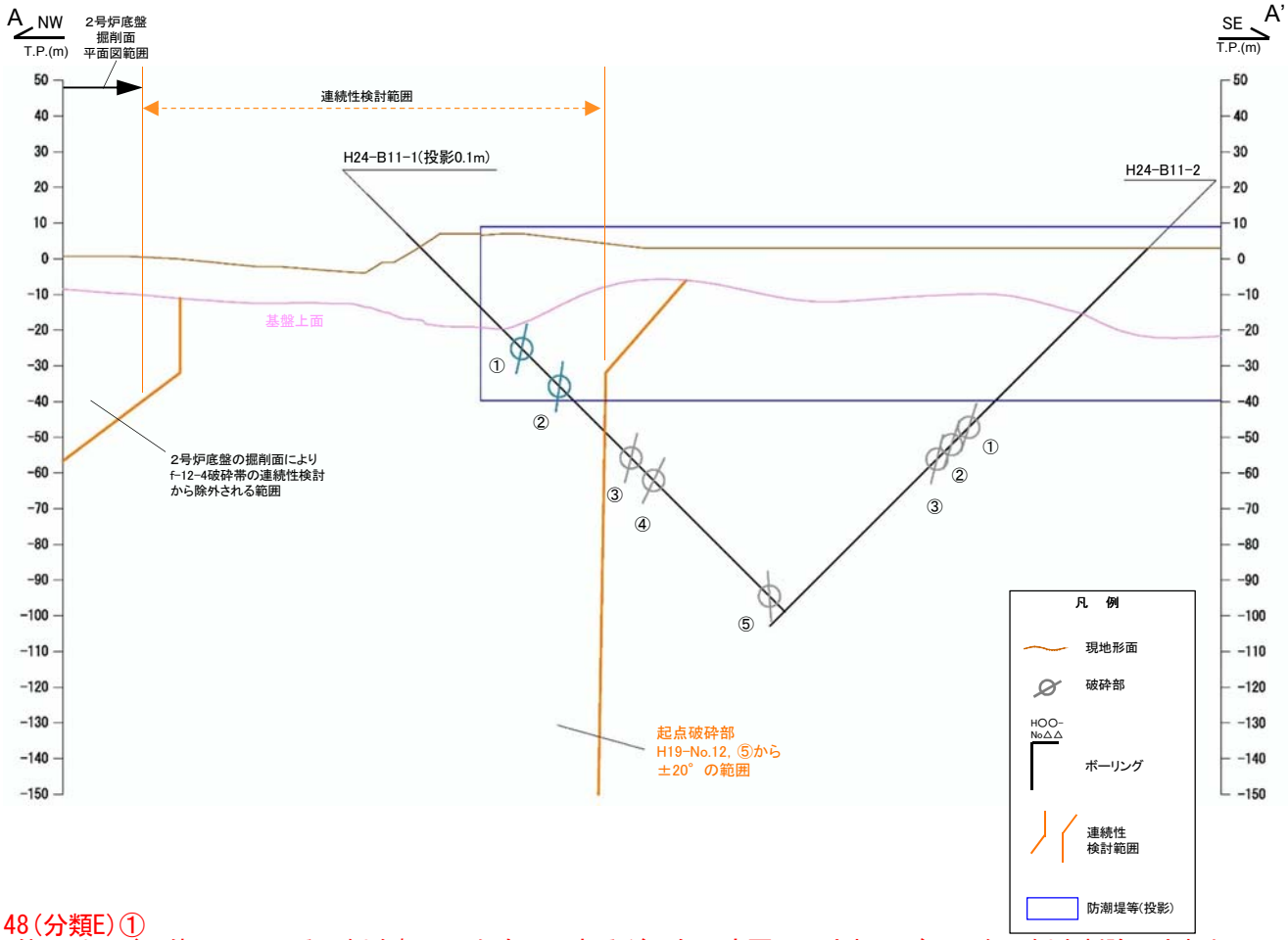
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- ① 耐震重要施設
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- ①

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



148（分類E）①
他のページで使用している凡例を転用したものであるが，色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	23	84W	13	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	2	87W	16	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※4
			④	155.72	155.75	N36E	28	76W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	1	78W	7	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			⑥	169.62	169.63	N20E	12	89W	18	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	50	63E	46	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	44	65E	44	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	42	72E	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	49	87NE	22	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	28	82W	11	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	5	68E	41	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑤)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑤	90.45	90.66	N8E		71W		無	-	30R	-		f-12-4	参考2-129	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	23	84W	13	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	2	87W	16	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※4
			④	155.72	155.75	N36E	28	76W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	①164.25	N9E	1	78W	7	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			⑥	169.62	169.65	N20E	12	89W	18	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	50	63E	46	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	44	65E	44	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	42	72E	37	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	49	87NE	22	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	28	82W	11	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	5	68E	41	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

149(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有					デル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有					0-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有					1-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有					0-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	45	82W	9	有					-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	92	69W	4	有					6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有					-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有					-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有					H-Br-12-3	参考2-177	

走向			比較対象との走向の差 (°)	傾斜			比較対象との傾斜の差 (°)
	非表示セル				非表示セル		
N51E	51	e		73NW	73	w	
N41W	41	w	92	69W	69	w	4

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H27-Br-3，①)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H27-Br-3	-	-	①	40.53	41.10	N51E		73NW		有	無	-	-		非モデル化	参考2-193	
-	H24-B11-2	範囲外	①	71.21	71.24	N12E	39	76W	3	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	51	79W	6	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	42	80W	7	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	
	H19-No.6		①	73.43	73.45	N6E	① 45	82W	9	有	無	75R	N		D-38	参考2-116	
		範囲内	②	167.53	168.54	N41W	88	69W	4	有	無	23R	-		f-6-2	参考2-127	
	H27-Br-12		①	58.40	59.38	N7E	44	85W	12	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	57	85W	12	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	20	78NW	5	有	有	90	N	×	f-br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

150(分類C)①
走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	断層ガウジ・断層角礫の有無	走向	非表示セル	非表示セル	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	非表示セル	非表示セル	比較対象との傾斜の差 (°)	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W		58S		無	N89W	89	w		58S	58	w		デル化	参考2-188	
-	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	96	85W	27	有	N7E	7	e	96	85W	85	w	27	-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	83	85W	27	有	N31E	31	e	120	78NW	78	w	20	-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	120	78NW	20	有	有			90	N				f-Br-12-3	参考2-177	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

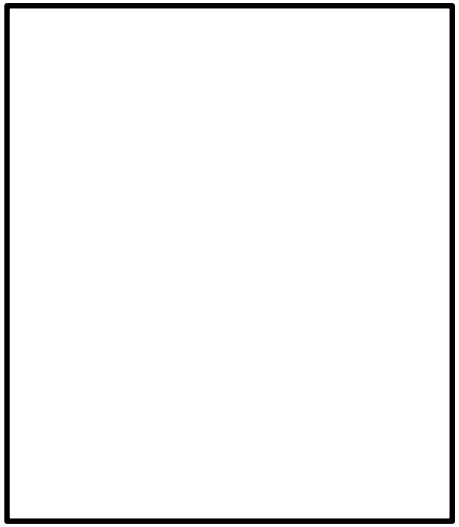
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H20-①-5，②)〔A-A’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H20-①-5	-	-	②	34.37	34.70	N89W	①	58S		無	-	-	-		非モデル化	参考2-188	
-	H27-Br-12	範囲外	①	58.40	59.38	N7E	84	85W	27	有	有	12L	RL		f-br-12-1	参考2-177	
			②	71.95	72.72	N6W	①83	85W	27	有	有	15L	RL		f-br-12-2	参考2-177	
			③	89.68	90.32	N31E	60	78NW	20	有	有	90	N		f-br-12-3	参考2-177	

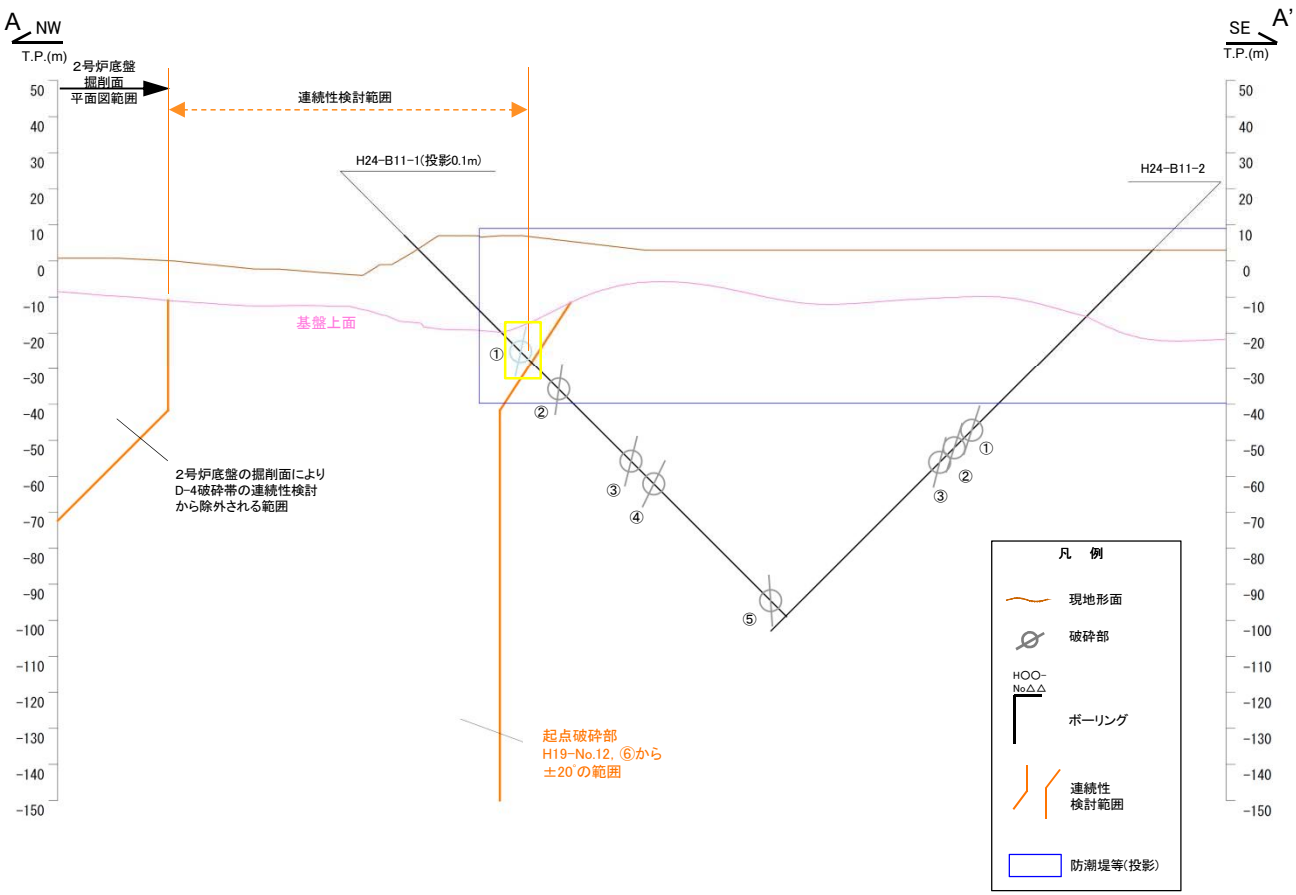
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

151，152(分類C)①
走向の差が90°以上の数値の処理が考慮されていなかった。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕



拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔A-A’断面〕

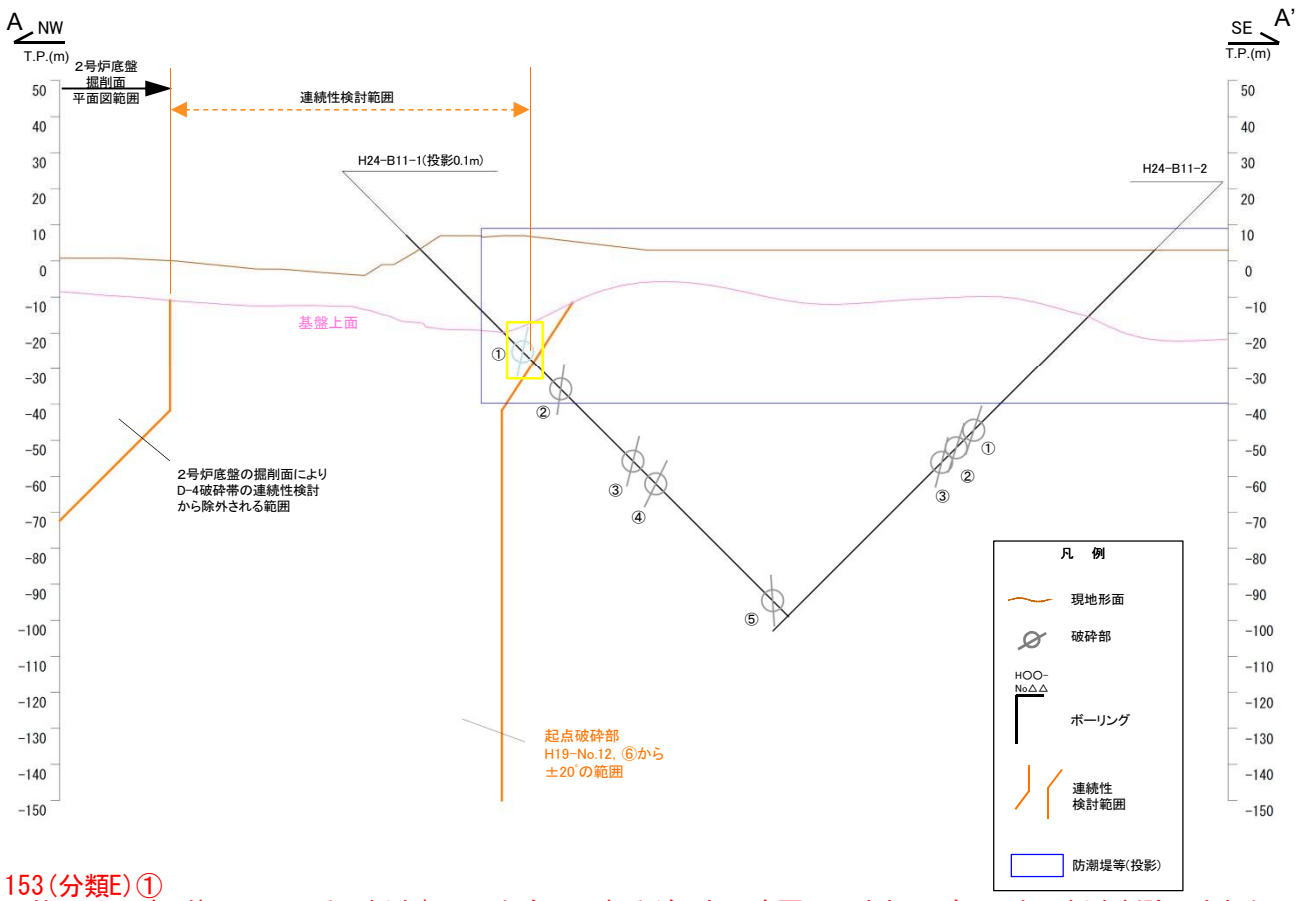
拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- ① 耐震重要施設
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- ①

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



153(分類E)①
他のページで使用している凡例を転用したものであるが，色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	35	84W	1	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	10	87W	4	有	無	73L	-	×	f-18-2	参考2-132	※3
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※3
			④	155.72	155.75	N36E	40	76W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	13	78W	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
			⑥	169.62	169.63	N20E	24	89W	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	38	63E	34	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	32	65E	32	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	30	72E	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	37	87NE	10	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	16	82W	1	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	29	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，⑥)〔B-B'断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	⑥	104.12	104.22	N4W		83W		有	無	50L	N,RL		D-4	参考2-89	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	35	84W	1	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	10	87W	4	有	無	73L	-	×	f-18-2	参考2-132	※3
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	※3
			④	155.72	155.75	N36E	40	76W	7	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	①164.25	N9E	13	78W	5	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
			⑥	169.62	169.65	N20E	24	89W	6	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	38	63E	34	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	32	65E	32	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	30	72E	25	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	37	87NE	10	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	16	82W	1	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	17	68E	29	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

154(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔A-A’断面〕

拡大範囲図（破砕帯及び破砕部分布）

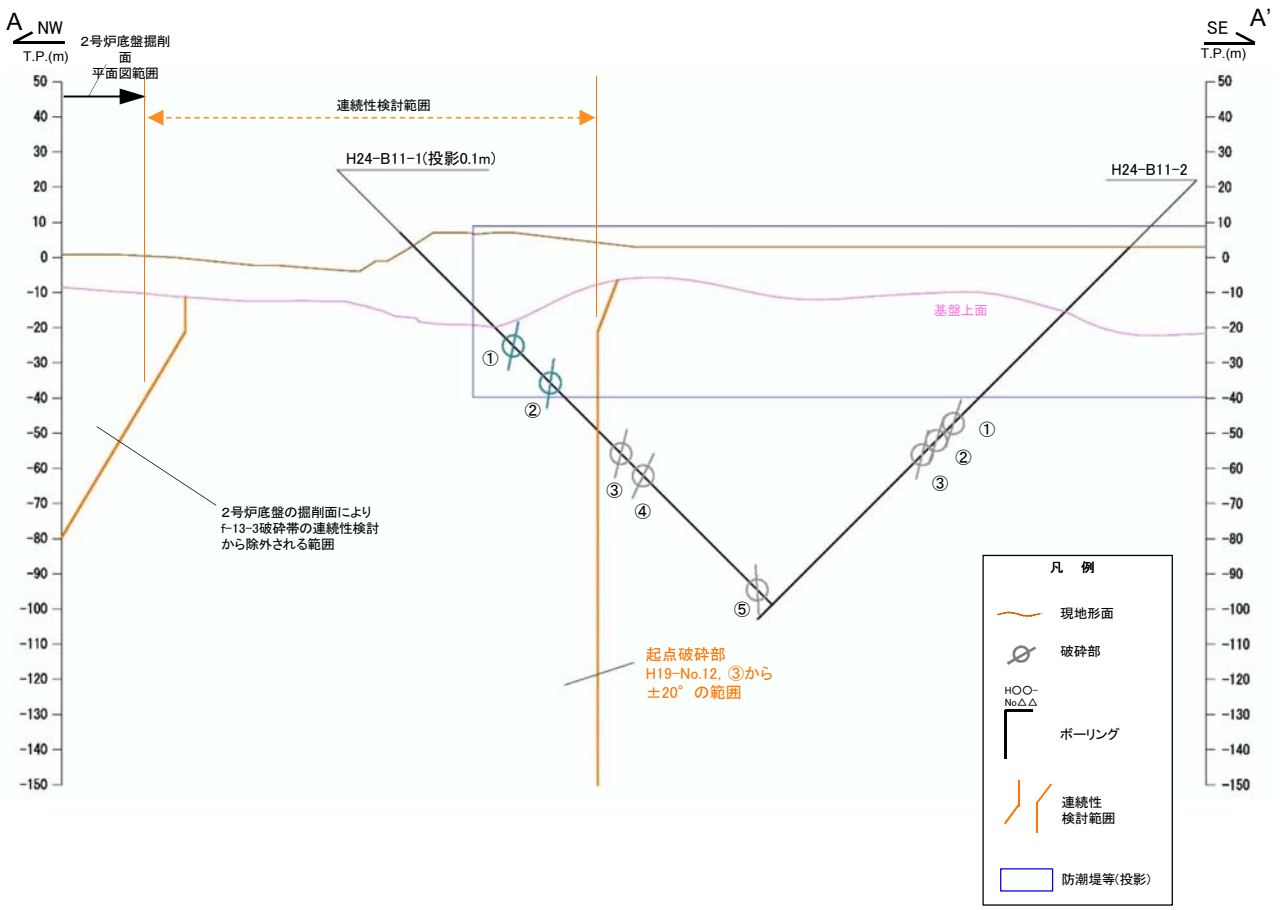
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔A-A’断面〕

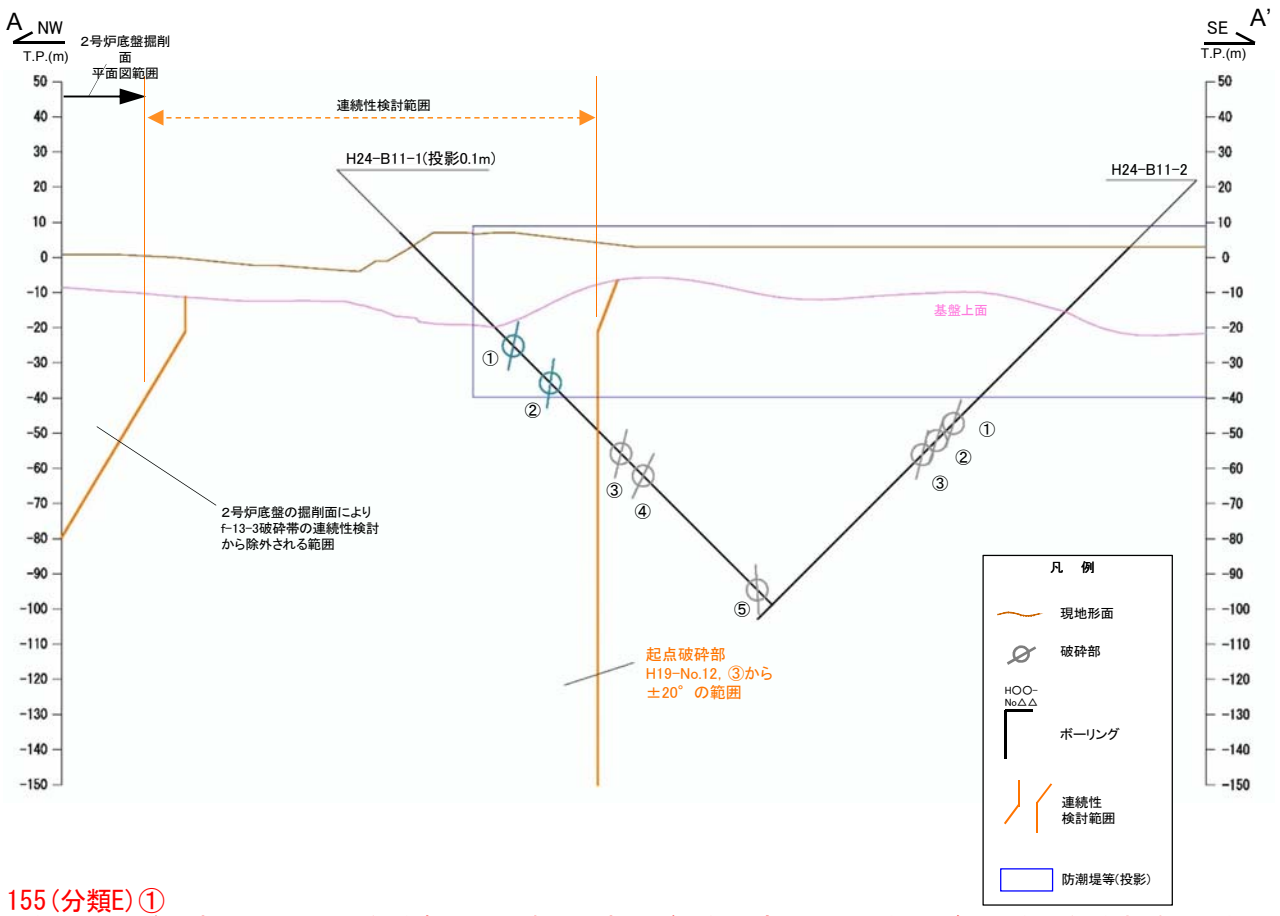
拡大範囲図(破砕帯及び破砕部分布)
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- ① 耐震重要施設
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- ①

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。



155(分類E)①
他のページで使用している凡例を転用したものであるが，色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	19	84W	5	有	無	10L	-	×	f-18-1	参考2-132	※3
			②	122.16	122.35	N6E	6	87W	2	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	24	76W	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	3	78W	11	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			⑥	169.62	169.63	N20E	8	89W	0	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	54	63E	28	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	48	65E	26	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	46	72E	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	53	87NE	4	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	32	82W	7	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	1	68E	23	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.12，③)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.12	-	-	③	75.04	75.08	N12E		89W		無	-	25L	-		f-13-3	参考2-130	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	19	84W	5	有	無	10L	-	×	f-18-1	参考2-132	※3
			②	122.16	122.35	N6E	6	87W	2	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	24	76W	13	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25 (1)	N9E	3	78W	11	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※4
			⑥	169.62	169.65	N20E	8	89W	0	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	54	63E	28	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	48	65E	26	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	46	72E	19	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	53	87NE	4	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	32	82W	7	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	1	68E	23	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

156(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	39	84W	0	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	14	87W	3	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	44	76W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	17	78W	6	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
			⑥	169.62	169.63	N20E	28	89W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	34	63E	33	有	有	22L(不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	28	65E	31	有	有	69L(不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	26	72E	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	33	87NE	9	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	12	82W	2	有	有	4L	-	×	f-19-5	参考2-133	※3
			⑥	147.93	148.12	N13E	21	68E	28	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-1，① -N)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H24-B11-1	-	-	①	45.58	45.63	N8W		84W		有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	39	84W	0	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
			②	122.16	122.35	N6E	14	87W	3	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-	×	D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	44	76W	8	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	17	78W	6	無	-	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3
			⑥	169.62	169.65	N20E	28	89W	5	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19	範囲外	①	14.73	14.86	N42W	34	63E	33	有	有	22L(不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	28	65E	31	有	有	69L(不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	26	72E	24	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	33	87NE	9	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
		範囲内	⑤	55.49	55.56	N20W	12	82W	2	有	有	4L	-	×	f-19-5	参考2-133	※3
			⑥	147.93	148.12	N13E	21	68E	28	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-	×	非モデル化	参考2-187	※3

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

157(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169.63	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

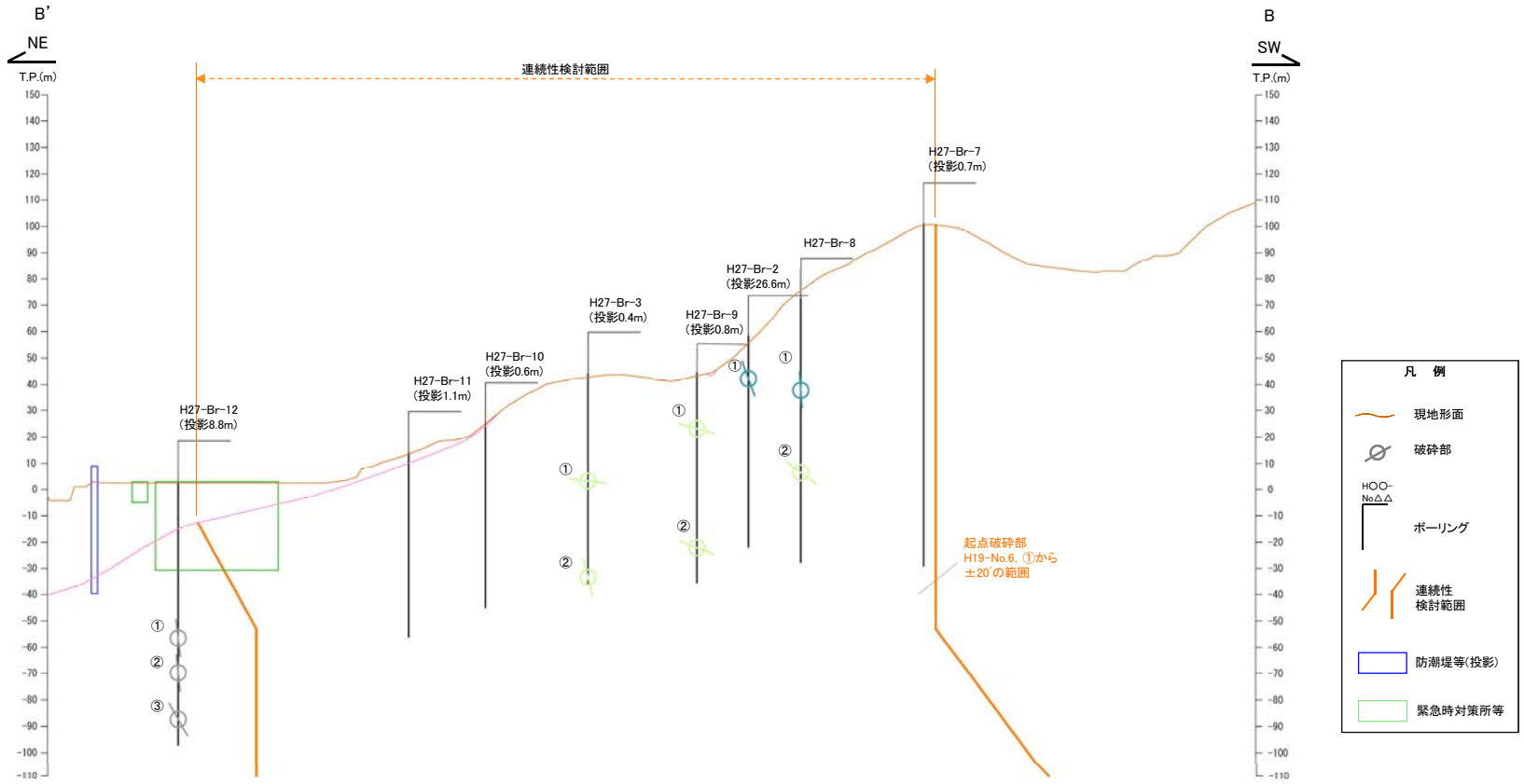
連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.18，⑥)

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.18	-	-	⑥	169.62	169.65 ①	N20E		89W		有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
-	H24-B11-1	範囲内	①	45.58	45.63	N8W	28	84W	5	有	無	15R	LL		f-b11-1-1	参考2-159	
			②	60.36	60.60	N8E	12	84W	5	有	無	62R	N,LL	×	D-39	参考2-117	
		範囲外	③	88.93	88.97	N4E	16	81W	8	有	有	60L	N,RL		D-5	参考2-70	
			④	97.87	99.00	N4E	16	72W	17	有	無	70R	N		非モデル化	参考2-191	
			⑤	143.67	143.77	N8E	12	87E	4	無	-	5L	RL		非モデル化	参考2-191	
	H24-B11-2		①	71.21	71.24	N12E	8	76W	13	有	無	25L	N,RL		D-7	参考2-90	
			②	77.48	78.10	NS	20	79W	10	有	有	20L	RL		f-b11-2-2	参考2-159	
			③	80.50	83.93	N9E	11	80W	9	有	有	-	N,RL		D-6	参考2-56	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

158(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔B-B’断面〕

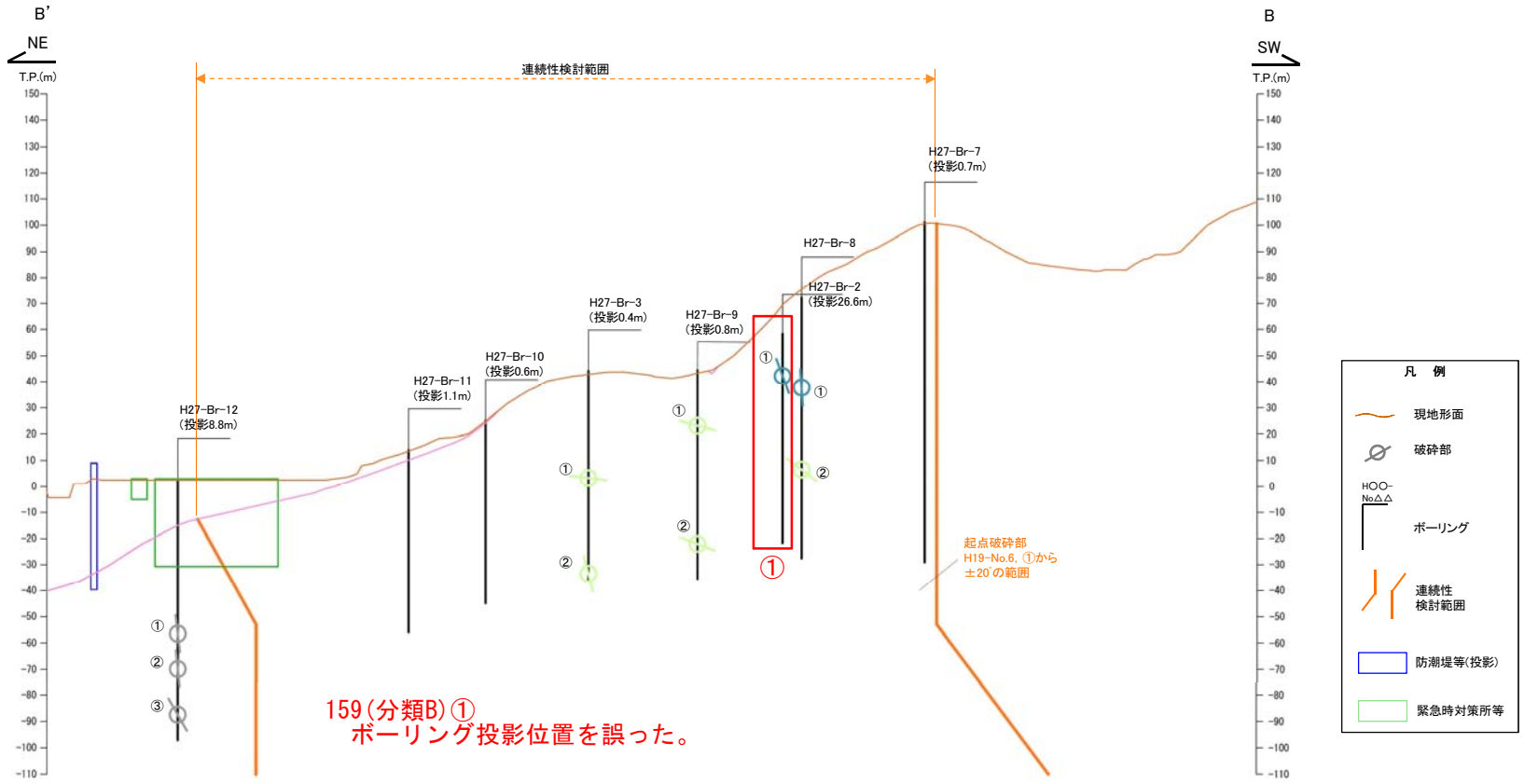


注）H27-Br-7孔，H27-Br-10孔，及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.6，①)〔B-B’断面〕

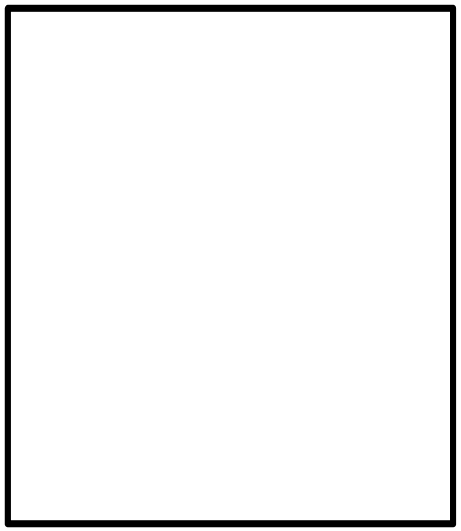


注)H27-Br-7孔，H27-Br-10孔，及びH27-Br-11孔では破砕部が確認されていない

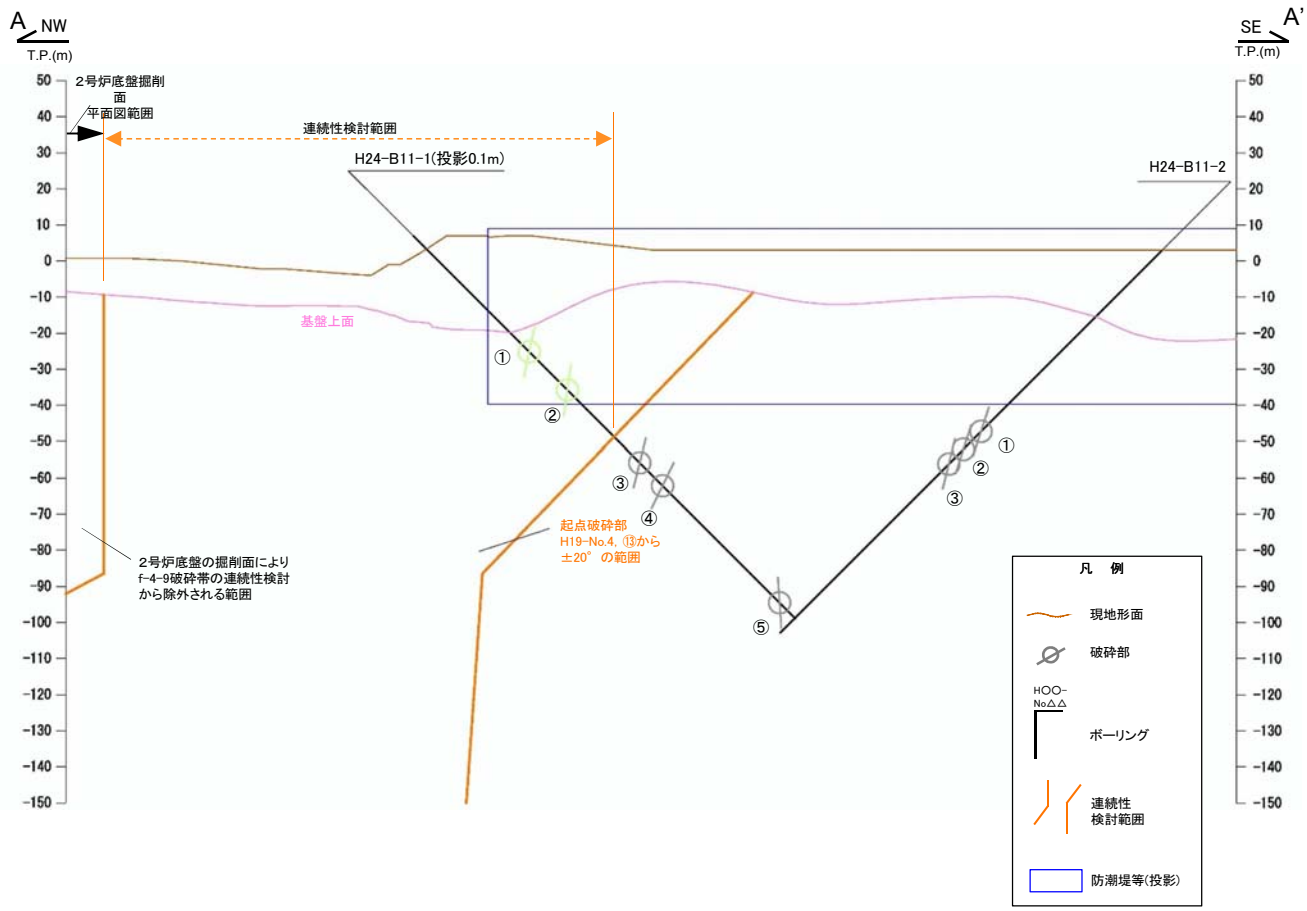
破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕



拡大範囲図(破砕帯及び破砕部分布)
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- 耐震重要施設
- 常設重大事故等対処施設

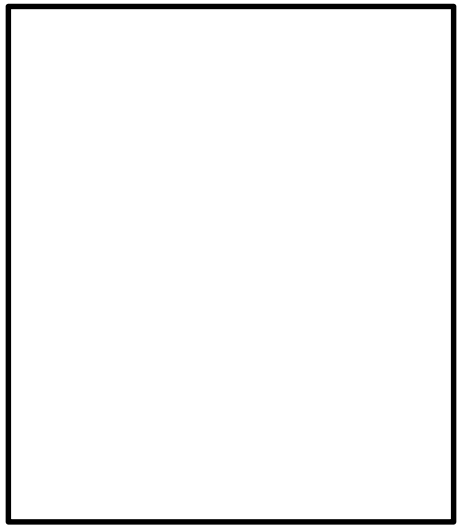
※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

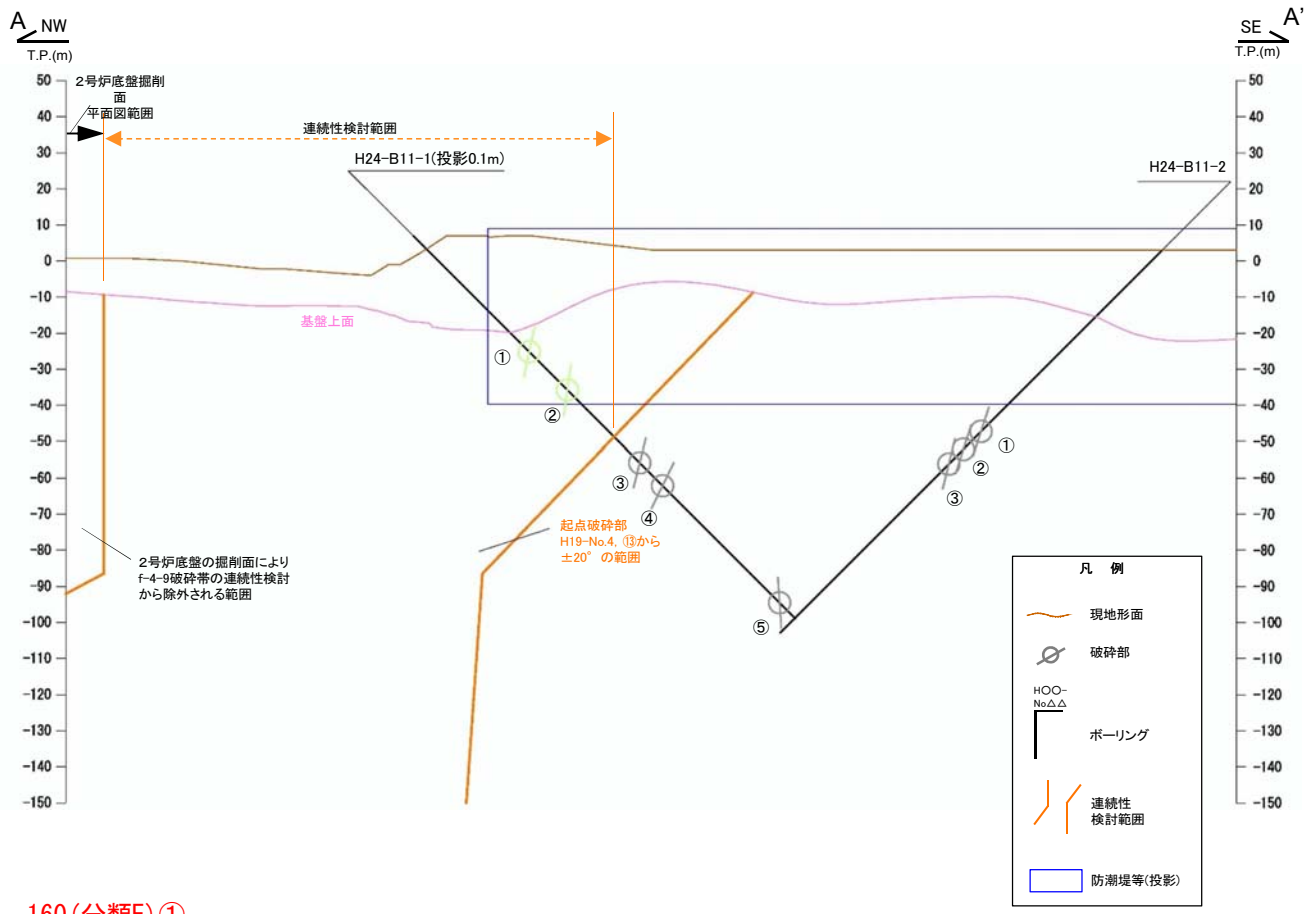
破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔A-A’断面〕



拡大範囲図(破砕帯及び破砕部分布)
枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。



拡大範囲図凡例

- 起点破砕部
- 連続性検討範囲内にある破砕部
- 連続性検討範囲外にある破砕部
- 破砕帯の連続性検討範囲
- ① 耐震重要施設
- 検討断面位置
- 掘削面観察範囲
- 2号炉底盤掘削面の破砕帯トレース
- ①

※上記施設は設置変更許可申請時（平成27年11月5日）におけるもの

※平面図で示す連続性検討範囲は，断面で示した検討範囲を模式的に示したものであり，断面図上で範囲外の起点となっているものが平面図上では範囲内に示されている場合がある。

160(分類E)①
他のページで使用している凡例を転用したものであるが，色の変更のし忘れ及び不要な凡例を削除し忘れた。

破砕部着色凡例

- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
- ：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
		範囲外	②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.63	N20E	49	89W	11	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H19-No.4，⑬)〔B-B’断面〕

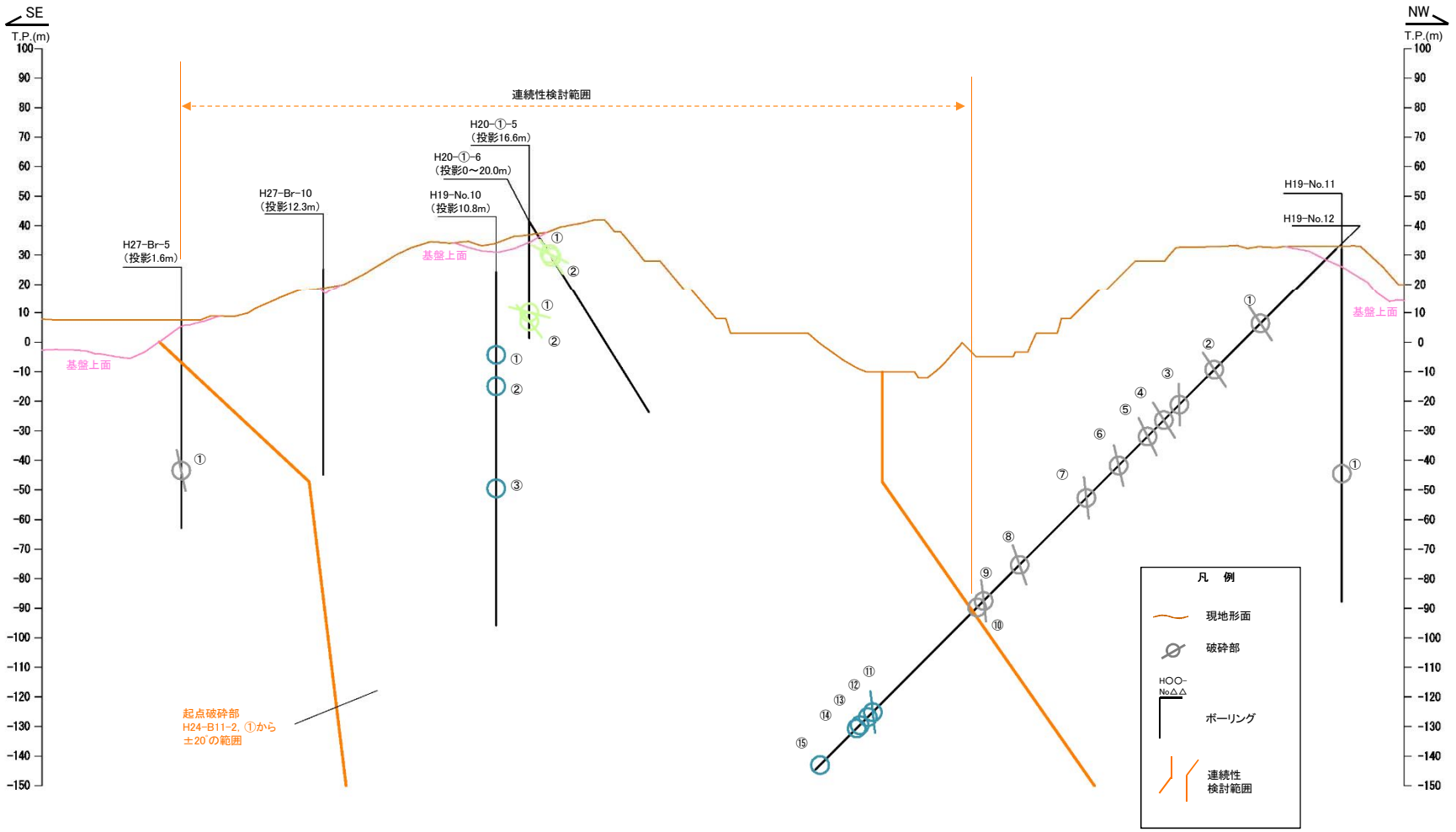
起点	対比するボーリング孔	連続性検討範囲	断面図上の番号	破砕帯範囲 上端深度 (m)	破砕帯範囲 下端深度 (m)	走向	比較対象との走向の差 (°)	傾斜	比較対象との傾斜の差 (°)	性状 断層ガウジ・断層角礫の有無	性状 明瞭なせん断構造・変形構造の有無	性状 条線方向	性状 変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	連続性検討結果	破砕帯名	性状一覧表	連続性検討結果に関する備考
H19-No.4	-	-	⑬	175.27	175.28	N29W		78W		有	無	22R	-		f-4-9	参考2-127	
-	H19-No.18	範囲内	①	92.14	92.18	N31E	60	84W	6	有	無	10L	-		f-18-1	参考2-132	
		範囲外	②	122.16	122.35	N6E	35	87W	9	有	無	73L	-		f-18-2	参考2-132	
			③	148.30	148.76	-	-	-	-	有	無	-	-		D-39	参考2-117	
			④	155.72	155.75	N36E	65	76W	2	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑤	164.15	164.25	N9E	38	78W	0	無	-	-	-		非モデル化	参考2-187	
			⑥	169.62	169.65	N20E	49	89W	11	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
	H19-No.19		①	14.73	14.86	N42W	13	63E	39	有	有	22L (不明瞭)	-		f-19-1	参考2-133	
			②	17.49	19.70	N36W	7	65E	37	有	有	69L (不明瞭)	N		D-26	参考2-105	
			③	22.44	22.46	N34W	5	72E	30	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	
			④	23.70	35.14	N41W	12	87NE	15	有	有	-	R,LL		浦底断層	参考2-14	
			⑤	55.49	55.56	N20W	9	82W	4	有	有	4L	-		f-19-5	参考2-133	
			⑥	147.93	148.12	N13E	42	68E	34	有	有	-	-		f-19-6	参考2-133	
			⑦	168.28	168.32	-	-	-	-	有	無	-	-		非モデル化	参考2-187	

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

161(分類D)①
破砕帯範囲の下端深度について，転記元の性状一覧表から転記したが，転記元の記載が誤っていたため，正しい記載に修正したもの。

第657回審査会合
机上配付資料1　修正前

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -S)



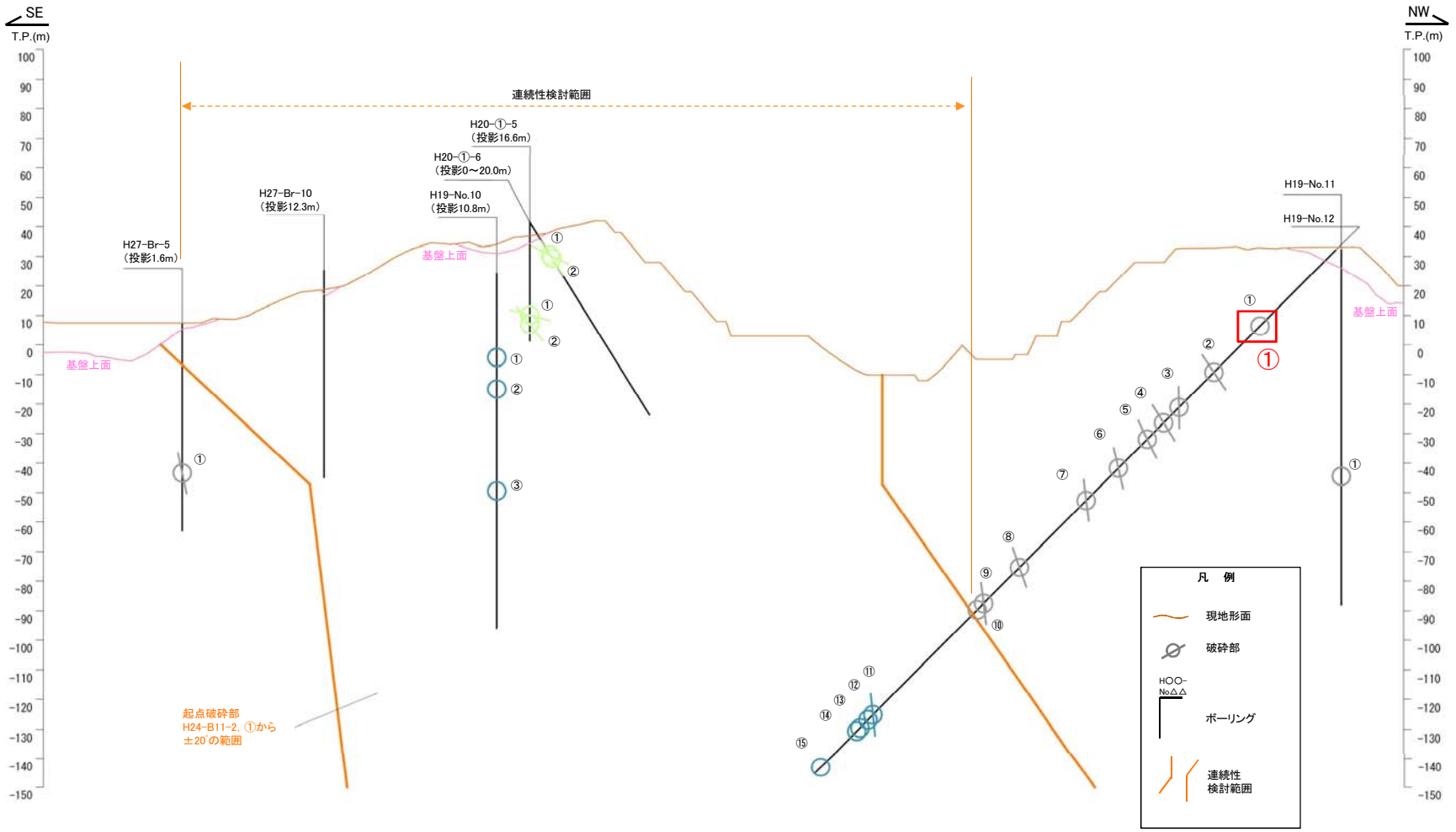
注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

第657回審査会合
机上配付資料1　修正後

連続性評価の具体的プロセス(防潮堤等，起点破砕部：H24-B11-2，① -S)



注）H27-Br-10孔では破砕部が確認されていない

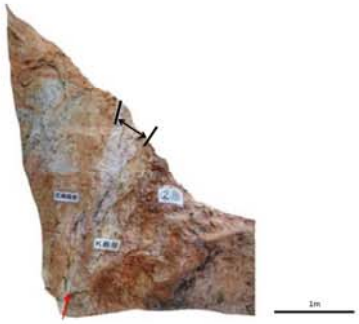
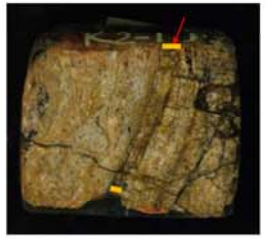
破砕部着色凡例

：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内のもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内の可能性があるもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が一致するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無及びせん断構造・変形構造の有無が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状（断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無，条線方向もしくは変位センス）が類似するもの
：起点の破砕部の走向・傾斜から±20°の範囲内に分布し，かつ，両者の走向・傾斜の差が±20°以内で，かつ，性状のうち断層ガウジ・断層角礫の有無，せん断構造・変形構造の有無が類似し，条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるもの

162(分類A)①
H30年11月30日審査会合にて説明した当該破砕部の傾斜を見直した結果を本断面図に反映していなかった。

3. K断層

性状一覧表(3/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	2-1ピット	-	-	N1W	69W	40.0	0.4	有 *1	非平滑 *1	78R	逆	-	  ※底盤から採取
	H24-B6-1 (傾斜45°)	3.00	4.00	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	3  4
	H27-F-1 (傾斜50°)	20.29	20.88	N11E	76W	51.8	0.2	有	非平滑	70L	-	-	20  21

凡　例

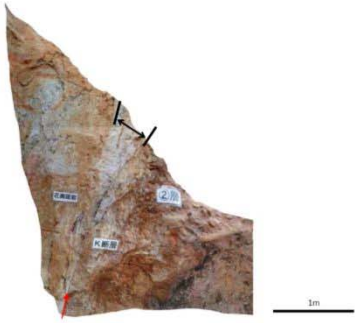
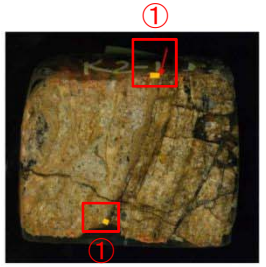
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　○ :粘土の狭在物が認められる箇所　*1:露頭 *2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(3/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	2-1ピット	-	-	N1W	69W	40.0	0.4	有 *1	非平滑 *1	78R	逆	-	  ※底盤から採取
	H24-B6-1 (傾斜45°)	3.00	4.00	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	3  4
	H27-F-1 (傾斜50°)	20.29	20.88	N11E	76W	51.8	0.2	有	非平滑	70L	-	-	20  21

163(分類A)①
断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　*1:露頭 *2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(4/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H24-B'-1(傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	1.0	有	非平滑	55L	逆	左	
	H24-B'-2(傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	
	H24-H-2(傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	
	H24-B'-7(傾斜90°)	0.62		N28W	62W	-	-	-	-	30R	-	-	
	H24-B'-3(傾斜45°)	7.37	7.70	NS	84W	19.4	0.3	無	-	50L	逆	左	

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(4/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H24-B'-1(傾斜45°)	7.50	10.93	N12W	89W	242.5	1.0	有	非平滑	55L	逆	左	
	H24-B'-2(傾斜70°)	12.42	13.27	N4E	73W	52.3	0.3	有	非平滑	20L	-	左	
	H24-H-2(傾斜70°)	5.02	5.38	N29W	66W	12.3	2.5	有	非平滑	75R	-	-	
	H24-B'-7(傾斜90°)	0.62		N28W	62W	-	-	-	-	30R	-	-	
	H24-B'-3(傾斜45°)	7.37	7.70	NS	84W	19.4	0.3	無	-	50L	逆	左	

164(分類A)①
　断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
165(分類A)②
　破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(10/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H24-H-13(傾斜60°)	8.89	9.80	N10W	72W	52.2	2.5	有	非平滑	50R	逆	右	8 9 9 10
	H27-G-1(鉛直)	6.48	7.24	(未計測)		23.5	1.5	有	平滑	-	-	-	6 7 7 8
	H27-G-2(鉛直)	5.40	6.40	(未計測)		34.2	1.0	有	非平滑	-	-	-	5 6 6 7
	H24-H-7-1(鉛直)	3.73		N5E	73W	-	-	-	-	90	-	-	3 4
	H27-G-3(鉛直)	5.11	5.75	(未計測)		45.3	2.0	有	非平滑	-	-	-	5 6

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(10/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H24-H-13(傾斜60°)	8.89	9.80	N10W	72W	52.2	2.5	有	非平滑	50R	逆	右	8～9 / 9～10
	H27-G-1(鉛直)	6.48	7.24	(未計測)		23.5	1.5	有	平滑	-	-	-	6～7 / 7～8
	H27-G-2(鉛直)	5.40	6.40	(未計測)		34.2	1.0	有	非平滑	-	-	-	5～6 / 6～7
	H24-H-7-1(鉛直)	3.73		N5E	73W	-	-	-	-	90	-	-	3～4
	H27-G-3(鉛直)	5.11	5.75	(未計測)		45.3	2.0	有	非平滑	-	-	-	5～6

166(分類A)①
断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所
＊1：露頭
＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(11/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H27-G-4(鉛直)	4.92	5.15	(未計測)		14.2	4.8	有	平滑	-	-	-	
	H24-H-9-1(傾斜60°)	10.43	11.00	NS	86W	24.1	1.0	有	非平滑	60L	逆	左	
	H27-G-5(鉛直)	4.30	4.80	(未計測)		28.7	17.2	有	平滑	-	-	-	
	H27-G-6(鉛直)	4.09	4.25	(未計測)		11.3	5.4	有	非平滑	-	-	-	
	H24-H-14(鉛直)	4.93	7.81	N3W	55W	165.2	1.0	有	非平滑	50R	逆	右	



凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

3. K断層

性状一覧表(11/12)

断層名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
K	H27-G-4(鉛直)	4.92	5.15	(未計測)		14.2	4.8	有	平滑	-	-	-	4 5 / 5 6
	H24-H-9-1(傾斜60°)	10.43	11.00	NS	86W	24.1	1.0	有	非平滑	60L	逆	左	10 11
	H27-G-5(鉛直)	4.30	4.80	(未計測)		28.7	17.2	有	平滑	-	-	-	4 5
	H27-G-6(鉛直)	4.09	4.25	(未計測)		11.3	5.4	有	非平滑	-	-	-	4 5
	H24-H-14(鉛直)	4.93	7.81	N3W	55W	165.2	1.0	有	非平滑	50R	逆	右	4 5 / 5 6 / 6 7 / 7 8

167(分類A)①
破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

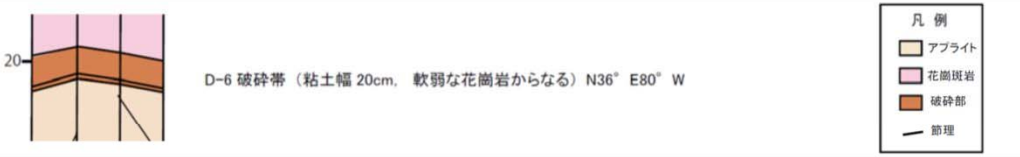
凡　例
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所
＊1:露頭
＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

4. D－6破砕帯

性状一覧表(2/6)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-6	H19-No.12 (傾斜45°)	224.67	225.08	-	-	32.0	1.0	有	平滑	-	-	-	
	H19-No.4 (傾斜45°)	171.69	174.88	N9E	78W	209.0	17.3	有	平滑	79L	正	-	
	1号機試掘坑	-	-	N29E	80W	300.0	20.0	-	-	-	-	-	
	H27-D-6 西側	1号炉原子炉建屋南側斜面剥ぎ取り部	-	N1E	85W	70.0	4.3	有 *1	非平滑 *1	42L	正	右	

凡　例

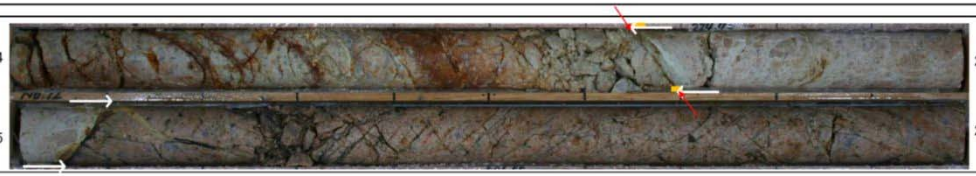
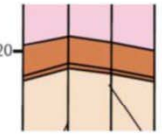
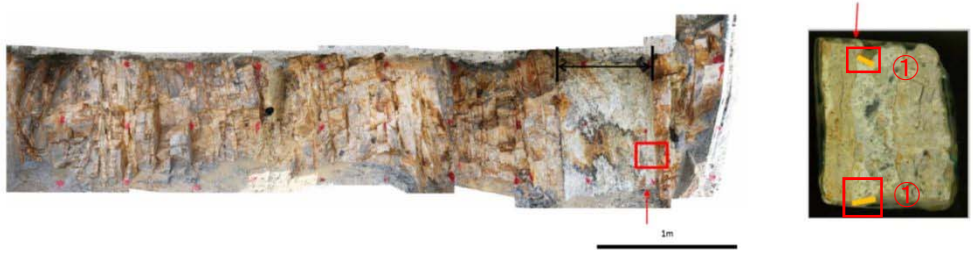
:最新活動面　← →:破砕幅　:断層ガウジ　○:粘土の狭在物が認められる箇所　*1:露頭 *2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

4. D－6破砕帯

性状一覧表(2/6)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-6	H19-No.12(傾斜45°)	224.67	225.08	-	-	32.0	1.0	有	平滑	-	-	-	
	H19-No.4(傾斜45°)	171.69	174.88	N9E	78W	209.0	17.3	有	平滑	79L	正	-	
	1号機試掘坑	-	-	N29E	80W	300.0	20.0	-	-	-	-	-	 D-6 破砕帯（粘土幅 20cm，軟弱な花崗岩からなる）N36° E80° W 
	H27-D-6西側	1号炉原子炉建屋南側斜面剥ぎ取り部	-	N1E	85W	70.0	4.3	有 *1	非平滑 *1	42L	正	右	

凡例
アプライト
花崗斑岩
破砕部
節理

168(分類A)①
断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

6. D－5破砕帯

性状一覧表(1/5)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-5	H24-B8-21 (傾斜45°)	92.86	93.53	N5W	82E	17.0	0.8	有	非平滑	-	正	右	92 / 93 / 93 / 94
	H24-B11-1 (傾斜45°)	88.93	88.97	N4E	81W	3.8	0.3	有	非平滑	60L	正	右	88 / 89 / 89 / 90
	H19-No.12 (傾斜45°)	172.20	172.45	-	-	22.0	0.2	有	非平滑	-	-	-	172 / 173
	H19-No.4 (傾斜45°)	107.54	109.94	N16E	87W	178.4	2.5	有	非平滑	-	正	右	107 / 108 / 108 / 109 / 109 / 110
	1号機試掘坑	-	-	N5E～N13E	72W～78W	500.0	不明	-	-	-	-	-	20

D-5破砕帯（軟弱な花崗岩幅）N5° E72° W～N13° E78° W

D-5破砕帯（白色粘土，軟弱な花崗岩及び亀裂の多い花崗岩）N5° E72° W～N13° E78° W

N25° E71° W
N14° E81° W
弱い破砕部 N11° E75° W

凡例
アプライト
破砕部
節理

凡　例
：最新活動面　← →：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

6. D－5破砕帯

性状一覧表(1/5)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-5	H24-B8-21 (傾斜45°)	92.86	93.53	N5W	82E	17.0	0.8	有	非平滑	-	正	右	92 / 93 / 93 / 94
	H24-B11-1 (傾斜45°)	88.93	88.97	N4E	81W	3.8	0.3	有	非平滑	60L	正	右	88 / 89 / 89 / 90
	H19-No.12 (傾斜45°)	172.20	172.45	-	- ①	16.0	0.2	有	非平滑	-	-	-	172 / 173
	H19-No.4 (傾斜45°)	107.54	109.94	N16E	87W	178.4	2.5	有	非平滑	-	正	右	107 / 108 / 108 / 109 / 109 / 110
	1号機試掘坑	-	-	N5E～N13E	72W～78W	500.0	不明	-	-	-	-	-	20

D-5破砕帯（軟弱な花崗岩幅） N5°E72°W～N13°E78°W

D-5破砕帯（白色粘土，軟弱な花崗岩及び亀裂の多い花崗岩） N5°E72°W～N13°E78°W

N25°E71°W
N14°E81°W
弱い破砕部 N11°E75°W

凡例
アプライト
破砕部
節理

凡　例
：最新活動面　← →：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

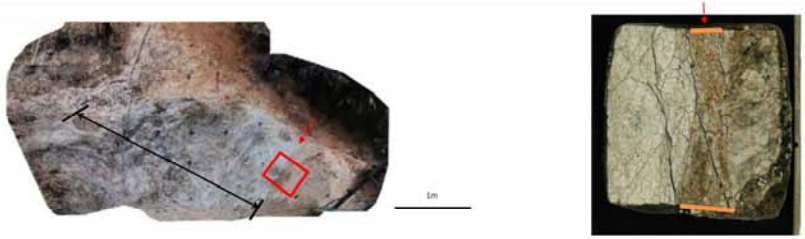
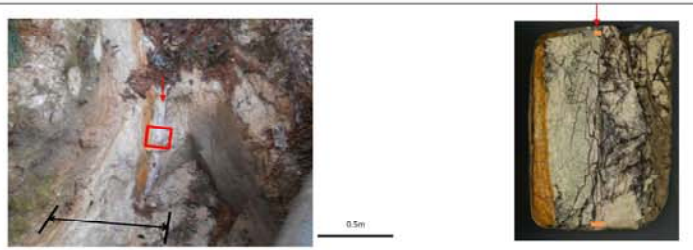
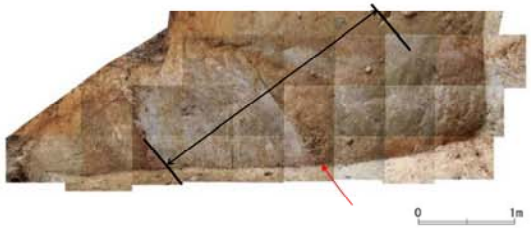
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

169(分類A)①
破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

7. H－3a破砕帯

性状一覧表(2/3)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-3a	既往露頭	(T.P.67.0m)		N12W	61E	300.0	4.0	有 *1	平滑 *1	14R	-	右	
	既往露頭拡張部	-	-	N4E	70E	100.0	4.0	有 *1	平滑 *1	-	-	-	
	追加ピット	-	-	N2E	57E	250.0	7.5	有 *1	非平滑 *1	-	-	-	

凡　例

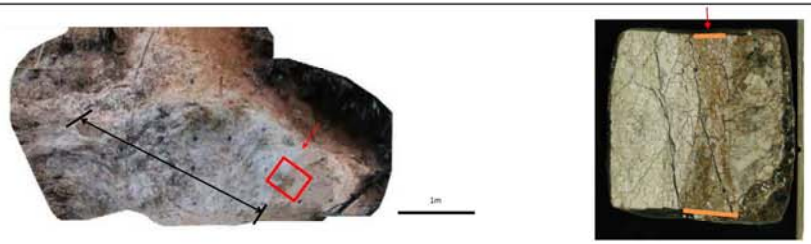
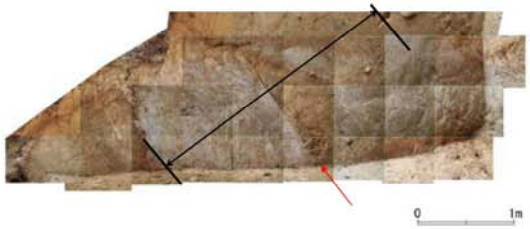
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　○ :粘土の狭在物が認められる箇所　*1:露頭 *2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

7. H－3a破砕帯

性状一覧表(2/3)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-3a	既往露頭	(T.P.67.0m)		N12W	61E	300.0	4.0	有 *1	平滑 *1	14R	-	右	
	既往露頭拡張部	-	-	N4E	70E	100.0	4.0	有 *1	平滑 *1	-	-	-	
	追加ピット	-	-	N2E	57E	250.0	① 5.0	有 *1	非平滑 *1	-	-	-	

170(分類A)①
断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。

凡　例

：最新活動面　←　→　：破砕幅　：断層ガウジ　○　：粘土の狭在物が認められる箇所　*1：露頭　*2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D－2～D－16破砕帯

性状一覧表(3/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-3	H19-No.2 (傾斜42°)	207.94	208.69	NS	66W	71.3	9.0	有	非平滑	60L	-	-	
	H19-No.3 (鉛直)	30.38	30.48	-	-	5.0	5.0	有	非平滑	-	-	-	
	H19-No.4 (傾斜45°)	10.48	11.53	N4W	70W	95.2	7.7	有	非平滑	50L	-	-	
	H27-Br-1 (鉛直)	33.27	35.90	N16E	81W	41.1	1.5	有	非平滑	76R	正	-	



凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D－2～D－16破砕帯

性状一覧表(3/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-3	H19-No.2 (傾斜42°)	207.94	208.69	NS	66W	71.3	9.0	有	非平滑	60L	-	-	207-208
	H19-No.3 (鉛直)	30.38	30.48	-	-	5.0	5.0	有	非平滑	-	-	-	30-31
	H19-No.4 (傾斜45°)	10.48	11.53	N4W	70W	95.2	7.7	有	非平滑	50L	-	-	10-11-12
	H27-Br-1 (鉛直)	33.27	35.90	N16E	81W	41.1	1.5	有	非平滑	76R	正	-	33-34-35-36-37

171(分類A)①
断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所
＊1：露頭
＊2：試掘坑

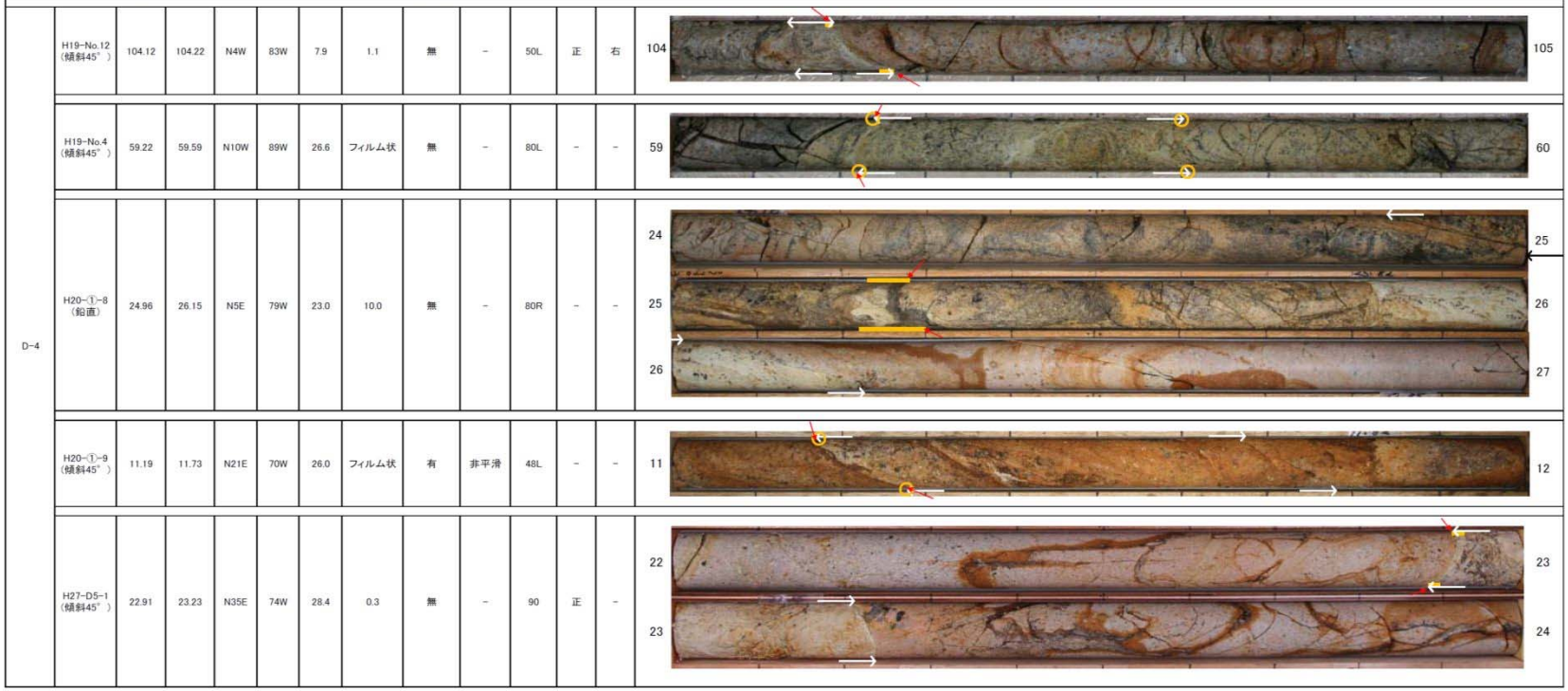
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D－2～D－16破砕帯

性状一覧表(4/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-4	H19-No.12（傾斜45°）	104.12	104.22	N4W	83W	7.9	1.1	無	－	50L	正	右	
	H19-No.4（傾斜45°）	59.22	59.59	N10W	89W	26.6	フィルム状	無	－	80L	－	－	
	H20-①-8（鉛直）	24.96	26.15	N5E	79W	23.0	10.0	無	－	80R	－	－	
	H20-①-9（傾斜45°）	11.19	11.73	N21E	70W	26.0	フィルム状	有	非平滑	48L	－	－	
	H27-D5-1（傾斜45°）	22.91	23.23	N35E	74W	28.4	0.3	無	－	90	正	－	



凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D－2～D－16破砕帯

性状一覧表(4/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-4	H19-No.12(傾斜45°)	104.12	104.22	N4W	83W	7.9	1.1	無	－	50L	正	右	104 105
	H19-No.4(傾斜45°)	59.22	59.59	N10W	89W	26.6	フィルム状	無	－	80L	－	－	59 60
	H20-①-8(鉛直)	24.96	26.15	N5E	79W	23.0	10.0	無	－	80R	－	－	24 25 26 27 ① ① ①
	H20-①-9(傾斜45°)	11.19	11.73	N21E	70W	26.0	フィルム状	有	非平滑	48L	－	－	11 12
	H27-D5-1(傾斜45°)	22.91	23.23	N35E	74W	28.4	0.3	無	－	90	正	－	22 23 24

172(分類A)①
断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D－2～D－16破砕帯

性状一覧表(7/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-13	H20-⑥-7（鉛直）	47.73	47.90	N37W	39SW	14.0	フィルム状	無	－	75L	－	－	47 48
	H20-⑥-2（鉛直）	12.15	12.85	－	－	30.0	2.3	無	－	70R	－	－	12 13
	H20-⑥-3（鉛直）	46.95	48.51	N42W	68W	38.0	1.5	無	－	65L	－	－	46 47 47 48 48 49
D-15	H24-B14-1（傾斜45°）	21.63	22.57	N25E	67W	87.9	フィルム状	無	－	2L	－	－	21 22 22 23

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

8. D－2～D－16破砕帯

性状一覧表(7/8)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-13	H20-⑥-7(鉛直)	47.73	47.90	N37W	39SW	14.0	フィルム状	無	－	75L	－	－	47～48
	H20-⑥-2(鉛直)	12.15	12.85	－	－	30.0	2.3	無	－	70R	－	－	12～13
	H20-⑥-3(鉛直)	46.95	48.51	N42W	68W	38.0	1.5	無	－	65L	－	－	46～47～48～49
D-15	H24-B14-1(傾斜45°)	21.63	22.57	N25E	67W	87.9	フィルム状	無	－	2L	－	－	21～22～22～23

173(分類A)①
破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D－17～D－28破砕帯

性状一覧表(1/9)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造・変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-17	H19-No.16（鉛直）	158.45	158.51	（未測定）		2.2	-	-	-	-	-	-	158～159
	H19-No.17（傾斜65°）	118.22	118.25	N11E	59W	2.2	2.2	無	-	87R	-	-	118～119
D-18	H19-No.16（鉛直）	159.23	159.62	（未測定）		22.0	-	-	-	-	-	-	159～160
	H19-No.17（傾斜65°）	118.66	119.29	N14E	57W	53.0	2.6	無	-	1R	-	-	118～119 119～120

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D－17～D－28破砕帯

性状一覧表(1/9)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-17	H19-No.16（鉛直）	158.45	158.51	（未測定）		2.2	－	－	－	－	－	－	158～159
	H19-No.17（傾斜65°）	118.22	118.25	N11E	59W	2.2	2.2	無	－	87R	－	－	118～119
D-18	H19-No.16（鉛直）	159.23	159.62	（未測定）		22.0	－	－	－	－	－	－	159～160
	H19-No.17（傾斜65°）	118.66	119.29	N14E	57W	53.0	2.6	無	－	1R	－	－	118～119 119～120

174(分類A)①
破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭　＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D－17～D－28破砕帯

性状一覧表(5/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-21	H20-④-10(鉛直)	41.92	42.78	N11W	73W	16.0	フィルム状	無	－	60R	－	－	41 42 42 43
	H20-④-1(鉛直)	63.91	64.44	N19E	68W	17.0	フィルム状	無	－	80L	－	－	63 64 64 65
	H20-④-5(鉛直)	24.96	25.12	N11E	62W	11.0	フィルム状	無	－	90	－	－	24 25 25 26
D-22	H20-⑥-4(鉛直)	46.34	46.69	N1W	70W	13.0	－	－	－	75R	－	－	46 47
	H20-⑥-1(鉛直)	9.79	9.86	N7W	63W	4.5	4.5	無	－	－	－	－	9 10

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭　＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

9. D－17～D－28破砕帯

性状一覧表(5/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-21	H20-④-10(鉛直)	41.92	42.78	N11W	73W	16.0	フィルム状	無	-	60R	-	-	41 42 42 43
	H20-④-1(鉛直)	63.91	64.44	N19E	68W	17.0	フィルム状	無	-	80L	-	-	63 64 64 65
	H20-④-5(鉛直)	24.96	25.12	N11E	62W	11.0	フィルム状	無	-	90	-	-	24 25 25 26
D-22	H20-⑥-4(鉛直)	46.34	46.69	N1W	70W	13.0	-	-	-	75R	-	-	46 47
	H20-⑥-1(鉛直)	9.79	9.86	N7W	63W	4.5	4.5	無	-	-	-	-	9 10

175(分類A)①
破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D－29～D－47破砕帯

性状一覧表(3/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-34	H24-B15-4（傾斜80°）	63.52	67.32	－	－	218.0	－	－	－	50R	－	－	63～68
	H24-B15-3（鉛直）	68.54	69.00	（未測定）		23.0	0.5	無	－	40R	－	－	68～69
	H19-No.8（傾斜60°）	143.12	144.21	N39W	64E	90.0	1.5	無	－	50R	－	－	143～145

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

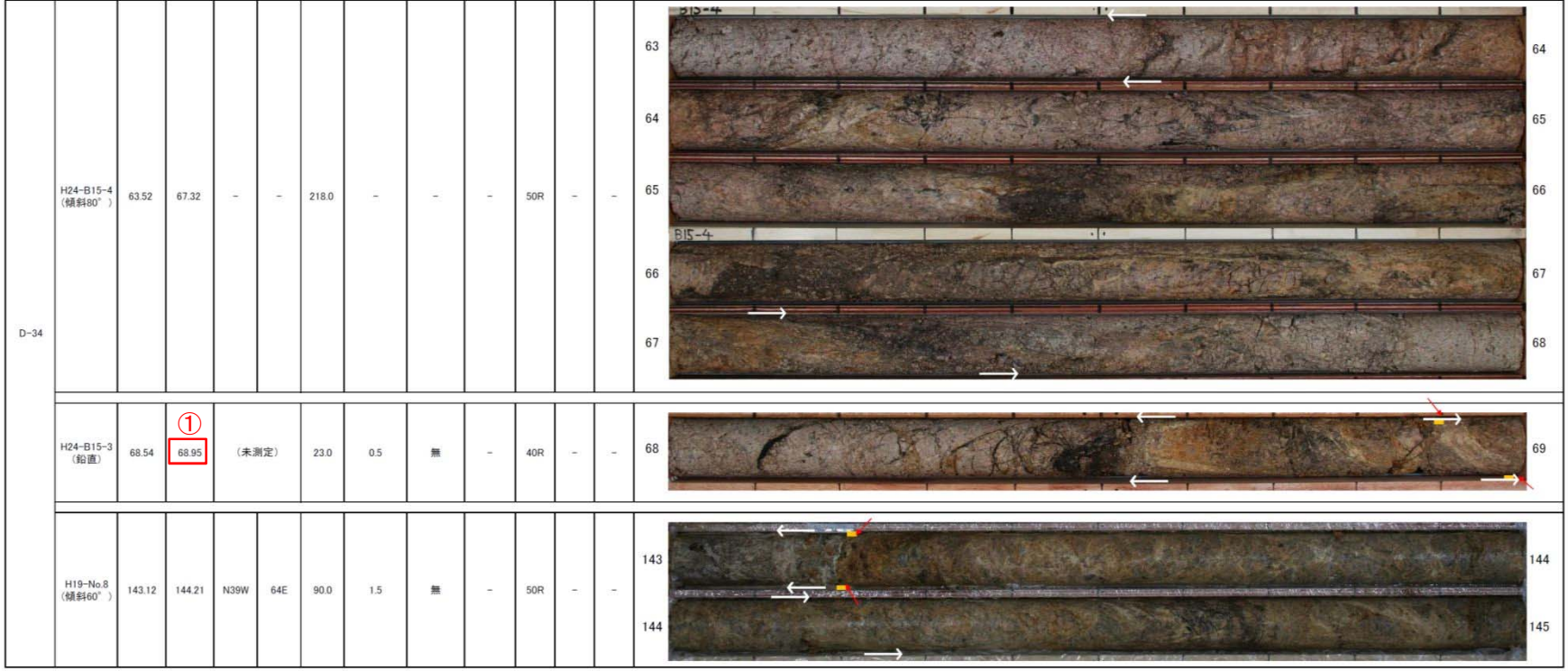
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D－29～D－47破砕帯

性状一覧表(3/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-34	H24-B15-4（傾斜80°）	63.52	67.32	－	－	218.0	－	－	－	50R	－	－	写真
	H24-B15-3（鉛直）	68.54	① 68.95	（未測定）		23.0	0.5	無	－	40R	－	－	写真
	H19-No.8（傾斜60°）	143.12	144.21	N39W	64E	90.0	1.5	無	－	50R	－	－	写真



176(分類A)①
破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

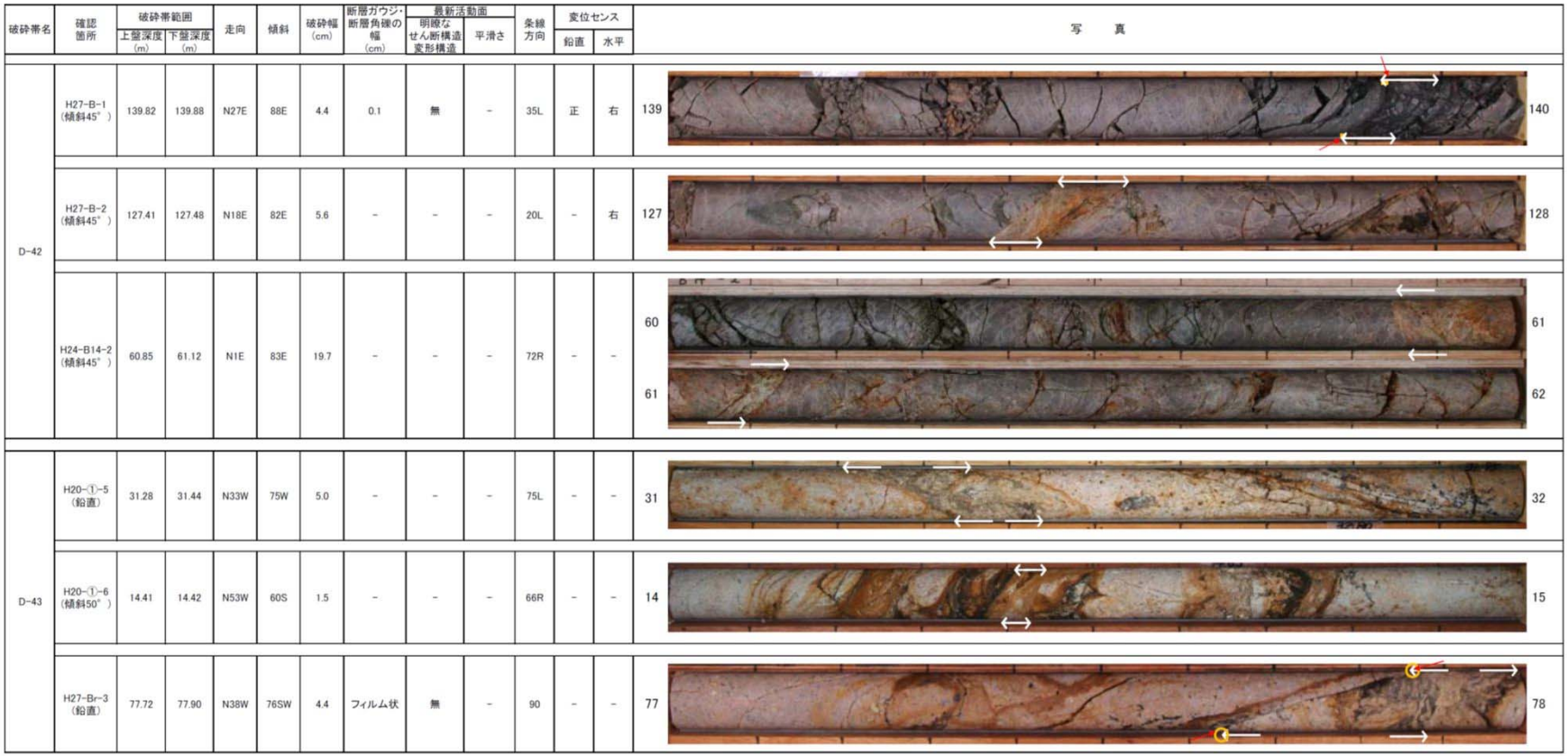
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D－29～D－47破砕帯

性状一覧表(8/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-42	H27-B-1（傾斜45°）	139.82	139.88	N27E	88E	4.4	0.1	無	-	35L	正	右	139
	H27-B-2（傾斜45°）	127.41	127.48	N18E	82E	5.6	-	-	-	20L	-	右	127
	H24-B14-2（傾斜45°）	60.85	61.12	N1E	83E	19.7	-	-	-	72R	-	-	60 61
D-43	H20-①-5（鉛直）	31.28	31.44	N33W	75W	5.0	-	-	-	75L	-	-	31
	H20-①-6（傾斜50°）	14.41	14.42	N53W	60S	1.5	-	-	-	66R	-	-	14
	H27-Br-3（鉛直）	77.72	77.90	N38W	76SW	4.4	フィルム状	無	-	90	-	-	77



凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

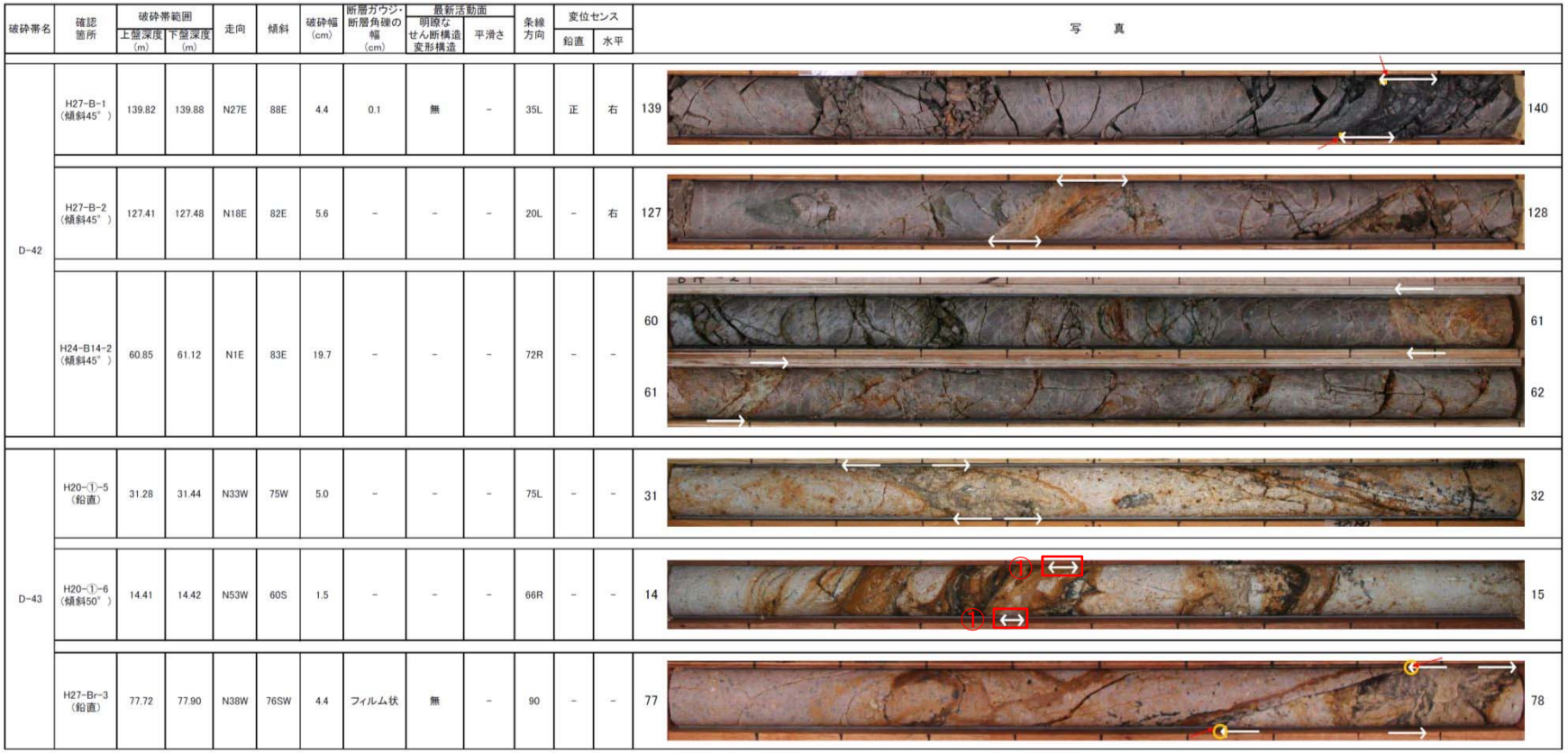
【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

10. D－29～D－47破砕帯

性状一覧表(8/10)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
D-42	H27-B-1（傾斜45°）	139.82	139.88	N27E	88E	4.4	0.1	無	－	35L	正	右	139
D-42	H27-B-2（傾斜45°）	127.41	127.48	N18E	82E	5.6	－	－	－	20L	－	右	127
D-42	H24-B14-2（傾斜45°）	60.85	61.12	N1E	83E	19.7	－	－	－	72R	－	－	60
D-43	H20-①-5（鉛直）	31.28	31.44	N33W	75W	5.0	－	－	－	75L	－	－	31
D-43	H20-①-6（傾斜50°）	14.41	14.42	N53W	60S	1.5	－	－	－	66R	－	－	14
D-43	H27-Br-3（鉛直）	77.72	77.90	N38W	76SW	4.4	フィルム状	無	－	90	－	－	77



177(分類A)①
破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f－2－3～f－20－11破砕帯

性状一覧表(1/9)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-2-3	H19-No.2 (傾斜42°)	146.29	146.32	N7E	64W	3.0	3.0	無	－	35R	－	－	146～147
f-2-7	H19-No.2 (傾斜42°)	191.10	191.14	N2E	66W	3.0	3.0	無	－	73L	－	－	191～192
f-2-8	H19-No.2 (傾斜42°)	202.81	202.85	N32E	64W	4.0	4.0	無	－	23L	正	右	202～203
	H19-No.3 (鉛直)	28.77	28.82	N32E	80W	2.0	フィルム状	無	－	90	－	－	28～29
f-2-10	H19-No.2 (傾斜42°)	212.00	212.07	N6W	63W	4.5	3.8	無	－	84R (不明瞭)	－	－	212～213
	H19-No.3 (鉛直)	42.75	42.81	N17E	77W	1.5	フィルム状	有	非平滑	75L	－	－	42～43
	H19-No.4 (傾斜45°)	16.13	16.31	N35E	62W	5.6	2.0	有	非平滑	38L	－	－	16～17

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f－2－3～f－20－11破砕帯

性状一覧表(1/9)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-2-3	H19-No.2(傾斜42°)	146.29	146.32	N7E	64W	3.0	3.0	無	－	35R	－	－	146～147
f-2-7	H19-No.2(傾斜42°)	191.10	191.14	N2E	66W	3.0	3.0	無	－	73L	－	－	191～192
f-2-8	H19-No.2(傾斜42°)	202.81	202.85	N32E	64W	①2.5	②2.5	無	－	23L	正	右	202～203
	H19-No.3(鉛直)	28.77	28.82	N32E	80W	2.0	フィルム状	無	－	90	－	－	28～29
f-2-10	H19-No.2(傾斜42°)	212.00	212.07	N6W	63W	4.5	3.8	無	－	84R(不明瞭)	－	－	212～213
	H19-No.3(鉛直)	42.75	42.81	N17E	77W	1.5	フィルム状	有	非平滑	75L	－	－	42～43
	H19-No.4(傾斜45°)	16.13	16.31	N35E	62W	5.6	2.0	有	非平滑	38L	－	－	16～17

178(分類A)①
　破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
179(分類A)②
　断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f－2－3～f－20－11破砕帯

性状一覧表(3/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-4-9	H19-No.4 (傾斜45°)	175.27	175.28	N29W	78W	1.1	1.1	無	－	22R	－	－	175 176
f-4-10	H19-No.4 (傾斜45°)	175.64	175.65	N14E	76W	1.0	フィルム状	有	非平滑	64R	－	－	175 176
f-4-12	H19-No.4 (傾斜45°)	218.73	218.74	N20E	74W	1.0	1.0	無	－	64L	－	－	218 219
f-6-2	H19-No.4 (傾斜45°)	234.32	236.15	N28W	88W	134.0	－	－	－	20R	－	－	234 225 235 236 236 237
	H19-No.6 (傾斜50°)	167.53	168.54	N41W	69W	80.0	5.0	無	－	23R	－	－	167 168 168 169

凡　例

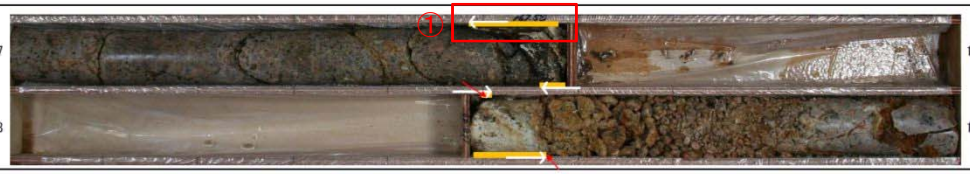
：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

11.f－2－3～f－20－11破砕帯

性状一覧表(3/9)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-4-9	H19-No.4 (傾斜45°)	175.27	175.28	N29W	78W	1.1	1.1	無	－	22R	－	－	
f-4-10	H19-No.4 (傾斜45°)	175.64	175.65	N14E	76W	1.0	フィルム状	有	非平滑	64R	－	－	
f-4-12	H19-No.4 (傾斜45°)	218.73	218.74	N20E	74W	1.0	1.0	無	－	64L	－	－	
f-6-2	H19-No.4 (傾斜45°)	234.32	236.15	N28W	88W	134.0	－	－	－	20R	－	－	
	H19-No.6 (傾斜50°)	167.53	168.54	N41W	69W	80.0	5.0	無	－	23R	－	－	

180，181(分類A)①
破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f－①－1－3～f－④－13破砕帯

性状一覧表(3/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-①-4-3	H20-①-4(鉛直)	21.10	21.15	N19E	74W	1.5	フィルム状	無	－	90	－	－	21 22
f-①-9-2	H20-①-9(傾斜45°)	45.52	45.54	N42W	59W	2.0	フィルム状	無	－	79L	－	－	45 46
f-①-9-3	H20-①-9(傾斜45°)	51.50	51.53	N36W	61W	2.8	2.8	有	非平滑	46L(不明瞭)	－	－	51 52
f-①-10-2	H20-①-10(鉛直)	18.16	18.84	N26E	81W	13.0	－	－	－	90	－	－	18 19
f-②-1-1	H20-②-1(鉛直)	45.13	46.34	N3W	60W	53.0	3.0	無	－	80L	－	－	45 46 / 46 47
f-②-1-2	H20-②-1(鉛直)	46.85	46.97	N63E	71S	3.7	0.6	無	－	36R	－	－	46 47
f-②-1-3	H20-②-1(鉛直)	48.26	48.95	N52W	71SW	25.0	0.7	有	非平滑	65L	－	－	48 49

凡　例

：最新活動面　←　→　：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

性状一覧表(3/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-①-4-3	H20-①-4(鉛直)	21.10	21.15	N19E	74W	1.5	フィルム状	無	-	90	-	-	21 22
f-①-9-2	H20-①-9(傾斜45°)	45.52	45.54	N42W	59W	2.0	フィルム状	無	-	79L	-	-	45 46
f-①-9-3	H20-①-9(傾斜45°)	51.50	① 51.52	N36W	61W	② 2.1	③ 2.1	有	非平滑	46L(不明瞭)	-	-	51 52
f-①-10-2	H20-①-10(鉛直)	18.16	18.84	N26E	81W	13.0	-	-	-	90	-	-	18 19
f-②-1-1	H20-②-1(鉛直)	45.13	46.34	N3W	60W	53.0	3.0	無	-	80L	-	-	45 46 / 46 47
f-②-1-2	H20-②-1(鉛直)	46.85	46.97	N63E	71S	3.7	0.6	無	-	36R	-	-	46 47
f-②-1-3	H20-②-1(鉛直)	48.26	48.95	N52W	71SW	25.0	0.7	有	非平滑	65L	-	-	48 49

182(分類A)①
破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
183(分類A)②
破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
184(分類A)③
断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。

凡　例
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f－①－1－3～f－④－13破砕帯

性状一覧表(9/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-⑥-2-4	H20-⑥-6(鉛直)	35.97	36.14	N17E	56W	9.0	－	－	－	25L	－	－	35 36 36 37
	H20-⑥-4(鉛直)	36.83	37.27	N12E	31W	30.0	－	－	－	45L	－	－	36 37 37 38
	H20-⑥-2(鉛直)	37.27	37.50	N28E	22W	21.0	1.2	無	－	55R	－	－	37 38
f-⑥-2-5	H20-⑥-7(鉛直)	67.88	68.20	N10W	49W	6.7	－	－	－	90	－	－	67 68 68 69
	H20-⑥-2(鉛直)	44.73	44.79	N17W	30W	5.5	フィルム状	無	－	67L	－	－	44 45

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　○ :粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭　＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

12.f－①－1－3～f－④－13破砕帯

性状一覧表(9/17)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
f-⑥-2-4	H20-⑥-6(鉛直)	35.97	36.14	N17E	56W	9.0	－	－	－	25L	－	－	35 36 36 37
	H20-⑥-4(鉛直)	36.83	37.27	N12E	31W	30.0	－	－	－	45L	－	－	36 37 37 38
	H20-⑥-2(鉛直)	37.27	37.50	N28E	22W	21.0	1.2	無	－	55R	－	－	37 38
f-⑥-2-5	H20-⑥-7(鉛直)	67.88	68.20	N10W	49W	6.7	－	－	－	90	－	－	67 68 68 69
	H20-⑥-2(鉛直)	44.73	44.79	N17W	30W	5.5	フィルム状	無	－	67L	－	－	44 45

185(分類A)①
断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

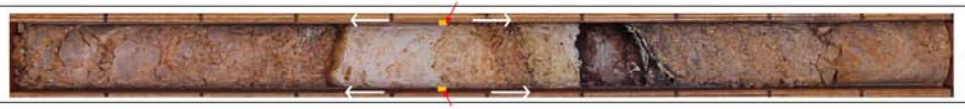
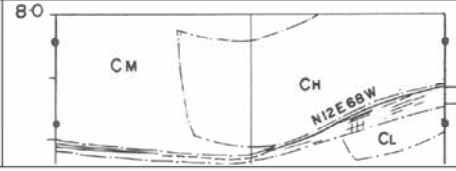
凡　例
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(5/13)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-3e	H27-B-3 (傾斜45°)	91.35	91.54	－	－	16.9	1.0	無	－	0	－	－	91  92
	試掘坑	－	－	N12E	75W	30.0	フィルム状	－	－	－	－	－	 幅25～30㎝の小破砕帯。幅5㎝の砂状部と幅20㎝の砂状～小角礫状部からなり，上盤側に幅1～2㎜の褐色の粘土が付着。西側壁では幅30㎝程度の白色粘土が網状に入る角礫状部になる。 ※ 幅5～10㎜ の黄白色粘土。 N55°W 60°S とN30°E 65°W の節理が交叉した部分が砂状。節理付近の幅1㎝程度が粘土状。
H-4	試掘坑	－	－	N14E	70W	40.0	2.0	－	－	－	－	－	 幅0.5～20㎜，桃白色粘土付着 幅15～35㎝角礫状部（砂を部分的に含む）。南側壁では上盤側に幅6㎜の白色粘土があり，その下盤に幅9㎝の軟質部がある。（H－4）

凡　例

:最新活動面　←→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所　＊1:露頭 ＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(5/13)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-3e	H27-B-3（傾斜45°）	91.35	91.54	－	－	16.9	1.0	無	－	0	－	－	91 … 92
	試掘坑	－	－	N12E	75W	30.0	① 0.2	－	－	－	－	－	85 … 幅25～30cmの小破砕帯。幅5cmの砂状部と幅20cmの砂状～小角礫状部からなり，上盤側に幅1～2mmの褐色の粘土が付着。西側壁では幅30cm程度の白色粘土が網状に入る角礫状部になる。／※ 幅5～10mm の黄白色粘土。／N55°W 60°S とN30°E 65°W の節理が交叉した部分が砂状。節理付近の幅1cm程度が粘土状。
H-4	試掘坑	－	－	N14E	70W	40.0	2.0	－	－	－	－	－	80 … 幅0.5～20mm，桃白色粘土付着／幅15～35cm角礫状部（砂を部分的に含む）。南側壁では上盤側に幅6mmの白色粘土があり，その下盤に幅9cmの軟質部がある。（H－4）

186(分類A)①
断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。

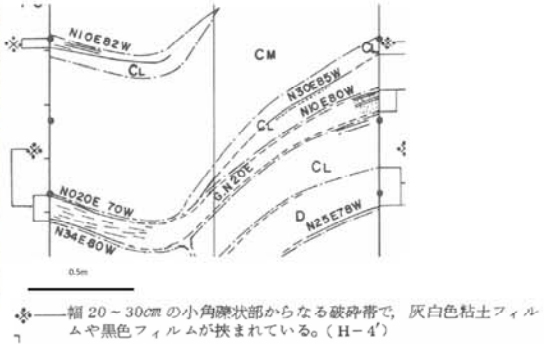
凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(6/13)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-4'	H24-D1-3 (傾斜45°)	14.41	14.52	N31E	66NW	5.5	1.9	有	非平滑	20L	-	右	14 15
H-4'	H24-D1-5 (傾斜50°)	10.45	10.50	N31E	65NW	4.8	0.1	有	非平滑	39L	正	右	10 11
	H27-B-3 (傾斜45°)	115.00	115.12	N36E	87W	8.5	フィルム状	無	-	56L	-	-	115 116
H-4'	試掘坑	-	-	N20E	70W	40.0	2.0	-	-	-	-	-	  ——幅 20～30cm の小角礫状部からなる破砕帯で，灰白色粘土フィルムや黒色フィルムが挟まれている。(H－4')

凡　例

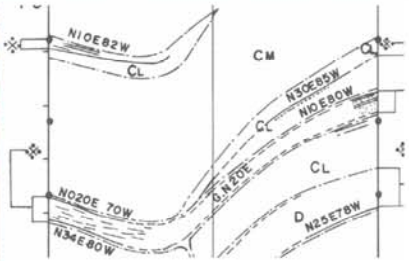
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

14.H－1～f－b－4－6破砕帯

性状一覧表(6/13)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
H-4'	H24-D1-3 (傾斜45°)	14.41	14.52	N31E	66NW	5.5	1.9	有	非平滑	20L	-	右	14 15
	H24-D1-5 (傾斜50°)	10.45	10.50	N31E	65NW	4.8	0.1	有	非平滑	39L	正	右	10 11
	H27-B-3 (傾斜45°)	115.00	115.12	N36E	87W	①3.0	フィルム状	無	-	56L	-	-	115 116
H-4'	試掘坑	-	-	N20E	70W	40.0	②フィルム状	-	-	-	-	-	  ——幅20～30cmの小角礫状部からなる破砕帯で，灰白色粘土フィルムや黒色フィルムが挟まれている。(H－4')

187(分類A)①
　破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
188(分類A)②
　断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(1/12)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	H19-No.2(傾斜42°)	24.38	24.46	-	-	6.5	0.2	無	-	-	-	-	24 - 25
④	H19-No.2(傾斜42°)	44.90	45.75	N40E	26W	78.8	0.3	無	-	-	-	-	44 - 45 / 45 - 46
⑨	H19-No.4(傾斜45°)	84.25	84.33	-	-	6.0	3.0	無	-	-	-	-	84 - 85
①	H19-No.5(鉛直)	92.63	92.65	(未測定)		1.5	-	-	-	-	-	-	92 - 93
②	H19-No.5(鉛直)	96.46	96.49	(未測定)		3.5	フィルム状	有	非平滑	-	-	-	96 - 97
③	H19-No.5(鉛直)	110.93	110.95	(未測定)		2.0	-	-	-	-	-	-	110 - 111
①	H19-No.10(鉛直)	28.46	28.53	(未測定)		2.0	0.1	無	-	-	-	-	28 - 29
②	H19-No.10(鉛直)	39.09	39.14	(未測定)		4.0	0.1	無	-	-	-	-	39 - 40

凡　例

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(1/12)

- 最新活動面のせん断構造・変形構造の有無については，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の平滑さについては，ボーリングコアの観察による認定を基本としている。
- 最新活動面の変位センスについては，薄片の観察による認定を基本としている。
- なお，上記以外の観察方法で認定したものについては，表中に注書きしている。

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
②	H19-No.2 (傾斜42°)	24.38	24.46	-	-	6.5	0.2	無	-	-	-	-	24 – 25
④	H19-No.2 (傾斜42°)	44.90	45.75	N40E	26W	78.8	0.3	無	-	-	-	-	44 – 45 / 45 – 46
⑨	H19-No.4 (傾斜45°)	84.25	84.33	-	-	6.0	3.0	無	-	-	-	-	84 – 85
①	H19-No.5 (鉛直)	92.63	92.65	(未測定)		1.5	-	-	-	-	-	-	92 – 93
②	H19-No.5 (鉛直)	96.46	96.49	(未測定)		3.5	フィルム状	有	非平滑	-	-	-	96 – 97
③	H19-No.5 (鉛直)	110.93	110.95	(未測定)		2.0	-	-	-	-	-	-	110 – 111
①	H19-No.10 (鉛直)	28.46	28.53	(未測定)		2.0	0.1	無	-	-	-	-	28 – 29
②	H19-No.10 (鉛直)	39.09	39.14	(未測定)		4.0	0.1	無	-	-	-	-	39 – 40

189(分類A)①
破砕幅の範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(2/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
③	H19-No.10 (鉛直)	73.62	73.63	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	73 74
①	H19-No.16 (鉛直)	16.01	17.82	(未測定)		116.0	フィルム状	無	-	-	-	-	16 17 17 18
⑦	H19-No.16 (鉛直)	91.50	91.79	(未測定)		15.0	-	-	-	-	-	-	91 92
⑨	H19-No.16 (鉛直)	113.66	113.77	(未測定)		3.9	1.5	無	-	-	-	-	113 114
⑩	H19-No.16 (鉛直)	121.85	122.21	(未測定)		26.0	0.1	無	-	-	-	-	121 122 122 123
⑪	H19-No.16 (鉛直)	130.20	131.28	(未測定)		59.0	-	-	-	-	-	-	130 131 131 132

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所

＊1:露頭
＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(2/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
③	H19-No.10(鉛直)	73.62	73.63	(未測定)		1.0	1.0	無	-	-	-	-	73 - 74
①	H19-No.16(鉛直)	16.01	17.82	(未測定)		116.0	フィルム状	無	-	-	-	-	16 - 17 / 17 - 18
⑦	H19-No.16(鉛直)	91.50	91.79	(未測定)		15.0	-	-	-	-	-	-	91 - 92
⑨	H19-No.16(鉛直)	113.66	113.77	(未測定)		3.9	1.5	無	-	-	-	-	113 - 114
⑩	H19-No.16(鉛直)	121.85	122.21	(未測定)		26.0	0.1	無	-	-	-	-	121 - 122 / 122 - 123
⑪	H19-No.16(鉛直)	130.20	131.28	(未測定)		59.0	-	-	-	-	-	-	130 - 131 / 131 - 132

190(分類A)①
破砕幅及び断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(4/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
④	H19-No.18 (傾斜60°)	155.72	155.75	N36E	76W	1.5	0.3	無	-	-	-	-	155 156
⑤	H19-No.18 (傾斜60°)	164.15	164.25	N9E	78W	6.7	-	-	-	-	-	-	164 165
⑥	H19-No.18 (傾斜60°)	169.62	169.63	N20E	89W	1.5	1.5	無	-	-	-	-	169 170
③	H19-No.19 (傾斜70°)	22.44	22.46	N34W	72E	2.0	2.0	無	-	-	-	-	22 23
⑦	H19-No.19 (傾斜70°)	168.28	168.32	-	-	3.0	0.3	無	-	-	-	-	168 169
①	H20-①-1 (鉛直)	2.66	2.95	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	2 3
①	H20-①-2 (傾斜54°)	11.73	11.91	-	-	17.0	7.0	無	-	-	-	-	11 12
①	H20-①-3 (鉛直)	4.96	5.00	N83E	40N	2.5	0.2	無	-	-	-	-	4 5
②	H20-①-3 (鉛直)	5.53	5.81	N11E	55W	18.0	-	-	-	-	-	-	5 6

凡　例

:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所

＊1:露頭
＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(4/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
④	H19-No.18 (傾斜60°)	155.72	155.75	N36E	76W	1.5	0.3	無	-	-	-	-	155 156
⑤	H19-No.18 (傾斜60°)	164.15	164.25	N9E	78W	6.7	-	-	-	-	-	-	164 165
⑥	H19-No.18 (傾斜60°)	169.62	① 169.65	N20E	89W	1.5	1.5	無	-	-	-	-	169 170
③	H19-No.19 (傾斜70°)	22.44	22.46	N34W	72E	2.0	2.0	無	-	-	-	-	22 23
⑦	H19-No.19 (傾斜70°)	168.28	168.32	-	-	3.0	0.3	無	-	-	-	-	168 169
①	H20-①-1 (鉛直)	2.66	2.95	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	2 3
①	H20-①-2 (傾斜54°)	11.73	11.91	-	-	17.0	7.0	無	-	-	-	-	11 12
①	H20-①-3 (鉛直)	4.96	5.00	N83E	40N	2.5	0.2	無	-	-	-	-	4 5
②	H20-①-3 (鉛直)	5.53	5.81	N11E	55W	18.0	-	-	-	-	-	-	5 6

191(分類A)①
破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
:最新活動面　←　→ :破砕幅　:断層ガウジ　:粘土の狭在物が認められる箇所
＊1:露頭
＊2:試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(9/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑥	H24-B14-1 (傾斜45°)	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	-	-	-	40R	正	左	70 71 / 71 72
⑦	H24-B14-1 (傾斜45°)	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	-	-	-	-	-	-	76 77 / 77 78
⑧	H24-B14-1 (傾斜45°)	82.59	83.71	N25E	85W	65.8	-	-	-	60R	正	左	82 83 / 83 84
⑨	H24-B14-1 (傾斜45°)	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	1.2	無	-	-	-	-	133 134 / 134 135
③	H24-B14-2 (傾斜45°)	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	1.0	無	-	40R	逆	右	47 / 48

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭　＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(9/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度(m)	破砕帯範囲 下盤深度(m)	走向	傾斜	破砕幅(cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅(cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造 変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
⑥	H24-B14-1 (傾斜45°)	70.54	71.41	N19E	85W	58.2	-	-	-	40R	正	左	70 71 71 72
⑦	H24-B14-1 (傾斜45°)	76.94	77.03	N7E	74E	4.5	-	-	-	-	-	-	76 77 77 78
⑧	H24-B14-1 (傾斜45°)	82.59	83.71	N25E	85W	65.8	-	-	-	60R	正	左	82 83 83 84
⑨	H24-B14-1 (傾斜45°)	133.38	134.77	N38E	74SE	40.6	1.2	無	-	-	-	-	133 134 134 135
③	H24-B14-2 (傾斜45°)	47.37	47.40	N38E	85NW	2.3	① -	③ -	-	40R	逆	右	47 48 ②

192(分類A)①
　断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログに基づく数値の和になっていなかった。
193(分類A)②
　断層ガウジの範囲について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
194(分類A)③
　明瞭なせん断構造・変形構造の有無について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

】
破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
た粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(10/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H27-Br-3（鉛直）	40.53	41.10	N51E	73NW	16.7	4.1	無	-	-	-	-	40 41 41 42
①	H27-Br-4（鉛直）	12.91	13.24	N8E	68W	33.0	-	-	-	-	-	-	12 13 13 14
②	H27-Br-8（鉛直）	65.81	67.33	N23E	56W	85.0	-	-	-	-	-	-	65 66 66 67 67 68
①	H27-Br-9（鉛直）	21.26	21.33	N45E	63NW	3.2	0.9	無	-	-	-	-	21 22
②	H27-Br-9（鉛直）	66.50	66.77	N48E	77NW	6.1	0.9	無	-	-	-	-	66 67

凡　例

：最新活動面　←　→：破砕幅　：断層ガウジ　：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

15.非モデル化破砕帯

性状一覧表(10/12)

断面図上の番号	確認箇所	破砕帯範囲 上盤深度 (m)	破砕帯範囲 下盤深度 (m)	走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角礫の幅 (cm)	最新活動面 明瞭なせん断構造変形構造	最新活動面 平滑さ	条線方向	変位センス 鉛直	変位センス 水平	写真
①	H27-Br-3（鉛直）	40.53	41.10	N51E	73NW	16.7	4.1	無	-	-	-	-	40 41 41 42
①	H27-Br-4（鉛直）	12.91	13.24	N8E	68W	① 12.4	-	-	-	-	-	-	12 13 13 14
②	H27-Br-8（鉛直）	65.81	67.33	N23E	56W	85.0	-	-	-	-	-	-	65 66 66 67 67 68
①	H27-Br-9（鉛直）	21.26	21.33	N45E	63NW	3.2	0.9	無	-	-	-	-	21 22
②	H27-Br-9（鉛直）	66.50	66.77	N48E	77NW	6.1	0.9	無	-	-	-	-	66 67

195(分類A)①
破砕幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

凡　例
：最新活動面　←→：破砕幅　：断層ガウジ　○：粘土の狭在物が認められる箇所　＊1：露頭 ＊2：試掘坑

【破砕幅】
粘土状破砕部，砂状破砕部，角礫状破砕部，
固結した粘土状破砕部，固結した砂状破砕部，固結した角礫状破砕部
の合計の幅とし，破砕部の走向傾斜から真の幅に換算した。

【平滑さ】
平　滑：最新活動面が直線的なもの
非平滑：最新活動面が湾曲するもの

H24－D1－4

柱状図(30.00m～60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率(%)	最大コア長(cm)	RQD(%)	コア採取率(%) 最大コア長(cm) RQD[%] 0 20 40 60 80 100	記事
				花崗斑岩	灰褐	CL'	100	12	12		
							100	7	0		
						CM'	100	9	0		
						CH'	100	13	34		
						CL'	100	9	0		34.57～34.63m ・割れ目が多く，角礫状を呈する。
						CM'	100	9	0		
							100	6	0		
						CL'	100	6	0		
					にぶい橙	CM'	100	4	0		
						CL'	100	7	0		
40							100	10	10		42.37～42.61m ・割れ目が多く，角礫状を呈する。
						CM'	100	7	0		
							100	7	0		49.83～52.07m ・緑灰色に変色する。
						CL'	100	12	12		52.07～52.97m ・割れ目が多く，角礫状を呈する。
							100	6	0		
							100	5	0		
						CH'	100	12	33		
							100	18	34		
					灰褐 にぶい橙	CL'	100	9	0		
							100	8	0		
50					灰褐	CM'	100	9	0		●52.97～53.46m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・褐灰色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN41° E50° NWである。
							100	14	35		
						D'	100	8	0		
							100	2	0		
						CL'	100	4	0		
							100	4	0		56.57～59.47m ・割れ目が多く，角礫状を呈する。
							100	12	12		
						CM'	100	6	0		
							100	9	0		●60.06～60.38m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰白色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN18° E86° Wである。
						CL'	100	7	0		

H24－D1－4

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

柱状図(30.00m～60.00m)

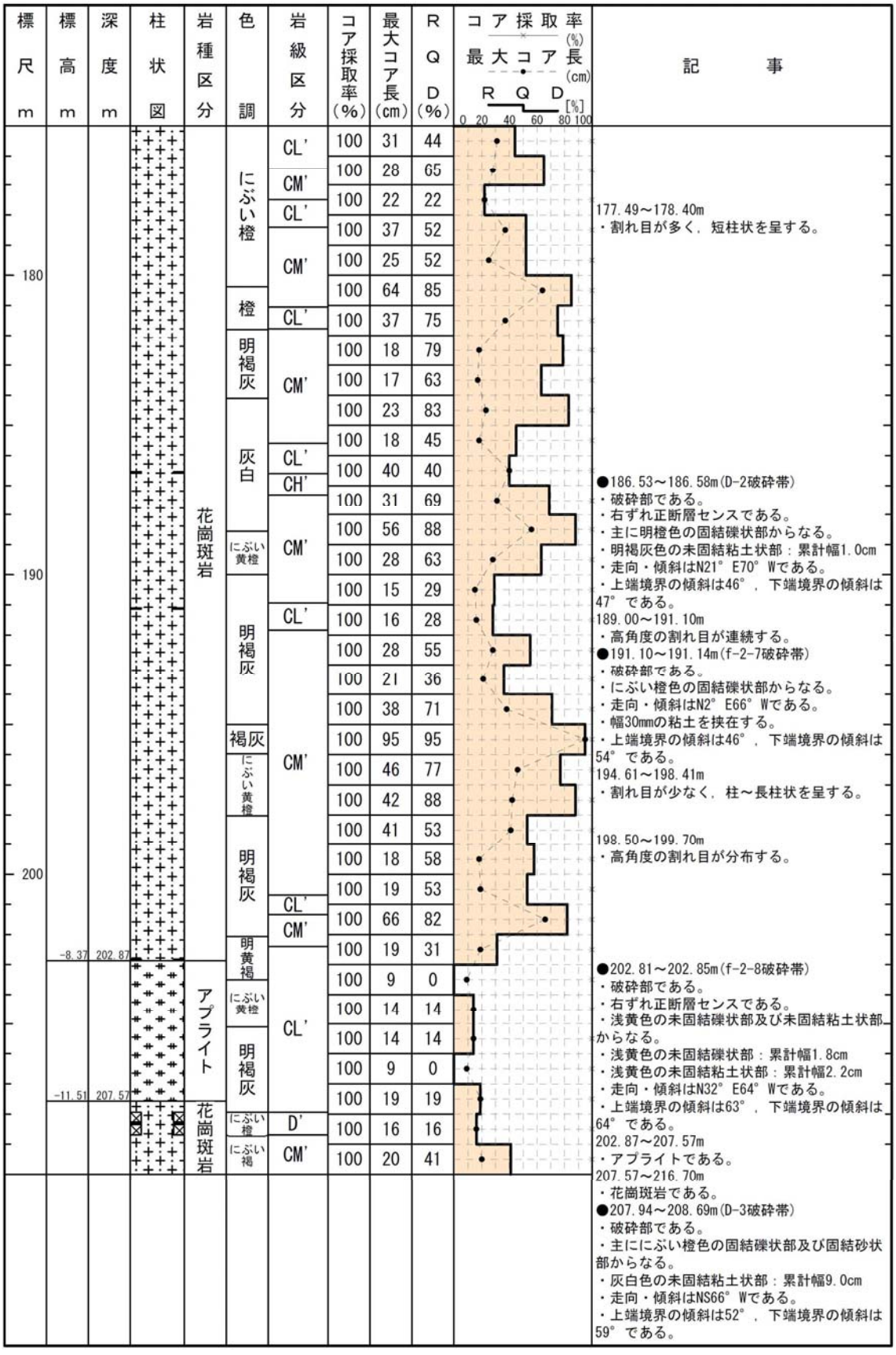


196(分類A)①
断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H19－No.2

第657回審査会合
机上配付資料3 修正前

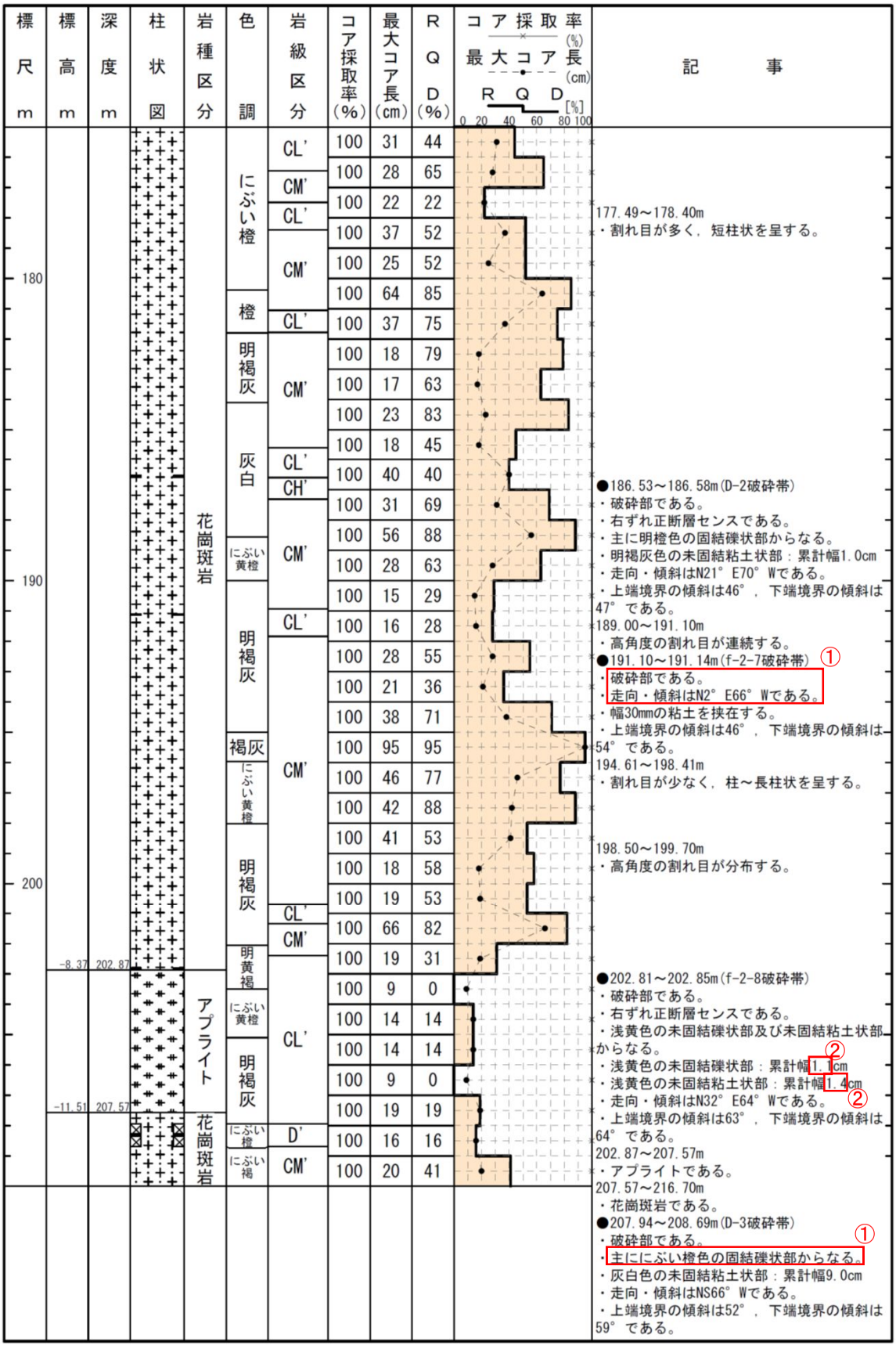
柱状図(175.00m～210.00m)



H19－No.2

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

柱状図(175.00m～210.00m)



197，200(分類A)①
断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
198，199(分類A)②
断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H24－B14－2

柱状図(30.00m～60.00m)



H24－B14－2

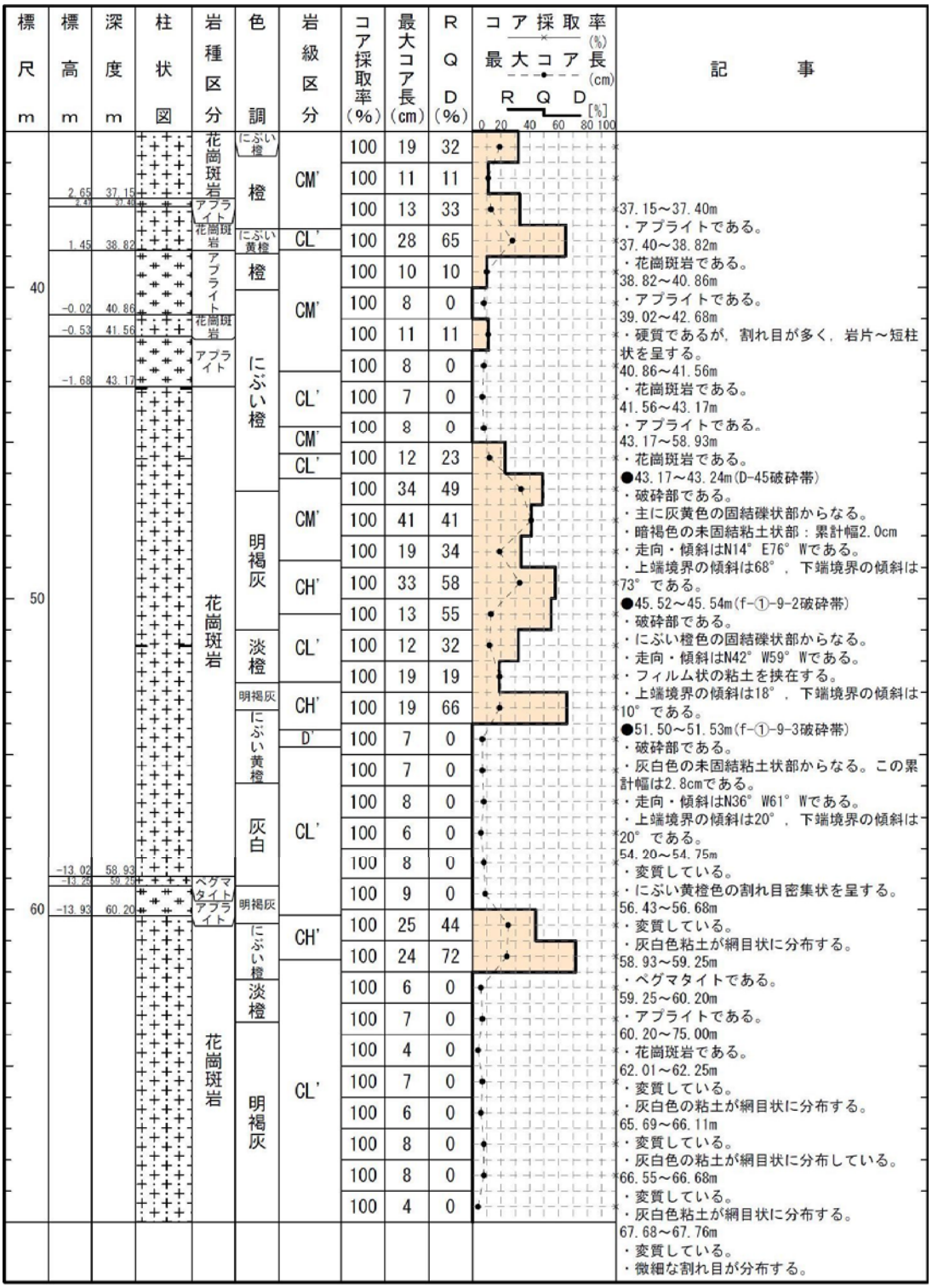
柱状図(30.00m～60.00m)



201(分類A)①
断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

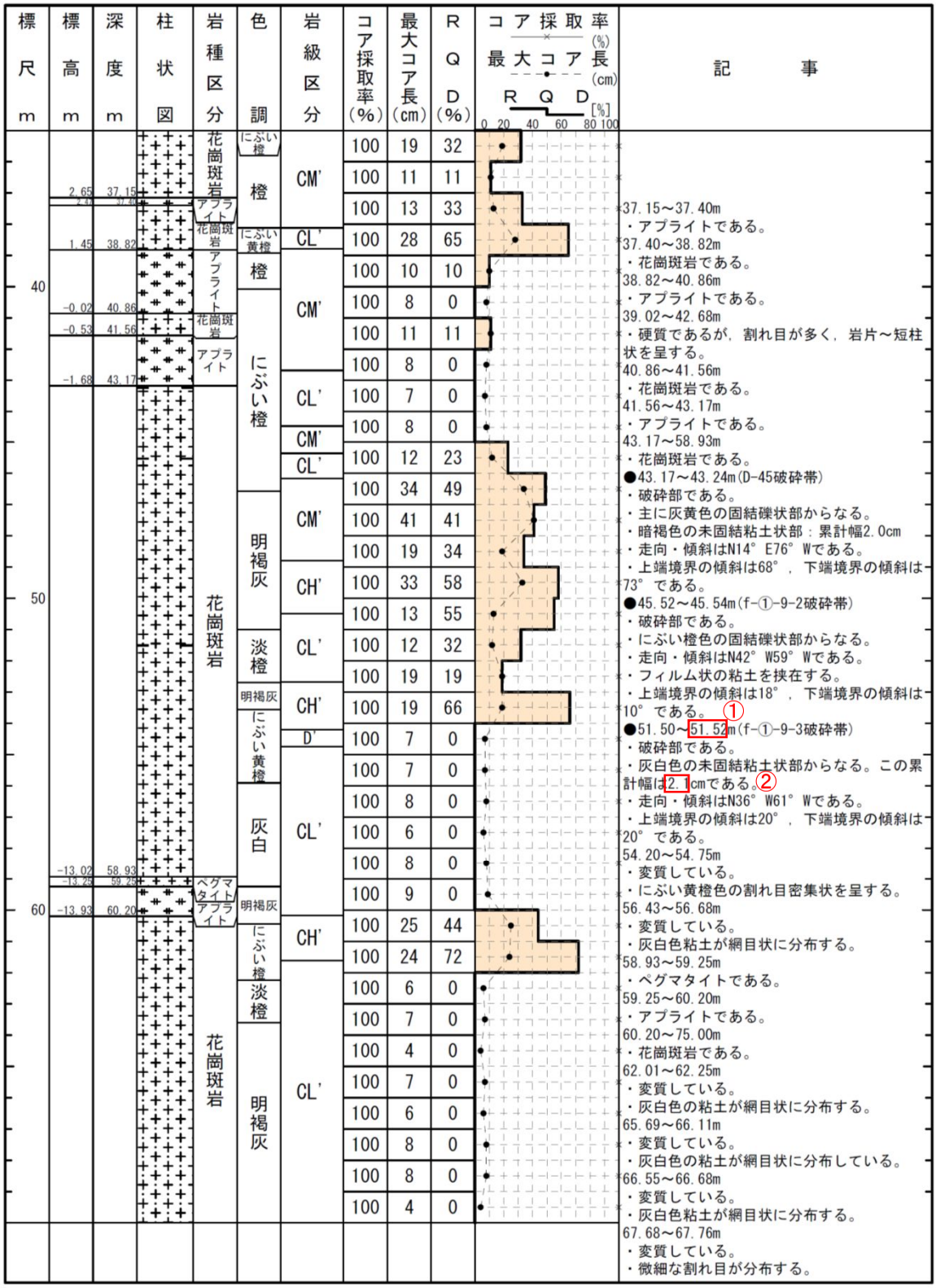
H20－①－9

柱状図(35.00m～70.00m)



H20－①－9

柱状図(35.00m～70.00m)



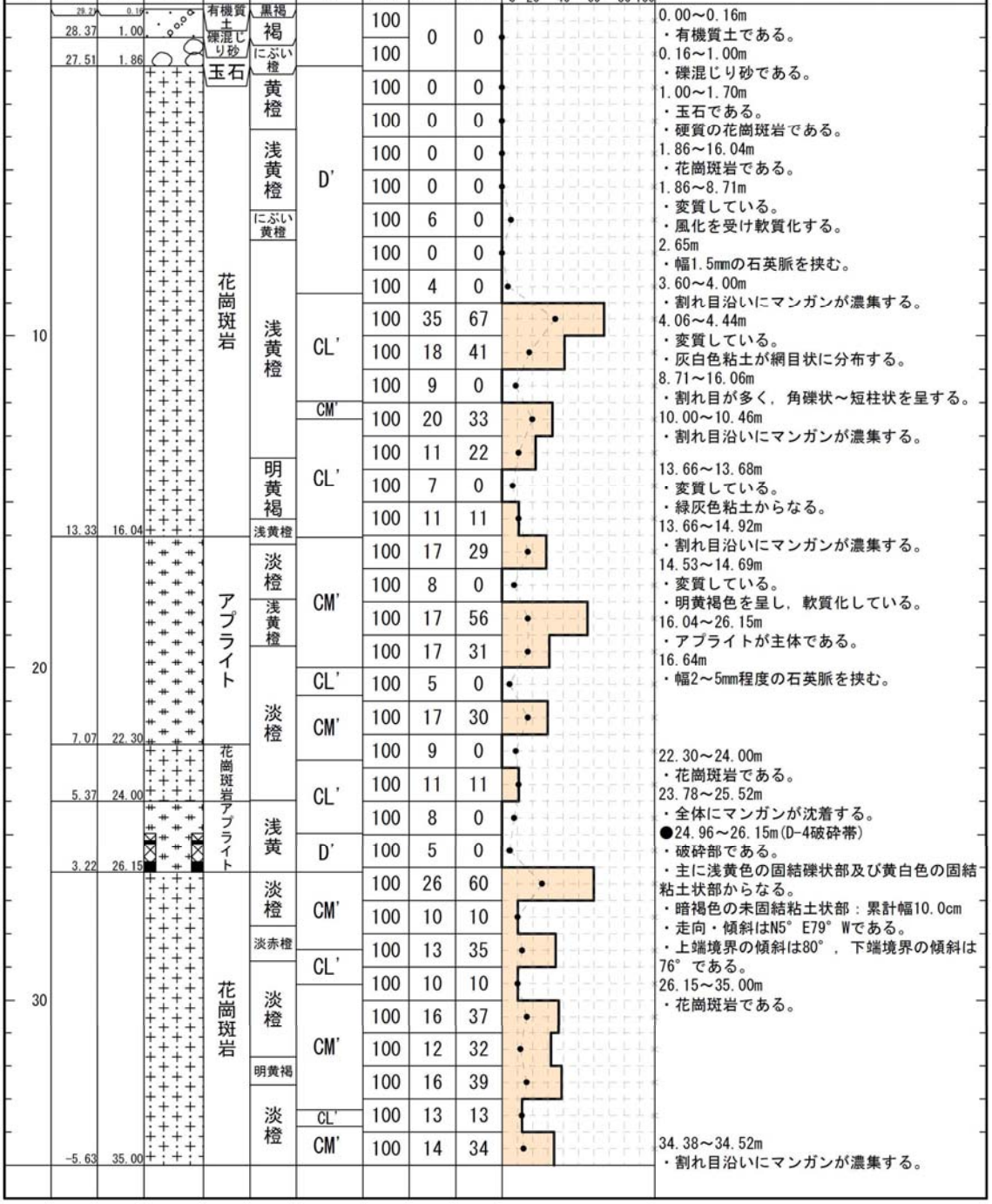
202(分類A)①
破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
203(分類A)②
断層ガウジ・断層角礫の幅について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H20－①－8

柱状図(0.00m～35.00m)

H20-①-8

孔口標高	T.P. 29.37m	掘削長	35.00m

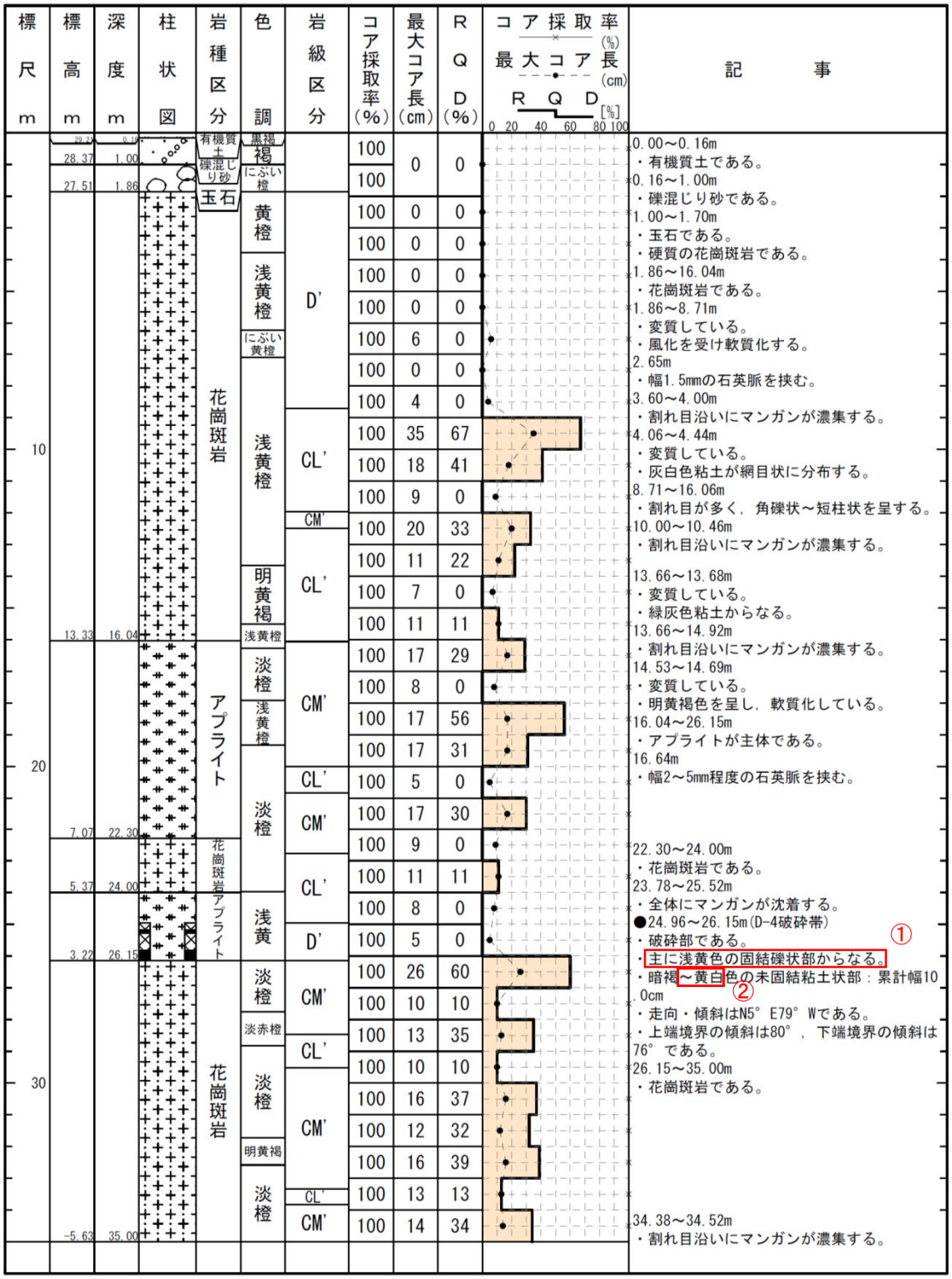


H20－①－8

柱状図(0.00m～35.00m)

H20-①-8

孔口標高	T.P. 29.37m	掘削長	35.00m



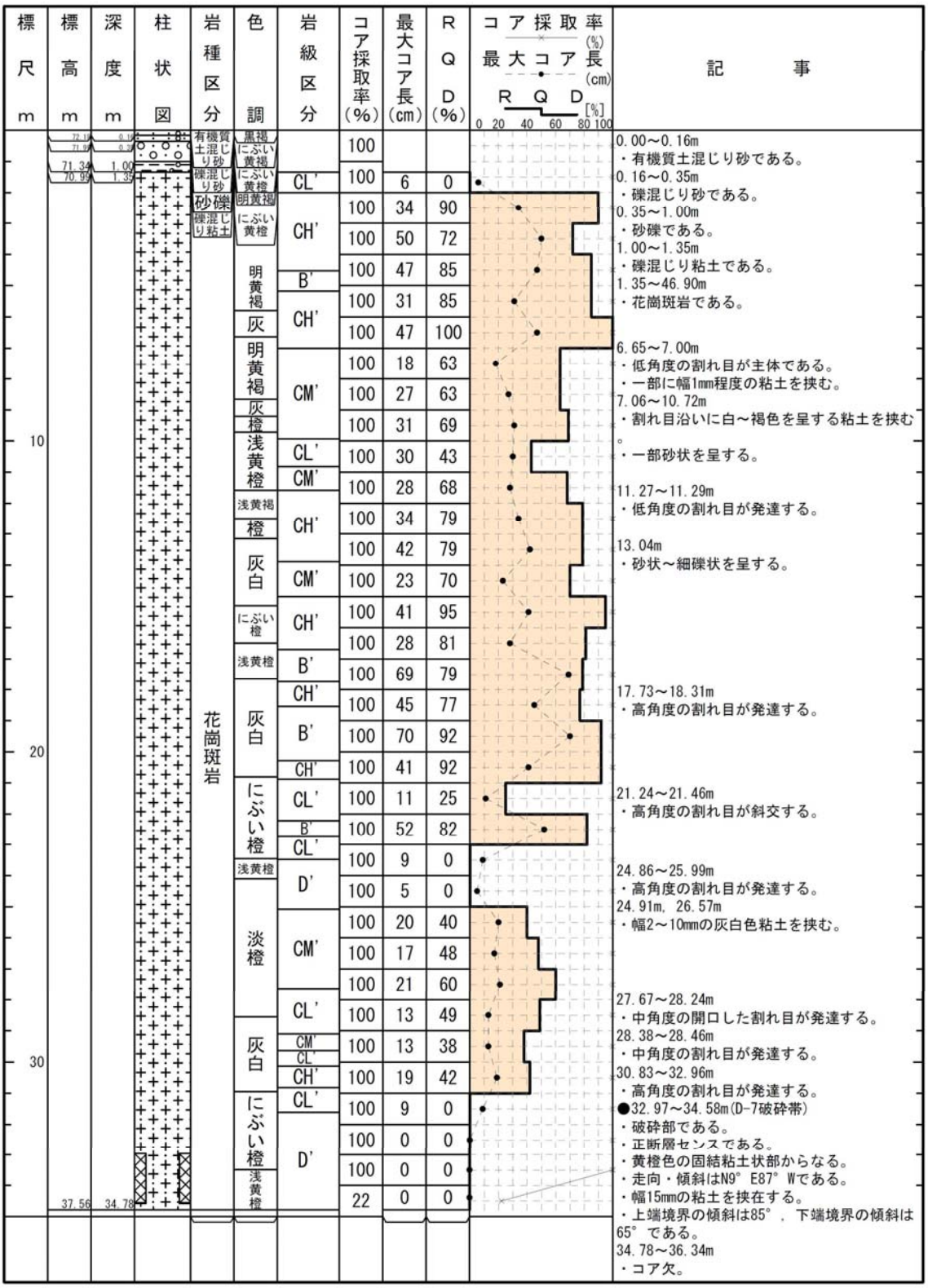
204(分類A)①
断層岩の色調及び断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。
205(分類A)②
断層岩の色調について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H27－Br－8

柱状図(0.00m～35.00m)

H27-Br-8

孔口標高	T.P. 72.34m	掘削長	100.00m

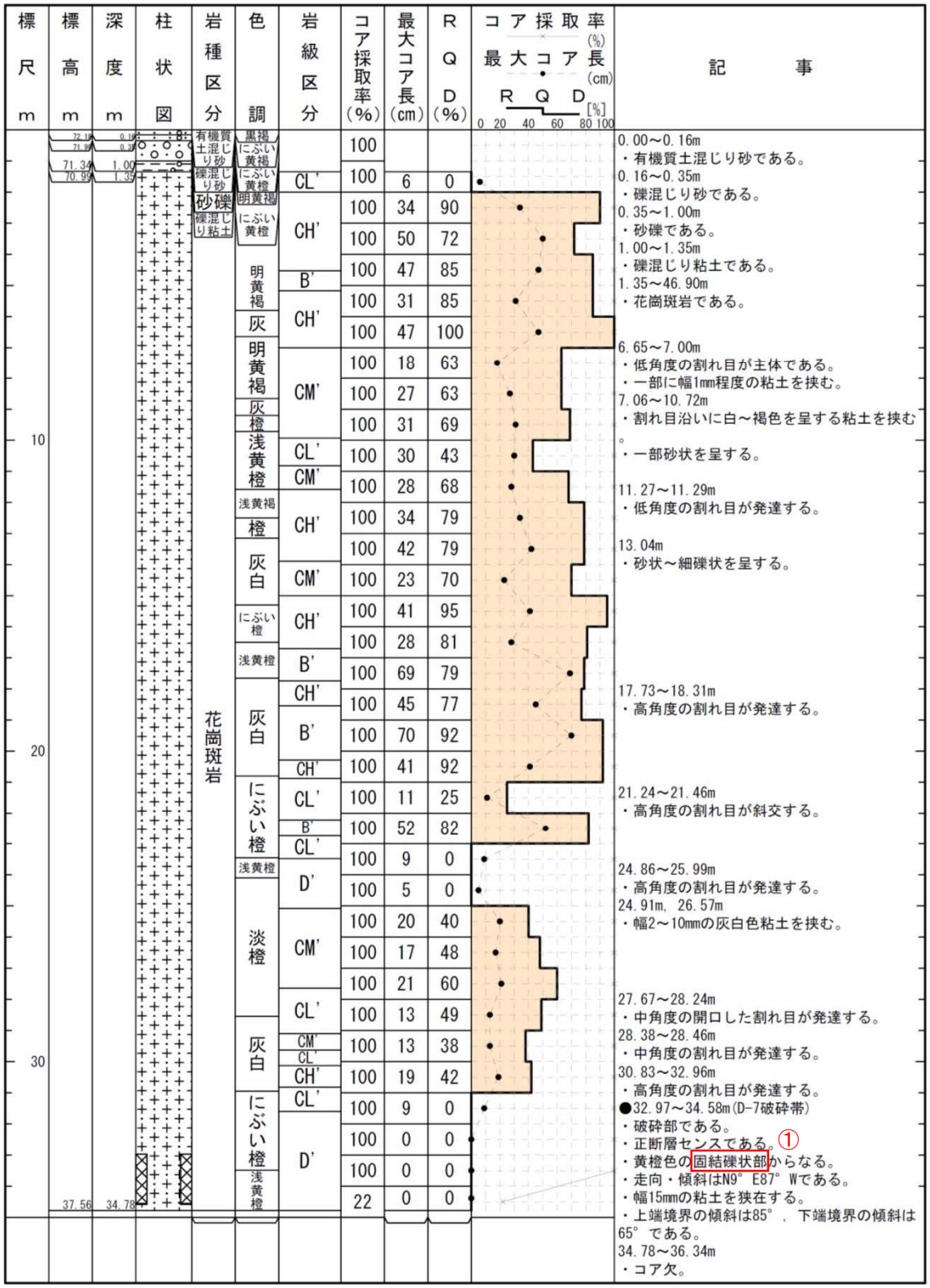


H27－Br－8

柱状図(0.00m～35.00m)

H27-Br-8

孔口標高	T.P. 72.34m	掘削長	100.00m



206(分類A)①
断層岩の区分について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

H24－B14－1

コア写真(18.00m～36.00m)



275

H24－B14－1

第657回審査会合
机上配付資料3 修正後

コア写真(18.00m～36.00m)

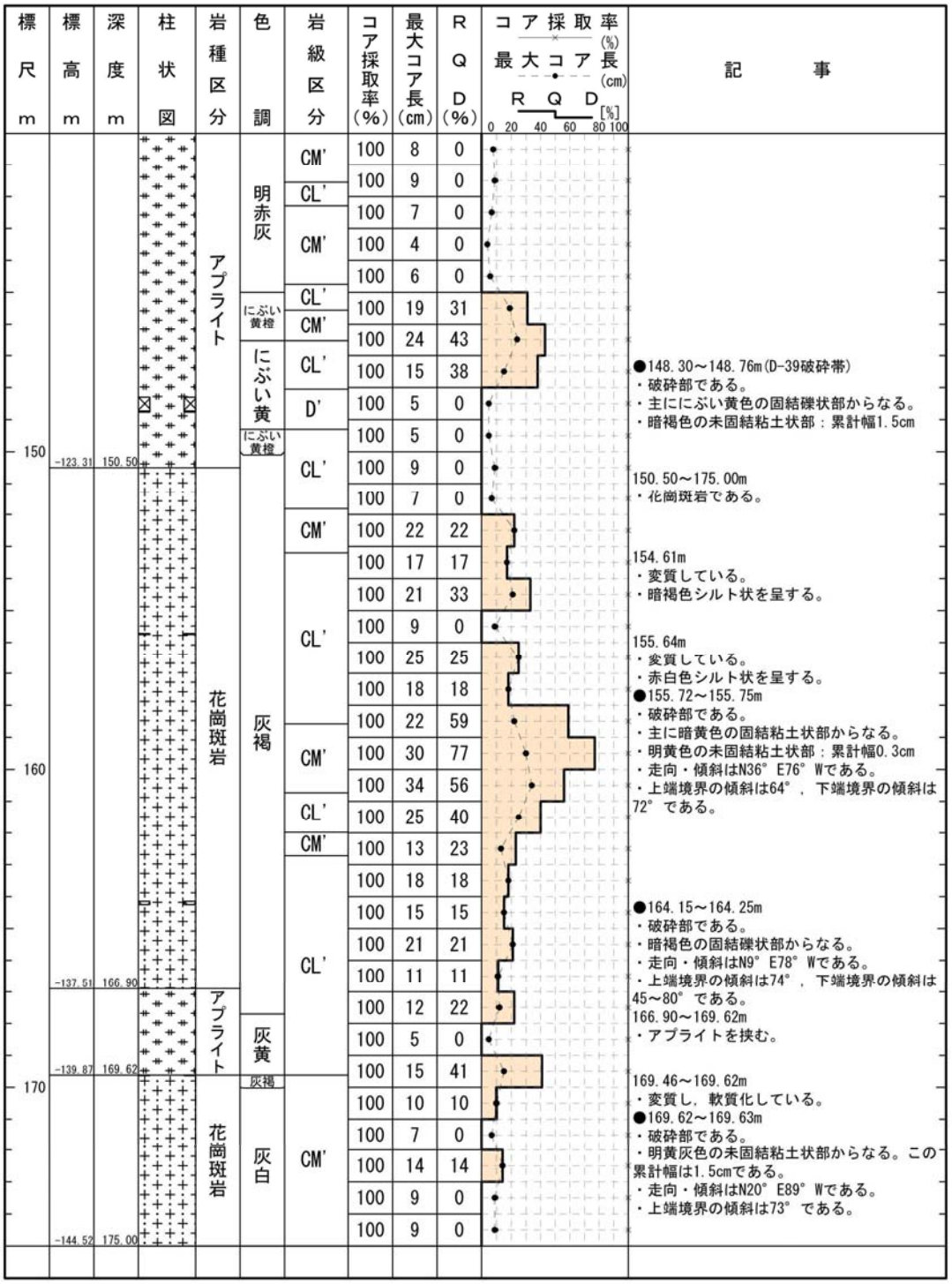
①



207(分類E)①
深度18.00m～深度36.00mのコア写真を掲載すべきところ，誤って36.00m～54.00mのコア写真を掲載してしまった。

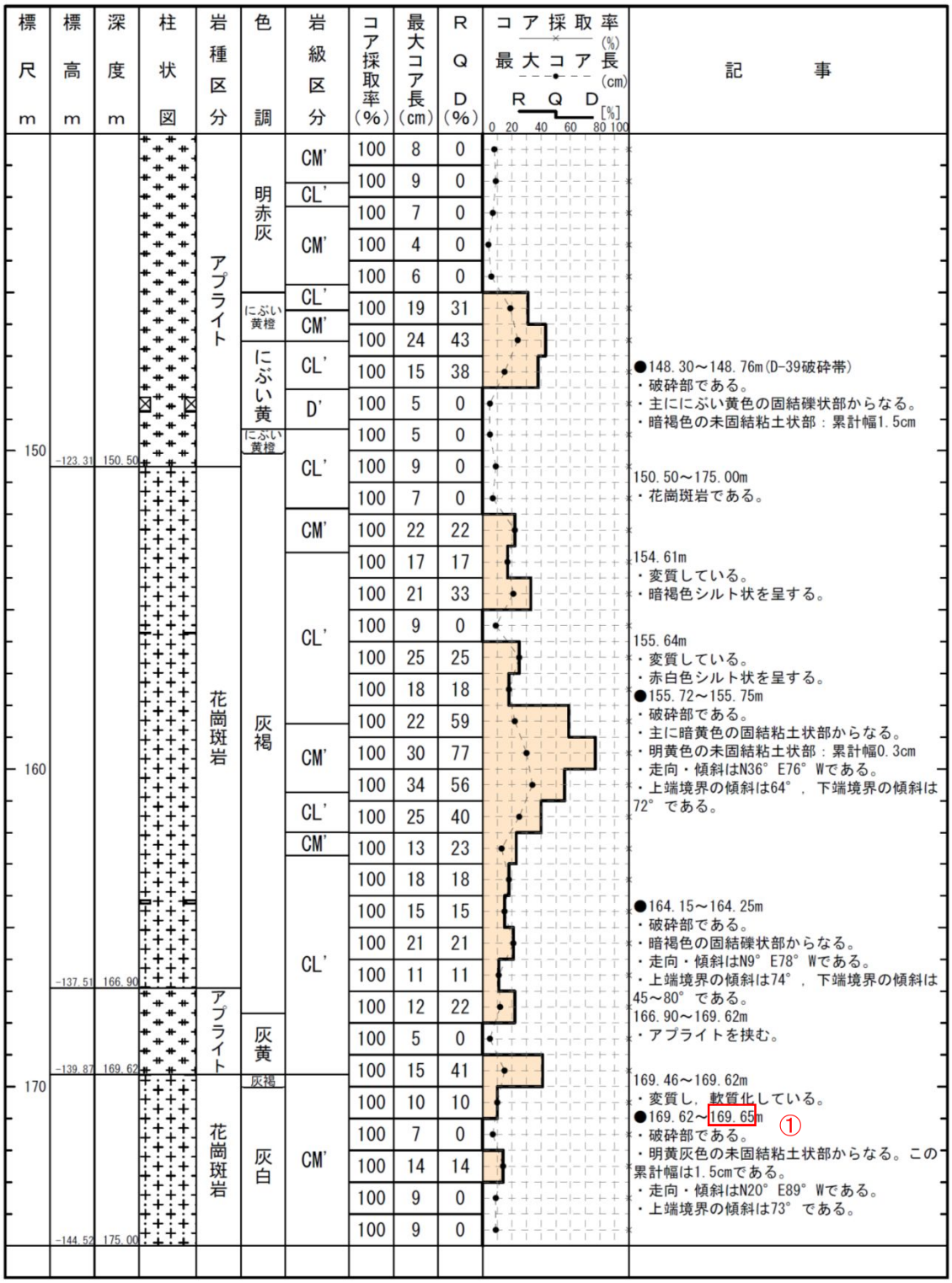
H19－No. 18

柱状図(140.00m～175.00m)



H19—No. 18

柱状図(140.00m～175.00m)



208(分類A)①
破砕帯範囲の下端深度について，細分化カタログから転記したが，転記を誤ったもの。

余白

1．リスト

番号	頁	資料名	項目名	正誤の内容			分類	誤りの理由
				対象箇所	誤	正		
1	283	本編資料	－	擬似速度応答スペクトル	EW方向とUD方向のグラフの貼り付け場所の修正		A	貼り付け先への転記を誤った。

（直接的な記載の誤り）
分類Ａ：転記の誤り
分類Ｂ：作図の誤り
分類Ｃ：表記基準の周知不足

（二次的な記載の誤り）
分類Ｄ：転記元の記載の誤り

（表現の適正化未反映）
分類Ｅ：誤字・脱字・記載漏れ
分類Ｆ：表現の不統一

余白

2. 個々の記載の不備の具体的内容・類型化

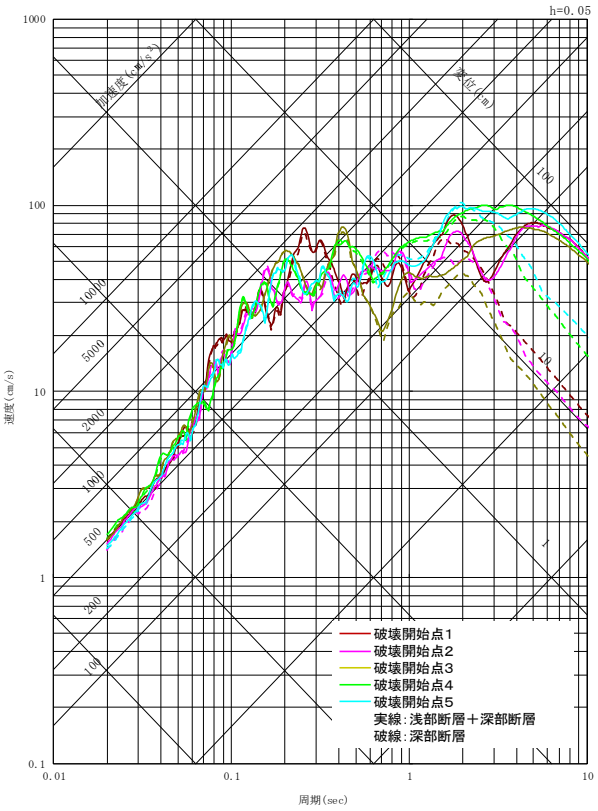
資料名			該当ページ（資料の右下）	正誤比較ページ（資料の右上）
平成31年4月26日 第711回 審査会合資料	本編資料	4. 浦底断層の地震動評価	107	282～283

：修正箇所

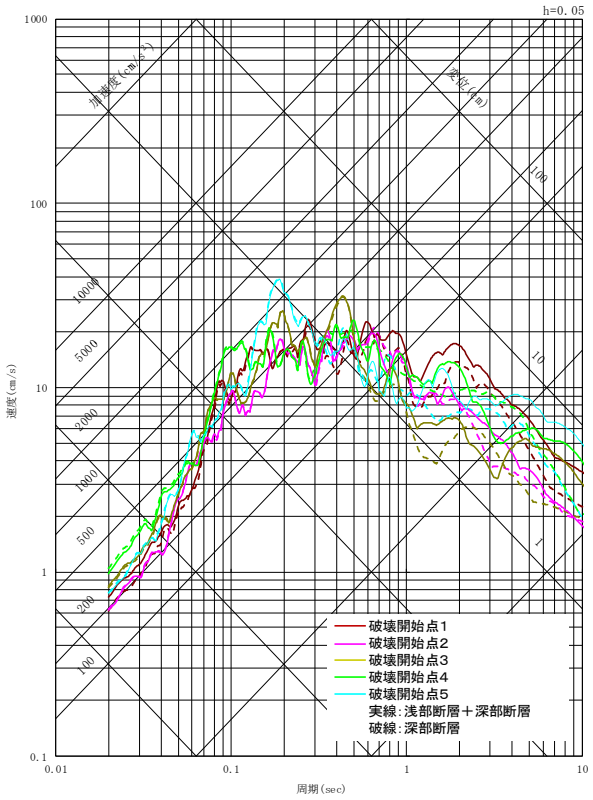
震源が敷地に近い場合の地震動評価結果（基本ケース）（1／4）

○浦底断層の断層全体（浅部断層＋深部断層）と震源断層（深部断層）のみの基本ケースの評価結果を比較して示す。

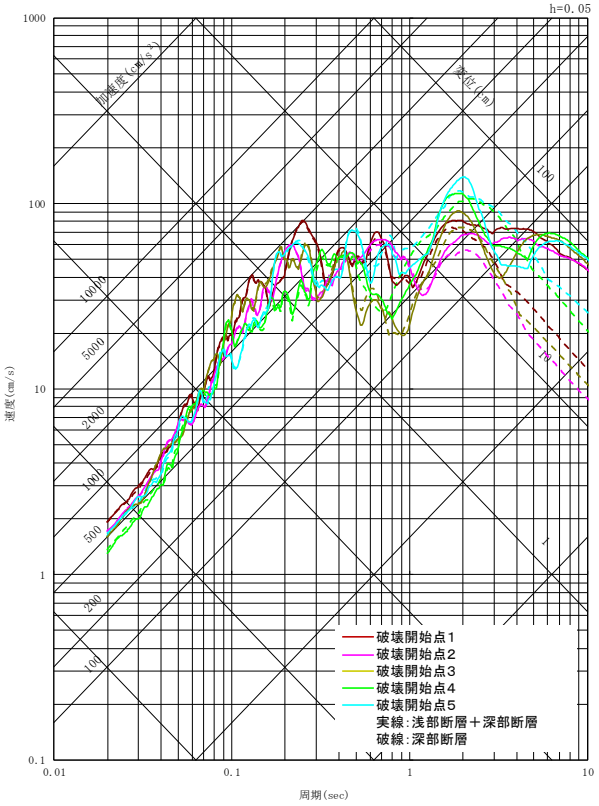
○断層全体を考慮した効果は，長周期側（約0.5秒以上）に現れている。



NS方向



EW方向



UD方向

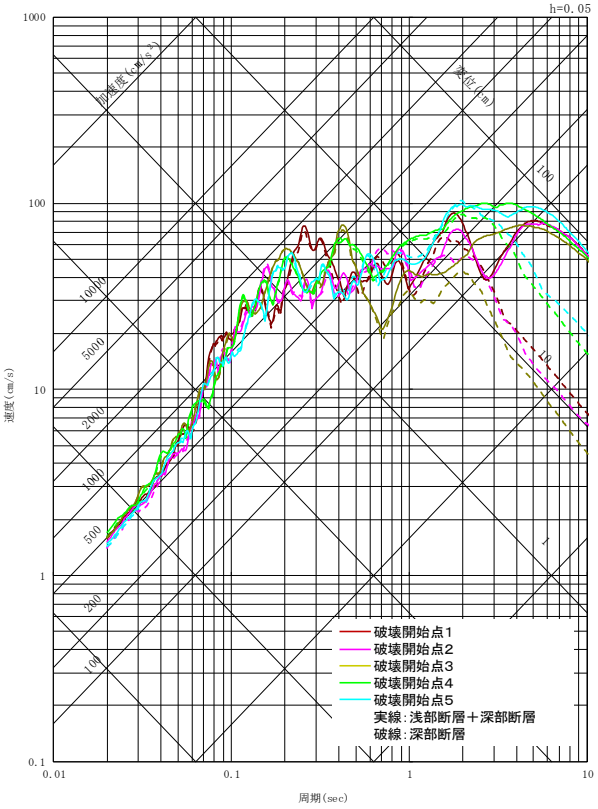
擬似速度応答スペクトル

震源が敷地に近い場合の地震動評価結果（基本ケース）（1／4）

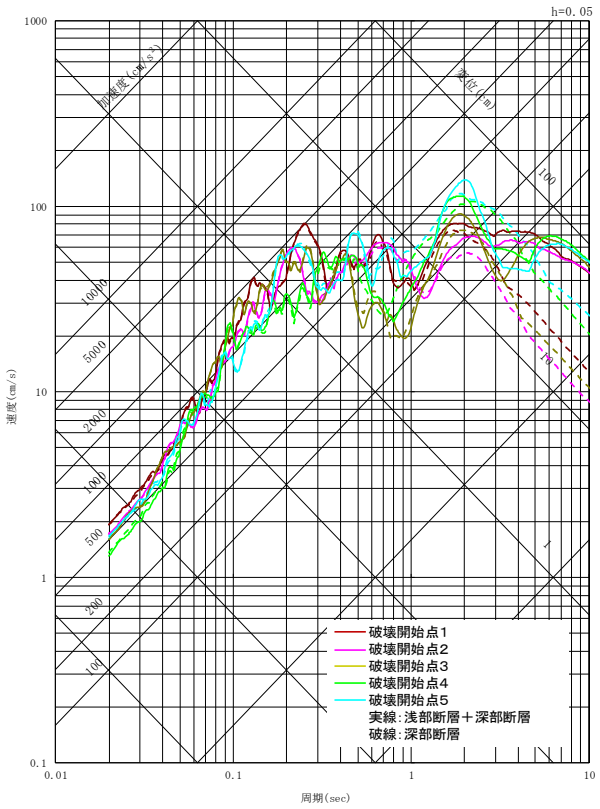
○浦底断層の断層全体（浅部断層＋深部断層）と震源断層（深部断層）のみの基本ケースの評価結果を比較して示す。

○断層全体を考慮した効果は，長周期側（約0.5秒以上）に現れている。

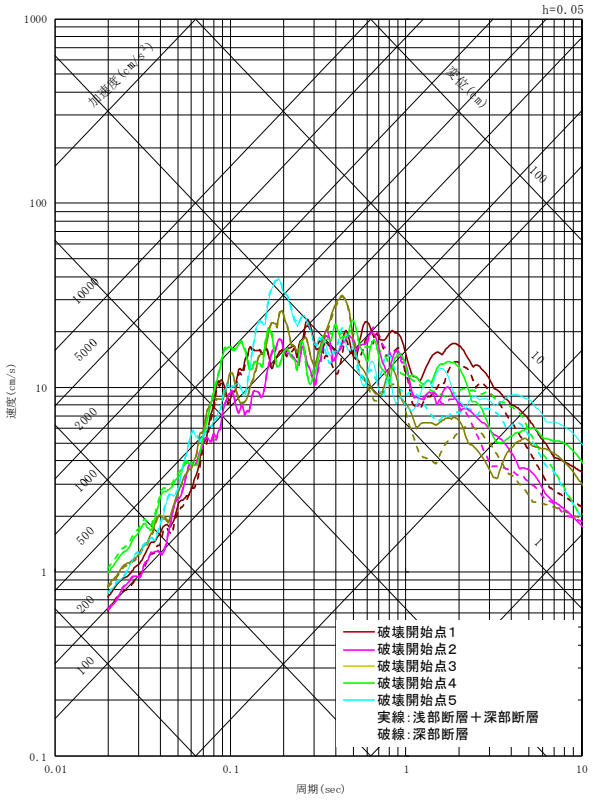
①



NS方向



EW方向



UD方向

擬似速度応答スペクトル

1（分類A）①
貼り付け先への転記を誤った。

余白